

THE NATIONAL
ART CENTER, TOKYO
国立新美術館

NACT REPORT
APRIL 2010-MARCH 2011
平成22年度 活動報告

平成22年度
国立新美術館 活動報告

NACT REPORT
April 2010 - March 2011
The National Art Center, Tokyo

※ 本 PDF 版では、刊行された『平成 22 年度 国立新美術館活動報告』の記載内容を一部変更し、「サポート・スタッフ名簿」は掲載していません。

目次 Contents

1	平成22年度主要記事	Record of Events April 2010 – March 2011	5
2	展覧会	Exhibitions	7
2-1	平成22年度展覧会一覧	List of Exhibitions April 2010 – March 2011	8
2-2	平成21年度までの展覧会一覧	List of Past Exhibitions to March 2010	10
2-3	展覧会記録	Exhibition Details	13
3	美術団体等への展覧会会場提供	Provision of Exhibition Venues to Artist Associations	33
4	教育普及	Education and Public Programs	41
4-1	講演会等	Lectures, etc.	42
4-2	ワークショップ	Workshops	48
4-3	インターンシップ、ボランティア	Internships and Volunteering	49
4-4	その他の教育普及事業	Other Education and Public Programs	49
5	情報資料収集・提供	Collection and Provision of the Library and Information Services	51
5-1	美術関連資料の収集と公開	Collection and Provision of the Library Materials	52
5-2	JACプロジェクト	JAC Project	54
5-3	展覧会情報の収集と提供	Collection and Provision of the Information Services	54
6	広報・出版	Publicity and Publications	55
6-1	印刷物	Publications	56
6-2	ホームページ	Website	62
6-3	広報活動	Publicity Activities	62
7	調査・研究	Research	65
8	その他の事業	Other Programs and Events	69
9	記録	Records	71
9-1	入場者数	Number of Visitors	72
9-2	予算	Revenue and Expenditure	72
9-3	企業協賛	Corporate Support	72
9-4	来館者サービス	Visitor Services	72
9-5	国際交流	International Exchanges	73
9-6	展覧会出品リスト	List of Works	80
9-7	名簿	The NACT Council and Staff List	126

主な事業

平成22(2010)年

- 4月28日 『ルーシー・リー展』開催(～6月21日)
- 5月26日 『オルセー美術館展2010「ポスト印象派」』開催(～8月16日)
- 7月14日 『マン・レイ展』開催(～9月13日)
- 8月16日 国立新美術館評議員会(平成22年度第1回)開催
- 9月8日 『陰影礼讃—国立美術館コレクションによる』開催(～10月18日)
- 10月1日 『没後120年 ゴッホ展』開催(～12月20日)
- 12月11日 『未来を担う美術家たち DOMANI・明日展2010 文化庁芸術家在外研修の成果』開催(～1月23日)

平成23(2011)年

- 2月2日 『平成22年度[第14回]文化庁メディア芸術祭』開催(～2月13日)
- 2月9日 『シュルレアリスム展—パリ、ポンピドゥセンター所蔵作品による—』開催(～5月15日)
- 3月19日 『アーティスト・ファイル2011—現代の作家たち』開催(～6月6日)
※3月16日～18日は臨時休館のため開催日を19日に延期

協力等

平成22(2010)年

- 7月15日 「みなとミュージアムズ2010夏」(～8月31日)への協力(主催：港区)
- 9月1日 「みなとほほえみ月間」(～9月30日)への協力(主催：港区)
- 10月9日 「10みなと区民まつり」(～10月10日)協賛(主催：みなと区民まつり実行委員会)

トピックス

平成22(2010)年

- 4月15日 平成24年度国立新美術館展示室(公募展用)の使用に係る抽選会実施
- 5月12日 高円宮妃殿下『第32回日本新工芸展』御観覧
- 5月27日 常陸宮妃殿下『ルーシー・リー展』御観覧
- 6月13日 延べ展覧会入場者数900万人を達成
- 8月11日 皇后陛下『オルセー美術館展2010「ポスト印象派」』御観覧
- 9月3日 延べ展覧会入場者数1000万人達成セレモニーを実施
- 12月1日 高木文部科学大臣『第42回日展』御観覧
- 12月12日 延べ展覧会入場者数1100万人を達成

平成23(2011)年

- 1月24日 皇太子殿下「日・プロイセン修好通商条約調印150周年記念式典」御臨席
- 2月8日 高円宮妃殿下『シュルレアリスム展—パリ、ポンピドゥセンター所蔵作品による—』開会式御臨席

東日本大震災の影響による臨時休館、開館時間短縮の状況

地震発生当日(3月11日(金))の状況：

14時46分東北地方太平洋沖地震発生

16時30分閉館

帰宅困難者が発生したため、来館者全員が帰宅可能となった翌朝7時45分頃に完全閉館

臨時休館：3月12日(土)、14日(月)、16日(水)～18日(金)、23日(水)～25日(金)

開館時間の短縮：

3月19日(土)～21日(月・祝)、26日(土)～28日(月)、30日(水)、31日(木) 10時～16時

※参考(平成23年度)

4月1日(金)～4日(月) 10時～16時

4月6日(水)～8日(金) 10時～17時



9月3日 延べ展覧会入場者数1000万人達成セレモニー

2

展覧会

Exhibitions

2-1 平成22年度展覧会一覧

List of Exhibitions April 2010 – March 2011

2-2 平成21年度までの展覧会一覧

List of Past Exhibitions to March 2010

2-3 展覧会記録

Exhibition Details

2-1 平成22年度展覧会一覧 List of Exhibitions April 2010-March 2011

ルノワール—伝統と革新

Renoir: Tradition and Innovation

会期：平成22(2010)年1月20日(水)～4月5日(月)
日数：66日(うち22年度；5日)
入場者数：331,087人(うち22年度；35,317人)(1日平均5,016人)
入場：有料
種別：共催展



アーティスト・ファイル2010—現代の作家たち

Artist File 2010—The NACT Annual Show of Contemporary Art

会期：平成22(2010)年3月3日(水)～5月5日(水・祝)
日数：56日(うち22年度；31日)
入場者数：33,866人(うち22年度；17,766人)(1日平均605人)
入場：有料
種別：自主企画展



ルーシー・リー展

Lucie Rie: A Retrospective

会期：平成22(2010)年4月28日(水)～6月21日(月)
日数：48日
入場者数：113,584人(1日平均2,366人)
入場：有料
種別：共催展



オルセー美術館展2010「ポスト印象派」

Post-impressionism 115 chefs-d'œuvre de la collection du Musée d'Orsay

会期：平成22(2010)年5月26日(水)～8月16日(月)
日数：72日
入場者数：777,551人(1日平均10,799人)
入場：有料
種別：共催展



マン・レイ展

Man Ray: Unconcerned But Not Indifferent

会期：平成22(2010)年7月14日(水)～9月13日(月)
日数：54日
入場者数：75,124人(1日平均1,391人)
入場：有料
種別：共催展



陰影礼讃—国立美術館コレクションによる
SHADOWS: Works from the National Museums of Art

会期：平成22(2010)年9月8日(水)～10月18日(月)
日数：36日
入場者数：29,143人(1日平均809人)
入場：有料
種別：自主企画展



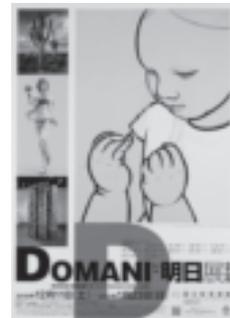
没後120年 ゴッホ展
Van Gogh: The adventure of becoming an artist

会期：平成22(2010)年10月1日(金)～12月20日(月)
日数：70日
入場者数：595,346人(1日平均8,505人)
入場：有料
種別：共催展



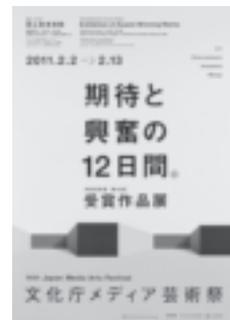
未来を担う美術家たち DOMANI・明日展2010 文化庁芸術家在外研修の成果
“DOMANI: The Art of Tomorrow 2010” Exhibition,
The Achievements of the Japanese Government Overseas Study Program for Artists
provided by the Agency for Cultural Affairs

会期：平成22(2010)年12月11日(土)～平成23(2011)年1月23日(日)
日数：26日
入場者数：15,881人(1日平均611人)
入場：有料
種別：共催展



平成22年度[第14回]文化庁メディア芸術祭
2010 [14th] Japan Media Arts Festival

会期：平成23(2011)年2月2日(水)～2月13日(日)
日数：11日
入場者数：63,490人(1日平均5,772人)
入場：無料
種別：共催展



シュルレアリスム展—パリ、ポンピドゥセンター所蔵作品による—
Le Surréalisme : Exposition organisée par le Centre Pompidou à partir de sa collection

会期：平成23(2011)年2月9日(水)～5月15日(日)(会期変更、当初は5月9日(月)まで)
日数：77日(うち22年度;36日)
※東日本大震災の影響により3月12日(土)、14日(月)、16日(水)～18日(金)、23日(水)～25日(金)は臨時休館。5月6日(金)、10日(火)は開館。
入場者数：82,316人(1日平均2,287人)
入場：有料
種別：共催展



アーティスト・ファイル2011—現代の作家たち
Artist File 2011—The NACT Annual Show of Contemporary Art

会期：平成23(2011)年3月19日(土)～6月6日(月)(会期変更、当初は3月16日(水)から)
日数：68日(うち22年度;8日)
※東日本大震災の影響により3月16日(水)～18日(金)、23日(水)～25日(金)は臨時休館。5月6日(金)、10日(火)は開館。
入場者数：1,632人(1日平均204人)
入場：有料
種別：自主企画展



2-2 平成21年度までの展覧会一覧 List of Past Exhibitions to March 2010

国立新美術館開館記念展 20世紀美術探検—アーティストたちの三つの冒険物語—
Living in the Material World—‘Things’ in Art of the 20th Century and Beyond

会期：平成19(2007)年1月21日(日)～3月19日(月)

黒川紀章展—機械の時代から生命の時代へ
KISHO KUROKAWA: From the Age of the Machine to the Age of Life

会期：平成19(2007)年1月21日(日)～3月19日(月)

文化庁メディア芸術祭10周年企画展 日本の表現力
The Power of Expression, JAPAN

会期：平成19(2007)年1月21日(日)～2月4日(日)

エトランジェ
異邦人たちのパリ1900-2005 ポンピドー・センター所蔵作品展
Paris du monde entier : Artistes étrangers à Paris 1900-2005. Exposition organisée par le Centre Pompidou

会期：平成19(2007)年2月7日(水)～5月7日(月)

大回顧展 モネ 印象派の巨匠、その遺産
Claude Monet : L'art de Monet et sa postérité

会期：平成19(2007)年4月7日(土)～7月2日(月)

スキン+ボーンズ—1980年代以降の建築とファッション
Skin + Bones: Parallel Practices in Fashion and Architecture

会期：平成19(2007)年6月6日(水)～8月13日(月)

日展100年
The 100th Anniversary of NITTEN

会期：平成19(2007)年7月25日(水)～9月3日(月)

パーソナル フォト アーカイブス
安齊重男の“私・写・録”1970-2006
ANZAI: Personal Photo Archives 1970-2006

会期：平成19(2007)年9月5日(水)～10月22日(月)

アムステルダム国立美術館所蔵 フェルメール「牛乳を注ぐ女」とオランダ風俗画展
Milkmaid by Vermeer and Dutch Genre Painting—Masterworks from the Rijksmuseum Amsterdam

会期：平成19(2007)年9月26日(水)～12月17日(月)

文化庁芸術家在外研修制度40周年記念 『旅』展—異文化との出会い、そして対話—
The 40th Anniversary of the Japanese Government Overseas Study Program for Artists provided by the Agency for Cultural Affairs: Journey—Encounters and Dialogues with Foreign Cultures

会期：平成19(2007)年12月15日(土)～平成20(2008)年1月28日(月)

没後50年 横山大観—新たなる伝説へ
YOKOYAMA TAIKAN Fifty Years On—A legend in the making

会期：平成20(2008)年1月23日(水)～3月3日(月)

平成19年度[第11回]文化庁メディア芸術祭
2007 [11th] Japan Media Arts Festival

会期：平成20(2008)年2月6日(水)～2月17日(日)

アーティスト・ファイル2008—現代の作家たち
Artist File 2008—The NACT Annual Show of Contemporary Art

会期：平成20(2008)年3月5日(水)～5月6日(火・祝)

モディリアーニ展
Modigliani et le Primitivisme

会期：平成20(2008)年3月26日(水)～6月9日(月)

エミリー・ウングワレー展—アボリジニが生んだ天才画家

Utopia: the Genius of Emily Kame Kngwarreye

会期：平成20(2008)年5月28日(水)～7月28日(月)

ウィーン美術史美術館所蔵 静物画の秘密

European Still-Life Painting from the Kunsthistorisches Museum Wien

会期：平成20(2008)年7月2日(水)～9月15日(月・祝)

アヴァンギャルド・チャイナ—〈中国当代美術〉二十年—

AVANT-GARDE CHINA: Twenty Years of Chinese Contemporary Art

会期：平成20(2008)年8月20日(水)～10月20日(月)

巨匠ピカソ 愛と創造の軌跡

Picasso : Sa vie et sa création

会期：平成20(2008)年10月4日(土)～12月14日(日)

未来を担う美術家たち DOMANI・明日展2008 文化庁芸術家在外研修の成果

“DOMANI: The Art of Tomorrow 2008” Exhibition, The Achievements of the Japanese Government Overseas Study Program for Artists provided by the Agency for Cultural Affairs

会期：平成20(2008)年12月13日(土)～平成21(2009)年1月26日(月)

加山又造展

KAYAMA Matazo Retrospective

会期：平成21(2009)年1月21日(水)～3月2日(月)

平成20年度[第12回]文化庁メディア芸術祭

2008 [12th] Japan Media Arts Festival

会期：平成21(2009)年2月4日(水)～2月15日(日)

アーティスト・ファイル2009—現代の作家たち

Artist File 2009—The NACT Annual Show of Contemporary Art

会期：平成21(2009)年3月4日(水)～5月6日(水・祝)

ルーヴル美術館展 美の宮殿の子どもたち

L'enfant dans les collections du musée du Louvre

会期：平成21(2009)年3月25日(水)～6月1日(月)

野村仁 変化する相—時・場・身体

NOMURA HITOSHI: PERCEPTIONS—CHANGES IN TIME AND FIELD

会期：平成21(2009)年5月27日(水)～7月27日(月)

ルネ・ラリック 華やぎのジュエリーから煌きのガラスへ

René Lalique: A Retrospective

会期：平成21(2009)年6月24日(水)～9月7日(月)

光 松本陽子／野口里佳

The Light: MATSUMOTO Yoko / NOGUCHI Rika

会期：平成21(2009)年8月19日(水)～10月19日(月)

THE ハプスブルク

Treasures of Habsburg Monarchy 140th Jubilee of the Friendship Treaty between Austria – Hungary and Japan

会期：平成21(2009)年9月25日(金)～12月14日(月)

未来を担う美術家たち DOMANI・明日展2009 文化庁芸術家在外研修の成果

“DOMANI: The Art of Tomorrow 2009” Exhibition, The Achievements of the Japanese Government Overseas Study Program for Artists provided by the Agency for Cultural Affairs

会期：平成21(2009)年12月12日(土)～平成22(2010)年1月24日(日)

平成21年度[第13回]文化庁メディア芸術祭

2009 [13th] Japan Media Arts Festival

会期：平成22(2010)年2月3日(水)～2月14日(日)

2-3 展覧会記録 Exhibition Details

ルノワール—伝統と革新

Renoir: Tradition and Innovation

会期：平成22(2010)年1月20日(水)～4月5日(月)
日数：66日(うち22年度：5日)
会場：国立新美術館 企画展示室1E
入場者数：331,087人(うち22年度：35,317人)(1日平均5,016人)
入場：有料
主催：国立新美術館、読売新聞社、日本テレビ放送網
後援：外務省
協賛：清水建設、アフラック、大阪芸術大学、きんでん、大和ハウス工業、丸一銅管、損保ジャパン、日本写真印刷
特別協力：財団法人ポーラ美術振興財団ポーラ美術館
協力：東京文化財研究所、日本航空、マミヤ・デジタル・イメージング
監修：荒屋鋪透(財団法人ポーラ美術振興財団ポーラ美術館学芸部長(現・館長))
巡回展：国立国際美術館
平成22(2010)年4月17日(土)～6月27日(日)

※本展の平成21年度開催記録および出品リストは、『平成21年度 国立新美術館活動報告』に記載した。

アーティスト・ファイル2010—現代の作家たち

Artist File 2010—The NACT Annual Show of Contemporary Art

会期：平成22(2010)年3月3日(水)～5月5日(水・祝)
日数：56日(うち22年度：31日)
会場：国立新美術館 企画展示室2E
入場者数：33,866人(うち22年度：17,766人)(一日平均605人)
入場：有料
主催：国立新美術館

講演会等：

●アーティスト・トーク
日時：4月3日(土)14時～15時
講演：福田尚代(出品作家)
会場：国立新美術館 研修室A, B
参加者数：60人

●アーティスト・トーク
日時：4月10日(土)14時～15時
講演：石田尚志(出品作家)
会場：国立新美術館 研修室A, B
参加者数：68人

※本展の平成21年度開催記録および出品リストは、『平成21年度 国立新美術館活動報告』に記載した。



4月3日 アーティスト・トーク

ルーシー・リー展
Lucie Rie: A Retrospective

本展は、20世紀を代表するイギリスの陶芸家ルーシー・リー(1902-1995)の創作の軌跡を、国内外から集められた優れた作品約250点と関連資料でたどる、没後初の大規模な回顧展として開催された。

展覧会は年代順に全3章(I. 初期—ウィーン時代、II. 形成期—ロンドン、III. 円熟期)で構成した。作品の半数以上を海外から借用し、とりわけ初期の作例など、これまで日本で紹介されることの少なかった作品を展示できたこと、またルーシー・リーのアーカイヴを持つイギリスの2つの研究機関(クラフツ・スタディー・センター、セインズベリー視覚芸術センター)の協力を得て、日本初公開となる直筆の釉薬ノートや注文台帳、書簡、写真などの関連資料を紹介できたことは意義深い。また本展では、バーナード・リーチやハンス・コパーら、リーに少なからず影響を及ぼした作家との関わりや、戦時中に携わったボタン製作、量産への意欲を見せたウェッジウッド社との仕事など、リーの制作に連なる周辺環境も併せて検証し、その創作の軌跡を総合的に展観した。

本展は、東京国立近代美術館工芸課が企画を担当し、国立新美術館が協力して展覧会を実現するという、独立行政法人国立美術館としても新たな試みであった。

As the first full-scale posthumous retrospective, this exhibition traced the creative path of Lucie Rie (1902-95), one of the twentieth century's greatest studio potters, presenting a superb collection of approximately 250 pieces from Japan and abroad together with related materials.

The exhibition was organized into three chronological periods: I. The Early Period—Vienna; II. The Formative Period—London; and III. Maturity. More than half the pieces in the exhibition were loaned from overseas. In particular, we were able to show works from the artist's early period and other works that were previously little known in Japan. With the cooperation of two British research institutions with extensive archives of Rie's work, in particular, the Crafts Study Centre at the University for the Creative Arts and the Sainsbury Centre for the Visual Arts at the University of East Anglia, we were able to introduce a selection of materials relating to the life of the artist, including hand-written glaze recipes, order books, correspondence, and photographs. This was the first time these materials had ever been shown in Japan. The exhibition also examined Rie's working environment, tracing her artistic development through her influential relationships with fellow artists like Bernard Leach and Hans Coper, her wartime button making, and her work for Wedgwood & Corporation Limited, which was interested in the possibilities of mass production.

This exhibition marked a new kind of joint undertaking for the Independent Administrative Institution National Museum of Art. The Crafts Gallery, National Museum of Modern Art, Tokyo was responsible for the planning, with the National Art Center, Tokyo cooperating in holding the exhibition.

会期：平成22(2010)年4月28日(水)～6月21日(月)

日数：48日

会場：国立新美術館 企画展示室1E

入場者数：113,584人(1日平均2,366人)

入場：有料

主催：国立新美術館、東京国立近代美術館、日本経済新聞社

後援：ブリティッシュ・カウンシル

協力：日本航空

助成：大和日英基金

巡回展：益子陶芸美術館

平成22(2010)年8月7日(土)～9月26日(日)

MOA美術館

平成22(2010)年10月9日(土)～12月1日(水)

大阪市立東洋陶磁美術館

平成22(2010)年12月11日(土)～平成23年(2011)2月13日(日)

パラミタミュージアム

平成23(2011)年2月26日(土)～4月17日(日)

山口県立萩美術館・浦上記念館

平成23(2011)年4月29日(金・祝)～6月26日(日)



講演会等：

●記念講演会「ルーシー・リーの人と作品」

日時：4月29日(木・祝)14時～16時

鼎談：西マーヤ(現代陶芸研究者)、金子賢治(前東京国立近代美術館工芸課長、茨城県陶芸美術館長)、北村仁美(東京国立近代美術館工芸課主任研究員)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：170人

●記念講演会「工芸とモダンデザイン：ルーシー・リーの時代」

日時：5月16日(日)14時～15時30分

講演：金子賢治(前東京国立近代美術館工芸課長、茨城県陶芸美術館長)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：150人

●記念講演会「ルーシー・リーの制作技法について」

日時：5月30日(日)14時～15時30分

講演：小山耕一(陶芸家)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：294人

カタログ：『ルーシー・リー展』、B5変型、336ページ、図版カラー243点・白黒59点、20,000部(国立新美術館のみ)

出品目録：仕上りA4判、8ページ、経本折、80,000部

ポスター：B1判、200部

B2判、8,000部

B3判(2種)、各1,100部

チラシ：A4判(3種)、130,000部(割引なし)、260,000部(割引付き)、
先行配布；A4判、150,000部

関連記事：

THE DAILY YOMIURI／平成22(2010)年5月7日／Kumi Matsumaru

朝日新聞(夕刊)／5月12日／西田健作

毎日新聞(夕刊)／6月2日／岸佳子

芸術新潮／6月号

いきいき／6月号

いけ花龍生／6月号

他 多数

※出品リスト：pp.80-85



5月30日 講演会

オルセー美術館展2010「ポスト印象派」

Post-impressionisme 115 chefs-d'œuvre de la collection du Musée d'Orsay

本展は、オルセー美術館の珠玉のコレクションより、ポスト印象派の時代の傑作の数々を紹介する展覧会である。1870年代半ばに世に出た印象派は、光の影響を受けて表情を変える身近な光景を明るく自由な筆致で描き、一躍注目を集めた。そして1880年代後半には、早くも印象派とは一線を画す新しい傾向が登場する。新たな個性を開花させ、次代に大きな影響を与えたスーラ、セザンヌ、ゴッホ、ゴーギャンらは20世紀に入って「ポスト印象派」と命名された。しかし、彼らをはじめとするポスト印象派の時代の画家たちが、印象派の視覚的革新を大きな原動力にしたことは紛れもない事実であり、また一方で彼らは人間の内に目を向けた象徴主義、新しいメディアとしての写真、日本の浮世絵など当時の多様な潮流と絡みつつ、豊かな個性と表現力を発揮した。本展覧会は、ポスト印象派を従来の一面的な理解から解放し、多角的に検証し直そうという試みである。印象派を起点にし、いわゆるポスト印象派の画家たちだけでなく、象徴主義やナビ派など、同時代の動向を幅広く紹介する本展覧会によって、19世紀末から20世紀初めにかけての絵画史に、新たな視座を提供することができた。

This exhibition introduces an extensive selection of post-impressionist period masterpieces from the outstanding collection of the Musée d'Orsay. Marked by its use of luminous, liberated brushwork to depict the shifting effects of sunlight on familiar, everyday scenes, the impressionist movement rose to prominence in the mid-1870s. As soon as the late 1880s, a new movement branched off from impressionism. Dubbed "post-impressionism" by the early years of the twentieth century, the strongly individualistic work of artists like Seurat, Cézanne, Van Gogh, and Gauguin had an enormous influence on the generations that followed. Although the visual innovations of the impressionists were without doubt a major source of inspiration for these artists, their work was also characterized by a rich new sense of individualism and expressive power that brought together many of the diverse cultural currents of the time, from the inner psychological explorations of symbolism to the new medium of photography and Japanese woodblock prints. This exhibition represented an attempt to move away from the conventional, one-sided view of the post-impressionists that has dominated discussions of their work in the past and to shed new light on these artists and their work from a wide range of perspectives. Taking impressionism as its point of departure, the exhibition introduced the work not just of the post-impressionists themselves but of related artists in the symbolist and "Les Nabis" movements. Examining the wider artistic currents of the time, the exhibition succeeded in providing a new perspective from which to view the history of fin-de-siècle art.

会期：平成22(2010)年5月26日(水)～8月16日(月)

日数：72日

会場：国立新美術館 企画展示室 2E

入場者数：777,551人(1日平均10,799人)

入場：有料

主催：国立新美術館、オルセー美術館、日本経済新聞社

後援：フランス大使館

協賛：アサヒビール、NEC、花王、キャノン、KDDI、損保ジャパン、
ダイキン工業、大日本印刷、大和証券グループ、大和ハウス工業、
三井物産、三菱商事

協力：キャセイパシフィック航空

総監修：ギ・コジュヴァル(オルセー美術館長)

監修：シルヴィ・パトリ(オルセー美術館学芸員)

ステファン・ゲガン(オルセー美術館国際展部門長)

講演会等：

●記念講演会「1910年『マネとポスト印象派』展」

日時：5月27日(木)14時～15時30分

講演：ステファン・ゲガン(オルセー美術館国際展部門長)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：240人

●記念講演会「ポスト印象派の新たな歴史—ナビ派再発見」

日時：5月29日(土)14時～15時30分

講演：シルヴィ・パトリ(オルセー美術館学芸員)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：170人

●解説会

日時：6月5日(土)14時～15時

解説：長屋光枝(学芸課主任研究員)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：230人

●トークセッション

日時：6月19日(土)14時～15時

出演：陽月華(本展ナビゲーター)、新畑泰秀(ブリヂストン美術館学芸員)

司会：滝井礼乃(テレビ東京アナウンサー)

会場：国立新美術館 講堂

参加人数：244人

●解説会

日時：7月3日(土)14時～15時

解説：長屋光枝(学芸課主任研究員)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：200人

●シンポジウム

「ポスト印象派とその時代—1880～90年代のフランス絵画—」

主催：国立新美術館、日仏美術学会、日本経済新聞社

日時：7月24日(土)10時30分～16時45分

・基調講演「混沌の時代の絵画を横断する—アカデミズムと自然主義を中心—」

三浦篤(東京大学教授)

・研究発表「『感覚』の位置—マネとセザンヌ—」

六人部昭典(実践女子大学教授)

・研究発表「装飾と写実のはざま—スーラと新印象主義の画家たち—」

坂上桂子(早稲田大学教授)

・研究発表「『自然』と『反自然』—ゴッホとゴーギャン—」

廣田治子(美術史家、多摩美術大学ほか講師)

・研究発表「『暗示』の手法—ルドンとその周辺—」

喜多崎親(一橋大学大学院教授)

・研究発表「総合芸術への志向と20世紀美術—ナビ派からカンディンスキーへ—」

長屋光枝(学芸課主任研究員)

・全体討議「19世紀末の芸術が志向するもの—現実か夢か、科学か宗教か—」

パネリスト：六人部昭典、坂上桂子、廣田治子、喜多崎親、長屋光枝

司会：三浦篤

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：250人

●記念講演会「オルセー美術館のコレクションの歴史と『ポスト印象派』」

日時：7月25日(日)14時～15時30分

講演：ギ・コジュヴァル(オルセー美術館長)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：210人

関連事業：

●ギター・コンサート「ポスト印象派の美術と音楽をテーマに」

日時：5月28日(金)18時30分～19時10分

出演：鈴木大介(ギタリスト)

会場：国立新美術館 1階ロビー

参加者数：128人

●映画上映会『炎の人ゴッホ』

日時：6月13日(日)14時～15時30分

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：290人

●ギター・コンサート「ポスト印象派の美術と音楽をテーマに」

日時：6月18日(金)18時30分～19時10分

出演：鈴木大介(ギタリスト)

会場：国立新美術館 1階ロビー

参加人数：136人

●映画上映会『夏時間の庭』

日時：7月4日(日)14時～16時

会場：国立新美術館 講堂

参加人数：260人

●ギター・コンサート「ポスト印象派の美術と音楽をテーマに」

日時：8月6日(金)18時30分～19時10分

出演：鈴木大介(ギタリスト)

会場：国立新美術館 講堂

参加人数：260人

カタログ：『オルセー美術館展2010「ポスト印象派」』

A4変型、244ページ、図版カラー115点・白黒24点、
発行部数：69,500部

出品目録：仕上りA4判、二つ折、4ページ、700,000部

ポスター：B0判(6種)、各100部

B1判(4種)、各200部

B2判(4種)、各3,500部

B3判(4種)、各12,000部

チラシ：仕上りA4判、巻三つ折、330,000部(割引なし)、
420,000部(割引付き)

先行配布：A4判、100,000部

関連記事：

日本経済新聞(第2部)／平成22(2010)年5月20日／窪田直子

毎日新聞(夕刊)／6月9日／高階秀爾

日曜美術館(NHK)／6月13日

公明新聞／6月16日／藤田一人

The Nikkei Weekly／6月21日

朝日新聞(夕刊)／7月7日／小川雪

ぶらぶら美術博物館(BS日テレ)／7月13日

産経新聞／7月14日／辻仁成、黒沢綾子

日本経済新聞／7月17日／横尾忠則、諸田玲子(対談)

読売新聞／8月12日／市原尚士

他 多数

※出品リスト pp.86-88



7月24日 シンポジウム



7月25日 講演会

マン・レイ展

Man Ray: Unconcerned But Not Indifferent

ダダ、およびシュルレアリスムを代表する芸術家マン・レイ(1890-1976)は、主としてレイヨグラフ(フォトグラム)やソラリゼーションなどの実験的な手法を駆使した写真家として知られている。しかしながらその活躍は、写真以外にも絵画、彫刻、オブジェ、版画、映画など多岐にわたっており、常に実験的精神とユーモアに彩られ、新しい表現への道を切り開くものであった。本展は、マン・レイの没後、パリのアトリエに残されていた作品を基に遺族によって設立されたマン・レイ財団の豊富なコレクションの中から選ばれた、さまざまな素材と技法による作品や習作の数々に、身の回りの品々などを加えた約400点により、マン・レイの生涯をニューヨーク時代(1890-1921)、パリ時代(1921-1940)、ロサンゼルス時代(1940-1951)、パリ時代(1951-1976)の4つの時期に分けて構成した。ヨーロッパ7会場での巡回の後、映画・ビデオ上映および多数の未発表作品が加えられている。一つのモチーフをさまざまなヴァリエーションとして展開させたり、写真からイメージを抽出して作品化したり、といったマン・レイの自由な発想と創作のプロセスを知ることができる極めて貴重な機会となった。

Man Ray (1890-1976) was one of the leading figures of the Dada and Surrealist movements, best known for his inventions of such photographic techniques as “rayograph” (photogram) and solarization. Besides photography, however, his artistic work covered a wide range of diverse genres, including painting, sculpture, objects, prints, and films. Man Ray searched throughout his life for new modes of expression, his work marked by a spirit of experimentation and humor. This exhibition featured approximately 400 items from the extensive collection of the Man Ray Trust, founded by the artist’s family and consisting of items found in the artist’s studio in Paris after his death. The exhibition traced Man Ray’s life across four periods: New York (1890-1921), Paris (1921-40), Los Angeles (1940-51), and Paris (1951-76), incorporating personal belongings as well sketches and drawings, in addition to artworks employing a variety of materials and techniques. Following a tour of seven venues in Europe, film and video screenings and large numbers of previously unshown works were added to the exhibit. Demonstrating Man Ray’s practices working through several variations on a single motif, or extracting an image from a photograph and turning it into a work in its own right, this exhibition provided a valuable opportunity for visitors to become better acquainted with Man Ray’s untrammelled ideas and creative process.

会期：平成22(2010)年7月14日(水)～9月13日(月)

日数：54日

会場：国立新美術館 企画展示室1E

入場者数：75,124人(1日平均1,391人)

入場：有料

主催：国立新美術館、日本経済新聞社

協賛：株式会社ニコン、株式会社ニコンイメージングジャパン

協力：日本航空

巡回展：国立国際美術館

平成22(2010)年9月28日(火)～11月14日(日)



講演会等：

●記念対談「マン・レイの魅力」

日時：7月17日(土)14時～15時30分

講演：横尾忠則(美術家)、南雄介(学芸課長)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：245人

●マン・レイ誕生祭イベント「展覧会レクチャー」

日時：8月27日(金)18時20分～18時50分

講演：南雄介(学芸課長)

会場：国立新美術館 1階ロビー

参加者数：93人



関連事業：

●記念ワークショップ「マン・レイのオモシロ写真、レイヨグラフを作ろう！」

日時：8月4日(水)、5日(木)、6日(金)14時～15時30分

講師：佐藤時啓(東京藝術大学教授)

企画協力：ニコン

会場：国立新美術館 研修室他

対象：小学生(親子)

参加者数：4日(水)15組30人、5日(木)11組23人、6日(金)5組11人

カタログ：『マン・レイ展』

B5変型、368ページ、図版カラー415点、

発行部数：10,000部(巡回会場分も含む)

出品目録：仕上りA4判、経本折、8ページ、50,000部、英語版：5,000部

ポスター：B1判、300部

B3判、9,000部

チラシ：A4判、385,000部

関連記事：

美の巨人たち(テレビ東京)／平成22(2010)年7月17日

サライ／7月号／菅谷淳夫

日本経済新聞／8月19日／平野啓一郎

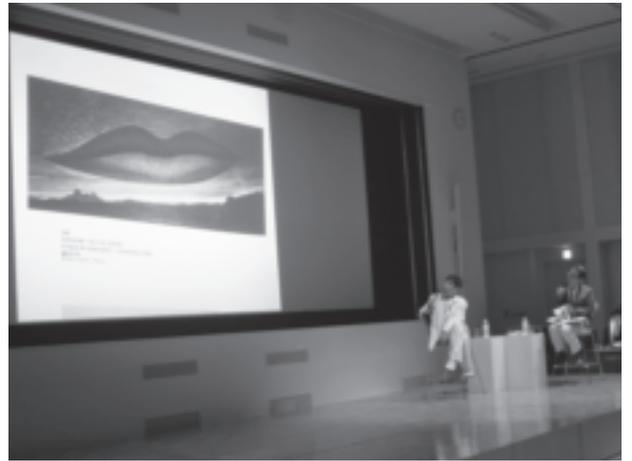
クロワッサンPremium／9月号／森村泰昌

芸術新潮／9月号

アサヒカメラ／10月号／藤村里美

他 多数

※出品リスト：pp.89-97



7月17日 講演会



8月6日 ワークショップ

陰影礼讃—国立美術館コレクションによる SHADOWS: Works from the National Museums of Art

本展覧会は、独立行政法人国立美術館の設立10周年を記念する事業として、その傘下にある5つの国立美術館(東京国立近代美術館、京都国立近代美術館、国立西洋美術館、国立国際美術館、国立新美術館)の共同企画により開催された。

国立美術館のコレクションは、西洋近世美術から内外の現代美術までと、時代的にも地域的にも極めて広い領域を対象としている。本展は、できる限り幅広くコレクションを紹介することを目的として、視覚芸術における「影」という普遍性の強いテーマを設定し、それに基づいて絵画・版画・写真・映像を中心に100作家170点の作品を厳選した。4章の構成をとり、前半の1章、2章で16世紀から20世紀前半までの伝統的な絵画・版画、3章で写真作品、4章で20世紀以降から現代までの多様なメディアによる表現を紹介した。

「影」は古くから、視覚芸術において極めて重要な要素であり続けてきたが、そこに与えられる意味付けや役割が、時代・地域・文化によってさまざまに異なるために、通史的に跡付けることが難しい題材といえる。それゆえか、光と影というテーマ設定はあっても、「影」のみに焦点を絞った展覧会は、国内では前例がなかった。本展覧会は、この分野での最初のケーススタディーとしての役割を果たすことができたと考える。

また、テーマ展として企画したことによって、知名度の高い作品だけでなく、ほとんど常設展示されてこなかった、いわば「隠れた名品」に至るまで幅広く出品リストに含めることができ、国立美術館のコレクションの魅力を実効果的にアピールすることにもつながった。

This exhibition, held to commemorate the tenth anniversary of the Independent Administrative Institution National Museum of Art, was planned and run jointly by the five national museums that make up this institution (The National Museum of Modern Art, Tokyo; The National Museum of Modern Art, Kyoto; The National Museum of Western Art; The National Museum of Art, Osaka; and The National Art Center, Tokyo).

The National Museum of Art collection covers a wide range both chronologically and geographically, ranging from pre-modern Western art to Japanese and contemporary art. One aim of the exhibition was to introduce visitors to as wide a selection from the collections as possible. 170 works by 100 artists were selected from the National Museum of Art collection of over 33,300 items to illustrate the theme of “Shadows” in the visual arts, centered on paintings, prints, photographs, and video works. The exhibition was arranged into four sections. Parts 1 and 2 made up the first half of the exhibit, introducing paintings and prints from the sixteenth century to the first half of the twentieth century. Part 3 featured photographs, and Part 4 introduced works in diverse media from the twentieth century to the present day.

Shadows have been an extremely important element in the visual arts since ancient times, but their significance and the roles they have played in art have varied according to area, and culture, making it difficult to examine the development of the shadow in a historical overview. Perhaps because of this, despite numerous exhibitions dealing with the theme of “light and shadow,” an exhibition focused exclusively on the theme of shadows in art had never been held before in Japan. This exhibition played an important role as a primary case study in this respect.

A themed exhibition of this kind made it possible to introduce particularly diverse works, including several “hidden works” that had rarely been put on display before in addition to masterpieces. The exhibition was an effective way for us to showcase the attractions of the National Museum of Art collection.

会期：平成22(2010)年9月8日(水)～10月18日(月)

日数：36日

会場：国立新美術館 企画展示室2E

入場者数：29,143人(1日平均809人)

入場：有料

主催：独立行政法人国立美術館

講演会等：

●講演会「影から読み解く近代日本美術」

日時：9月12日(日)14時～15時30分

講演：大谷省吾(東京国立近代美術館主任研究員)

会場：国立新美術館 研修室A, B

参加者数：42人

●講演会「陰影礼讃展について」

日時：9月19日(日)14時～15時30分

講演：中西博之(国立国際美術館主任研究員)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：72人

関連事業：

●アーティスト・ワークショップ

「カメラでとらえよう 風のそよぎ 光のゆらぎ」

日時：10月2日(土)13時～17時

講師：秋岡美帆(出品作家)

会場：国立新美術館 別館3階多目的ルーム他

参加人数：20人



カタログ：『陰影礼讃—国立美術館コレクションによる』
A4変型、196ページ、図版カラー199点・白黒51点、4,700部

出品目録：仕上りA4判、二つ折、21,000部

ポスター：B1判、750部
B3判、3,500部
B3変型(インターサイズ)、1,350部

チラシ：仕上りA4判、二つ折、100,000部

関連記事：

J-WAVE TOKYO MORNING RADIO／平成22(2010)年9月9日／宮島
綾子(学芸課主任研究員)

朝日新聞(夕刊)／9月22日／西田健作

日本経済新聞／9月29日／宝玉正彦

新日曜美術館アートシーン(NHK教育)／10月3日

朝日新聞／10月17日

美術手帖／12月号

他 多数

※出品リスト：pp.98-102



9月19日 講演会



10月2日 アーティスト・ワークショップ

没後120年 ゴッホ展

Van Gogh: The adventure of becoming an artist

2010年は、フィンセント・ファン・ゴッホ(1853-1890)が没して120年目にあたる。この間、日本でも数多くの文献や展覧会を通じて、ゴッホの作品が幾度となく紹介されてきた。「炎の人」と称されるその劇的な生涯とともに、画家の熱い思いを伝えるうねるような激しい筆遣いと鮮やかな色彩による独特の絵画スタイルは、多くの日本人の心を捉えてきたが、ゴッホがいかにしてそれを創り上げるに至ったかについては、これまで十分に紹介されてきていなかった。本展では、彼が生涯を通じて作品の様式や技法について熱心に探求を繰り返した過程に焦点を当て、自らの様式と技法を発展させる上で参考にした考え方や手段を示した。

本展では、オランダのファン・ゴッホ美術館とクレラー＝ミュラー美術館のコレクションから選び抜いた日本初公開を含むゴッホの油彩画36点、素描28点、版画4点と、オランダ時代のゴッホに絵画技法の基礎を手ほどきしたハーグ派のモーヴや、芸術の都パリ時代に出会ったモネ、ロートレック、スーラなどの油彩画31点を一堂に展示した。

また、ゴッホのアール時代の寝室を会場内に再現し、出品作《アールの寝室》と見比べながら、ゴッホが空間をどのようにとらえ絵画で表現したかを探る画期的な試みや、科学的な視点によるゴッホの技法の分析の成果も交えて、多方面からゴッホ芸術の秘密に迫った。

The year 2010 marked 120 years since the death of Vincent van Gogh (1853-90). In the years since, Van Gogh's works have been featured in countless publications and exhibitions throughout Japan. The dramatic life of the "The Ardent Soul," the swooping brushwork so expressive of the passion and intensity of his ideas, and his vivid colors and unique style—all of these have captured the hearts of countless people around Japan. Until now, however, the story of how Van Gogh arrived in a position to create these works had never been satisfactorily shown. The exhibition charted Van Gogh's passionate search for form and technique, introducing the thinking and the artistic approaches that served as points of reference as he developed his unique style and technique.

The exhibition brought together 36 oil paintings, 28 drawings, and 4 prints selected from the collections of the Van Gogh Museum and the Kröller-Müller Museum in the Netherlands, including some being shown for the first time in Japan. The exhibition also featured 31 oil paintings by such artists as Anton Mauve of the Hague School, a formative early influence on the development of Van Gogh's basic style during his years in the Netherlands, as well as the influential artists in Paris, such as Monet, Lautrec, and Seurat.

Innovations incorporated into the exhibition included a replica of Van Gogh's bedroom in Arles. This allowed visitors to compare the replica with the famous scene depicted in the painting *The Bedroom* and to see how the artist chose to render the space in his painting. Also incorporating the results of a scientific analysis of Van Gogh's technique, the exhibition explored the secrets behind the artist's work from several different perspectives.

会期：平成22(2010)年10月1日(金)～12月20日(月)

日数：70日

会場：国立新美術館 企画展示室2E

入場者数：595,346人(1日平均8,505人)

入場：有料

主催：国立新美術館、東京新聞、TBS

企画協力：ファン・ゴッホ美術館、クレラー＝ミュラー美術館

後援：オランダ王国大使館

特別協賛：第一生命保険、損保ジャパン

特別協力：日本写真印刷

協力：BS-TBS、TBSラジオ、J-WAVE、日本通運、セコム、エール

フランス航空、KLMオランダ航空

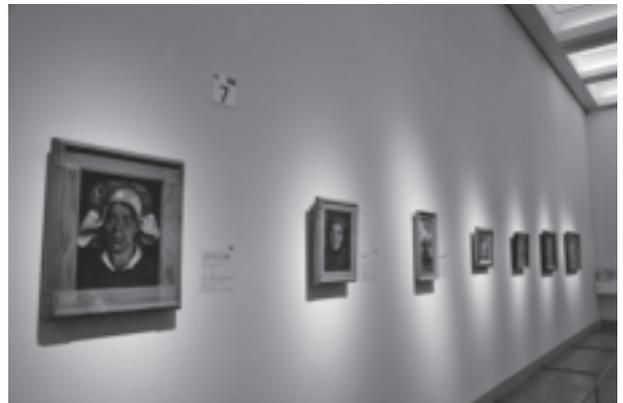
監修：シラール・ファン・ヒューフテン(美術史家)

巡回展：九州国立博物館

平成23(2011)年1月1日(土・祝)～2月13日(日)

名古屋市美術館

平成23(2011)年2月22日(火)～4月10日(日)



講演会等：

●記念講演会「The Adventure of Becoming an Artist

こうして私はゴッホになった」

日時：10月3日(日)14時～15時30分

講演：シラール・ファン・ヒューフテン(美術史家、本展監修者)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：200人



関連事業：

●記念上映会「There Is No Blue Without Yellow And Orange
ゴッホの足跡をたどるヨーロッパの旅と日本の印象」
日時：10月23日(土)14時～15時30分
挨拶：フィンセント・ファン・デ・ワインガールト(映画監督)、
ウィレム・ファン・ゴッホ(ファン・ゴッホ美術館経営顧問)
会場：国立新美術館 講堂
参加者数：250人

カタログ：『没後120年 ゴッホ展 Van Gogh: The adventure of
becoming an artist』(並装版、和文)
A4変型、248ページ、図版カラー123点・白黒74点、60,000部

カタログ：『没後120年 ゴッホ展 Van Gogh: The adventure of
becoming an artist』(上製本、英和)
A4変型、272ページ、図版カラー123点・白黒74点、15,000部

出品目録：仕上りA4判、二つ折、4ページ、200,000部(初版)、
250,000部(再版)、英語版；3,000部

ポスター：B0判(6種)、332部
B1判、300部
B2判、5,044部
B3判(7種)、64,400部

チラシ：仕上りA4判、二つ折、400,000部
A4判、500,000部
先行配布；A4判、250,000部

関連記事：

美術の窓／平成22(2010)年8月20日／平井章一(学芸課主任研究員)
東京新聞／9月15日／三沢典文
芸術新潮／10月号
RENDEZS-VOUS(J-WAVE)／9月29日以降OA／平井章一
東京新聞／9月30日／平井章一
東京ユナイテッド(J-WAVE)／10月1日／平井章一
「没後120年 ゴッホ展」のすべてを楽しむガイドブック(ぴあMOOK)／
10月10日
THE BREEZE(FM YOKOHAMA)／10月11日／平井章一
家庭画報／10月15日
炎の天才画家ゴッホ～120年目の真実(TBS)／10月17日
読売新聞／10月21日／前田恭二
東京新聞／11月5日／園府寺司
日曜美術館(NHK教育)／11月28日、2月20日
他 多数

※出品リスト：pp.103-105



10月3日 講演会



10月23日 上映会

未来を担う美術家たち DOMANI・明日展2010 文化庁芸術家在外研修の成果

“DOMANI: The Art of Tomorrow 2010” Exhibition, The Achievements of the Japanese Government Overseas Study Program for Artists provided by the Agency for Cultural Affairs

文化庁は、将来の我が国芸術界を支える芸術家を支援するため、若手芸術家を海外に派遣し、その専門とする分野について研修の機会を提供する「芸術家在外研修(新進芸術家海外留学制度)」を昭和42年度から実施している。

同制度における成果発表の場として平成9年度から実施してきた「DOMANI・明日展」であるが、国立新美術館に会場を移して3回目を迎える本展では、美術界のさまざまなジャンルから選出された現在活躍中の12名の作家—古郷秀一(彫刻)／三好耕三(写真)／遠山香苗(絵画)／近藤高弘(陶造形)／流麻二果(絵画)／深井聡一郎(彫刻)／鈴木涼子(現代美術)／赤崎みま(写真)／神戸智行(日本画)／近藤聡乃(現代美術)／町田久美(日本画)／山口紀子(ファイバーアート)—がその研修の成果を発表した。

Run by the Japanese Agency for Cultural Affairs since 1967, the Program of Overseas Study for Upcoming Artists gives young artists an opportunity to travel overseas and study under specialists in their field, providing valuable support to the individuals who will build the foundations of the future Japanese art world.

Since 1997, the “DOMANI: The Art of Tomorrow” exhibition has been held in order to publicize the work of artists supported by the program. This year marked the third time the exhibition has been held at the National Art Center, Tokyo. The exhibition presented the work of 12 currently active artists representing a wide variety of artistic genres: FURUGO Shuichi (sculpture), MIYOSHI Kozo (photography), TOYAMA Kanae (painting), KONDO Takahiro (pottery), NAGARE Manika (painting), FUKAI Soichiro (sculpture), SUZUKI Ryoko (contemporary art), AKASAKI Mima (photography), KAMBE Tomoyuki (Japanese painting), KONDORH Akino (contemporary art), MACHIDA Kumi (Japanese painting), and YAMAGUCHI Noriko (fiber art).

会期：平成22(2010)年12月11日(土)～平成23(2011)年1月23日(日)

日数：26日

会場：国立新美術館 企画展示室2E

入場者数：15,881人(1日平均611人)

入場：有料

主催：文化庁、国立新美術館

共催：読売新聞社

制作：アート・ベンチャー・オフィス ショウ

講演会等：

●ギャラリートーク

日時：12月12日(日)14時～

出演者：近藤高弘、山口紀子

会場：国立新美術館 企画展示室2E

参加者数：約120人

●ギャラリートーク

日時：12月18日(土)14時～

出演者：流麻二果、鈴木涼子、近藤聡乃

会場：国立新美術館 企画展示室2E

参加者数：約120人

●ギャラリートーク

日時：1月10日(月・祝)14時～

出演者：遠山香苗、赤崎みま、神戸智行

会場：国立新美術館 企画展示室2E

参加者数：約120人

●ギャラリートーク

日時：1月15日(土)14時～

出演者：古郷秀一、三好耕三、深井聡一郎

会場：国立新美術館 企画展示室2E

参加者数：約120人



カタログ：『未来を担う美術家たち DOMANI・明日展2010 文化庁芸術家在外研修の成果』

A4変型、119ページ、図版カラー107点・白黒27点、2,000部

出品目録：仕上りA4判、二つ折、4ページ、20,000部

ポスター：B1判、200部

B2判、1,200部

B3変型(インターサイズ)、500部

チラシ：A4判、120,000部

関連記事：

月刊美術／平成22(2010)年11月20日

月刊ギャラリー／12月1日

クロワッサン／12月10日

SANKEI EXPRESS／12月14日

ヘラルド朝日／12月17日

アーティクル／12月17日

FIGARO JAPON／12月20日

他 多数

※出品リスト：pp.106-108



12月12日 ギャラリートーク

平成22年度[第14回]文化庁メディア芸術祭
2010 [14th] Japan Media Arts Festival

文化庁メディア芸術祭は、優れたメディア芸術作品を顕彰するとともに、これを鑑賞する機会を提供することにより、メディア芸術の創造とその発展を図り、もって我が国文化の向上と振興に資する。こうした趣旨に基づき、受賞作品展において受賞作品および審査委員会推薦作品の展示を行うとともに、アートとエンターテインメントの融合および表現とテクノロジーの進化を実体験することができる展示環境を構築し、国内外の優秀なメディア芸術作品の展示・紹介を行うための関連事業を開催した。

The Purpose of Japan Media Arts Festival is to contribute to the improvement of Japanese culture by recognizing works of excellence in Media Arts and by providing an opportunity to view these works, thereby fostering the creation and development of Media Arts. The festival contributes to achieving these objectives by staging an exhibition of Award Winning Works and Jury Recommended Works. At Exhibition of Award-Winning Works this year, the venue space allowed visitors to experience a fusion of art and entertainment as well as evolving artistic expression and technology. A variety of activities were held to coincide with the exhibition and introduce outstanding examples of works in Media Arts from Japan and overseas.

会期：平成23(2011)年2月2日(水)～2月13日(日)

日数：11日

会場：国立新美術館 企画展示室2E

入場者数：63,490人(1日平均5,772人)

※参考 サテライト会場：東京ミッドタウン ガレリア地下1階 アトリウム

会期：平成23(2011)年2月2日(水)～2月11日(金・祝)

日数：10日

入場者数：11,880人(1日平均1,188人)

入場：無料

主催：文化庁メディア芸術祭実行委員会[文化庁、国立新美術館、CG-ARTS協会]

講演会等：(会場：国立新美術館 講堂)

●受賞者シンポジウム

・アート部門受賞者シンポジウム①

日時：2月4日(金)18時～19時30分

司会：四方幸子(アート部門主査/メディアアート・キュレーター)

出演：ミシェル・デコステール / アンドレ・デコステール(大賞『Cycloid-E』)、クワクポリョウタ(優秀賞『10番目の感傷(点・線・面)』)、ピーター・ティルグ(奨励賞『Succubus』)

参加者数：82人

・アート部門受賞者シンポジウム②

日時：2月5日(土)16時～17時30分

司会：関口敦仁(アート部門審査委員/情報科学芸術大学院大学(IAMAS)学長)

出演：ジェームズ・パウダリー(優秀賞『The EyeWriter』)、ザ・メン・イン・グレイ(優秀賞『The Men In Grey』)

参加者数：53人

・エンターテインメント部門受賞者シンポジウム①

日時：2月5日(土)13時～14時30分

司会：伊藤ガビン(エンターテインメント部門審査委員/編集者)

出演：千房けん輔(大賞『S Parade』)、鈴田健(優秀賞『無限回廊 光と影の箱』)

参加者数：80人

・エンターテインメント部門受賞者シンポジウム②

日時：2月12日(土)13時～14時30分

司会：寺井弘典(エンターテインメント部門審査委員/クリエイティブディレクター)

出演：関和亮(優秀賞『アルクアラウンド/サカナクション』)、YKBX(優秀賞『夏を待っていました/amazarashi』)

参加者数：138人

・アニメーション部門受賞者シンポジウム①

日時：2月13日(日)13時～14時30分

司会：古川タク(アニメーション部門主査/アニメーション作家)

出演：和田淳(優秀賞『わからないブタ』)、一瀬浩コ(デコボーカー)(審査委員会推薦作品『TWO TEA TWO』)

参加者数：108人



・アニメーション部門受賞者シンポジウム②

日時：2月13日(日)16時～17時30分

司会：水川竜介(アニメーション部門審査委員/アニメ評論家)

出演：湯浅政明(大賞『四畳半神話大系』)、原恵一(優秀賞『カラフル』)、片淵須直(優秀賞『マイマイ新子と千年の魔法』)

参加者数：246人

・功労賞受賞者シンポジウム

日時：2月6日(日)13時～14時30分

司会：永井豪(マンガ部門主査/マンガ家)、かわぐちかいじ(マンガ部門審査委員/マンガ家)

出演：栗原良幸(功労賞/マンガ編集者)

参加者数：85人

・部門クロスセッション受賞者シンポジウム「ネット時代における映像の多様性：表現と配信について」

日時：2月12日(土)16時～17時30分

司会：内山光司(エンターテインメント部門審査委員/クリエイティブディレクター)、伊藤有希(アニメーション部門審査委員/アニメーションディレクター)

出演：田村友一郎(アート部門優秀賞『NIGHT LESS』)、児玉裕一(エンターテインメント部門優秀賞『Tabio Slide Show』)、石田祐康(アニメーション部門優秀賞『フミコの告白』)

参加者数：155人

●テーマシンポジウム

・「世界のアニメーションフェスティバルから発信される表現の魅力」

日時：2月3日(木)16時～17時30分

司会：古川タク(アニメーション部門主査/アニメーション作家)

出演：ピエラ・マトコービチ(ザグレブ国際アニメーション映画祭フェスティバルプロデューサー、クロアチア)、アルチュール・フェーバー(JAFFディレクター、エストニア)、タチヤナ・マルベイヤール(JAFFオーガナイザー、エストニア)

参加者数：52人

・「アートフェスティバルの新たな役割と意義：2010年代を迎えて」

日時：2月4日(金)15時～16時30分

出演：アグニエシカ・クビツカ=ジェドシツカ(WROキュレーター、ポーランド)、ケース・デ・フロート(GOGBOT festivalクリエイティブディレクター、オランダ)、フィオラ・ファン・アルフェン(GOGBOT festivalマネージングディレクター、オランダ)、四方幸子(アート部門主査/メディアアート・キュレーター)

参加者数：68人

・「かえり道のデザイン—アートと技術、社会をつなぐしくみ—」

日時：2月9日(水)16時～17時30分

司会：原島博(東京大学名誉教授)

出演：小早川真衣子(情報デザイン、多摩美術大学)、八谷和彦(メディアアート、東京藝術大学)、渡辺富夫(メディア技術、岡山県立大学)

参加者数：83人

関連事業：

●Media Art in the World作品上映会

会場：国立新美術館 講堂

・「Annecy International Animated Film Festival
(アヌシー国際アニメーション映画祭/フランス)」

日時：2月3日(木)10時15分～11時25分 参加者数：42人

・「Ottawa International Animation Festival

(オタワ国際アニメーション映画祭/カナダ)」

日時：2月3日(木)11時45分～13時09分 参加者数：40人

・「World Festival of Animated Film - ANIMAFEST Zagreb

(ザグレブ国際アニメーション映画祭/クロアチア)」

日時：2月3日(木)13時15分～14時15分 参加者数：54人

●作品上映(上映日・参加者数にはMedia Art in the World作品上映分も含む)

上映日：2月3日(木)、4日(金)、5日(土)、6日(日)、7日(月)、9日(水)、10日(木)、12日(土)、13日(日)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：1,430人

●ソーシャル・メディア・ラウンジ(受賞者や審査委員、海外ゲストらによるプレゼンテーション)

日時：2月2日(水)～2月13日(日)

会場：国立新美術館 企画展示室2E 参加者数：2,133人

会期中、下記の特別展示およびワークショップを行った。

●第16回学生CGコンテスト 受賞作品展

日時：2月2日(水)～2月13日(日)

会場：国立新美術館 企画展示室2E

主催：CG-ARTS協会

協力：キャノンマーケティングジャパン株式会社、株式会社インクス

●先端技術ショーケース'11 一かえり道のアートのスペース—

日時：2月2日(水)～2月13日(日)

会場：国立新美術館 企画展示室2E

主催：文部科学省、国立新美術館、独立行政法人科学技術振興機構

協力：多摩美術大学

●ワークショップ「メディア芸術祭Ustream」

日程：1月15日(土)事前オリエンテーション・講習会、1月31日(月)リハーサル、2月2日(水)～13日(日)ワークショップ開催

講師：平野友康、湯川伸矢

参加：大学生、大学院生、専門学校生25名

参加学校：慶応義塾大学、女子美術大学、多摩美術大学、津田塾大学、デジタルハリウッド東京本校、東京造形大学、日本大学、武蔵野美術大学、早稲田大学、早稲田大学大学院

主催：文化庁メディア芸術祭実行委員会(文化庁、国立新美術館、CG-ARTS協会)



※参考 サテライト会場：東京ミッドタウン ミッドタウンタワー 4階
カンファレンス Room 7

●Media Art in the World作品上映会

・「Annecy International Animated Film Festival
(アヌシー国際アニメーション映画祭/フランス)」

日時：2月7日(月)19時～20時10分 参加者数：52人

・「Ars Electronica(アルスエレクトロニカ/オーストリア)」

日時：2月10日(木)19時15分～19時53分 参加者数：32人

2月13日(日)14時30分～15時08分 参加者数：96人

・「GOGBOT Festival(ゴゴボット・フェスティバル/オランダ)」

日時：2月4日(金)18時15分～19時03分 参加者数：18人

2月7日(月)11時30分～12時18分 参加者数：17人

・「Ottawa International Animation Festival

(オタワ国際アニメーション映画祭/カナダ)」

日時：2月8日(火)16時30分～17時54分 参加者数：52人

・「Seoul International Cartoon & Animation Festival

(ソウル国際マンガ&アニメーションフェスティバル/韓国)」

日時：2月7日(月)17時30分～18時53分 参加者数：43人

2月9日(水)17時15分～18時38分 参加者数：57人

・「World Festival of Animated Film - ANIMAFEST Zagreb

(ザグレブ国際アニメーション映画祭/クロアチア)」

日時：2月9日(水)18時50分～20時20分 参加者数：48人

●作品上映(上映日・参加者数にはMedia Art in the World作品上映分も含む)

上映日：2月2日(水)、2月3日(木)、4日(金)、5日(土)、7日(月)、8日(火)、9日(水)、10日(木)、11日(金・祝)、12日(土)、13日(日)

参加者数：3,030人

●アート部門大賞『Cycloid-E』 作品展示(特別展示)

日時：2月2日(水)～2月11日(金・祝)

●ソーシャル・メディア・ラウンジ(受賞者や審査委員、海外ゲストらによるプレゼンテーション)

日時：2月2日(水)～2月13日(日)

会場：東京ミッドタウン ガレリア地下1階 アトリウム

参加者数：2,815人

カタログ：『第14回文化庁メディア芸術祭受賞作品集』

A4変型、144ページ、図版カラー321点・白黒58点、7,000部

ポスター：B1判、2,400部

チラシ：仕上りA4判、巻三つ折、60,000部

関連記事：

東京新聞/平成22(2011)年1月30日

他 多数

※出品リスト：pp.109-113

シュルレアリスム展—パリ、ポンピドゥセンター所蔵作品による—

Le Surréalisme : Exposition organisée par le Centre Pompidou à partir de sa collection

シュルレアリスムは、1924年にフランスの詩人アンドレ・ブルトンが発表した「シュルレアリスム宣言」によって創始された20世紀最大の芸術運動である。物質文明の進展によって人間性の疎外が進んでいると感じたシュルリアリストたちは、超現実(強度の現実)や無意識の世界の探求を通じて、生と社会の変革を目指した。シュルレアリスムが導入したコラージュ、自動記述、オブジェ、夢、神話などさまざまな手法や概念は、文学や美術にとどまらず、映画や広告など広く20世紀の文化全般に、深く大きな影響をもたらしている。今回の展覧会では、シュルレアリスムをはぐくんだ都市、パリのポンピドゥセンターの膨大なコレクションの中から絵画、彫刻、オブジェ、素描、写真、映画などの作品約170点に、書籍や雑誌などの資料約120点を加え、豊かな広がりを持ったこの運動の全貌を、時代を追って、Ⅰダダからシュルレアリスムへ(1919-24年)、Ⅱある宣言からもうひとつの宣言へ(1924-29年)、Ⅲ不穏な時代(1929-39年)、Ⅳ亡命中のシュルレアリスム(1939-46年)、Ⅴ最後のきらめき(1946-66年)の5つの章によって構成し、それぞれの時期に特有の問題意識や作品傾向を丁寧に紹介した。シュルレアリスムのまとまった形での総合的な紹介の機会はこれまであまり多くなかったため、特に若い世代の観客を中心に好意的に受け取られた。

One of the major artistic movements of the twentieth century, surrealism was launched with the publication of French poet André Breton's *Manifeste du surréalisme* in 1924. The surrealists believed that the progress of material culture had led to a growing sense of alienation from human nature. They aimed to bring about revolutionary changes in life and society by exploring the world of the *surréal* and the subconscious. Incorporated into a wide variety of methods and concepts, including collage, automatism, *objet*, dream, and myth, surrealism had a huge influence not just on literature and art but on other media, such as film and advertising, and upon wider developments in twentieth-century culture as a whole. This exhibition was based around 170 works of painting, sculpture, objects, drawings, photographs, and films selected from the huge collections of the Centre Pompidou in Paris, the city that served as the hub of the surrealist movement, in addition to some 120 books, magazines, and other reference materials. The exhibition aimed to introduce visitors to the entire face of this extraordinarily wide-ranging movement over the course of five chronological sections: *From Dada to Surrealism* (1919-24), *From One Manifesto to Another* (1924-29); *The Age of Disquiet* (1929-39); *Surrealism in Exile* (1939-46); and *The Final Flourishing* (1946-66), providing detailed background to the issues at stake and the tendencies of the works in each period.

会期：平成22(2011)年2月9日(水)～5月15日(日)

(会期変更、当初は5月9日(月)まで)

日数：77日(うち平成22年度；36日)

※東日本大震災の影響により3月12日(土)、14日(月)、16日(水)～18日(金)、23日(水)～25日(金)は臨時休館。5月6日(金)、10日(火)は開館。

会場：国立新美術館 企画展示室1E

入場者数：82,316人(1日平均2,287人)

入場：有料

主催：国立新美術館、ポンピドゥセンター、読売新聞社、日本テレビ放送網

後援：外務省、フランス大使館

協賛：大日本印刷

協力：エールフランス航空、ソニー・クリエイティブプロダクツ

監修：ディディエ・オットアンジェ(ポンピドゥセンター・パリ国立近代美術館副館長)
南雄介(学芸課長)



講演会等：

●記念講演会「アンドレ・マッソンの神話学の集成的使用価値」

日時：2月11日(金・祝)14時～16時

講演：ディディエ・オットアンジェ(ポンピドゥセンター・パリ国立近代美術館副館長)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：188人

関連事業：

●シュルレアリスム映画上映会

「眠るパリ」「ヒトデ」「黄金時代」「アンダルシアの犬」

日時：2月26日(土)11時～13時、15時～17時

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：1回目58人、2回目55人



東日本大震災の影響により中止または延期した事業

講演会等：

●記念講演会「シュルレアリスムと美術」

日時：3月12日(土)14時～16時 ※4月23日(土)に延期

講演：巖谷國士(明治学院大学教授)

会場：国立新美術館 講堂

カタログ：『シュルレアリスム展—パリ、ポンピドゥセンター所蔵作品
による—』

A4変型(300×225mm)、296ページ、図版カラー247点・白
黒69点

発行部数：10,000部(初版)、15,000部(第2版)

出品目録：仕上りA4判、観音折、8ページ、100,000部(初版)、
フランス語版；10,000部(初版)

ポスター：B0判(4種)、80部

B1判(4種)、440部

B2判(2種)、3,800部

B3判(2種)、7,300部

B3判(中吊り)、7,730部

チラシ：A4判(2種)、80,000部

仕上りA4判、二つ折、450,000部

関連記事：

朝日新聞(夕刊)／平成23(2011)年2月16日／高階秀爾

毎日新聞(夕刊)／2月17日／高階秀爾

産経新聞／2月23日／赤瀬川原平

芸術新潮／2月号／[解説]南雄介(学芸課長)

読売新聞(夕刊)／3月1日／南雄介

読売新聞／3月8日／横尾忠則

読売新聞／3月9日／篠山紀信

他 多数

※出品リスト：pp.114-121



2月11日

国立新美術館が毎年開催する「アーティスト・ファイル」展は、国内外で今最も注目すべき活動を展開している作家たちを選抜し、紹介するアニュアル(毎年開催)形式の展覧会である。今回の出品作家もまた、国立新美術館の学芸スタッフが、日ごろの調査活動によって見出した特筆すべき作家の中から選定された。第4回目となる今回は、とりわけ海外在住の作家を多く取り上げることにより、グローバル化が進んだ今日の現代社会における美術という文脈を明確にした。出品作家は、クリスティン・ベイカー(絵画、ニューヨーク在住)、バードヘッド(写真、インスタレーション、上海在住)、タラ・ドノヴァン(インスタレーション、ニューヨーク在住)、岩熊力也(絵画、東京在住)、鬼頭健吾(インスタレーション、ベルリン在住)、松江泰治(写真、ビデオ、東京在住)、ビョルン・メルフス(ビデオ・インスタレーション、ベルリン在住)、中井川由季(陶芸、茨城県在住)ら、日本人作家と海外作家あわせて8組である。例年と同様、各作家の表現方法は多岐にわたり、その問題意識もさまざまだが、いずれの作品も私たちが身を置く現代社会の特質や問題を造形的に鋭く掘り下げている点で共通している。

本展覧会は出品作家の資料を将来にわたって収集し、広く社会に提供するという美術情報の収集事業とも連動している。今回も、出品作家や関係各位より多くの資料の提供を受けるとともに、自ら資料の収集にあたった。また本展は、アーティスト・トークや対談、ワークショップといった関連事業にも力を入れており、今年も、多くのイベントを予定していた。しかし、東日本大震災の影響により、3月末までに予定されていたアーティスト・トークと関連イベントがすべて中止となった。また、館自体の臨時休館、変則的な開館時間により、展覧会もまた不規則な運営を余儀なくされた。

こうした予期せぬ出来事はあったにせよ、本展覧会は、多様なメディアに溢れた現代に特有の、刺激的で豊かな芸術表現に触れる絶好の場になったものとする。

The *Artist File* is an annual exhibition held at NACT to introduce a selection of the most noteworthy artists at work in Japan and other countries. As in previous years, this year's exhibition introduced the work of artists that caught the eye of our curatorial staff during their ongoing research activities. One characteristic of this exhibition, the fourth in the series, was the large number of artists based overseas, reflecting the changing cultural context of art in the contemporary society in the context of an increasingly globalized world. The eight groups of artists covered in this year's exhibition were: Kristin BAKER (painting; resident in New York), BIRDHEAD (photography, installation art; Shanghai), Tara DONOVAN (installation art; New York), IWAKUMA Rikiya (painting; Tokyo), KITO Kengo (installation art; Berlin), MATSUE Taiji (photography, video; Tokyo), Bjørn MELHUS (video, installation art; Berlin), NAKAIGAWA Yuki (ceramics; Ibaraki). As in previous years, the featured artists work in an extremely diverse range of genres, and pursue quite different concerns. All of them, however, use their art to give vivid, tangible form to the characteristics and problems of the contemporary society in which we live.

The exhibition ties in with NACT's project to build a collection of art-related publications and materials, which will serve as a reference for the future and a resource available widely to society. This time, as well as numerous contributions of materials received from the featured artists and other cooperating parties, we gathered additional materials ourselves. In addition, we put considerable effort into related programs such as artist talks, dialogues, and workshops. Following the major earthquake that hit eastern Japan on 11 March, however, a decision was taken to cancel all the artist talks and related events scheduled to take place through the end of March. NACT itself was unavoidably disrupted by temporary closing and curtailed restricted opening hours.

In spite of these unforeseeable circumstances, we believe the exhibition was successful in providing an outstanding venue for visitors to experience the rich and stimulating artistic expressions of the diverse, media-intensive contemporary age.

会期：平成23(2011)年3月19日(土)～6月6日(月)
(会期変更、当初は3月16日(水)から)
日数：68日(うち平成22年度；8日)
※東日本大震災の影響により3月16日(水)～18日(金)、23日(水)～25日(金)は臨時休館。5月6日(金)、10日(火)は開館。
会場：国立新美術館 企画展示室2E
入場者数：1,632人(1日平均204人)
入場：有料
主催：国立新美術館



東日本大震災の影響により中止または延期した事業
講演会等：

●アーティスト・トーク ※中止
日時：3月19日(土)14時～15時
講演：バードヘッド(出品作家)
会場：国立新美術館 研修室A, B

●フィルム上映会+アーティスト・トーク
※アーティスト・トークは中止
フィルム上映会は5月3日(火・祝)に延期
日時：3月21日(月・祝)14時～16時
講演：ビョルン・メルフス(出品作家)
会場：国立新美術館 講堂

●アーティスト・トーク ※中止および延期

日時：3月26日(土)19時～20時30分

対談：鬼頭健吾(出品作家)×長屋光枝(学芸課主任研究員)

※中止

松江泰治(出品作家)×松井みどり(美術評論家)

※4月29日(金・祝)に延期

会場：国立新美術館 1階ロビー

※研修室A, Bに変更

関連事業

●六本木アートナイト2011 ※中止

日時：3月26日(土)

・22時まで開館延長

・出品作家(鬼頭健吾)による屋外展示の実施



カタログ：『アーティスト・ファイル2011—現代の作家たち』

A4変型、8分冊、箱付き、作家ファイル各32ページ×8冊・

イントロダクション4ページ(計260ページ)、図版カラー

214点・白黒19点、4,500部

出品目録：A4変型(仕上り280×210mm)、二つ折、4ページ、40,000部

ポスター：B1判、750部

B3判、3,000部

B3変型(インターサイズ)、510部

チラシ：A4判、100,000部

関連記事：

International Herald Tribune, The Asahi Shimbun／平成23(2011)年

3月5日

東京新聞(夕刊)／3月12日／児島やよい

産経新聞／3月17日／渋谷和彦

朝日新聞(夕刊)／3月31日／西田健作

アマレーナ／4月号／児島やよい

他 多数

※出品リスト：pp.122-124

3

美術団体等への展覧会会場提供

Provision of Exhibition Venues to
Artist Associations

3 美術団体等への展覧会会場提供

Provision of Exhibition Venues to Artist Associations

全国的な活動を行っている美術団体等が実施する公募展等への展覧会会場の提供を行った。平成22(2010)年度は、69団体に展覧会会場を提供し、公募展等の入場者数は合計1,266,989人であった。

また、前年度の経験を踏まえ、施設・備品の管理運営の改善に取り組んだ。

NACT provided exhibition galleries to artist associations from around the country for their exhibitions. In fiscal 2010, 69 such exhibitions were held at NACT, attracting a total of 1,266,989 visitors.

Building on our experiences the previous fiscal year, we worked to improve the management of the equipment and facilities provided.

平成22年度会場使用団体一覧

団体名：社団法人創元会
 展覧会名：第69回創元展
 会期／日数：3月31日(水)～4月12日(月)／12日
 (うち22年度；4月1日(木)～4月12日(月)／11日)
 展示室：1 A, 1 B, 1 C, 1 D
 入場者数：25,677人(うち22年度；22,820人)



団体名：現代日本書家協会
 展覧会名：第26回全国公募書道展
 会期／日数：4月14日(水)～4月26日(月)／12日
 展示室：3 A
 入場者数：3,333人



団体名：社団法人示現会
 展覧会名：第63回示現会展
 会期／日数：3月31日(水)～4月12日(月)／12日
 (うち22年度；4月1日(木)～4月12日(月)／11日)
 展示室：2 A, 2 B, 2 C, 2 D
 入場者数：23,115人(うち22年度；21,102人)



団体名：国画会
 展覧会名：第84回国展
 会期／日数：4月28日(水)～5月10日(月)／12日
 展示室：1 A, 1 B, 1 C, 1 D, 2 A, 2 B, 2 C, 2 D, 3 A, 3 B,
 野外展示場A, B, C, D
 入場者数：69,777人



団体名：水彩連盟
 展覧会名：第69回水彩連盟展
 会期／日数：3月31日(水)～4月12日(月)／12日
 (うち22年度；4月1日(木)～4月12日(月)／11日)
 展示室：3 A, 3 B
 入場者数：15,294人(うち22年度；14,072人)



団体名：社団法人太平洋美術会
 展覧会名：第106回太平洋展
 会期／日数：5月12日(水)～5月24日(月)／12日
 展示室：1 A, 1 B, 1 C, 1 D
 入場者数：18,269人



団体名：社団法人光風会
 展覧会名：第96回光風会展
 会期／日数：4月14日(水)～4月26日(月)／12日
 展示室：1 A, 1 B, 1 C, 1 D
 入場者数：21,374人



団体名：三軌会
 展覧会名：第62回三軌展
 会期／日数：5月12日(水)～5月24日(月)／12日
 展示室：2 A, 2 B, 2 C, 2 D
 入場者数：16,272人



団体名：一般社団法人春陽会
 展覧会名：第87回春陽展
 会期／日数：4月14日(水)～4月26日(月)／12日
 展示室：2 A, 2 B, 2 C, 2 D, 3 B
 入場者数：22,075人



団体名：社団法人日本新工芸家連盟
 展覧会名：第32回日本新工芸展
 会期／日数：5月12日(水)～5月23日(日)／11日
 展示室：3 A, 3 B
 入場者数：6,987人



団体名：現代美術家協会
展覧会名：第66回現展
会期／日数：5月26日(水)～6月7日(月)／12日
展示室：1A, 1B, 1C
入場者数：10,974人



団体名：たぶろう美術協会
展覧会名：第45回たぶろう展
会期／日数：6月9日(水)～6月21日(月)／12日
展示室：3B
入場者数：8,536人



団体名：第一美術協会
展覧会名：第81回第一美術展
会期／日数：5月26日(水)～6月7日(月)／12日
展示室：1D, 2C, 2D
入場者数：18,967人



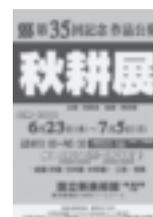
団体名：アート未来
展覧会名：2010・15th国際公募アート未来展
会期／日数：6月23日(水)～7月5日(月)／12日
展示室：1A, 野外展示場A
入場者数：12,299人



団体名：日洋会
展覧会名：第24回日洋展
会期／日数：5月26日(水)～6月7日(月)／12日
展示室：2A, 2B, 3A, 3B
入場者数：25,098人



団体名：秋耕会
展覧会名：第35回秋耕展
会期／日数：6月23日(水)～7月5日(月)／12日
展示室：1B
入場者数：6,896人



団体名：財団法人全国書美術振興会
展覧会名：第38回「日本の書展」東京展
会期／日数：6月10日(木)～6月20日(日)／10日
展示室：1A, 1B, 1C, 1D
入場者数：12,793人



団体名：蒼騎会
展覧会名：第50回記念蒼騎展
会期／日数：6月23日(水)～7月5日(月)／12日
展示室：1C, 1D
入場者数：12,773人



団体名：日本自由画壇
展覧会名：第36回日本自由画壇展
会期／日数：6月9日(水)～6月21日(月)／12日
展示室：2A, 2B
入場者数：20,153人



団体名：財団法人日本余暇文化振興会
楽習フォーラム アートクレイ倶楽部
展覧会名：第11回銀粘土でつくるシルバーアクセサリーコンテスト作品展
会期／日数：6月23日(水)～7月5日(月)／12日
展示室：2A
入場者数：7,592人



団体名：書象会
展覧会名：第49回書象展
会期／日数：6月10日(木)～6月20日(日)／10日
展示室：2C, 2D
入場者数：15,064人



団体名：一般社団法人国際墨画会
展覧会名：第10回国際公募国際墨画会展
会期／日数：6月23日(水)～7月5日(月)／12日
展示室：2B
入場者数：12,858人



団体名：日本水墨院
展覧会名：公募第25回記念日本水墨院展
会期／日数：6月9日(水)～6月20日(日)／11日
展示室：3A
入場者数：15,501人



団体名：日本教育書道藝術院
展覧会名：第30回日本教育書道藝術院同人書作展
会期／日数：6月23日(水)～7月4日(日)／11日
展示室：2C, 2D
入場者数：11,194人



団体名：公益社団法人日本彫刻会
展覧会名：第40回記念日彫展
会期／日数：6月23日(水)～7月5日(月)／12日
展示室：3A
入場者数：9,495人



団体名：社団法人二科会
展覧会名：第95回記念二科展
会期／日数：9月1日(水)～9月13日(月)／12日
展示室：1A, 1B, 1C, 1D, 2A, 2B, 2C, 2D, 3A, 3B,
野外展示場A, B, C, D
入場者数：100,784人



団体名：財団法人陶芸文化振興財団
展覧会名：全国公募2010陶芸財団展
会期／日数：6月23日(水)～7月4日(日)／11日
展示室：3B
入場者数：8,130人



団体名：新制作協会
展覧会名：第74回新制作展
会期／日数：9月15日(水)～9月27日(月)／12日
展示室：1A, 1B, 2A, 2B, 3A, 3B,
野外展示場A, B
入場者数：43,551人



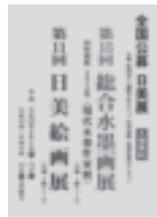
団体名：財団法人毎日書道会
展覧会名：第62回毎日書道展
会期／日数：7月7日(水)～8月1日(日)／23日
展示室：1A, 1B, 1C, 1D, 2A, 2B, 2C, 2D, 3A, 3B
入場者数：65,707人



団体名：行動美術協会
展覧会名：第65回行動展
会期／日数：9月15日(水)～9月27日(月)／12日
展示室：1C, 1D, 2C, 2D, 野外展示場C, D
入場者数：20,767人



団体名：財団法人国際文化カレッジ
展覧会名：日美展(第15回総合水墨画展・第11回日
美絵画展)
会期／日数：8月5日(木)～8月14日(土)／9日
展示室：1A, 1B, 1C, 1D, 2A, 2B, 2C, 2D
入場者数：24,993人



団体名：自由美術協会
展覧会名：第74回自由美術展
会期／日数：9月29日(水)～10月11日(月・祝)／12日
展示室：1A, 1B, 2A, 2B, 野外展示場A, B
入場者数：13,384人



団体名：貞香会
展覧会名：第45回貞香書展
会期／日数：8月4日(水)～8月16日(月)／12日
展示室：3A
入場者数：5,300人



団体名：一陽会
展覧会名：第56回一陽展
会期／日数：9月29日(水)～10月11日(月・祝)／12日
展示室：1C, 1D, 2C, 2D, 野外展示場C, D
入場者数：16,727人



団体名：全国水墨画協会
展覧会名：第17回全国水墨画展
会期／日数：8月4日(水)～8月16日(月)／12日
展示室：3B
入場者数：7,042人



団体名：一期会
展覧会名：第45回一期展
会期／日数：9月29日(水)～10月11日(月・祝)／12日
展示室：3A, 3B
入場者数：13,381人



団体名：読売書法会
展覧会名：第27回読売書法展 東京展
会期／日数：8月20日(金)～8月29日(日)／9日
展示室：1A, 1B, 1C, 1D, 2A, 2B, 2C, 2D, 3A, 3B
入場者数：23,526人



団体名：独立美術協会
展覧会名：第78回独立展
会期／日数：10月13日(水)～10月25日(月)／12日
展示室：1A, 1B, 2A, 2B, 3A
入場者数：22,290人



団体名：社団法人二紀会
展覧会名：第64回二紀展
会期／日数：10月13日(水)～10月25日(月)／12日
展示室：1 C, 1 D, 2 C, 2 D, 3 B, 野外展示場C, D
入場者数：34,373人



団体名：土日会
展覧会名：第35回土日会展
会期／日数：12月8日(水)～12月20日(月)／12日
展示室：3 A
入場者数：5,205人



団体名：社団法人日展
展覧会名：第42回日展
会期／日数：10月29日(金)～12月5日(日)／33日
展示室：1 A, 1 B, 1 C, 1 D, 2 A, 2 B, 2 C, 2 D, 2 E, 3 A, 3 B
入場者数：173,000人



団体名：日本表象美術協会
展覧会名：第37回日象展
会期／日数：12月8日(水)～12月20日(月)／12日
展示室：3 B
入場者数：6,441人



団体名：AJAC
展覧会名：Go ahead! AJAC 第4回 AJAC野外展
会期／日数：10月28日(木)～11月7日(日)／10日
展示室：野外展示場A, B
入場者数：2,127人



団体名：財団法人独立書人団
展覧会名：第59回独立書展
会期／日数：1月6日(木)～1月17日(月)／11日
展示室：1 A, 1 B, 1 C, 1 D, 2 A, 2 B, 2 C, 2 D, 3 A, 3 B
入場者数：20,530人



団体名：雪舟国際美術協会
展覧会名：第17回雪舟国際美術協会展
会期／日数：12月8日(水)～12月19日(日)／11日
展示室：1 A, 1 B
入場者数：10,028人



団体名：特定非営利活動法人平泉会
展覧会名：第23回平泉展 ～楽しい手作り～
会期／日数：1月19日(水)～1月31日(月)／12日
展示室：1 A
入場者数：10,900人



団体名：白峰社
展覧会名：第28回白峰社書展
会期／日数：12月8日(水)～12月20日(月)／12日
展示室：1 C, 1 D
入場者数：13,818人



団体名：国際書画連盟
展覧会名：第33回国際書画展
会期／日数：1月19日(水)～1月31日(月)／12日
展示室：1 B, 1 C, 1 D
入場者数：7,085人



団体名：特定非営利活動法人国際架橋書会
展覧会名：第23回国際架橋書展
会期／日数：12月8日(水)～12月20日(月)／12日
展示室：2 A
入場者数：7,728人



団体名：亜細亜太平洋水墨画会
展覧会名：アジア創造美術展
会期／日数：1月19日(水)～1月31日(月)／12日
展示室：2 A
入場者数：3,456人



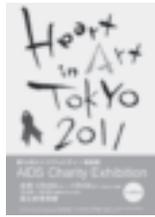
団体名：株式会社全日本書芸文化院
展覧会名：第39回全書芸展
会期／日数：12月8日(水)～12月20日(月)／12日
展示室：2 B, 2 C, 2 D
入場者数：7,658人



団体名：産経国際書会
展覧会名：第27回産経国際書展(新春展)
会期／日数：1月19日(水)～1月31日(月)／12日
展示室：2 B, 2 C, 2 D
入場者数：4,823人



団体名：Heart Art Communication
展覧会名：Heart Art in TOKYO 2011 第14回エイ
ズチャリティー美術展
会期/日数：1月20日(木)～1月31日(月)/11日
展示室：3A, 3B
入場者数：3,588人



団体名：社団法人日本中国水墨交流協会
展覧会名：第28回日本中国水墨画合同展
会期/日数：2月2日(水)～2月14日(月)/12日
展示室：3B
入場者数：7,453人



団体名：立軌会
展覧会名：第63回立軌展
会期/日数：2月2日(水)～2月14日(月)/12日
展示室：1A
入場者数：9,886人



団体名：東京五美術大学連合卒業・修了制作展
展覧会名：平成22年度第34回東京五美術大学連合
卒業・修了制作展
会期/日数：2月17日(木)～2月27日(日)/10日
展示室：1A, 1B, 1C, 1D, 2A, 2B, 2C, 2D,
野外展示場A, B, C
入場者数：53,769人



団体名：全日本アートサロン絵画大賞展実行委員会
展覧会名：第20回全日本アートサロン絵画大賞展
会期/日数：2月3日(木)～2月14日(月)/11日
展示室：1B
入場者数：3,269人



団体名：学校法人専門学校 東洋美術学校
展覧会名：第62回東洋美術学校卒業制作展
会期/日数：2月16日(水)～2月27日(日)/11日
展示室：3A
入場者数：5,538人



団体名：新槐樹社
展覧会名：第55回新槐樹社展
会期/日数：2月2日(水)～2月14日(月)/12日
展示室：1C, 1D
入場者数：8,390人



団体名：現日会
展覧会名：第51回現日選抜書展
会期/日数：2月16日(水)～2月28日(月)/12日
展示室：3B
入場者数：3,075人



団体名：あきつ会
展覧会名：第36回あきつ会書道展
会期/日数：2月2日(水)～2月14日(月)/12日
展示室：2A
入場者数：3,472人

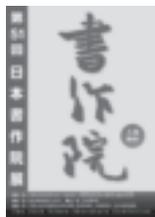


団体名：汎美術協会
展覧会名：2011汎美展
会期/日数：3月2日(水)～3月14日(月)/10日※
展示室：1A
入場者数：5,372人



※東日本大震災の影響により3月12日(土)、14日(月)は臨時休館

団体名：日本書作院
展覧会名：第51回日本書作院展
会期/日数：2月3日(木)～2月14日(月)/11日
展示室：2B, 2C, 2D
入場者数：14,552人



団体名：社団法人創玄書道会
展覧会名：第47回創玄展
会期/日数：3月3日(木)～3月13日(日)/9日※
展示室：1B, 1C, 1D, 2A, 2B, 2C, 2D
入場者数：30,663人



※東日本大震災の影響により3月12日(土)は臨時休館

団体名：美術団体等迎会
展覧会名：第43回等迎展
会期/日数：2月2日(水)～2月14日(月)/12日
展示室：3A
入場者数：3,061人



団体名：全国水墨画美術協会
展覧会名：第37回全日本水墨画秀作展
会期/日数：3月2日(水)～3月13日(日)/10日※
展示室：3A, 3B
入場者数：5,002人



※東日本大震災の影響により3月12日(土)は臨時休館

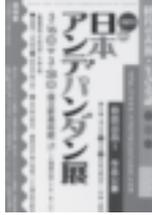
団体名：白日会
展覧会名：第87回白日会展
会期／日数：3月16日(水)～3月28日(月)／6日※
展示室：1A, 1B, 1C, 1D
入場者数：6,098人

※東日本大震災の影響により3月16日(水)～18日(金)、23日(水)
～25日(金)は臨時休館



団体名：日本美術会
展覧会名：第64回日本アンデパンダン展
会期／日数：3月16日(水)～3月28日(月)／6日※
展示室：2A, 2B, 2C, 2D
入場者数：5,085人

※東日本大震災の影響により3月16日(水)～18日(金)、23日(水)
～25日(金)は臨時休館



団体名：公益社団法人日本南画院
展覧会名：公募第51回日本南画院展
会期／日数：3月16日(水)～3月28日(月)／6日※
展示室：3A, 3B
入場者数：3,596人

※東日本大震災の影響により3月16日(水)～18日(金)、23日(水)
～25日(金)は臨時休館



入場者数合計 1,266,989人

参考：平成23年度第1会期の公募展

団体名：社団法人創元会
展覧会名：70周年記念創元展
会期／日数：3月30日(水)～3月31日(木)／2日(通期：3月30日(水)～4月11日(月)／12日)
展示室：1A, 1B, 1C, 1D
入場者数：3,451人(通期：20,460人)

団体名：社団法人示現会
展覧会名：第64回示現会展
会期／日数：3月30日(水)～3月31日(木)／2日(通期：3月30日(水)～4月11日(月)／12日)
展示室：2A, 2B, 2C, 2D
入場者数：2,706人(通期：22,074人)

団体名：水彩連盟
展覧会名：第70回記念水彩連盟展
会期／日数：3月30日(水)～3月31日(木)／2日(通期：3月30日(水)～4月11日(月)／12日)
展示室：3A, 3B
入場者数：1,692人(通期：13,609人)

公募展開催に関わる取り組み

- 平成22年度展示室等使用団体実績
使用団体：69団体

- 平成24年度展示室等使用団体の決定
決定時期：7月
決定団体：70団体(うち、2団体辞退)

- 平成24年度展示室使用団体の追加募集
募集期間：2月1日(火)～2月28日(月)

- 平成25年度展示室等使用団体の使用申請受付
受付期間：2月1日(火)～2月28日(月)

- 平成25年度野外展示場使用団体の募集
募集期間：2月1日(火)～2月28日(月)

- 使用団体等への支援
ホームページに、開催中の公募団体等の展示会のポスター画像を掲載し、使用団体等の展示会広報の支援を行った。
「国立新美術館ニュース」に使用団体等からの寄稿を掲載し、団体の活動を紹介した。

- 展示会観覧者への情報提供
公募展開催案内チラシを作成・配布するとともに、ホームページに公募展情報を掲載した。
公募展開催案内：年5回発行、A4判(297×210mm)、全41,000部

- 企画展との相互割引の導入
自主企画展および共催展において、開催中の公募展の観覧券持参加者に対する割引観覧を行った。また、開催中の自主企画展および共催展の観覧券持参加者に対し、公募展の割引または無料観覧の協力を依頼し、相互割引の充実に努めるとともに、館内での周知を行った。

教育普及事業に対する公募団体等との連携

- 『第84回国展』
「第4回国展トークインー作家の目 作者の心一」
主催：国画会、国立新美術館
日時：5月5日(水・祝)
会場：国立新美術館 第84回国展会場
参加者数：266人



5月5日

- 『第40回記念日彫展』
「触れる彫刻鑑賞プロジェクト」
主催：社団法人日本彫刻会、国立新美術館
日時：6月25日(金)、7月2日(金)
会場：国立新美術館 第40回記念日彫展会場
参加者数：54人(全3回)



7月2日

- 『第42回日展』
主催：社団法人日展、国立新美術館
・講演会
開催日：10月30日(土)、31日(日)、11月3日(水・祝)、6日(土)、13日(土)
会場：国立新美術館 講堂
参加者数：669人(全5回)
・映像による作品解説
開催日：10月30日(土)、31日(日)、11月3日(水・祝)、6日(土)、13日(土)、20日(土)、23日(火・祝)、28日(日)
会場：国立新美術館 講堂
参加者数：1,458人(全10回)
・親子鑑賞教室
開催日：11月7日(日)、14日(日)、21日(日)
会場：国立新美術館 講堂および研修室
参加者数：167組442人(全6回)
・らくらく鑑賞会
開催日：11月8日(月)、15日(月)、22日(月)、29日(月)
会場：国立新美術館 第42回日展会場および研修室A
参加者数：31人(全4回)



11月7日

4

教育普及

Education and Public Programs

4-1 講演会等

Lectures, etc.

4-2 ワークショップ

Workshops

4-3 インターンシップ、ボランティア

Internships and Volunteering

4-4 その他の教育普及事業

Other Education and Public Programs

4 | 教育普及 Education and Public Programs

来館者の作品鑑賞の充実とサポートを目的に、展覧会に合わせた講演会やアーティスト・トークなどを開催したほか、無料の鑑賞ガイドブックを作成、配布した。また、美術に触れ、親しむ機会を広く提供するために、子どもから大人まで幅広い層を対象としたワークショップやシンポジウムなどのイベントを実施した。さらに、インターンや学生ボランティアの受け入れを継続的に行い、美術館活動への理解の促進や人材育成を図った。

To help people get the most out of their visit, NACT put on lectures, artist talks, and other programs to coincide with exhibitions, and distributed a series of free guidebooks. We also ran events and workshops to encourage appreciation of art among the wider public, including a number of education programs for children. NACT continued to accept interns and student volunteers as part of its efforts to increase understanding of its activities and develop human resources.

4-1 講演会等 Lectures, etc.

展覧会関連企画

『アーティスト・ファイル2010—現代の作家たち』

●アーティスト・トーク

日時：4月3日(土)14時～15時

講演：福田尚代(出品作家)

会場：国立新美術館 研修室A, B

参加者数：60人

●アーティスト・トーク

日時：4月10日(土)14時～15時

講演：石田尚志(出品作家)

会場：国立新美術館 研修室A, B

参加者数：68人

『ルーシー・リー展』

●記念講演会「ルーシー・リーの人と作品」

日時：4月29日(木・祝)14時～16時

出演：西マーヤ(現代陶芸研究者)、金子賢治(前東京国立近代美術館工芸課長、茨城県陶芸美術館長)、北村仁美(東京国立近代美術館工芸課主任研究員)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：170人

●記念講演会「工芸とモダンデザイン：ルーシー・リーの時代」

日時：5月16日(日)14時～15時30分

講演：金子賢治(前東京国立近代美術館工芸課長、茨城県陶芸美術館長)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：150人

●記念講演会「ルーシー・リーの制作技法について」

日時：5月30日(日)14時～15時30分

講演：小山耕一(陶芸家)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：294人

『オルセー美術館展2010「ポスト印象派」』

●記念講演会「1910年『マネとポスト印象派』展」

日時：5月27日(木)14時～15時30分

講演：ステファン・ゲガン(オルセー美術館国際展部門長)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：240人



4月10日

●記念講演会「ポスト印象派の新たな歴史—ナビ派再発見」

日時：5月29日(土)14時～15時30分

講演：シルヴィ・パトリ(オルセー美術館学芸員)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：170人

●解説会

日時：6月5日(土)14時～15時

解説：長屋光枝(学芸課主任研究員)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：230人

●トークセッション

日時：6月19日(土)14時～15時

出演：陽月華(オルセー美術館展ナビゲーター)、新畑泰秀(ブリヂストン美術館学芸員)

司会：滝井礼乃(テレビ東京アナウンサー)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：244人

●解説会

日時：7月3日(土)14時～15時

解説：長屋光枝(学芸課主任研究員)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：200人

●記念講演会「オルセー美術館のコレクションの歴史と『ポスト印象派』」

日時：7月25日(日)14時～15時30分

講演：ギ・コジュヴァル(オルセー美術館長)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：210人

『マン・レイ展』

●記念対談「マン・レイの魅力」

日時：7月17日(土)14時～15時30分

講演：横尾忠則(美術家)、南雄介(学芸課長)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：245人

●マン・レイ誕生祭イベント「展覧会レクチャー」

日時：8月27日(金)18時20分～18時50分

講演：南雄介(学芸課長)

会場：国立新美術館 1階ロビー

参加者数：93人

『陰影礼讃—国立美術館コレクションによる』

●講演会「影から読み解く近代日本美術」

日時：9月12日(日)14時～15時30分

講演：大谷省吾(東京国立近代美術館主任研究員)

会場：国立新美術館 研修室A, B

参加者数：42人

●講演会「陰影礼讃展について」

日時：9月19日(日)14時～15時30分

講演：中西博之(国立国際美術館主任研究員)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：72人



9月12日

『没後120年 ゴッホ展』

- 記念講演会「The adventure of becoming an artist こうして私はゴッホになった」
日時：10月3日(日)14時～15時30分
講演：シラール・ファン・ヒューフテン(美術史家、本展監修者)
会場：国立新美術館 講堂
参加者数：200人

『シュルレアリスム展—パリ、ポンピドゥセンター所蔵作品による—』

- 記念講演会「アンドレ・マッソンの神話学の集合的使用価値」
日時：2月11日(金・祝)14時～16時
講演：ディディエ・オットアンジェ(ポンピドゥセンター・パリ国立近代美術館副館長)
会場：国立新美術館 講堂
参加者数：188人

東日本大震災の影響により中止または延期した事業

- 記念講演会「シュルレアリスムと美術」
日時：3月12日(土)14時～16時 ※4月23日(土)に延期
講演：巖谷國士(明治学院大学教授)
会場：国立新美術館 講堂

『アーティスト・ファイル2011—現代の作家たち』

- アーティスト・トーク ※中止
日時：3月19日(土)14時～15時
講演：バードヘッド(出品作家)
会場：国立新美術館 研修室A, B
- フィルム上映会+アーティスト・トーク
※アーティスト・トークは中止
フィルム上映会は5月3日(火・祝)に延期
日時：3月21日(月・祝)14時～16時
講演：ビョルン・メルフス(出品作家)
会場：国立新美術館 講堂
- アーティスト・トーク ※中止および延期
日時：3月26日(土)19時～20時30分
対談：鬼頭健吾(出品作家)×長屋光枝(学芸課主任研究員)
※中止
松江泰治(出品作家)×松井みどり(美術評論家)
※4月29日(金・祝)に延期
会場：国立新美術館 1階ロビー
※研修室A, Bに変更

共催企画等

- 講演会「シリーズ 美術雑誌と戦後美術—創り手たちの証言 第2回 伝統を引き継いで 生尾慶太郎氏(元『みづゑ』編集長)」
日時：4月24日(土)14時～15時30分
講演：生尾慶太郎(元『みづゑ』編集長)
聞き手：平井章一(情報資料室長／学芸課主任研究員)
会場：国立新美術館 講堂
参加者数：44人
- 『第84回国展』関連イベント
「第4回国展トークイン—作家の目 作者の心—」
主催：国画会、国立新美術館
日時：5月5日(水・祝)
会場：国立新美術館 第84回国展会場
参加者数：266人

●「森から始まるリレートーク

—暮らし、環境、デザイン、そしてアートと『木』

主催：国立新美術館、株式会社ミネルバ、株式会社日本設計

協賛：東京ガス株式会社、東京電力株式会社、朝日ウッドテック株式会社、新木場振興株式会社、株式会社長谷川萬治商店

協力：株式会社ガレーラ、ソシオミュゼ・デザイン株式会社

日時：5月21日(金)～23日(日)

会場：国立新美術館 講堂

・プログラム1「『木』のちから、森から生まれる空間」

日時：5月21日(金)18時～19時30分

講演：隈研吾(建築家/東京大学教授)

対談：隈研吾、宮本茂紀(モデラー)

司会：田中裕人(エリアデザイナー、文筆家/多摩川アートラインプロジェクト事務局長)

参加者数：243人

・プログラム2「『木』をめぐるデザインと産業」

日時：5月22日(土)13時～16時30分

講演：喜多俊之(プロダクトデザイナー/大阪芸術大学教授)、島崎信(北欧デザイン研究家、デザイナー/武蔵野美術大学名誉教授)、速水亨(速水林業代表/(社)日本林業経営者協会会長)

パネルディスカッション：喜多俊之、島崎信、速水亨、宮本茂紀(モデラー)

モデレーター：田中裕人(エリアデザイナー、文筆家/多摩川アートラインプロジェクト事務局長)

参加者数：217人

・プログラム3「『木』の恵み、森から生まれるアート」

日時：5月23日(日)13時～16時30分

講演：國安孝昌(美術作家/筑波大学大学院准教授)、窪寺茂(建築装飾技術史、文化財修復(建造物)/文化財建造物保存技術協会技術・研修センター長代理)、槇島みどり(植物生態学、景観デザイナー/目白大学教授、東京農業大学客員教授)

パネルディスカッション：國安孝昌、窪寺茂、槇島みどり、宮本茂紀(モデラー)

モデレーター：田中裕人(エリアデザイナー、文筆家/多摩川アートラインプロジェクト事務局長)

参加者数：142人

・宮本茂紀製作の椅子「BOSCO(ボスコ)」175脚の展示公開

公開日時：5月21日(金)16時～20時、22日(土)12時～17時30分、23日(日)12時～17時30分

会場：国立新美術館 講堂前ロビー

入場者数：788人(3日間延べ人数)

●講演会「シリーズ 美術雑誌と戦後美術—創り手たちの証言 第3回 企業文化の発信地として 芦野公昭氏(元『アールヴィヴァン』編集者)」

日時：6月20日(日)14時～15時30分

講演：芦野公昭(元『アールヴィヴァン』編集者)

聞き手：平井章一(情報資料室長/学芸課主任研究員)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：52人

●『第40回記念日彫展』関連イベント

「触れる彫刻鑑賞プロジェクト」

主催：社団法人日本彫刻会、国立新美術館

日時：6月25日(金)、7月2日(金)

会場：国立新美術館 第40回記念日彫展会場

参加者数：54人(全3回)



5月22日

●『オルセー美術館展2010「ポスト印象派」』関連シンポジウム
「ポスト印象派とその時代—1880~90年代のフランス絵画—」

主催：国立新美術館、日仏美術学会、日本経済新聞社

日時：7月24日(土)10時30分~16時45分

・基調講演「混沌の時代の絵画を横断する—アカデミズムと自然主義を
中心に—」

三浦篤(東京大学教授)

・研究発表「『感覚』の位置—モネとセザンヌ—」

六人部昭典(実践女子大学教授)

・研究発表「装飾と写実のはざま—スーラと新印象主義の画家たち—」

坂上桂子(早稲田大学教授)

・研究発表「『自然』と『反自然』—ゴッホとゴーギャン—」

廣田治子(美術史家、多摩美術大学ほか講師)

・研究発表「『暗示』の手法—ルドンとその周辺—」

喜多崎親(一橋大学大学院教授)

・研究発表「総合芸術への志向と20世紀美術—ナビ派からカンディンス
キーへ—」

長屋光枝(学芸課主任研究員)

・全体討議「19世紀末の芸術が志向するもの—現実か夢か、科学か宗教
か—」

パネリスト：六人部昭典、坂上桂子、廣田治子、喜多崎親、長屋光枝

司会：三浦篤

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：250人

●講演会「シリーズ 美術雑誌と戦後美術—創り手たちの証言 第4回
関西のアートシーン 制作と批評の交差点 原久子氏(元『A&C』編
集者)」

日時：8月1日(日)14時~15時30分

講演：原久子(元『A&C』編集者)

聞き手：平井章一(情報資料室長/学芸課主任研究員)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：28人

●ICAF(Inter College Animation Festival)2010

主催：インターカレッジ・アニメーション・フェスティバル実行委員会

共催：日本アニメーション協会(JAA)、日本アニメーション学会(JSAS)

特別協力：国立新美術館、京都国際マンガミュージアム

協賛：アドビ システムズ株式会社、オートデスク株式会社、有限会社
神風動画、ダイキン工業株式会社、株式会社Too、一般社団法
人日本動画協会

日時：9月23日(木・祝)~26日(日)

会場：国立新美術館 講堂、研修室A, B

参加者数：1,128人

・映像作品上映

参加校：京都精華大学、女子美術大学、日本大学芸術学部、大垣女子
短期大学、東京デザイナー学院、大阪芸術大学、神戸芸術工
科大学、東京藝術大学、多摩美術大学、大阪成蹊大学、阿佐ヶ
谷美術専門学校、武蔵野美術大学、東京工芸大学、東京造形
大学

・特別プログラム「追悼・川本喜八郎」

日時：9月23日(木・祝)15時15分~17時15分

出演：古川タク、片山雅博、森まさあき、細川晋、なみきたかし

●講演会「シリーズ 美術雑誌と戦後美術—創り手たちの証言 第5回
美の荒廃から復興へ 小川熙氏(元『藝術新潮』編集者)」

日時：10月17日(日)14時~15時30分

講演：小川熙(元『藝術新潮』編集者)

聞き手：平井章一(情報資料室長/学芸課主任研究員)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：49人

●『第42回日展』関連イベント

主催：社団法人日展、国立新美術館

・講演会

開催日：10月30日(土)、31日(日)、11月3日(水・祝)、6日(土)、13日(土)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：669人(全5回)

・映像による作品解説

開催日：10月30日(土)、31日(日)、11月3日(水・祝)、6日(土)、13日(土)、20日(土)、23日(火・祝)、28日(日)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：1,458人(全10回)

・親子鑑賞教室

開催日：11月7日(日)、14日(日)、21日(日)

会場：国立新美術館 講堂および研修室

参加者数：167組442人(全6回)

・らくらく鑑賞会

開催日：11月8日(月)、15日(月)、22日(月)、29日(月)

会場：国立新美術館 第42回日展会場および研修室A

参加者数：31人(全4回)

●講演会「シリーズ 美術雑誌と戦後美術—創り手たちの証言 第6回 グローバリゼーション時代のアートメディア 小崎哲哉氏(元『ART IT』編集長)」

日時：12月12日(日)14時～15時30分

講演：小崎哲哉(元『ART IT』編集長)

聞き手：平井章一(情報資料室長／学芸課主任研究員)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：25人

●国立新美術館・政策研究大学院大学共催特別セミナー(第三回)

「ヨーロッパにおける博物館と地方自治体の連携について」

主催：政策研究大学院大学、国立新美術館

日時：2月16日(水)15時～16時30分

講演：クサビエ・グレフ(ソルボンヌ大学教授)

会場：国立新美術館 研修室A, B

参加者数：28人

東日本大震災の影響により中止または延期した事業

●TOKYO ANIMA! 2011 ※延期

主催：TOKYO ANIMA! 実行委員会、国立新美術館

日時：3月26日(土)、27日(日)

会場：国立新美術館 講堂、研修室A, B

・映像作品上映

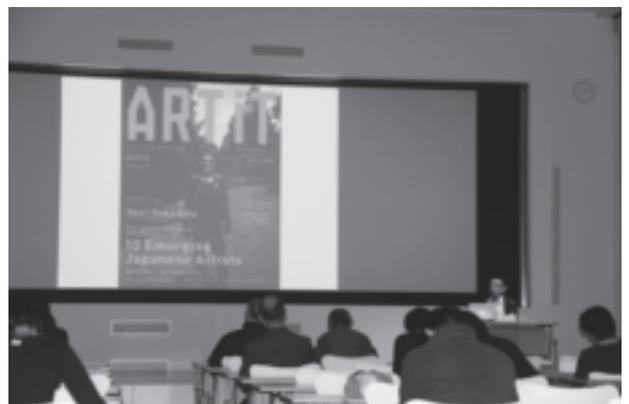
日時：3月26日(土)、27日(日)

出品作家：有吉達宏、岩崎宏俊、植草航、大西景太、大見明子、岡本将徳、奥田昌輝、折笠良、加藤隆、金東薫、北村愛子、クリハラカタシ、坂元友介、坂井治、銀木沙織、田中美妃、田村聡和、辻直之、土屋萌児、TOCHKA、野上寿綿実、橋本新、洞口祐輔、平山志保、三角芳子、水江未来、村井智、山田園子、若井麻奈美、和田淳

・アーティスト・トーク「『わたし』のアニメーション」

日時：3月26日(土)17時30分～18時30分

出演：和田淳、坂井治、土屋萌児、水江未来



12月12日

4-2 ワークショップ Workshops

●SFTギャラリー『南アフリカ・マスタークラフター』
ワークショップ「カラー・ワイヤーでつくる小物」
日時：4月24日(土)13時～14時30分、15時～16時30分
講師：エリオット・ムキーゼ、ノンムプセレロ・マブンデュラ(出品作家)
企画協力：駐日南アフリカ共和国大使館、南アフリカ通商産業省
会場：国立新美術館 地下1階SFTギャラリー横
対象：一般
参加者数：24人(全2回)

●ワークショップ「木ってなんだろう?～見て、聞いて、さわってみよう～」
日時：6月5日(土)13時30分～16時30分
講師：宮本茂紀(モデラー)
会場：国立新美術館 別館3階多目的ルーム他
対象：小学生
参加者数：23人
※ワークショップ記録写真スライドショーを、館内3階のディスプレイで上映した。

●『マン・レイ展』
記念ワークショップ「マン・レイのオモシロ写真、レイヨグラフを作ろう!」
日時：8月4日(水)、5日(木)、6日(金)14時～15時30分
講師：佐藤時啓(東京藝術大学教授)
企画協力：ニコン
会場：国立新美術館 研修室他
対象：小学生(親子)
参加者数：4日(水)15組30人、5日(木)11組23人、6日(金)5組11人

●アーティスト・ワークショップ「カラダで鑑賞!マン・レイさんの世界」
日時：8月29日(日)13時30分～16時
講師：伊藤千枝(ダンサー、振付家、珍しいキノコ舞踊団主宰)
会場：国立新美術館 別館3階多目的ルーム他
対象：小学生
参加者数：16人

●『陰影礼讃—国立美術館コレクションによる』
アーティスト・ワークショップ「カメラでとらえよう 風のそよぎ 光のゆらぎ」
日時：10月2日(土)13時～17時
講師：秋岡美帆(現代美術家、『陰影礼讃』展出品作家)
会場：国立新美術館 別館3階多目的ルーム他
対象：一般(小学校4年生以上)
参加人数：20人

●アーティスト・ワークショップ「私の線を集めよう」
日時：2月19日(土)13時30分～17時
講師：金田実生(画家)
会場：国立新美術館 別館3階多目的ルーム
対象：一般
参加者数：24人



6月5日



8月29日



2月19日

4-3 インターンシップ、ボランティア

Internships and Volunteering

インターンシップ

美術館事業に関心のある若手研究者や大学院生に実践的な研究や活動の場を提供し、人材育成を図るためのインターンシップを引き続き行った。平成22年度は展覧会事業、教育普及事業の2部門で6人を受け入れた。

浅井慧／岩崎美千子／岡坂桜子／東海林洋／土井玲子／門馬英美

サポート・スタッフ

美術館の活動に関心を持つ学生にボランティアによる活動支援を呼びかけ、実務体験の機会を提供するサポート・スタッフ制度を引き続き実施し、ボランティアの受け入れを行った。

平成22年度サポート・スタッフ 77人



4-4 その他の教育普及事業

Other Education and Public Programs

●国立新美術館ガイドブック『アートのとびらVol. 5』

作品鑑賞の充実を図るため、『陰影礼讃—国立美術館コレクションによる』の開催に合わせて、中学生以上を対象とした鑑賞ガイドブック『アートのとびら』を作成し、展覧会来場者に無料配布した。

平成22(2010)年9月8日発行、A5判、16ページ、図版カラー8点、25,000部(増刷10,000部を含む)

編集：学芸課教育普及室

執筆：吉澤菜摘、鳥居茜、西野華子

デザイン：梯耕治

●『ちいさなアーティスト・ファイル2011』

作品鑑賞の充実とサポートを目的に、『アーティスト・ファイル2011—現代の作家たち』の開催に合わせて、中学生以上を対象とした鑑賞用ツールを作成し、展覧会来場者に無料配布した。

平成23(2011)年3月16日発行、A5判、四つ折、図版カラー8点、28,000部

編集：学芸課教育普及室

執筆：吉澤菜摘、鳥居茜

デザイン：下田理恵



●「夏休みこどもたんけんツアー2010～新美術館のひみつをさがそう!～」

小学校3～6年生の児童を対象に、美術館のバックヤードを紹介するツアーを実施した。

日時：8月19日(木)、27日(金)14時30分～16時30分

対象：小学校3年生～6年生

参加者数：25人(全2回)

●鑑賞ガイダンス

学生、生徒、児童を対象に、作品鑑賞前に展覧会のレクチャーを行った。

参加者数：13団体462人

●施設ガイダンス

学生、生徒、児童を対象に、国立新美術館の建築や施設などを紹介する施設ガイダンスを行った。

参加者数：2団体10人

●美術館を活用した鑑賞教育の充実のための指導者研修

全国の小中学校等の教員と美術館の学芸員等を対象に、美術館を活用した鑑賞教育の充実と、学校と美術館との連携を図ることを目的とした指導者研修を行った。

主催：独立行政法人国立美術館

日時：7月26日(月)～28日(水)

会場：東京国立近代美術館(26日)、国立新美術館(27日、28日)

参加者数：112人

●平成22年度独立行政法人国立美術館キュレーター研修

受入：1人(7月5日(月)～9日(金))

●職業体験生徒受入

地域の学校からの職業体験生徒受入の依頼について、体験プログラムを実施し協力を行った。

日時：9月16日(木)、17日(金)

受入：六本木中学校生徒2名

●SFTギャラリーへの企画協力

より多くの人々がアートやデザインに触れる機会を設けるとともに、アーティストやデザイナーを支援し、発表の場を提供することを目的に、館内地下1階にあるSFTギャラリーへの展示企画の協力を行った。



5

情報資料収集・提供

Collection and Provision of the Library
and Information Services

5-1 美術関連資料の収集と公開

Collection and Provision of the
Library and Materials

5-2 JACプロジェクト

JAC Project

5-3 展覧会情報の収集と提供

Collection and Provision of the
Information Services

ホームページを通じて国立新美術館に関する基本情報を国内外に発信するとともに、全国的美術展の情報を収集し、ホームページ内に設けた検索システム「アートコモンズ」や館内のポスター掲示板、チラシ配付場所等で提供した。

美術に関する資料については、日本の美術展カタログの網羅的収集や、近現代美術・デザイン・建築・写真・メディアアートに関連する図書の収集に努めた。美術展カタログの収集に当たっては、関係機関、全国的美術館・博物館、個人からの寄贈に多くを負った。これらの資料は、本館3階のアートライブラリーと別館1階の特別資料閲覧コーナーで一般の利用に供した。また、当館で刊行した美術展カタログ等の印刷物を国内約400箇所、国外約100箇所の美術館・博物館、大学図書館等関連機関に送付した。

「JACプロジェクト」（日本の美術展カタログを国外の日本美術研究機関4箇所に寄贈する事業）については、引き続き欧米での資料の活用促進に努めた。こうした活動に対し、寄贈機関からも「JAC II」として国外での日本美術に関する展覧会カタログの寄贈を受けた。

また、9月から安齊重男氏撮影による現代美術の記録写真（ANZA「フォトアーカイブ」）のリストをホームページ上で公開し、事前予約制による特別資料閲覧コーナーでの公開を開始したほか、11月からアートライブラリーにおいて『アーティスト・ファイル』出品作家の関連資料の公開を開始した。さらに、外部講師による資料をテーマにした連続講演会を隔月に実施して、美術に関する資料の調査・研究活動を進展させた。

As well as using the webpage to provide basic information on NACT to visitors from Japan and overseas, we gathered details of exhibitions throughout the country and made this information available to the public via the Art Commons search system installed on the website and via posters and pamphlets at the museum.

We worked to assemble a comprehensive catalog of reference materials relating to exhibitions held throughout Japan, as well as collecting books on modern and contemporary art, design, architecture, photography, and the media arts. A large number of the catalogs in our collection were received through donations from sponsoring institutions, museums throughout Japan, and private individuals. These materials are made available to the public in the third-floor Art Library and in a special reading corner on the second floor of the museum annex. We also sent copies of our own catalogs and other printed materials to around 400 locations in Japan and 100 overseas, including museums, university libraries, and other related facilities.

The Japan Art Catalog (JAC) Project involves sending catalogs of Japanese art exhibitions to libraries at four institutions specializing in Japanese art overseas. In 2010 we continued to work on encouraging use of the materials in the West. As part of the JAC II Project, recipient institutions reciprocated by donating catalogs of Japanese art exhibitions held overseas.

In September 2010 we published a list of documentary photographs on contemporary art taken by Shigeo Anzai on our website and started to make available a special reading corner that visitors can consult on a reservation basis. Beginning in November, we started publication of materials relating to artists featured in the *Artist File* in the Art Library. We also held lectures by invited speakers on art-related materials on a bimonthly basis and worked to develop our surveys and research on art-related publications and materials.

5-1 美術関連資料の収集と公開 Collection and Provision of the Library Materials

美術関連資料の収集

●収集方針

日本で開催された展覧会のカタログの網羅的、遡及的収集を目指す。また、図書については、都内の国立美術館ライブラリー蔵書との重複を極力避け、国立新美術館が特にその紹介に力を入れている近現代美術、デザイン、建築、メディアアートに関するものを重点的に収集する。

●受贈 以下の大口寄贈を受けた

館貴子氏（館勝生氏旧蔵資料 展覧会カタログ124冊、図書73冊、雑誌50冊）

●所蔵資料数

図書・カタログ登録冊数

		図書		カタログ		合計冊数	
和書	購入	11,283	(1,172)	1,474	(388)	12,757	(1,560)
	受贈	13,144	(1,331)	66,646	(5,208)	79,790	(6,539)
	小計	24,427	(2,503)	68,120	(5,596)	92,547	(8,099)
洋書	購入	4,341	(941)	2,276	(393)	6,617	(1,334)
	受贈	2,720	(203)	5,684	(636)	8,404	(839)
	小計	7,061	(1,144)	7,960	(1,029)	15,021	(2,173)
計		31,488	(3,647)	76,080	(6,625)	107,568	(10,272)

※()内は平成22年度増加冊数

逐次刊行物登録タイトル数

和雑誌	洋雑誌	年報・紀要類
1,409	203	767

※雑誌の中にはマイクロ資料、AV資料、ニュースレターを含む

美術関連資料の公開

1. アートライブラリー(3階)

●利用統計

	開室日数	入室者数	閉架書庫出納冊数	コピー枚数
平成22(2010)年4月	26	2,641	575	2,259
5月	27	3,917	841	1,951
6月	25	3,880	653	1,924
7月	27	4,460	535	1,939
8月	26	3,961	977	2,185
9月	26	2,482	939	1,419
10月	27	3,392	819	2,170
11月	25	3,401	556	1,418
12月	18	2,342	647	1,677
平成23(2011)年1月	24	1,515	471	1,807
2月	24	2,377	704	1,434
3月※	10	781	248	1,066
合計	285	35,149	7,965	21,249

※東日本大震災の影響により3月12日(土)、14日(月)～31日(木)は休室

●利用時間

開室時間：11時～18時

休室日：毎週火曜日(祝日の場合は開室し、翌日休室)、年末年始、特別整理期間

●アートライブラリー内所蔵資料紹介コーナー「話のたね」

- ・「メディア芸術—日本のマンガやアニメに関する資料」平成22(2010)年1月13日(水)～4月8日(木)
- ・「ブリツカー賞」4月9日(金)～6月16日(水)
- ・「万博のバビリオン」6月17日(木)～8月9日(月)
- ・「環境と現代のアート」8月11日(水)～10月11日(月・祝)
- ・「荒川修作」10月13日(水)～12月5日(日)
- ・「美術品にまつわる犯罪とアートマーケット」12月6日(月)～平成23(2011)年5月9日(月)

●資料展示

- ・「日本国際美術展(東京ビエンナーレ)」平成22(2010)年3月16日(水)～平成23(2011)年4月4日(月)

2. 特別資料閲覧コーナー(別館1階)

●利用統計

開室日数：92日

※東日本大震災の影響により3月17日(木)、18日(金)、24日(木)、25日(金)、31日(木)は休室

利用者数：41名

●特別資料閲覧の対象となっている資料

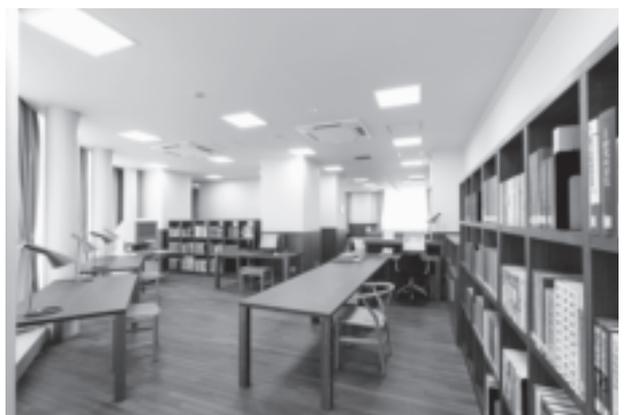
1969年以前に国内で刊行された展覧会カタログ：2,991冊
痛みがひどく取り扱いに注意を要する資料：615冊
美術・デザイン・建築以外の分野に関する図書：1,607冊
国内の美術館・博物館・大学等の年報・紀要：693タイトル
国外の美術館・博物館・大学等の年報・紀要：74タイトル
美術館・博物館等のニュースレター：684タイトル
すでに終刊した日本の美術雑誌：539タイトル
マイクロ資料：タイトル(図書78冊、雑誌16タイトル)
ANZAⅰフォトアーカイブの写真：3,217点

●利用時間

事前予約制

開室日時：毎週木、金曜日、13時～17時

(木、金曜日が祝日、振替休日にあたる場合および年末年始は休室)



5-2 JACプロジェクト JAC Project

●送付先

フリーア美術館+アーサー・M.サックラー美術館 図書室(スミソニアン研究所)
 コロンビア大学 エイヴリー建築美術図書館
 ライデン大学 東亜図書館
 シドニー大学 フィッシャー図書館

●送付資料数：1,812冊

内訳(冊)	送付先	送付資料数
	フリーア	480
	コロンビア	170
	ライデン	805
	シドニー	357

●「JAC II プロジェクト」による受入れ資料数：102冊

内訳(冊)	送付先	送付資料数
	北米日本研究資料調整委員会(NCC)	84
	フリーア	2
	コロンビア	0
	ライデン	4
	シドニー	12



5-3 展覧会情報の収集と提供 Collection and Provision of the Information Services

アート commons(展覧会情報検索システム)

平成22年度において、3,714件の展覧会情報(1,028の美術館・美術団体・画廊)を収集した。平成21年度に引き続き、国立美術館本部が進めるアート commons上の展覧会情報と国立4美術館の所蔵作品情報、国立新美術館と東京国立近代美術館の所蔵図書資料情報を横断的に検索する事業(試行版)に協力し、展覧会情報の利用の促進を図った。

展覧会チラシ、ポスターの収集と展覧会情報提供

全国の美術館や博物館などから送付された展覧会チラシやポスターの一部を、館内複数箇所に掲示、配付し、来館者へ情報提供を行った。また、終了した展覧会の情報についても、当該年度分のチラシをアートライブラリーで来館者の求めに応じて閲覧に供した。

『日本の美術展覧会開催実績1945-2005』の刊行

1945年から2005年までの日本の美術展覧会の開催情報を中島理壽参与と監修のもと、調査、収集し冊子として刊行した。この事業は、文化庁が平成14年度より実施していた事業を引き継いだもので、今回の刊行に当たり収録館を増やした。冊子は全国の美術館・博物館等施設に配布し、当館のホームページからデジタルデータでの公開も行い、情報が広く利用されるよう努めた。



6

広報・出版

Publicity and Publications

6-1 印刷物

Publications

6-2 ホームページ

Website

6-3 広報活動

Publicity Activities

6-1 印刷物 Publications

カタログ Catalogue

●『ルーシー・リー』展覧会カタログ

平成22(2010)年4月28日発行、B5変型(206×206mm)、336ページ、
 図版カラー243点・白黒59点、20,000部(国立新美術館のみ)
 編集：東京国立近代美術館、国立新美術館、日本経済新聞社文化事業部
 執筆：金子賢治、出川哲郎、北村仁美、小山耕一、石崎泰之、今井陽子、
 唐澤昌宏、菅野ももこ、長谷川珠緒、横堀聡、内藤裕子
 翻訳：ルース・S.マクレリー
 デザイン：今井千恵子(n.b graphics)
 制作：コギト
 発行：日本経済新聞社



●『オルセー美術館展2010「ポスト印象派」』展覧会カタログ

平成22(2010)年5月26日発行、A4変型(286×228mm)、244ページ、
 図版カラー115点・白黒24点、69,500部
 編集：国立新美術館、日本経済新聞社
 執筆：ギ・コジュヴァル、ステファン・ゲガン、シルヴィ・パトリ、
 長屋光枝、阿部真弓、山田由佳子
 翻訳：福満葉子、阿部真弓、安藤智子、小泉順也、中島恵、
 山田由佳子、米田尚輝、小川隆久、小川カミュー
 校正：岩田高明
 レイアウト：梯耕治
 制作：印象社
 発行：日本経済新聞社



●『マン・レイ展』展覧会カタログ

平成22(2010)年7月14日発行、B5変型(246×205mm)、368ページ、
 図版カラー415点、10,000部(巡回会場分も含む)
 監修：福のり子、ジョン・ジェイコブ
 編集：国立新美術館、国立国際美術館、日本経済新聞社文化事業部
 執筆：福のり子、ジョン・ジェイコブ、南雄介
 翻訳：スタンリー・N.アンダソン、小林明子、加藤絢、植松由佳、
 福のり子
 デザイン：桑畑吉伸
 制作：コギト
 発行：日本経済新聞社



●『陰影礼讃—国立美術館コレクションによる』展覧会カタログ

平成22(2010)年9月8日発行、A4変型(290×214mm)、196ページ、
 図版カラー199点・白黒51点、4,700部
 編集：国立新美術館、東京国立近代美術館、京都国立近代美術館、国
 立西洋美術館、国立国際美術館
 執筆：大谷省吾、小林美香、櫻井聖子、陣岡めぐみ、中尾優衣、中西
 博之、西野華子、林直、牧口千夏、増田玲、宮島綾子
 翻訳：クリストファー・スティヴンズ
 編集協力：リーヴル
 編集補助：岩崎美千子
 デザイン：梯耕治
 発行：独立行政法人国立美術館



●『没後120年 ゴッホ展 Van Gogh: The adventure of becoming an artist』展覧会カタログ(並装版)

平成22(2010)年10月1日発行、A4変型(290×227mm)、248ページ、
 図版カラー123点・白黒74点、60,000部
 編集：クリス・ストルウェイク、レンスカ・サウファー、国立新美術館、

名古屋市美術館、東京新聞、中日新聞社、TBS

執筆：ヘルウィーゾ・ベルハー、エステ・ディールチェス、エラ・ヘンドリクス、シラール・ファン・ヒューフテン、クリス・ストルウェイク、レンスカ・サウファー、アウケ・フェルヘースト、深谷克典
翻訳：リンネ・リチャーズ、ディアンネ・ウェブ、平井章一、本橋弥生、工藤弘二、深谷克典、原沢暁子、横山由紀子、マーサ・マクリントク
デザイン：桑畑吉伸
制作：コギト
発行：東京新聞、中日新聞社、TBS



●『没後120年 ゴッホ展 Van Gogh: The adventure of becoming an artist』
展覧会カタログ(上製本)
平成22(2010)年10月1日発行、A4変型(297×233mm)、272ページ、
図版カラー123点・白黒74点、15,000部
編集：クリス・ストルウェイク、レンスカ・サウファー、国立新美術館、
名古屋市美術館、東京新聞、中日新聞社、TBS
執筆：ヘルウィーゾ・ベルハー、エステ・ディールチェス、エラ・ヘンドリクス、
シラール・ファン・ヒューフテン、クリス・ストルウェイク、レンスカ・サウファー、
アウケ・フェルヘースト、深谷克典
翻訳：リンネ・リチャーズ、ディアンネ・ウェブ、平井章一、本橋弥生、
工藤弘二、深谷克典、原沢暁子、横山由紀子、マーサ・マクリントク
デザイン：桑畑吉伸
制作：コギト
発行：東京新聞、中日新聞社、TBS

●『シュルレアリスム展—パリ、ポンピドゥセンター所蔵作品による—』
展覧会カタログ
平成23(2011)年2月9日発行、A4変型(300×225mm)、296ページ、
図版カラー247点・白黒69点
発行部数：10,000部(初版)、15,000部(第2版)
編集：国立新美術館、読売新聞東京本社 文化事業部
執筆：ディディエ・オットアンジェ、南雄介、阿部真弓、米田尚輝、
カロリーヌ・ハンコック
翻訳：長谷川晶子、宮島綾子、大澤啓、フィリップ・ベルテ、太田聡
編集協力：東海林洋
デザイン：山田政彦
制作：インターパブリカ
発行：読売新聞東京本社



●『アーティスト・ファイル2011—現代の作家たち』展覧会カタログ
*本カタログは8冊の作家ファイルとイントロダクションによって構成されている
「イントロダクション」
「ファイル025 クリスティン・ベイカー」
「ファイル026 バードヘッド」
「ファイル027 タラ・ドノヴァン」
「ファイル028 岩熊力也」
「ファイル029 鬼頭健吾」
「ファイル030 松江泰治」
「ファイル031 ビョルン・メルフス」
「ファイル032 中井川由季」
平成23(2011)年3月16日発行、9分冊、A4変型(280×210mm)、箱付き
(295×218×40mm)、4,500部
作家ファイル各32ページ8冊・イントロダクション4ページ(計260ページ)、
図版カラー214点・白黒19点
編集：国立新美術館 長屋光枝、西野華子、小林明子、山田由佳子
執筆：福永治、南雄介、長屋光枝、西野華子、平井章一、宮島綾子、
本橋弥生
翻訳：スタンリー・N. アンダソン、クリストファー・スティヴンズ、
ギャビン・フルー
デザイン：下田理恵(da.)
発行：国立新美術館



ポスター、チラシ、出品目録 Poster and Flier and List of Works

●『ルーシー・リー展』

ポスター



B1判、200部
他 B2判、8,000部
B3判(2種)、各1,100部

出品目録

仕上りA4判、8ページ、経本折、80,000部

チラシ



A4判(297×210mm)、
130,000部(割引なし)、
260,000部(割引付き)、
先行配布；A4判、150,000部

デザイン：高田恵子
(TAKADA Design Room)

●『陰影礼讃—国立美術館コレクションによる』

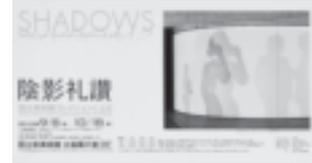
ポスター



B1判、750部



B3判、3,500部



B3変型(インターサイズ)、1,350部

チラシ



仕上りA4判、二つ折、
100,000部

デザイン：梯耕治

出品目録

仕上りA4判、二つ折、21,000部

●『オルセー美術館展2010「ポスト印象派」』

ポスター



B1判(4種)、各200部
他 B0判(6種)、各100部
B2判(4種)、各3,500部
B3判(4種)、各12,000部

出品目録

仕上りA4判、二つ折、4ページ、700,000部

チラシ



仕上りA4判、巻三つ折、
330,000部(割引なし)、
420,000部(割引付き)
先行配布；A4判、100,000部

デザイン：大島デザイン室
(大島依提亜、勝部浩代)

●『没後120年 ゴッホ展』

ポスター



B1判、300部
他 B0判(6種)、332部
B2判、5,044部
B3判(7種)、64,400部

デザイン：グッドデザインカンパニー

出品目録

仕上りA4判、二つ折、4ページ、200,000部(初版)、250,000部(再版)、
英語版：3,000部

チラシ



仕上りA4判、二つ折、400,000部
A4判、500,000部

デザイン：グッドデザインカンパニー

先行配布：A4判、250,000部

デザイン：博報堂

●『マン・レイ展』

ポスター



B1判、300部
他 B3判、9,000部

出品目録

仕上りA4判、経本折、8ページ、50,000部、英語版；5,000部

チラシ

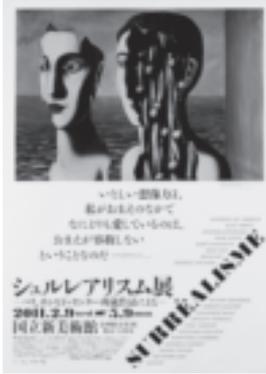


A4判、385,000部

デザイン：下田理恵(da.)

●『シュルレアリスム展—パリ、ポンピドゥセンター所蔵作品による—』

ポスター



チラシ



A 4判(2種)、 仕上りA 4判、二つ折、450,000部
80,000部

B 1判(4種)、440部

他 B 0判(4種)、80部

B 1判(4種)、440部

B 2判(2種)、3,800部

B 3判(2種)、7,300部

B 3判(中吊り)、7,730部

デザイン：アリヤマデザインストア
(有山達也、池田千草、中島美佳)

出品目録

仕上りA 4判、観音折、8ページ、100,000部(初版)、フランス語版：10,000部(初版)

●『アーティスト・ファイル2011—現代の作家たち』

ポスター



B 3判、3,000部



B 3変型(インターサイズ)、
510部

チラシ



A 4判、100,000部

B 1判、750部

デザイン：下田理恵(da.)

出品目録

A 4変型(仕上り280×210mm)、二つ折、4ページ、40,000部

フロアガイド、スケジュール類 Floor Guide, Exhibition Schedule, etc.

●国立新美術館展覧会スケジュール 2010.4-9

仕上り210×100mm、巻三つ折、100,000部



●国立新美術館展覧会スケジュール 2010.10-2011.3

仕上り210×100mm、巻三つ折、100,000部



●国立新美術館 美術館ニュース No.14

平成22(2010)年4月30日発行、A4判、8ページ、5,000部
表紙デザイン：佐藤可士和

目次：

- ・『アーティスト・ファイル2010—現代の作家たち』
「“横軸”の存在意義 『アーティスト・ファイル』雑感」
平井章一(学芸課主任研究員)
「今年も参加 『六本木アートナイト2010』」
- ・『ルーシー・リー展』
「ルーシー・リー—その作品にむけられた眼差し」
長谷川珠緒(学芸課研究補佐員)
- ・研究員レポート
「『アーティスト・ファイル』という構想 作家、研究員、美術館」
福永治(副館長)
- ・書架のあいだから「その外側への誘い—安齋重男の『黒枠』」
三塚義隆(学芸課研究補佐員)
- ・教育普及事業レポート
アーティスト・ワークショップ
「バラモデルといっしょにプラレールであそぼう」
アーティスト・ワークショップ
「人形作家とつくる、オリジナルキャラクター」
吉澤菜摘、鳥居茜(学芸課研究補佐員)
- ・公募団体等の活動
「これからの新制作展とは」
新制作協会 運営委員会



●国立新美術館 美術館ニュース No.16

平成22(2010)年10月29日発行、A4判、8ページ、5,000部
表紙デザイン：佐藤可士和

目次：

- ・『陰礼礼讃—国立美術館コレクションによる』
「造形の影・象徴の影」
遠山公一(慶應義塾大学文学部教授)
- ・『没後120年 ゴッホ展』
「新しいファン・ゴッホ書簡全集—『伝記的』名声を支える情報源の決定版—」
関府寺司(大阪大学文学研究科教授)
- ・書架のあいだから
「日本の美術を世界へ—国際交流基金の展覧会カタログ」
力丸彩子(学芸課研究補佐員)
- ・教育普及事業レポート
ワークショップ
「木ってなんだろう?～見て、聞いて、さわってみよう～」
夏休みアーティスト・ワークショップ
「カラダで鑑賞!マン・レイさんの世界」
鳥居茜(学芸課研究補佐員)
- ・公募団体等の活動
「充実した書道文化の発信を目指して—毎日書道会」
毎日書道展事務局



●国立新美術館 美術館ニュース No.15

平成22(2010)年7月30日発行、A4判、8ページ、5,000部
表紙デザイン：佐藤可士和

目次：

- ・『オルセー美術館展2010「ポスト印象派」』
「『ポスト印象派』—1880～90年代の多彩なるフランス絵画」
三浦篤(東京大学総合文化研究科教授)
- ・『マン・レイ展』
「マン・レイ展：無頓着、しかし無関心でなく」
ジョン・ジェイコブ(インゲ・モラス財団ディレクター、本展監修者)、福のり子(京都造形芸術大学教授、本展監修者)
- ・書架のあいだから
「アトライブラリー—司書の日常より」
窪内美緒(学芸課研究補佐員)
- ・教育普及事業レポート
「森から始まるリレートーク」
吉澤菜摘(学芸課研究補佐員)
- ・公募団体等の活動
「読売書法展開催に当たって」
読売書法会事務局



●国立新美術館 美術館ニュース No.17

平成23(2011)年1月31日発行、A4判、8ページ、5,000部
表紙デザイン：佐藤可士和

目次：

- ・『シュルレアリスム展—パリ、ポンピドゥセンター所蔵作品による—』
「デュシャン、ブルトンを語る」
アンドレ・パリノー(訳・解題：米田尚輝(学芸課研究補佐員))
- ・研究員レポート
「マローティ・ゲーザ：20世紀初頭にハンガリーがみた夢—ヴェネツィア・ビエンナーレのハンガリー館」
本橋弥生(学芸課主任研究員)
- ・書架のあいだから
「『アーティスト・ファイル展資料』—『糸』のように人とアートを繋ぐ」
高橋麻衣子(学芸課研究補佐員)
- ・教育普及事業レポート
アーティスト・ワークショップ
「カメラでとらえよう 風のそよぎ 光のゆらぎ」
大きな文字の利用案内
吉澤菜摘(学芸課研究補佐員)
- ・公募団体等の活動
「国展—新しい時代へ—」
国展会事務局



活動報告 NACT Report

- 平成21年度 国立新美術館 活動報告
平成22(2010)年5月31日発行、A4判、118ページ、800部
表紙デザイン：佐藤可士和



ガイドブックその他 Guide Book, etc.

- 国立新美術館ガイドブック『アートのとびらVol. 5』
平成22(2010)年9月8日発行、A5判、16ページ、図版カラー8点、
25,000部
編集：学芸課教育普及室
執筆：吉澤菜摘、鳥居茜、西野華子
デザイン：梯耕治



- 『ちいさなアーティスト・ファイル2011』
平成23(2011)年3月16日発行、仕上りA5判、四つ折、図版カラー8点、
28,000部
編集：学芸課教育普及室
執筆：吉澤菜摘、鳥居茜
デザイン：下田理恵



- 日本の美術展覧会開催実績1945-2005
平成22(2010)年12月20日発行、A4判横、1,296ページ、600部



6-2 ホームページ Website

国立新美術館ホームページは国立新美術館の多彩な活動について利用者に分かりやすく情報を伝える媒体としての役割に加え、平成22(2010)年度においては美術関連資料データベースのインターネット上での公開を進めた。

The NACT website aims to communicate information about our diverse activities to users in an easy-to-understand format. In addition, in fiscal 2010, we worked to make our database of art-related reference materials available online.

- ・パソコンや携帯電話で閲覧可能なホームページで情報を伝えるほか、『アーティスト・ファイル2011』について視覚的な効果を多用して同展への興味や関心を持ってもらうことを目的とした特設ウェブサイトを公開した。
- ・国立新美術館が所蔵する安齋重男氏撮影の写真資料群に関する書誌的情報の検索システム「ANZA」フォトアーカイブ」および中島理壽氏監修の『日本の美術展覧会開催実績1945-2005』を基とした検索システム「日本の美術展覧会記録1945-2005」を公開した。
- ・国立新美術館の活動を携帯電話などでも手軽に閲覧できることを目指して、メールマガジンを平成21(2009)年12月より月1回発行している。臨時休館の告知などの広報媒体としても使用している。約2,300名が受信登録している。



総アクセス数(閲覧されたページ数)：11,754,976件

うち、英語ページ：281,725件
 ドイツ語ページ：9,368件
 スペイン語ページ：7,054件
 フランス語ページ：8,143件
 韓国語ページ：13,215件
 中国語ページ：14,354件

携帯サイト：504,773件

6-3 広報活動 Publicity Activities

国立新美術館を周知するための活動として、メディア各社へ向けて展覧会の情報を発信した。また、取材対応や展覧会プレスリリースの配信、記者発表会に加え、平成22(2010)年度は入場者1000万人達成セレモニーへの取材誘致や、自主企画展特設サイト設置に伴うウェブサイトへの取材誘致を積極的に行うなど、美術愛好家のみならず幅広い層への認知度の向上を図った。

We worked to raise the profile of the NACT by sending publicity on exhibition events to a wide variety of media outlets. In addition to dealing with requests from the press, distributing press releases, and holding press conferences, in fiscal 2010 we were proactive in encouraging media coverage of events, such as a ceremony held to celebrate the museum's achievement in attracting 10 million visitors and a website launched to promote independently produced, annual exhibitions, *ARTIST FILE 2011* to increase awareness of NACT as widely as possible.

平成22年度掲載記事、放映 Media Publicity April 2010 - March 2011

新聞

No. 紙名	発行	発行日	内容
1 日本経済新聞	日本経済新聞社	4月8日	『アーティスト・ファイル2010』展
2 産経新聞	産経新聞社	4月14日	『アーティスト・ファイル2010』展
3 朝日新聞	朝日新聞社	4月15日	『アーティスト・ファイル2010』展
4 毎日新聞	毎日新聞社	6月16日	講演会「シリーズ 美術雑誌と戦後美術 一創り手たちの証言 第3回」
5 毎日新聞	毎日新聞社	7月28日	『陰影礼讃』展
6 INTERNATIONAL HERALD TRIBUTE	朝日新聞社	9月10日	『陰影礼讃』展
7 SANKEI EXPRESS	産経新聞社	9月14日	『陰影礼讃』展
8 日本経済新聞	日本経済新聞社	9月19日	『陰影礼讃』展
9 東京新聞	中日新聞社	10月22日	『陰影礼讃』展、『ゴッホ展』
10 読売新聞	読売新聞社	1月24日	『アーティスト・ファイル2011』展

他 93件(当館把握件数)

雑誌

No. 誌名	発行	発売号	内容
1 Pen	阪急コミュニケーションズ	5月号	『アーティスト・ファイル2010』展
2 CREA	文藝春秋	5月号	『アーティスト・ファイル2010』展
3 SWITCH	スイッチ・パブリッシング	5月号	『アーティスト・ファイル2010』展
4 Spring	宝島社	5月号	『アーティスト・ファイル2010』展
5 美術手帖	美術出版社	9月号	『陰影礼讃』展、『マン・レイ展』
6 芸術新潮	新潮社	9月号	『陰影礼讃』展、『マン・レイ展』
7 Hanako	マガジンハウス	9月号	『陰影礼讃』展
8 週刊新潮	新潮社	9月23日号	『陰影礼讃』展
9 美術の窓	生活の友社	2月号	『シュルレアリスム展』、『ワシントン・ナショナル・ギャラリー展』
10 ぴあ	ぴあ	3月17日号	『アーティスト・ファイル2011』展
11 ELLE JAPON	アシェット婦人画報社	4月号	『アーティスト・ファイル2011』展

他 156件(当館把握件数)

テレビ

No. 放映番組名	放送局	放映日	内容
1 日曜美術館アートシーン	NHK教育	4月11日	『アーティスト・ファイル2010』展
2 ニッポンが19世紀パリになる! 印象派名画大集合	NHKBSハイビジョン	6月5日	『オルセー美術館展』生中継
3 首都圏ネットワーク	NHK総合	9月3日	入場者数1000万人達成
4 レールに乗って	信越放送	9月11日	『陰影礼讃』展
5 日曜美術館アートシーン	NHK教育	9月26日	『陰影礼讃』展

他 11件(当館把握件数)

ラジオ

No. 放送番組名	放送局	放送日	内容
1 こんにちは! 鶴薪靖夫です	ラジオ日本	7月23日	美術館紹介 林田館長インタビュー
2 J-WAVE TOKYO MORNING RADIO	J-WAVE	9月9日	『陰影礼讃』展 宮島主任研究員出演

他 3件(当館把握件数)

その他、フリーペーパー、WEB等の掲載 180件(当館把握件数)

六本木アート・トライアングル

国立新美術館、サントリー美術館、森美術館の3館は、地図上で三角形を描く「六本木アート・トライアングル」として、展覧会観覧料の相互割引「あとり割」や「六本木アート・トライアングルMap + Calendar」の配布など、新しいアートの拠点を目指し、さまざまな連携に取り組んでいる。平成22(2010)年度は六本木アート・トライアングルのさらなる認知度向上を図るため、11月27日(土)～12月5日(日)に「あとりウィーク2010」を開催し、六本木ヒルズと東京ミッドタウンで「あとりバッジ」を配布した。用意した10,000個をすべて配りきり、バッジによる割引入館率は10.8%と、手応えのある結果となった。5周年を迎える次年度へ、弾みをつけることができた。

●六本木アート・トライアングルMap + Calendar 2010.4-9

国立新美術館、サントリー美術館、森美術館
平成22(2010)年4月発行、仕上り297×119mm、展開サイズ297×418mm、変型経本折

●六本木アート・トライアングルMap + Calendar 2010.10-2011.3

国立新美術館、サントリー美術館、森美術館
平成22(2010)年10月発行、仕上り297×119mm、展開サイズ297×418mm、変型経本折



●あとろウィーク2010

期間：平成22(2010)年11月27日(土)～12月5日(日)

概要：六本木ヒルズと東京ミッドタウンで配布する「あとろバッジ」の提示で、上記の期間中、国立新美術館『没後120年 ゴッホ展』を100円割引、サントリー美術館『歌麿・写楽の仕掛け人 その名は蔦屋重三郎』を100円割引、森美術館『小谷元彦展：幽体の知覚』を200円割引とした。

バッジ入館者数：388人 ※3館合計：1,078人(入館率10.8%/配布10,000個)



福永治 FUKUNAGA Osamu

【執筆】

- ・「研究員レポート『アーティスト・ファイル』という構想』／『国立新美術館ニュース』No.14(4月)／国立新美術館
- ・「澄川喜一展によせて」／『新美術新聞』No.1230／10月21日／美術年鑑社
- ・「第64回和歌山県美術展覧会 審査評(工芸)」／『第64回和歌山県美術展覧会』展覧会カタログ／11月／和歌山県
- ・「JAAMプロジェクト講評」／『JAAMプロジェクト報告書』／2月／多摩美術大学
- ・「中井川由季の10年、その後」／『アーティスト・ファイル2011—現代の作家たち』展覧会カタログ／3月／国立新美術館

【海外出張】

- ・フランス／6月17日～23日／『セザンヌ展』に関する調査、出品交渉、関係者との打ち合わせのため

南雄介 MINAMI Yusuke

【執筆】

- ・「マン・レイとマルセル・デュシャン—出品作品についてのノート」／『マン・レイ展』展覧会カタログ／7月／日本経済新聞社
- ・「マルセル・デュシャンとシュルレアリスム」、[作品・作家解説]／『シュルレアリスム展—パリ、ポンピドゥセンター所蔵作品による—』展覧会カタログ／2月／読売新聞東京本社
- ・「シュルレアリスム展—パリ、ポンピドゥセンター所蔵作品による—20世紀最大の芸術運動が、今ここによみがえる」／『新美術新聞』／2月／美術年鑑社
- ・「知っているようで知らないシュルレアリスム早わかり」(解説)／『芸術新潮』／2月／新潮社
- ・「若熊力也の絵画について」／『アーティスト・ファイル2011—現代の作家たち』展覧会カタログ／3月／国立新美術館
- ・「市川武史」／『VOCA展2011 現代美術の展望—新しい平面の作家たち』展覧会カタログ／3月／『VOCA展』実行委員会、財団法人日本美術協会・上野の森美術館
- ・「ぎざりりいモール 国立新美術館『シュルレアリスム展』から」／『読売新聞』3月1日(夕刊)／読売新聞東京本社

【講演等】

- ・「マン・レイの魅力」(横尾忠則との対談)／『マン・レイ展』記念対談／7月17日／国立新美術館
- ・「展覧会レクチャー」／『マン・レイ展』マン・レイ誕生祭イベント／8月27日／国立新美術館
- ・「戦後日本の現代美術 その国際性をめぐって」／米国学芸員招聘プログラム／3月8日／国際交流基金
- ・「パリ、ポンピドゥセンター所蔵作品による『シュルレアリスム展』の見どころ」／朝日カルチャーセンター公開講座／3月24日／朝日カルチャーセンター新宿

【海外出張】

- ・アメリカ／6月9日～14日／企画展に関わる調査ならびに交渉のため
- ・中国／11月6日～13日／国際博物館会議(ICOM)総会ならびに国際近代美術館会議(CIAMAM)総会への出席ならびに中国の美術状況の調査のため
- ・フランス／11月21日～26日／企画展に関わる調査ならびに交渉のため

平井章一 HIRAI Shoichi

【執筆】

- ・「今年も参加 『六本木アートナイト2010』」／『国立新美術館ニュース』No.14(4月)／国立新美術館
- ・「なお続く『具体』検証の動き 欧米で再評価先行、日本で機関紙復刻」／『毎日新聞』7月27日／毎日新聞社
- ・「ファン・ゴッホの小宇宙」／『美術の窓』第29巻第10号(通巻344号)／8月／生活の友社

- ・「自然への畏怖、生命の崇高」／『東京新聞』9月30日／東京新聞
- ・「ゴッホ作品の二面性」／『暮らすめいと』第24号／10月／東京新聞
- ・「La rivista "Gutai"」／『GUTAI: DIPINGERE CON IL TEMPO E LO SPAZIO』10月／Museo Cantonale d'Arte Lugano, Silvana Editoriale
- ・「無骨でまじめな努力家」／『小学図書館ニュース』第895号付録／11月28日／少年写真新聞社
- ・「アート・トーキング『フィンセント・ファン・ゴッホ《アルルの寝室》』」／『日本経済新聞』12月9日／日本経済新聞社
- ・「バードヘッドと今回の出品作品について」／『アーティスト・ファイル2011—現代の作家たち』展覧会カタログ／3月／国立新美術館

【翻訳】

- ・エラ・ヘンドリクス「ファン・ゴッホの指紋」／『没後120年 ゴッホ展』展覧会カタログ／10月／東京新聞、中日新聞社、TBS

【講演等】

- ・「ゴッホ その生涯と芸術」／青学オープンカレッジ／9月1日、8日、10月6日／青山学院大学(9月1日、8日)、国立新美術館(10月6日)
- ・「具体美術協会の活動とその意義」／日仏美術学会 国際シンポジウム「戦後抽象美術における国際交流」／11月21日／日仏会館
- ・「私の経験から—美術館での研究、キュレーションとオーラルヒストリー—」／日本オーラル・ヒストリー・アーカイヴ 第2回シンポジウム「オーラル・アート・ヒストリーの実践」／11月27日／東京藝術大学

【海外出張】

- ・ドイツ、イタリア、スイス／3月5日～13日／具体美術協会に関する調査のため

長屋光枝 NAGAYA Mitsue

【執筆】

- ・「作品解説」33点、「抽象絵画の創設と1900年前後のフランス絵画—ヴァシリー・カンディンスキーの視点から」／『オルセー美術館展2010「ポスト印象派」』展覧会カタログ／5月／日本経済新聞社
- ・「鬼頭健吾—どこまでいっても表面しかありえない世界」、「ビョルン・メルフス」、[巻末資料 ビョルン・メルフス(略歴・展覧会歴・主要文献)]／『アーティスト・ファイル2011—現代の作家たち』展覧会カタログ／3月／国立新美術館

【講演等】

- ・『オルセー美術館展2010「ポスト印象派」』解説会／6月5日、7月3日／国立新美術館
- ・「総合芸術への志向と20世紀美術—ナビ派からカンディンスキーへ—」／『オルセー美術館展2010「ポスト印象派」』関連シンポジウム「ポスト印象派とその時代—1880～90年代のフランス絵画—」／国立新美術館、日仏美術学会、日本経済新聞社／7月24日／国立新美術館

宮島綾子 MIYAJIMA Ayako

【執筆】

- ・「コラム」 「西洋絵画の影と光」、「風景画の影と光」、[作家解説]6点／『陰影礼讃—国立美術館コレクションによる』展覧会カタログ／9月／独立行政法人国立美術館
- ・「絵画の力」／『アーティスト・ファイル2011—現代の作家たち』展覧会カタログ／3月／国立新美術館

【翻訳】

- ・ディディエ・オットアンジェ「ポンピドゥセンター・パリ国立近代美術館のコレクションにおけるシュルレアリスム」／『シュルレアリスム展—パリ、ポンピドゥセンター所蔵作品による—』展覧会カタログ／2月／読売新聞東京本社

【海外出張】

- ・アメリカ／11月28日～12月5日／平成22年度企画展『アーティスト・ファイル2011—現代の作家たち』の出品作家に関する調査およびその他の企画展に関する調査のため

西野華子 NISHINO Hanako

【執筆】

- ・[作家略歴] 7点/『陰影礼讃—国立美術館コレクションによる』展覧会カタログ/9月/独立行政法人国立美術館
- ・『アートのとびら 国立新美術館ガイドブックVol. 5』(吉澤菜摘、鳥居茜研究補佐員と共著)/9月/国立新美術館
- ・[タラ・ドノヴァン] [巻末資料 タラ・ドノヴァン(略歴・展覧会歴・主要文献)]/『アーティスト・ファイル2011—現代の作家たち』展覧会カタログ/3月/国立新美術館

【海外出張】

- ・アメリカ/6月9日～18日/平成22年度企画展『アーティスト・ファイル2011—現代の作家たち』出品交渉と作品調査および平成25年度企画展に関わる調査ならびに交渉のため
- ・ドイツ、スペイン/1月8日～16日/ドイツにおける展示施設の調査および平成23年度企画展『モダン・アート、アメリカン』出品作品調査のため

本橋弥生 MOTOHASHI-MÄKI-MANTILA Yayoi

【執筆】

- ・[松江泰治]/『アーティスト・ファイル2011—現代の作家たち』展覧会カタログ/3月/国立新美術館
- ・[北欧美術関係人名に関する42項目執筆]/『岩波 世界人名辞典(仮題)』/近刊予定/岩波書店
- ・[研究員レポート マローティ・ゲーザ:20世紀初頭にハンガリーがみた夢—ヴェネツィア・ピエンナーレのハンガリー館]/『国立新美術館ニュース』No.17(1月)/国立新美術館

【翻訳】

- ・レンスカ・サウファー「着想と解釈—ファン・ゴッホの版画コレクションがその芸術に与えた影響」、[作品解説]24点/『没後120年 ゴッホ展』展覧会カタログ/9月/東京新聞、中日新聞社、TBS

【講演等】

- ・[『没後120年 ゴッホ展』のみどころ]/朝日カルチャーセンター公開講座/10月28日/朝日カルチャーセンター新宿

室屋泰三 MUROYA Taizo

【執筆】

- ・第VI講「作品情報のアクセスと発信」/『全国美術館会議 情報・資料研究部会企画 セミナーII 美術情報・資料の活用—展覧会カタログからWebまで—』/9月/全国美術館会議 情報・資料研究部会
- ・[美術館の情報発信—参加する、つながる、共有する、ウェブの新時代]/『全国美術館会議 平成21年度第25回学芸員研修会 報告書 美術館の情報発信—参加する、つながる、共有する、ウェブの新時代—』/3月/全国美術館会議 情報・資料研究部会

【講演等】

- ・第VI講「作品情報のアクセスと発信」/全国美術館会議 情報・資料研究部会企画 セミナーII 美術情報・資料の活用—展覧会カタログからWebまで—/9月10日/愛知県美術館

三木哲夫(特任研究員) MIKI Tetsuo(Special Projects Curator)

【執筆】

- ・[『日本創作版画運動』関連年表 1904-1945]/『日本近代の青春 創作版画の名品』展覧会カタログ/9月/和歌山県立近代美術館、宇都宮美術館
- ・[恩地孝四郎年譜]/『新装普及版 恩地孝四郎 装本の業』/1月/三省堂

8

その他の事業

Other Programs and Events

●SFTギャラリー展示一覧

- ・utsuwa heartfelt
石田誠、尾形アツシ、小野哲平、巳亦敬一、村田森、矢澤寛彰、横山拓也、吉岡萬理
企画、構成：祥見知生
平成22(2010)年3月10日(水)～4月19日(月)
- ・南アフリカ・マスタークラフター
エスター・マスラング、レベッカ・マティーベ、エリオット・ムキーゼ、サイモン・マシロ、ノンムプセレロ・マブンデュラ
企画協力：駐日南アフリカ共和国大使館、南アフリカ通商産業省
4月21日(水)～7月5日(月)
- ・fresco展
デザイン・ディレクション：辻野剛
7月7日(水)～9月13日(月)
- ・「職人仕事の日本」倉敷意匠工房
イイホシユミコ、石川昌浩、オープンスタジオ、オケクラフト、小田原木地師、加成幸男、郡司さん家族、佐々木美穂、角南真由子、関美穂子、手染メ屋、野田珙瑯、山形鋳物、遊佐刺し子
9月15日(水)～10月18日(月)
- ・マグカップ、茶々チャ。
田中一光、中園義光、二川修、ゾイ・モリス
10月20日(水)～平成23(2011)年1月17日(月)
- ・工芸工業 丸若屋
丸若屋
1月19日(水)～3月14日(月)
- ・TABERU
石田誠、尾形アツシ、小野哲平、村田森
ディレクター：祥見知生
3月16日(水)～5月9日(月)

●別館1階展示コーナー

昭和3(1928)年建設の旧陸軍兵舎は、「日」の字型の構造を持ち、アールデコ調のデザインを取り入れた外壁など、ビルディング・タイプのモダンな旧陸軍初の鉄筋コンクリート建築であった。国立新美術館建設に伴い、建物は解体・撤去されることとなったが、建築上の歴史的価値に鑑み、その一部が国立新美術館別館として保存されている。

別館1階の展示コーナーでは、兵舎時代の建物の写真や図面、模型、解体前の調査報告書などを公開している。

開室日：毎週木、金曜日

(木、金曜日が祝日または休日にあたる場合、休館日および年末年始は休室)

開室時間：13時～17時

開室日数：92日

※東日本大震災の影響により3月17日(木)、18日(金)、24日(木)、25日(金)、31日(木)は休室

利用者数：1,856人

●ロビーコンサート

- ・クリスマスオペラコンサート
日時：12月15日(水)17時～18時
会場：国立新美術館 講堂
出演：新国立劇場オペラ研修所研修生・修了生
参加者数：260人
- ・ニューイヤークンサート ～ハーブ&フルートのタペ～
日時：1月21日(金)18時30分～19時30分
会場：国立新美術館 1階ロビー
出演：平野花子(ハーブ)、上野由恵(フルート)
参加者数：152人
- ・和楽器アンサンブルのタペ
日時：2月25日(金)18時30分～19時30分
会場：国立新美術館 1階ロビー
出演：日本音楽集団
参加者数：141人

東日本大震災の影響により中止または延期した事業

●六本木アートナイト2011 ※中止

主催：東京都、東京文化発信プロジェクト室(財団法人東京都歴史文化財団)、六本木アートナイト実行委員会(国立新美術館、サントリー美術館、東京ミッドタウン、21_21DESIGN SIGHT、森美術館、森ビル(株)、六本木商店街振興組合)

日時：3月26日(土)～27日(日)(コアタイム26日 日没～27日 日の出)

開催場所：国立新美術館、サントリー美術館、森美術館、21_21DESIGN SIGHT、東京ミッドタウン、六本木ヒルズ、六本木商店街、その他六本木地区の協力施設や公共スペース

当館プログラム：

3月26日(土)：

- ・『アーティスト・ファイル2011』展、『シュルレアリスム展』を22時まで開館延長 ※中止
- ・『アーティスト・ファイル2011—現代の作家たち』無料観覧の実施 ※中止
- ・『アーティスト・ファイル2011』展出品作家・鬼頭健吾、松江泰治によるアーティスト・トークの実施 ※中止
- ・『アーティスト・ファイル2011』展出品作家・鬼頭健吾による作品の屋外展示 ※中止
- ・1Fロビーで振付家、ダンサー・斉藤美音子とミュージシャン・知久寿焼によるスペシャルパフォーマンスの実施 ※延期
- ・3F講堂で「TOKYO ANIMA! 2011」作品上映会とシンポジウムの実施 ※延期

3月27日(日)：

- ・『アーティスト・ファイル2011』展出品作家・鬼頭健吾による作品の屋外展示 ※中止
- ・3F講堂で「TOKYO ANIMA! 2011」作品上映会の実施 ※延期



1月21日 ロビーコンサート

9

記録

Records

9-1 入場者数

Number of Visitors

9-2 予算

Revenue and Expenditure

9-3 企業協賛

Corporate Support

9-4 来館者サービス

Visitor Services

9-5 国際交流

International Exchanges

9-6 展覧会出品リスト

List of Works

9-7 名簿

The NACT Council and Staff List

9-1 入場者数 Number of Visitors

国立新美術館展覧会入場者数

年度	企画展			公募展			年間入場者数合計	入場者数累計
	展覧会数	開催日数	入場者数	展覧会数	開催日数	入場者数		
平成18	4	162	498,694	—	—	—	498,694	498,694
平成19	11	423	1,847,413	69	832	1,317,508	3,164,921	3,663,615
平成20	11	432	1,052,472	69	840	1,309,747	2,362,219	6,025,834
平成21	10	453	1,149,767	69	833	1,246,840	2,396,607	8,422,441
平成22	11	397	1,807,150	69	811	1,266,989	3,074,139	11,496,580

※平成18年度は開館(平成19年1月21日)から年度末(3月31日)までの統計である
 ※開催日数には、年度内に開催された全ての展覧会の開催日数合計を記した
 ※公募展の開催日数・入場者数は、当該年度第1会期から第50会期までの展覧会の統計である
 ※平成23(2011)年3月12日(土)、14日(月)、16日(水)～18日(金)、23日(水)～25日(金)は臨時休館

9-2 予算 Revenue and Expenditure

収入

事項	金額(単位:千円)
運営交付金	1,359,653
自己収入	548,319
合計	1,907,972

支出

事項	金額(単位:千円)
一般管理費	708,747
展示事業費	724,000
教育普及費(情報・資料事業費等を含む)	466,325
調査研究費	8,900
合計	1,907,972

※人件費は除く

9-3 企業協賛 Corporate Support

企業名	協賛事業
フリッツ・ハンセン	館内什器の寄附
東レ株式会社、鹿島建物総合管理株式会社、住友化学株式会社、三井不動産株式会社、三菱電機株式会社	海外に向けて美術情報を発信する活動(JACプロジェクト)への協賛
三菱商事株式会社	託児サービス事業への協賛
JXホールディングス株式会社	コンサート事業への協賛

9-4 来館者サービス Visitor Services

●付属施設

- ・レストラン：ブラスリー ポール・ボキューズ ミュゼ(3階)
- ・カフェ：サロン・ド・テ ロンド(2階)
 カフェ コキュー(1階)
 カフェテリア カレ(地下1階)
- ・ミュージアムショップ：スーベニア フロム トーキョー(SFT)
 SFTギャラリー(地下1階)

●観覧環境の整備

- ・多目的トイレの設置
- ・車椅子・ベビーカーの貸出
- ・オストメイト(人工肛門・人工膀胱)対応トイレの設置
- ・身体障害者用駐車場の整備
- ・授乳室(地下1階)の整備
- ・補聴器等への磁気誘導無線システムを講堂に設置(専用受信機10台)
- ・点字ブロック、展示表示の整備
- ・館内ディスプレイでの展覧会や講演会等の情報表示
- ・海外6ヶ国語版の利用案内(220×107mm、二つ折)を配布
- ・バリアフリー情報に特化した大きな文字の利用案内を配布

●託児サービス

育児支援および来館者サービスの一環として、託児サービスを実施した。

実施日：毎月第2木曜、第3日曜他 計27回

※東日本大震災の影響により3月20日(日)は中止

使用施設：国立新美術館 研修室

受入人数：256人

●独立行政法人国立美術館キャンパスメンバーズ

会員法人数：64法人(うち国立新美術館利用法人数；55法人)

国立新美術館利用者数：32,948人

●高校生等の観覧料無料化

・高校生または18歳未満の観覧無料展覧会：

『アーティスト・ファイル2010—現代の作家たち』

『陰影礼讃—国立美術館コレクションによる』

『未来を担う美術家たち DOMANI・明日展2010 文化庁芸術家在外研修の成果』

『アーティスト・ファイル2011—現代の作家たち』

・高校生特別無料招待日を設けた展覧会

『ルーシー・リー展』

『オルセー美術館展2010「ポスト印象派」』

『マン・レイ展』

『没後120年 ゴッホ展』

『シュルレアリスム展—パリ、ポンピドゥセンター所蔵作品による—』

●クレジットカードおよび電子マネーによる観覧券購入対応

クレジットカード：UC、MasterCard、VISA、JCB、AMEX、Diners Club、DISCOVER

電子マネー：Suica、PASMO、ICOCA、Kitaca、TOICA、SUGOCA、nimoca、はやかけん

●ぐるっとパス

平成22(2010)年4月1日～平成23(2011)年3月31日の期間、東京の美術館・博物館等共通入館券「東京・ミュージアムぐるっとパス2010」に参加。



託児サービス

9-5 国際交流 International Exchanges

氏名 Name

肩書

国・地域

滞在期間・来館日

来館目的

平成22年度招聘者 Guests April 2010 - March 2011

ルドルフ・ヴェルハーゲン Rudolf Velhagen

ラングマツト美術館 館長

スイス

4月6日、8日

『ルノワール展』撤去指導、作品輸送

アニタ・チャン Anita Chung

クリーヴランド美術館 レジストラ

アメリカ

4月7日

『ルノワール展』撤去指導

ロザリー・キャス Rosalie Cass

ロンドン・ナショナル・ギャラリー チーフ・レジストラ
イギリス

4月7日、9日

『ルノワール展』撤去指導、作品輸送

ジル・ケネディ=カーノハン Jill Kennedy-Kernohan

ボストン美術館 レジストラ

アメリカ

4月7日、9日

『ルノワール展』撤去指導、作品輸送

イザベル・コレット Isabelle Collet
プティ・パレ美術館 コンサヴァター
フランス
4月7日、9日
『ルノワール展』撤去指導、作品輸送

ジョー・オルバック Joe Holbach
フィリップス・コレクション チーフ・レジストラ
アメリカ
4月8日
『ルノワール展』撤去指導、作品輸送

サラ・ゲージ Sarah Gage
ヴィクトリア&アルバート美術館 エキシビション・アシスタント
イギリス
4月15日～21日
『ルーシー・リー展』作品輸送、展示指導

ジーン・ヴァシェ Jean Vacher
クラフツ・スタディー・センター コレクション・マネージャー
イギリス
4月15日～27日
『ルーシー・リー展』作品輸送、展示指導

アマンダ・ガイトナー Amanda Geitner
セインズベリー視覚芸術センター 学芸部長
イギリス
4月26日～27日
『ルーシー・リー展』展示指導、開会式出席

パット・カーター Pat Cater
クラフツ・スタディー・センター 副理事長
イギリス
4月27日
『ルーシー・リー展』開会式出席

キャスリン・サラ・ゴドウィン Kathryn Sara Godwin
大英博物館 ミュージアム・アシスタント
イギリス
6月22日
『ルーシー・リー展』撤去指導、作品輸送

アニカ・ポール Annika Pohl
ハンブルク美術工芸博物館 コレクション・マネージャー
ドイツ
6月22日
『ルーシー・リー展』視察、撤去指導

ヴァレリー・コルヴィーノ Valérie Corvino
ルーヴル美術館 学芸員
フランス
5月11日
『オルセー美術館展』作品輸送

アンヌ・ロックベール Anne Roquebert
オルセー美術館 学芸部長
フランス
5月11日
『オルセー美術館展』作品輸送

ドニ・チボー Denis Thibaud
オルセー美術館 管理会計部門
フランス
5月12日
『オルセー美術館展』作品輸送

フィリップ・ソニエ Philippe Saunier
オルセー美術館
フランス
5月12日
『オルセー美術館展』作品輸送

ブルーノ・モンタマ Bruno Montamat
オルセー美術館 コンサヴァター
フランス
5月13日
『オルセー美術館展』作品輸送

デルフィン・ベシャール Delphine Peschard
オルセー美術館 コンサヴァター
フランス
5月14日、17日～18日
『オルセー美術館展』作品輸送、展示指導

シルヴィ・パトリ Sylvie Patry
オルセー美術館 学芸員
フランス
5月14日、17日～21日、29日、8月17日～20日
『オルセー美術館展』作品輸送、展示・撤去指導、講演会

マルセル・ミコライチク Marcelle Mikolajczyk
オルセー美術館
フランス
5月15日
『オルセー美術館展』作品輸送

トマ・ガリフォ Thomas Galifot
オルセー美術館 学芸員
フランス
5月16日～18日
『オルセー美術館展』作品輸送、展示指導

カトリーヌ・アヴィラン Catherine Haviland
修復家
フランス
5月17日～21日
『オルセー美術館展』展示指導

ステファン・ゲガン Stephane Guegan
オルセー美術館 国際展部門長
フランス
5月25日、27日
『オルセー美術館展』講演会

ギ・コジュヴァル Guy Cogeval
オルセー美術館 館長
フランス
5月25日、7月25日
『オルセー美術館展』開会式出席、講演会

パトリック・マンドラン Patrick Mandron
修復家
フランス
8月17日～20日
『オルセー美術館展』撤去指導

アンドレ・カリウ André Cariou
カンパール美術館 館長
フランス
9月12日
『オルセー美術館展』作品輸送

ローランス・マデリーヌ Laurence Madeline
オルセー美術館 学芸員(文化教育サービス長)
フランス
9月13日
『オルセー美術館展』作品輸送

ミラン・ダルジャン Milan Dargent
オルセー美術館 警備長
フランス
9月14日
『オルセー美術館展』作品輸送

ウアリ・エディビ Oualid Hedhibi
オルセー美術館 館長室長補佐
フランス
9月14日
『オルセー美術館展』作品輸送

ジョエル・ボロック Joelle Bolloch
オルセー美術館 ドキュメンテーション担当
フランス
9月15日
『オルセー美術館展』作品輸送

マリア・コッペンズ Maria Coppens
オルセー美術館 学芸員
フランス
9月16日
『オルセー美術館展』作品輸送

ジャン・ノダン Jean Naudin
オルセー美術館 コンサヴァター
フランス
9月17日
『オルセー美術館展』作品輸送

オディール・ミシェル Odile Michel
オルセー美術館 作品管理部門長
フランス
9月18日
『オルセー美術館展』作品輸送

ジョン・ジェイコブ John P. Jacob
インゲ・モラス財団 ディレクター
アメリカ
7月6日～13日
『マン・レイ展』監修者

ステファニー・ブラウナー Stephanie Browner
マン・レイ財団 理事
アメリカ
7月9日～13日
『マン・レイ展』展示指導、開会式出席

エリック・ブラウナー Eric Browner
マン・レイ財団 理事
アメリカ
7月13日
『マン・レイ展』開会式出席

ハイディ・ファンダム Heidi Vandamme
ファン・ゴッホ美術館 広報部
オランダ
5月19日
『ゴッホ展』記者発表出席

ワンダ・フェルミューレン Wanda Vermeulen
クレラー＝ミュラー美術館 プレス・広報
オランダ
5月19日
『ゴッホ展』記者発表出席

カーライン・ベレンズ Karlijn Berends
ファン・ゴッホ美術館 レジストラール
オランダ
9月20日～30日
『ゴッホ展』作品輸送、展示指導、開会式出席

ディック・ドレント Dick Drent
ファン・ゴッホ美術館 セキュリティ主任
オランダ
9月20日～30日
『ゴッホ展』警備業務

アレクサンダー・ニッケン Alexander Nikken
ファン・ゴッホ美術館 シニア・アートハンドラー
オランダ
9月21日～29日
『ゴッホ展』作品輸送、展示指導

ベルナデット・ファン・ベーク Bernadette van Beek
クレラー＝ミュラー美術館 修復家
オランダ
9月22日～30日
『ゴッホ展』作品輸送、展示指導、開会式出席

シラール・ファン・ヒューフテン Sijaar van Heugten
美術史家
オランダ
9月23日～30日
『ゴッホ展』監修者

バステリアーン・ムーレン Bastiaan Muhren
クレラー＝ミュラー美術館 リサーチャー
オランダ
9月23日～30日
『ゴッホ展』作品輸送、展示指導、開会式出席

マライユ・フェレコーブ Marje Vellekoop
ファン・ゴッホ美術館 学芸員(版画・素描担当)
オランダ
9月24日～30日
『ゴッホ展』作品輸送、展示指導、開会式出席

エラ・ヘンドリクス Ella Hendriks
ファン・ゴッホ美術館 修復家
オランダ
9月25日～30日
『ゴッホ展』作品輸送、展示指導、開会式出席

クリス・ストルウェイク Chris Stolwijk
ファン・ゴッホ美術館 リサーチ主任
オランダ
9月26日～30日
『ゴッホ展』作品輸送、展示指導、開会式出席

アクセル・リュゲル Axel Rüger
ファン・ゴッホ美術館 館長
オランダ
9月28日～30日
『ゴッホ展』作品輸送、開会式出席

リック・ファン・クーツフェルト Rik van Koetsveld
ファン・ゴッホ美術館 マネージング・ディレクター
オランダ
9月30日
『ゴッホ展』開会式出席

ウィレム・ファン・ゴッホ Willem van Gogh
ファン・ゴッホ美術館 経営顧問
オランダ
9月30日
『ゴッホ展』開会式出席

エフェルト・J.ファン・ストラーテン Evert J. van Straaten
クレラー＝ミュラー美術館 館長
オランダ
9月30日
『ゴッホ展』開会式出席

リュック・デリアンス Luc Deliance
ファン・ゴッホ美術館 マーケティング主任
オランダ
9月30日
『ゴッホ展』開会式出席

マリオン・ウォルフ Marion Wolff
ファン・ゴッホ美術館 マーケティング・セールス
オランダ
9月30日
『ゴッホ展』開会式出席

リワディ・ファン・ファルケンフーフ Lidewij van Valkenhoef
クレラー＝ミュラー美術館 マーケティング・スポンサー活動
オランダ
9月30日
『ゴッホ展』開会式出席

マイーテ・ファン・ダイク Maite van Dijk
ファン・ゴッホ美術館 学芸員(絵画担当)
オランダ
12月21日～23日
『ゴッホ展』撤去指導、作品輸送

デヴィ・オズモンド Devi Osmond
ファン・ゴッホ美術館 修復家
オランダ
12月21日～23日
『ゴッホ展』撤去指導、作品輸送

フアード・カナーン Fouad Kanaan
ファン・ゴッホ美術館 レジストラール主任
オランダ
12月21日～23日
『ゴッホ展』撤去指導、作品輸送

セルジュ・タール Serge Taal
ファン・ゴッホ美術館 修復テクニシャン
オランダ
12月21日～23日
『ゴッホ展』撤去指導、作品輸送

ディック・ドレント Dick Drent
ファン・ゴッホ美術館 セキュリティ主任
オランダ
12月21日～23日
『ゴッホ展』撤去指導、作品輸送

ベルナデッテ・ファン・ベーク Bernadette van Beek
クレラー＝ミュラー美術館 修復家
オランダ
12月21日～23日
『ゴッホ展』撤去指導、作品輸送

ルーク・ファン・デア・ルーフ Luuk van der Loef
クレラー＝ミュラー美術館 修復家
オランダ
12月21日～23日
『ゴッホ展』撤去指導、作品輸送

クレール・デュケ Claire Duqué
ボンピドゥセンター・パリ国立近代美術館 レジストラール
フランス
1月26日、29日、1月31日～2月2日、5日
『シュルレアリスム展』作品輸送、展示指導

エリック・ロスピタリエ Eric L'Hospitalier
ボンピドゥセンター・パリ国立近代美術館 レジストラール
フランス
1月27日、29日、1月31日～2月2日、5日
『シュルレアリスム展』作品輸送、展示指導

ソフィー・スバルク Sophie Spalek
ボンピドゥセンター・パリ国立近代美術館 修復家
フランス
1月28日、29日、1月31日～2月5日
『シュルレアリスム展』作品輸送、展示指導

カミーユ・モランド Camille Morande
ボンピドゥセンター・パリ国立近代美術館 調査研究担当
フランス
1月29日、1月31日～2月5日
『シュルレアリスム展』作品輸送、展示指導

ディディエ・オットアンジェ Didier Ottinger
ボンピドゥセンター・パリ国立近代美術館 副館長
フランス
1月29日～2月5日、8日、11日
『シュルレアリスム展』展示指導、開会式出席、講演会

アルフレッド・パックマン Alfred Pacquement
ボンピドゥセンター・パリ国立近代美術館 館長
フランス
2月7日、8日
『シュルレアリスム展』展示視察、開会式出席

アレクサンドル・コリエックス Alexandre Colliex
ボンピドゥセンター・パリ国立近代美術館 国際部長
フランス
2月7日、8日、3月16日
『シュルレアリスム展』展示視察、開会式出席

エヴァ・ルウィット Eva Lewitt
タラ・ドノヴァン展示アシスタント
アメリカ
3月6日～13日
『アーティスト・ファイル2011』展展示指導

ヘイリー・ヒューズ・バーヂェス Haley Hughes Burgess
タラ・ドノヴァン展示アシスタント
アメリカ
3月6日～13日
『アーティスト・ファイル2011』展展示指導

タラ・ドノヴァン Tara Donovan
現代美術家
アメリカ
3月7日～13日
『アーティスト・ファイル2011』展展示指導

宋涛 Song Tao
現代美術家
中国
3月7日～16日
『アーティスト・ファイル2011』展展示指導

季炜煜 Ji Weiyu
現代美術家
中国
3月7日～16日
『アーティスト・ファイル2011』展展示指導

ユキ・ユンゲスブルート Yuki Jungesblut
ビョルン・メルフス展示アシスタント
ドイツ
3月7日～18日
『アーティスト・ファイル2011』展展示指導

鬼頭健吾 KITO Kengo
現代美術家
ドイツ
3月10日～16日
『アーティスト・ファイル2011』展展示指導

ビョルン・メルフス Bjørn Melhus
現代美術家
ドイツ
3月13日～19日
『アーティスト・ファイル2011』展展示指導

平成22年度来館者 Visitors April 2010 - March 2011

ビジェ・オラー Bige Örer
イスタンブールトリエンナーレ ディレクター
トルコ
4月14日
林田館長表敬訪問、視察

ミラン・ブフカ Milan Bufka
ブラハ市立ギャラリー 館長
チェコ
5月24日
林田館長表敬訪問、視察

殷福 Yin Fu
中国美術館 パーティーセクレタリー
中国
6月4日
林田館長表敬訪問、視察

ジョン・クラーク John Clark
シドニー大学 教授
オーストラリア
7月12日
林田館長表敬訪問

杉田千里 SUGITA Chisato
パリ日本文化会館 図書館主席司書
フランス
8月12日
アートライブラリー視察

ヨコタ＝カーター啓子 YOKOTA-CARTER Keiko
北米日本研究資料調整協議会 会長
アメリカ
10月15日
JACプロジェクトに関する意見交換

ゲレオン・ジーファニッヒ Gereon Sievernich
マルティン・グロピウスバウ 館長
ドイツ
11月19日
林田館長表敬訪問、視察

アブデルサラム・イード Abdel-Salam Eid
アレクサンドリア大学 教授
エジプト
11月22日
林田館長表敬訪問、視察

ヴァルデマル・ドンブロフスキ Waldemar Dąbrowski
国立ショパン・インスティテュート 所長
元文化・国家遺産大臣
ポーランド
12月3日
林田館長表敬訪問、視察

スタニスワフ・レシュチンスキ Stanisław Leszczyński
国立ショパン・インスティテュート 所長代理
ポーランド
12月3日
林田館長表敬訪問、視察

コンラッド・ボッドマン Conrad Bodman
オーストラリア近代映像センター 展示責任者
オーストラリア
2月10日
林田館長表敬訪問、『メディア芸術祭』講演

カルロス・ロベルト・フェレイラ・ブランダオ Carlos Roberto F. Brandão
ICOMブラジル国内委員会 会長
ブラジル
2月23日
林田館長表敬訪問、視察

ミカエル・アイゼンハウアー Michael Eissenhauer
ベルリン国立博物館群 総館長
ドイツ
3月9日
林田館長表敬訪問、視察

ベルント・エバート Bernd Ebert
ベルリン国立博物館群 シニア・オフィサー
ドイツ
3月9日
林田館長表敬訪問、視察

他 多数

平成22年度海外出張 Overseas Visits April 2010 - March 2011

林田英樹(館長)、李梦迪(学芸課事務補佐員)

中国

9月25日～29日

第5回アジア美術館長会議出席のため

林田英樹(館長)、矢島絢(庶務課一般職員)

中国

11月6日～13日

ICOM第22回代表大会出席のため

林田英樹(館長)

ドイツ、スペイン

1月8日～16日

ドイツ国内の美術展示館館長訪問、平成23年度企画展『モダン・アート、アメリカン』に関わる視察等のため

※研究員の海外出張については、「7 調査・研究」に掲載した

9-6 展覧会出品リスト List of Works

ルーシー・リー展 出品リスト

I. 初期—ウィーン時代1921-38年

- 1
器
c.1922-26
陶器
個人蔵
- 2
鉢
c.1926
陶器
個人蔵
- 3
鉢
1926
陶器
ハンブルク美術工業博物館
- 4
鉢
1926
陶器
ハンブルク美術工業博物館
- 5
鉢
1926
陶器
ヴィクトリア・アンド・アルバート美術館
- 6
鉢
c.1930-38
陶器
ヴィクトリア・アンド・アルバート美術館
- 7
植木鉢
c.1930-38
陶器
ヴィクトリア・アンド・アルバート美術館
- 8
ランプ台
c.1930-38
陶器
個人蔵
- 9
蓋付鉢
c.1935
陶器
個人蔵
- 10
ティーポット
c.1935
陶器
個人蔵
- 11
花器
c.1936
陶器
個人蔵
- 12
カップとソーサー
c.1936
陶器
個人蔵
- 13
花器
c.1936-37
陶器
個人蔵
- 14
花器
c.1936-37
陶器
ヴィクトリア・アンド・アルバート美術館

[凡例① ルーシー・リー作品]

作品番号
作品名
制作年
素材
所蔵

[凡例② 参考出品(R: 関連作品)]

作品番号
作家名
作品名
制作年
素材
所蔵

[凡例③ 参考出品(M: 資料)]

資料番号
資料名
年代
所蔵

- 15
蓋付鉢
c.1936-37
陶器
ヴィクトリア・アンド・アルバート美術館
- 16
植木鉢
c.1936-37
陶器
セインズベリー視覚芸術センター寄託
- R-1
ミヒャエル・ボヴォルニー
四季—冬
c.1909-13/14
陶器
ハンブルク美術工業博物館
- M-1
釉薬ノート
c.1923-24
クラフツ・スタディー・センター
- M-2
釉薬ノート
c.1923-35
クラフツ・スタディー・センター
- M-3
釉薬ノート
c.1923-35
クラフツ・スタディー・センター
- M-4
釉薬ノート
c.1925-40
クラフツ・スタディー・センター
- M-5
釉薬ノート
c.1930-40
クラフツ・スタディー・センター
- M-30
ルーシー・リーからハインツ・シュピールマン博士宛の手紙
1972-75
個人蔵
- M-35
写真アルバム
1926
セインズベリー視覚芸術センター
- M-36
写真アルバム
1926-31
セインズベリー視覚芸術センター
- M-37
ルーシー・リー制作のマヨリカ陶器の写真
1929
ウィーン工芸大学
- M-38
写真アルバム(ウィーン時代の鉢/撮影:
ロツテ・ナントナー=グラフィ、ブルーノ・
ルッフエンシュタイン)
セインズベリー視覚芸術センター
- M-39
写真アルバム
1935-37
セインズベリー視覚芸術センター
- M-40
現代装飾美術・産業美術国際博覧会(パ
リ)のオーストリア館出品図録
1925
セインズベリー視覚芸術センター
- M-41
『フォルム』誌(1930年5月号)
1930
セインズベリー視覚芸術センター

M-42
ウィーン工業美術学校の履修登録証
1925-26
ウィーン工芸大学

M-43
ウィーン工業美術学校の修了証書
1926
ウィーン工芸大学

M-44
ドイツ帝国発行パスポート
1938
セインズベリー視覚芸術センター

II. 形成期—ロンドン時代

17
鉢
1942
陶器
ヴィクトリア・アンド・アルバート美術館

18
鉢
1947
陶器
個人蔵

19
黄線文鉢
c.1947
陶器
個人蔵

20
花器
c.1947
陶器
個人蔵

21
鉢
c.1949
陶器
個人蔵

22
鉢
c.1949
陶器
個人蔵

23
花器
c.1949
陶器
個人蔵

24
白釉蓋付大壺
c.1949
陶器
個人蔵

25
茶釉鉢
1950
磁器
ヴィクトリア・アンド・アルバート美術館

26
斑文大鉢・小鉢
c.1950
陶器
個人蔵

27
線文花器
c.1950
磁器
セインズベリー視覚芸術センター寄託

28 黒釉皿 c.1950 磁器 ブリティッシュ・カウンシル	42 緑釉線文花器 c.1955 陶器 個人蔵	56 点文小鉢 c.1957 磁器 個人蔵	70 茶釉筒形花器 1950's 磁器 クラフツ・スタディー・センター
29 黒釉瓶 c.1950 磁器 ブリティッシュ・カウンシル	43 丸文筒形器 c.1955 磁器 ギャラリー・ベッソン	57 緑釉小鉢 c.1957 陶器 個人蔵	71 ブレックファースト・セット 1950's 陶器 クラフツ・スタディー・センター
30 白釉水差し c.1950 陶器 個人蔵	44 線文ドレッシング瓶(オイルとビネガー) c.1955 陶器 個人蔵	58 白釉小鉢 c.1957 磁器 個人蔵	72 茶釉線文カップとソーサー mid 1950's 陶器 ギャラリー・ベッソン
31 黄釉カップとソーサー c.1950 磁器 個人蔵	45 茶釉手付注器 c.1955 陶器 個人蔵	59 茶釉朱線文花器 c.1957 陶器 個人蔵	73 線文掛花入 late 1950's 陶器 クラフツ・スタディー・センター
32 葉味入れ c.1950-55 陶器 ヴィクトリア・アンド・アルバート美術館	46 手付注器 c.1955 陶器 個人蔵	60 黒釉カップとソーサー c.1957 陶器 ブリティッシュ・カウンシル	74 茶釉線文鉢 c.1960 磁器 個人蔵
33 黒釉ティーポット 1951 陶器 ヴィクトリア・アンド・アルバート美術館	47 白釉カップとソーサー c.1955 陶器 ギャラリー・ベッソン	61 大皿 1958 陶器 個人蔵	75 黄釉線文鉢 c.1960 磁器 個人蔵
34 線文鉢 c.1951 陶器 兵庫陶芸美術館	48 斜線文小鉢 c.1956 磁器 セインズベリー視覚芸術センター寄託	62 線文カップとソーサー 1958 磁器 ギャラリー・ベッソン	76 茶釉鉢 c.1960 陶器 個人蔵
35 線文蓋付大壺 c.1952 陶器 個人蔵	49 線文葉味入れ c.1956 陶器 セインズベリー視覚芸術センター寄託	63 茶釉線文大鉢 c.1958 磁器 個人蔵	77 緑釉小鉢 c.1960 磁器 個人蔵
36 線文大皿 c.1954 陶器 個人蔵	50 灰皿 c.1956 陶器 ギャラリー・ベッソン	64 線文小鉢 c.1958 磁器 個人蔵	78 朱釉小鉢 c.1960 陶器 個人蔵
37 茶釉手付鉢 c.1954 陶器 個人蔵	51 斜線文鉢 1957 磁器 ブリティッシュ・カウンシル	65 長頸花器 1958 陶器 個人蔵	79 白釉花器 c.1960 陶器 個人蔵
38 蓋付鍋 c.1954 陶器 個人蔵	52 茶釉線文鉢 1957 磁器 ブリティッシュ・カウンシル	66 茶釉線文カップとソーサー c.1958 陶器 セインズベリー視覚芸術センター寄託	80 白釉花器 c.1960 陶器 京都国立近代美術館
39 緑釉線文植木鉢 c.1954 陶器 個人蔵	53 黄釉線文鉢 1957 磁器 ブリティッシュ・カウンシル	67 バター皿(プロトタイプ) c.1958 陶器 ギャラリー・ベッソン	81 白釉手付鉢 c.1960 陶器 個人蔵
40 青点文小鉢 c.1955 磁器 個人蔵	54 青釉小鉢 c.1957 陶器 個人蔵	68 茶線文小鉢 c.1959-62 磁器 個人蔵	82 白釉皿 c.1960 陶器 ギャラリー・ベッソン
41 線文鉢 c.1955 磁器 個人蔵	55 点文小鉢 c.1957 磁器 個人蔵	69 黄釉点文鉢 1950's 磁器 クラフツ・スタディー・センター	83 黄釉皿 c.1960 陶器 ギャラリー・ベッソン

84 茶釉手付注器 c.1960 陶器 個人蔵	98 線文花器 c.1965 磁器 個人蔵	112 熔岩釉大鉢 c.1968 陶器 兵庫陶芸美術館	126 線文円筒花器(青) 1960's 磁器 個人蔵
85 茶釉線文コーヒー・セット c.1960 陶器 東京国立近代美術館	99 線文円筒花器(赤) c.1965 磁器 京都国立近代美術館	113 黄釉線文鉢 c.1968 陶器 イセ文化基金	127 線文円筒花器 1960's 磁器 兵庫陶芸美術館
86 熔岩釉大鉢 1963 陶器 京都国立近代美術館	100 白釉カップ、茶釉カップ c.1965 陶器 個人蔵	114 線文円筒花器(朱) c.1968 磁器 個人蔵	128 練り込み花器 1960's 陶器 ギャラリー・ベッソン
87 線文花器 1963 磁器 京都国立近代美術館	101 茶釉赤線文花器 c.1966 磁器 個人蔵	115 線文円筒花器(ブロンズ) c.1968 陶器 東京国立近代美術館	129 熔岩釉花器 1960's 陶器 ギャラリー・ベッソン
88 白釉花器 c.1964 磁器 個人蔵	102 線文蓋物(プロトタイプ) c.1966 陶器 ギャラリー・ベッソン	116 白釉花器 c.1968 陶器 京都国立近代美術館	130 葉文花器 1960's 陶器 クラフツ・スタディー・センター
89 白釉鉢 1965 磁器 東京国立近代美術館	103 大鉢 1967 陶器 ヴィクトリア・アンド・アルバート美術館	117 練り込み花器 c.1968 陶器 京都国立近代美術館	131 線文蓋付筒形器 1960's 磁器 クラフツ・スタディー・センター
90 白釉大鉢 c.1965 陶器 個人蔵	104 大皿 1967 陶器 ヴィクトリア・アンド・アルバート美術館	118 鏝文花器 c.1968 陶器 京都国立近代美術館	132 スパイラル文鉢 late 1960's 陶器 個人蔵
91 茶釉線文大鉢 c.1965 磁器 個人蔵	105 スパイラル文円筒花器 1967 陶器 ヴィクトリア・アンド・アルバート美術館	119 白釉花器 1969 陶器 ギャラリー・ベッソン	133 茶釉線文鉢 c.1960-70's 磁器 アサヒビール大山崎山荘美術館
92 白釉鉢 c.1965 陶器 個人蔵	106 茶線文花器 c.1967 陶器 パラミタミュージアム	120 白釉大鉢 1960's 陶器 京都国立近代美術館	R-2 バーナード・リーチ サウス・ダウンズのため池 1935 ペン、ウォッシュ、紙 個人蔵
93 線文小鉢 c.1965 磁器 個人蔵	107 熔岩釉花器 c.1967 陶器 兵庫陶芸美術館	121 白釉鉢 1960's 磁器 個人蔵	R-3 不明 白磁大壺 17-18th 磁器 大英博物館
94 線文小鉢 c.1965 磁器 個人蔵	108 熔岩釉鉢 c.1968 陶器 個人蔵	122 茶釉斜線文鉢 1960's 磁器 兵庫陶芸美術館	R-4 ルーシー・リー 陶製ボタン c.1945-48 陶器 個人蔵
95 茶釉葉文花器 c.1965 磁器 個人蔵	109 青線文鉢 c.1968 磁器 個人蔵	123 丸文鉢 1960's 磁器 ギャラリー小柳	R-5 ルーシー・リー 陶製ボタン c.1941-48 陶器 セインズベリー視覚芸術センター寄託
96 赤釉線文花器 c.1965 磁器 個人蔵	110 線文鉢 c.1968 磁器 京都国立近代美術館	124 茶釉斜線文コーヒー・セット 1960's 陶器 個人蔵	R-6 ルーシー・リー ボタンの型 c.1941-48 石膏 セインズベリー視覚芸術センター
97 白釉花器 c.1965 磁器 セインズベリー視覚芸術センター寄託	111 白釉鉢 c.1968 磁器 京都国立近代美術館	125 ピンク線文鉢 1960's 磁器 個人蔵	

R-7 ビミニ社 ガラス製ボタン、イヤリング、ブローチ 1940's ガラス 個人蔵	R-19 ルーシー・リー ウェッジウッド社のためのカップと ソーサー(プロトタイプ) 1963 器 セインズベリー視覚芸術センター寄託	M-18 パークレイ・ギャラリーズからの注文書 (1956年11月13日付) 1956 クラフツ・スタディー・センター	M-45 ゴードン・ラッセル社からの手紙 1938 クラフツ・スタディー・センター
R-8 ルーシー・リー 陶製ボタン 1940's 陶器 個人蔵	R-20 ルーシー・リー マンガン釉テストピース 1940's 陶器 ギャラリー・ベッソン	M-19 ヒール・アンド・サン社からの注文書 (1959年8月27日付) 1959 クラフツ・スタディー・センター	M-46 出納帳 1941 クラフツ・スタディー・センター
R-9 ルーシー・リー 鏡 late 1940's 陶器、鏡 個人蔵	R-21 ルーシー・リー 緑釉テストピース 1950's 陶器 ギャラリー・ベッソン	M-20 プリマヴェェラからの注文書(1959年9 月12日付) 1959 クラフツ・スタディー・センター	M-47 貸金支払い記録 1948 セインズベリー視覚芸術センター
R-10 ルーシー・リー チョーカー c.1945-46 陶器 ヴィクトリア・アンド・アルバート美術館	R-22 ルーシー・リー ブロンズ釉テストピース c.1970 陶器 ギャラリー・ベッソン	M-21 注文台帳 c.1973-79 クラフツ・スタディー・センター	M-48 ボドモア・アンド・サンズ社からの手紙 1949 クラフツ・スタディー・センター
R-11 ルーシー・リー プレスレット c.1945-46 陶器 ヴィクトリア・アンド・アルバート美術館	M-6 釉薬ノート c.1930-40 クラフツ・スタディー・センター	M-22 注文台帳 c.1980-83 クラフツ・スタディー・センター	M-49 窯の改良について助言する従兄弟からの 手紙 1950 クラフツ・スタディー・センター
R-12 ルーシー・リー ネックレス c.1960 陶器 東京国立近代美術館	M-7 釉薬ノート c.1940-42 クラフツ・スタディー・センター	M-23 注文台帳 c.1982-83 クラフツ・スタディー・センター	M-50 出納帳 1958-64 クラフツ・スタディー・センター
R-13 ルーシー・リー／ハンス・コパー 鉢 c.1947 陶器 個人蔵	M-8 釉薬ノート 1940's クラフツ・スタディー・センター	M-24 注文台帳 c.1983-90 クラフツ・スタディー・センター	M-51 イギリス郵便の記念切手ポスター(ルー シー・リー、バーナード・リーチ、ハン ス・コパー、エリザベス・フィッチ) 1987 クラフツ・スタディー・センター
R-14 ルーシー・リー／ハンス・コパー 水差しとカップ c.1950-55 陶器 ヴィクトリア・アンド・アルバート美術館	M-9 釉薬ノート 1940's クラフツ・スタディー・センター	M-25 注文台帳 c.1988-90 クラフツ・スタディー・センター	M-52 イヤリングをつけた女性のデザイン(装 着法) セインズベリー視覚芸術センター
R-15 ルーシー・リー／ハンス・コパー 白釉手付鉢と黒釉手付鉢 c.1955 陶器 個人蔵	M-10 釉薬ノート 1940's クラフツ・スタディー・センター	M-26 注文にまつわるデザイン・スケッチ 1950's-80's クラフツ・スタディー・センター	M-53 異なる角度から見たボタンのスケッチ セインズベリー視覚芸術センター
R-16 ルーシー・リー／ハンス・コパー 鉢とソーサー c.1955 磁器 個人蔵	M-11 注文台帳 1941 クラフツ・スタディー・センター	M-27 注文にまつわるデザイン・スケッチ 1950's-80's クラフツ・スタディー・センター	M-54 異なる角度から見たプレスレットの スケッチ セインズベリー視覚芸術センター
R-17 ルーシー・リー／ハンス・コパー 白釉器 c.1960 陶器 東京国立近代美術館	M-12 注文台帳 1942 クラフツ・スタディー・センター	M-28 バーナード・リーチからルーシー・リー 宛の手紙 1939 クラフツ・スタディー・センター	M-55 ボタンのデザイン セインズベリー視覚芸術センター
R-18 ハンス・コパー ルーシー・リーの頭部 1953 ブロンズ セインズベリー視覚芸術センター	M-13 注文台帳 1943-50 クラフツ・スタディー・センター	M-29 ルーシー・リーからバーナード・リーチ 宛の手紙 1939 クラフツ・スタディー・センター	Ⅲ. 円熟期
	M-14 注文台帳 1945-46 クラフツ・スタディー・センター	M-31 ルーシー・リーからショート氏宛の手紙 1976 セインズベリー視覚芸術センター	134 線文鉢 c.1970 磁器 東京国立近代美術館
	M-15 注文台帳 1947 クラフツ・スタディー・センター	M-32 ルーシー・リーからハンス・コパー宛の 手紙 セインズベリー視覚芸術センター	135 白釉花器 c.1970 陶器 ギャラリー・ベッソン
	M-16 注文台帳 1947-53 クラフツ・スタディー・センター	M-33 ハンス・コパーからルーシー・リー宛の 手紙 セインズベリー視覚芸術センター	136 白釉花器 c.1970 磁器 ギャラリー・ベッソン
	M-17 注文台帳 c.1954-59 クラフツ・スタディー・センター	M-34 ルーシー・リーからミス・ベンソン宛の 手紙 クラフツ・スタディー・センター	137 線文鉢 1972 陶器 シュビールマン・コレクション
			138 茶線文鉢 1972 陶器 ハンブルク美術工業博物館

139 茶釉線文鉢 1972 磁器 ハンブルク美術工業博物館	153 ニット線文鉢 c.1976 陶器 個人蔵	167 白釉青線文鉢 1979 磁器 東京国立近代美術館	181 黄釉鉢 c.1980 磁器 個人蔵
140 茶線文鉢 1972 磁器 ハンブルク美術工業博物館	154 線文鉢 c.1976 磁器 セインズベリー視覚芸術センター	168 ブロンズ釉鉢 c.1979 磁器 個人蔵	182 茶釉線文鉢 c.1980 磁器 個人蔵
141 線文円筒花器(赤) 1972 磁器 ハンブルク美術工業博物館	155 鎬文花器 c.1976 陶器 個人蔵	169 熔岩釉大鉢(マーブル) c.1979 陶器 愛知県陶磁資料館	183 緑釉鉢 c.1980 磁器 個人蔵
142 線文円筒花器(赤) 1972 磁器 ハンブルク美術工業博物館	156 線文円筒花器(青) c.1976 磁器 個人蔵	170 白釉線文鉢 1970's 磁器 個人蔵	184 緑釉鉢 c.1980 磁器 個人蔵
143 線文花器 1972 陶器 シュピールマン・コレクション	157 鎬文花器 c.1976 陶器 東京国立近代美術館	171 ピンク線文鉢 late 1970's 磁器 東京国立近代美術館	185 白釉花器 c.1980 陶器 個人蔵
144 黄釉大鉢 c.1972 磁器 個人蔵	158 線文花器 1978 磁器 兵庫陶芸美術館	172 スパイラル文花器 1970's 陶器 クラフツ・スタディー・センター	186 練り込み花器 c.1980 陶器 宮島香世
145 ピンク線文鉢 c.1972 磁器 個人蔵	159 青釉鉢 c.1978 磁器 東京国立近代美術館	173 鎬文花器 1970's 陶器 クラフツ・スタディー・センター	187 線文円筒花器(ピンク) c.1980 磁器 個人蔵
146 スパイラル文花器 c.1972 陶器 個人蔵	160 ピンク線文鉢 c.1978 磁器 個人蔵	174 ピンク線文鉢 c.1980 磁器 個人蔵	188 鎬文花器 c.1981 陶器 シュピールマン・コレクション
147 ピンク線文鉢 c.1974 磁器 個人蔵	161 スパイラル文花器 c.1978 陶器 茨城県陶芸美術館	175 ピンク線文鉢 c.1980 磁器 個人蔵	189 ブロンズ釉鉢 1983 磁器 セインズベリー視覚芸術センター
148 ピンク線文鉢 c.1974 磁器 個人蔵	162 線文花器(白) c.1978 磁器 個人蔵	176 青線文鉢 c.1980 磁器 個人蔵	190 青釉鉢 1984 磁器 アサヒビール大山崎山荘美術館
149 線文花器(赤) c.1974 磁器 セインズベリー視覚芸術センター寄託	163 白釉線文円筒花器 c.1978 磁器 パラミタミュージアム	177 ニット線文鉢 c.1980 陶器 イセ文化基金	191 ブロンズ釉白線文鉢 c.1984 磁器 ギャラリー小柳
150 線文円筒花器(青) c.1974 磁器 個人蔵	164 鎬文花器 c.1978 陶器 個人蔵	178 白釉大鉢 c.1980 磁器 個人蔵	192 ニット線文鉢 c.1984 陶器 東京国立近代美術館
151 スパイラル文花器 1975 陶器 愛知県陶磁資料館	165 鎬文花器 c.1978 陶器 個人蔵	179 白釉鉢 c.1980 陶器 個人蔵	193 茶釉鉢(マーブル) c.1984 磁器 東京国立近代美術館
152 ピンク線文鉢 c.1975 磁器 シュピールマン・コレクション	166 ピンク線文蓋付筒形器 c.1978 磁器 個人蔵	180 ブロンズ釉鉢 c.1980 磁器 ギャラリー・ベッソン	194 熔岩釉大鉢(マーブル) c.1985 陶器 個人蔵

195
練り込み花器
c.1985
陶器
個人蔵

196
青ニット線文鉢
early 1980's
陶器
ギャラリー・ベッソン

197
線文鉢
early 1980's
陶器
ギャラリー・ベッソン

198
青線文鉢
1980's
陶器
兵庫陶芸美術館

199
茶釉赤線文鉢
1980's
磁器
兵庫陶芸美術館

200
熔岩釉花器(マーブル)
1980's
陶器
アサヒビール大山崎山荘美術館

201
白釉花器
1980's
陶器
アサヒビール大山崎山荘美術館

202
白釉花器
1980's
陶器
兵庫陶芸美術館

203
線文花器(ピンク)
c.1990
磁器
個人蔵

オルセー美術館展2010
「ポスト印象派」
出品リスト

第1章
1886年—最後の印象派

- 1
クロード・モネ
ボルディゲラの別荘
1884年
油彩、カンヴァス
- 2
クロード・モネ
日傘の女性
1886年
油彩、カンヴァス
- 3
クロード・モネ
ノルウェー型の舟で
1887年頃
油彩、カンヴァス
- 4
クロード・モネ
睡蓮の池、緑のハーモニー
1899年
油彩、カンヴァス
- 5
クロード・モネ
ロンドン国会議事堂、霧の中に差す陽光
1904年
油彩、カンヴァス
- 6
アルベール・ベナール
ロジェ・ジュルダン夫人
1886年
油彩、カンヴァス
- 7
アンリ・ジェルヴェクス
ヴァルテス・ド・ラ・ビーニユ夫人
1889年
油彩、カンヴァス
- 8
ジョン・シンガー・サージェント
ラ・カルメンシータ
1890年頃
油彩、カンヴァス
- 9
エドガー・ドガ
階段を上がる踊り子
1886-90年
油彩、カンヴァス
- 10
アルフレッド・シスレー
モレの橋
1893年
油彩、カンヴァス
- 11
カミーユ・ピサロ
ルーアンのボワルデュール橋、夕日、霧の
かかった天気
1896年
油彩、カンヴァス

第2章
スーラと新印象主義

- 12
ジョルジュ・スーラ
ビュヴィ・ド・シャヴァンヌの《貧しき
漁夫》のある風景
1881年頃
油彩、板
- 13
ジョルジュ・スーラ
青い服の少年農夫(競馬騎手)
1882年頃
油彩、カンヴァス

- 14
ジョルジュ・スーラ
《アニエールの水浴》の習作
1883年
油彩、板
- 15
ジョルジュ・スーラ
《グランド・ジャット島の日曜日の午後》
の習作
1884年
油彩、板
- 16
ジョルジュ・スーラ
《グランド・ジャット島の日曜日の午後》
の習作
1884-86年
油彩、板
- 17
ジョルジュ・スーラ
正面を向いてポーズする女(《ポーズする
女たち》の習作)
1886年
油彩、板
- 18
ジョルジュ・スーラ
ポーズする女、正面
1887年
油彩、板
- 19
ジョルジュ・スーラ
ポーズする女、横向き
1887年
油彩、板
- 20
ジョルジュ・スーラ
ポーズする女、後ろ向き
1887年
油彩、板
- 21
ジョルジュ・スーラ
ポール＝アン＝ベッサンの外港、満潮
1888年
油彩、カンヴァス
- 22
ジョルジュ・スーラ
サーカス(エスキース)
1891年
油彩、カンヴァス
- 23
ポール・シニャック
レ・ザンドリー(河堤)
1886年
油彩、カンヴァス
- 24
ポール・シニャック
井戸端の女たち(井戸端のプロヴァンス
娘たち、薄明の中の装飾パネル)
1892年
油彩、カンヴァス
- 25
ポール・シニャック
マルセイユ港の入り口
1911年
油彩、カンヴァス
- 26
マクシミリアン・リュス
エルブレーに流れるセーヌ川
1890年
油彩、カンヴァス
- 27
シャルル・アングラン
道行く二人
1887年
油彩、カンヴァス

- 28
カミーユ・ピサロ
白い霜、焚き火をする若い農婦
1888年
油彩、カンヴァス
- 29
アンリ＝エドモン・クロス
エクトール・フランス夫人
1891年
油彩、カンヴァス
- 30
テオ・ファン・レイセルベルヘ
帆船と河口
1887年頃
油彩、カンヴァス
- 31
テオ・ファン・レイセルベルヘ
舵を取る男
1892年
油彩、カンヴァス
- 32
ジョルジュ・レメン
ハイストの浜辺
1891年
油彩、板

第3章
セザンヌとセザンヌ主義

- 33
ポール・セザンヌ
セザンヌ夫人
1885-90年
油彩、カンヴァス
- 34
ポール・セザンヌ
台所のテーブル(筆のある静物)
1888-90年
油彩、カンヴァス
- 35
ポール・セザンヌ
サント＝ヴィクトワール山
1890年頃
油彩、カンヴァス
- 36
ポール・セザンヌ
水浴の男たち
1890年頃
油彩、カンヴァス
- 37
ポール・セザンヌ
ドラクロワ礼賛
1890-94年
油彩、カンヴァス
- 38
ポール・セザンヌ
ギュスターヴ・ジェフロワ
1895-96年
油彩、カンヴァス
- 39
ポール・セザンヌ
たまねぎのある静物
1896-98年
油彩、カンヴァス
- 40
ポール・セザンヌ
シャトー＝ノワールの森の岩
1904年頃
油彩、カンヴァス
- 41
モーリス・ドニ
セザンヌ礼賛
1900年
油彩、カンヴァス

[凡例]
作品番号
作家名
作品名
制作年
素材

※作品はオルセー美術館所蔵。
但し、no.44は下記の所蔵となる。
Musée de l'Orangerie, Paris, collection
Jean Walter et Paul Guillaume.

42 ポール・ゴーギャン 扇のある静物 1889年頃 油彩、カンヴァス	55 ポール・ゴーギャン ボン＝タヴェンの洗濯女たち 1886年 油彩、カンヴァス	69 シャルル・ラヴァル 風景 1889-90年 油彩、カンヴァスに貼り付けた紙	82 ビエール・ボナール 格子柄のブラウス(20歳のクロード・テラス夫人) 1892年 油彩、カンヴァス
43 ポール・セリュジエ 静物、画家のアトリエ 1891年 油彩、カンヴァス	56 ポール・ゴーギャン レ・ザリスカン 1888年 油彩、カンヴァス	70 ジョルジュ・ラコンブ 紫の波 1895-96年 油彩、カンヴァス	83 ビエール・ボナール 白い猫 1894年 油彩、厚紙
44 パブロ・ピカソ 大きな静物 1917年 油彩、カンヴァス	57 ポール・ゴーギャン 牛のいる海景(深い淵の上で) 1888年 油彩、カンヴァス	第7章 ナビ派	84 フェリックス・ヴァロトン 自画像 1897年 油彩、厚紙
第4章 トゥールーズ＝ロートレック	58 ポール・ゴーギャン 黄色い積みわら(黄金の収穫) 1889年 油彩、カンヴァス	71 ポール・セリュジエ 護符(タリスマン)、愛の森を流れるアヴェン川 1888年 油彩、板	85 フェリックス・ヴァロトン 化粧台の前のミシア 1898年 デトランプ、厚紙
45 アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック 赤毛の女(化粧) 1889年 油彩、厚紙	59 ポール・ゴーギャン 《黄色いキリスト》のある自画像 1890-91年 油彩、カンヴァス	72 ポール・セリュジエ ナビに扮したポール・ランソン 1890年 油彩、カンヴァス	86 フェリックス・ヴァロトン ポール(ポールで遊ぶ子供のいる公園) 1899年 油彩、板に貼り付けた厚紙
46 アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック 黒いボアの女 1892年 油彩、厚紙	60 ポール・ゴーギャン タヒチの女たち 1891年 油彩、カンヴァス	73 モーリス・ドニ カルヴァリオの丘への道 1889年 油彩、カンヴァス	第8章 内面への眼差し
47 アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック 女道化師シャ＝ユ＝カオ 1895年 油彩、厚紙	61 ポール・ゴーギャン ブルターニュの農婦たち 1894年 油彩、カンヴァス	74 モーリス・ドニ テラスの陽光 1890年 油彩、厚紙	87 ギュスターヴ・モロ オルフェウス 1865年 油彩、板
第5章 ゴッホとゴーギャン	62 ポール・ゴーギャン 雪のブルターニュの村 1894年頃 油彩、カンヴァス	75 モーリス・ドニ ペロス＝ギレックのレガッタ 1892年 油彩、カンヴァス	88 ビエール・ピュヴィー・ド・シャヴァンヌ 貧しき漁夫 1881年 油彩、カンヴァス
48 フィンセント・ファン・ゴッホ 自画像 1887年 油彩、カンヴァス	第6章 ボン＝タヴェン派	76 モーリス・ドニ ミューズたち 1893年 油彩、カンヴァス	89 オディロン・ルドン 目を閉じて 1890年 油彩、厚紙に貼り付けたカンヴァス
49 フィンセント・ファン・ゴッホ アニメールのレストラン・ド・ラ・シレーヌ 1887年 油彩、カンヴァス	63 エミール・ベルナル 水浴の女たちと赤い雌牛 1887年 油彩、カンヴァス	77 モーリス・ドニ 木々の中の行列(緑の木立) 1893年 油彩、カンヴァス	90 オディロン・ルドン キャリバン眠り 1895-1900年 油彩、板
50 フィンセント・ファン・ゴッホ 銅の花器のフリティラリア(オウカンユリ) 1887年 油彩、カンヴァス	64 エミール・ベルナル 収穫(ブルターニュの風景) 1888年 油彩、板	78 エドゥアール・ヴェイヤール 読書する人(ケル＝グザヴィエール＝セル) 1890年頃 油彩、厚紙	91 エドゥアール・ヴェイヤール ベッドにて 1891年 油彩、カンヴァス
51 フィンセント・ファン・ゴッホ ウジェーヌ・ボック(詩人) 1888年 油彩、カンヴァス	65 エミール・ベルナル 愛の森のマドレーヌ(画家の妹) 1888年 油彩、カンヴァス	79 エドゥアール・ヴェイヤール 緑色の帽子の女 1891年頃 油彩、厚紙	92 エドゥアール・ヴェイヤール 眠り 1892年 油彩、カンヴァス
52 フィンセント・ファン・ゴッホ 馬車、アルル郊外のロマのキャンプ 1888年 油彩、カンヴァス	66 エミール・ベルナル 日傘を持つブルターニュの女たち 1892年 油彩、カンヴァス	80 エドゥアール・ヴェイヤール フェリックス・ヴァロトン 1900年頃 油彩、板に貼り付けた厚紙	93 ビエール・ボナール 親密さ(クロード・テラス夫妻) 1891年 油彩、カンヴァス
53 フィンセント・ファン・ゴッホ 星降る夜 1888年 油彩、カンヴァス	67 ポール・セリュジエ 花ざかりの柵、ル・ブルデュ 1889年 油彩、カンヴァス	81 ビエール・ボナール ヴェイヤールの肖像 1892年 油彩、板	94 ビエール・ボナール ベッドでまどろむ女(ものうげな女) 1899年 油彩、カンヴァス
54 フィンセント・ファン・ゴッホ アルルのゴッホの寝室 1889年 油彩、カンヴァス	68 ポール・セリュジエ 柵 1890年 油彩、カンヴァス		95 ビエール・ボナール 男と女 1900年 油彩、カンヴァス

96
フェリックス・ヴァロトton
夕食、ランプの光
1899年
油彩、板に貼り付けた厚紙

97
モーリス・ドニ
マレーヌ嬢のメヌエット(ピアノの前の
マルト)
1891年
油彩、カンヴァス

98
モーリス・ドニ
ランプの傍らの娘たち
1891年
油彩、カンヴァス

99
アンリ＝エドモン・クロス
髪
1892年頃
油彩、カンヴァス

100
エミール・ベルナル
象徴的な自画像(幻視)
1891年
油彩、カンヴァス

101
アルマン・セガン
ガブリエル・ヴィアン
1893年
油彩、カンヴァス

102
フェルナン・クノッフ
マリー・モノン
1887年
油彩、カンヴァス

103
ヴィルヘルム・ハンマースホイ
休息
1905年
油彩、カンヴァス

第9章
アンリ・ルソー

104
アンリ・ルソー
戦争
1894年頃
油彩、カンヴァス

105
アンリ・ルソー
蛇使いの女
1907年
油彩、カンヴァス

第10章
装飾の勝利

106
モーリス・ドニ
若い娘の寝室のためのパネル、9月の宵
1891年
油彩、カンヴァス

107
モーリス・ドニ
若い娘の寝室のためのパネル、10月の宵
1891年
油彩、カンヴァス

108
ケル＝グザヴィエ・ルーセル
テラス
1892年頃
油彩、カンヴァス

109
ケル＝グザヴィエ・ルーセル
人生の季節
1892-95年
油彩、カンヴァス

110
エドゥアール・ヴェイヤール
公園 子守、会話、赤い日傘
1894年
デトランプ、カンヴァス

111
エドゥアール・ヴェイヤール
公園 戯れる少女たち
1894年
デトランプ、カンヴァス

112
エドゥアール・ヴェイヤール
公園 質問
1894年
デトランプ、カンヴァス

113
ピエール・ボナール
装飾パネル、水の戯れ(旅)
1906-10年
油彩、カンヴァス

114
ピエール・ボナール
装飾パネル、悦び
1906-10年
油彩、カンヴァス

115
ピエール・ボナール
ル・カネの見晴らし
1927年
油彩、カンヴァス

マン・レイ展
出品リスト

	New York 1890-1921	13 シンフォニー(1916年) 撮影年不詳 ゼラチン・シルバー・プリント 22.2×15.7cm 20725_11	25* マルセル・デュシャン 9つの雄の鋳型 1914年 / 制作年不詳 プレキシガラスに彩色 24.8×31.8cm 21719_52
	1 無題(マン) 制作年不詳 ミクスト・メディア 23.5×18.4cm 21711_27	14 伝説(『回転扉』より) 1916 / 1972年 リトグラフ 63.5×45.7cm 2126_19_10	26 無題(マン・レイのデザインによる木製のチェスの駒) 1920年 ゼラチン・シルバー・プリント 7.6×12.0cm 21417
	2* 撮影者不詳 10歳のマン・レイ 1900年 ゼラチン・シルバー・プリント 12.7×8.9cm 20623_4	15 『回転扉』(青いパンのついた冊子) 1916 / 1973年 ミクスト・メディア 24.1×17.0cm 81106_1	27 無題 1922年 ゼラチン・シルバー・プリント 17.7×22.8cm 81124_20
	3 無題(飾文字の習作) 1908年 インク / 紙 16.2×13.0cm 21712_19	16 セルフ・ポートレート 1916 / 1970年 リトグラフ 52.0×38.1cm 21131_7_2	28 ダンサー--デンジャー(8丁目スタジオ、ニューヨーク) 1920 / 1969年 オフセット印刷 69.8×49.8cm 21123_1
	4 無題(飾文字の習作) 1908年 インク / 紙 24.1×31.1cm 21718_27	17 アエログラフ 1918 / 1970年 リトグラフ 57.3×49.5cm 21131_1_3	29 ダンサー--デンジャー 1920 / 1972年 リトグラフ 79.9×46.9cm 2125_2
	5 ドロシーの肖像 1911年 水彩 / 紙 35.5×27.9cm 21621_2	18 3人の裸婦 1919 / 1971年 リトグラフ 50.8×59.6cm 2129_4_4	30 コート掛け 1920年 / プリント年不詳 ゼラチン・シルバー・プリント 12.0×7.6cm 20629_15
	6 無題(ドロウイング) 1912年 グラファイト / 紙 32.3×24.1cm 21718_41	19 セギディーリャ 1919 / 1971年 リトグラフ / プレキシガラス 50.1×60.9cm 2127_1_12	32 無題(マン・レイ1965) 1965年 ミクスト・メディア 13.8×φ5.7cm 21613_1
	7 論理が暗殺する 1919 / 1975年 リトグラフ 52.0×36.8cm 2122_8_2	20 障害物 1920 / 1964年 リトグラフ 44.4×55.8cm 2126_6_1	33 ブリアポス(ペーパーウェイト) 1920 / 1966年 研磨した鋼鉄 12.7×7.6×7.7cm 2165_1
	8 アドン・ラクロワ 1914年 エッチング 43.8×29.8cm 21719_48	21 両性具有 1919 / 1976年 ブロンズ 34.9×10.7×8.2cm 2168_39	34 ブリアポス(大理石) 1920 / 1968年 大理石 50.8×30.4×29.2cm 2165_32
	9 『売れないもの』 1969年 書籍 28.0×23.0cm 21124_7	22 マルセル・デュシャン《階段を降りる裸体No.2》(1912年)の記録写真 1920年代 ゼラチン・シルバー・プリント 29.2×17.0cm 20624_9	35 ランプシェード 1920 / 1987年 ゼラチン・シルバー・プリント 17.7×12.0cm 20716_31
	10 二重の肖像(1913年) 撮影年不詳 ゼラチン・シルバー・プリント 10.1×8.2cm 201013_34	23* マン・レイとマルセル・デュシャン 眼科医の証人 1920年 / プリント年不詳 ゼラチン・シルバー・プリント 50.8×40.6cm 21426_10	36 ダンボールのランプシェード 制作年不詳 ダンボール 28.5×φ4.7cm 2168_8
	11 戦争 A.D. MCMXIV(1914年) 撮影年不詳 ゼラチン・シルバー・プリント 15.1×28.5cm 201212_1	24 マルセル・デュシャン《9つの雄の鋳型》(1914年)の記録写真 撮影年不詳 ゼラチン・シルバー・プリント 10.1×15.7cm 201013_31	37 ランプシェード(型紙) 1920年 / 制作年不詳 インク / 紙 48.0×177.8cm(展開時の巻き紙の大きさ) 21719_51
	12 プロムナード(1915年) 撮影年不詳 ゼラチン・シルバー・プリント 27.9×21.5cm 201013_12		
<p>【凡例】 出品番号 (作家名) 作品タイトル等 制作年 素材・技法 寸法 マン・レイ財団による所蔵番号</p> <p>※作品ならびにその他の展示品のデータは、マン・レイ財団から提供された資料に基づいている。</p> <p>※作者がマン・レイの場合、作家名は原則として省略した。ただし、作者がマン・レイ以外の場合、マン・レイと他の作家との共作の場合、不詳の場合には、出品番号に[*]を付し、必要に応じて作家名を記した。</p> <p>※写真の制作年については、撮影年/プリント年とする。写真以外の作品のうち、作家自身が関わった後年の複製、再制作、同一モチーフによるヴァリエーション等については、原作の制作年/出品作の制作年とした。</p> <p>※記載されている寸法は原則として、平面作品は縦×横[cm] (ただしドロウイング、版画等は紙サイズ)、立体作品は高さ×幅×奥行き、高さ×直径φ[cm]である。</p> <p>※出品番号31は都合により展示されなかった。</p>			

Paris 1921-1940

38
セルフ・ポートレイト
1924年 / プリント年不詳
ゼラチン・シルバー・プリント
24.7×17.7cm
21628_15

39
パブロ・ピカソ《母と子》(1907年)の記録
写真
1920年代
ゼラチン・シルバー・プリント
17.7×12.7cm
20722_17

40
アンリ・ルソー《ペール・ジュニエの馬車》
(1908年)の記録写真
1920年代
ゼラチン・シルバー・プリント
19.6×26.6cm
201017_12

41*
撮影者不詳
アンリ・ルソー《私自身、肖像＝風景》
(1890年)の記録写真
1920年代
ゼラチン・シルバー・プリント
20.3×15.7cm
201017_11

42
無題(大聖堂)
1920年代
ゼラチン・シルバー・プリント
22.8×17.0cm
20823_15

43
無題(水車場)
1920年代
ゼラチン・シルバー・プリント
13.9×8.9cm
20821_32

44
無題(リュクサンブール公園)
1930年代
ゼラチン・シルバー・プリント
17.0×12.7cm
20716_39

45
《空き地》のための習作
1929年
ゼラチン・シルバー・プリント
13.9×8.9cm
201012_4

46
3人のダダイストたち
1928年
ゼラチン・シルバー・プリント
10.7×16.3cm
91210_35

47
車に乗るフランシス・ピカビア
1922年
ゼラチン・シルバー・プリント
7.6×13.3cm
20811_24

48
ジュール・バスキン
1923年
ゼラチン・シルバー・プリント
17.0×12.0cm
9910_2

49
ロベール・ドローネー
1920年代
ゼラチン・シルバー・プリント
17.0×13.3cm
20630_05

50
オーガスタス・ジョン
1920年代
ゼラチン・シルバー・プリント
17.7×12.7cm
20811_18

51
ファビエンヌ・クラヴァン＝ロイ(ミーナ・
ロイとアルチュール・クラヴァンの娘)
1920年代
ゼラチン・シルバー・プリント
22.8×17.7cm
81124_7

52
エドナ・セント・ヴィンセント・ミレイ
1922年
ゼラチン・シルバー・プリント
17.7×12.7cm
20804_15

53
ミハイル・ラリオノフ
1920年代
ゼラチン・シルバー・プリント
12.7×10.1cm
20621_3

54
ジャン・コクトー
1922年
ゼラチン・シルバー・プリント
9.5×12.0cm
9911_5

55
レイモン・ラディゲ
1922年
ゼラチン・シルバー・プリント
17.7×13.3cm
20816_19

56
ファン・グリス
1922年 / 1930年代
ゼラチン・シルバー・プリント
17.3×13.0cm
20616_25

57
ファン・グリス
1922年 / 1930年代
ゼラチン・シルバー・プリント
22.0×16.2cm
20627_3

58
ファン・グリス
1922年 / 1930年代
ゼラチン・シルバー・プリント
25.4×19.6cm
20630_19

59
ジョージ・アンセイル
1925年頃
ゼラチン・シルバー・プリント
22.2×15.1cm
20616_31

60
バンビ(アーネスト・ヘミングウェイの
息子)
1920年代
ゼラチン・シルバー・プリント
21.6×15.1cm
91210_33

61
アーネスト・ヘミングウェイ
1922年
ゼラチン・シルバー・プリント
17.7×12.7cm
20811_10

62
ダリウス・ミヨー
1920年代
ゼラチン・シルバー・プリント
16.0×11.1cm
20814_20

63
フェルナン・レジェ
1930年代
ゼラチン・シルバー・プリント
22.8×17.7cm
20624_1

64
アレクサンドル・アリオ＝ヒン博士(チェ
スのチャンピオン)
1928年頃
ゼラチン・シルバー・プリント
11.7×8.9cm
20620_10

65
シンクレア・ルイス
1926年 / プリント年不詳
ゼラチン・シルバー・プリント
29.2×22.8cm
9910_3

66
エミール・サヴィトリ
1920年代
ゼラチン・シルバー・プリント
23.5×17.3cm
20616_28

67
水色のレーシング・カーに乗るアンドレ・
ドラン
1927年
ゼラチン・シルバー・プリント
17.7×22.8cm
21411_3

68
エリック・サティ
1922年
ゼラチン・シルバー・プリント
20.3×15.1cm
9911_1

69
イーゴリ・ストラヴィンスキー
1920年代
ゼラチン・シルバー・プリント
22.8×12.7cm
20816_7

70
バンジャマン・ベレ
1930年代
ゼラチン・シルバー・プリント
17.7×12.7cm
20816_36

71
マルセル・メイエ、ピアニスト
1920年代
ゼラチン・シルバー・プリント
20.3×15.1cm
20620_16

72
パブロ・ピカソ
1932年
ゼラチン・シルバー・プリント
29.2×22.5cm
9911_2

73
アルベルト・ジャコメッティ
1934年
ゼラチン・シルバー・プリント
8.2×6.3cm
91210_29

74
ハンス・ベルメール
1930年代
ゼラチン・シルバー・プリント
4.7×3.7cm
201010_6

75
無題(洗濯板を持つアディ・フィドラン)
1930年代
ゼラチン・シルバー・プリント、インク
8.9×6.0cm
20731_17

76
エドワード・ジェイムズ
1937年
ゼラチン・シルバー・プリント、インク
8.9×6.3cm
20812_1

77
セルフ・ポートレイト、カンバーニュ＝
ブルミエール街スタジオ
1926年
ゼラチン・シルバー・プリント
24.1×17.7cm
91210_48

78
プリンセス・マルト・ビベスコ
1920年代
ゼラチン・シルバー・プリント
28.2×22.5cm
81124_10

79
アガ・カーン
1930年代
ゼラチン・シルバー・プリント
27.9×21.5cm
91605_1

80
無題(ポートレイト)
1925年
ゼラチン・シルバー・プリント
24.1×17.0cm
20616_20

81
無題(ポートレイト)
制作年不詳
ゼラチン・シルバー・プリント
23.6×17.9cm
20805_06

82
無題(ポートレイト)
制作年不詳
ゼラチン・シルバー・プリント
10.1×8.2cm
20801_28

83
無題(ポートレイト)
制作年不詳
ゼラチン・シルバー・プリント
22.8×16.8cm
81124_3

84
無題(ポートレイト)
1930年代
ゼラチン・シルバー・プリント
27.9×19.6cm
20807_39

85 無題(ファッション写真) 制作年不詳 ゼラチン・シルバー・プリント 13.9×8.9cm 20802_2	99* レイヨグラフの制作に用いられた道具: ぜんまい φ3.8cm 2166_41_04	112 無題(ソラリゼーションによるポートレイト) 1930年代 ゼラチン・シルバー・プリント 25.4×18.9cm 7722_15	124 無題(裸体と果物) 1930年代 ゼラチン・シルバー・プリント 11.4×5.0cm 25224_1
86 無題(ゴコン風のファッション) 1937年 ゼラチン・シルバー・プリント 13.8×9.2cm 20727_3	100* レイヨグラフの制作に用いられた道具: 「スリンキー」 6.3×φ7.6cm 2166_39	113 無題(ソラリゼーションによるポートレイト) 1930年代 ゼラチン・シルバー・プリント 23.4×18.4cm 20921_1	125 髪に花を飾った裸婦 1933年 ゼラチン・シルバー・プリント 24.1×19.0cm 20630_24
87 無題(脚のないファッション・モデル) 1940年頃 ゼラチン・シルバー・プリント 11.4×8.9cm 81125_9	101* レイヨグラフの制作に用いられた道具 φ21.5cm 2163.4	114 無題(ソラリゼーションによるポートレイト) 1930年代 ゼラチン・シルバー・プリント 24.1×17.8cm 7722_5	126 シュルレアリスムたち 1930年 ゼラチン・シルバー・プリント 10.1×13.9cm 20621_01
88 無題(ファッション写真) 1920年代 / 1987年 ゼラチン・シルバー・プリント 20.3×15.1cm 26116_11	102 無題(レイヨグラフ) 1920年代 / プリント年不詳 ゼラチン・シルバー・プリント 20.0×14.9cm 20627_33	115 無題(ソラリゼーションによるポートレイト) 制作年不詳 ゼラチン・シルバー・プリント 23.1×17.8cm 91210_50	127 無題(シュルレアリスム国際展で展示されたモリス・アンリのマネキン) 1938年 ゼラチン・シルバー・プリント 22.8×14.6cm 81124_29
89 ヘレナ・ルビンスタイン 1920年代 / 1987年 ゼラチン・シルバー・プリント 17.7×12.7cm 7725_24	103 無題(レイヨグラフ) 1920年代 / プリント年不詳 ゼラチン・シルバー・プリント 20.0×14.9cm 9112_4	116 無題(ソラリゼーションによるポートレイト) 制作年不詳 ゼラチン・シルバー・プリント 17.7×12.0cm 20624_7	128 『理性への回帰』 1923年 映画
90 無題(ファッション写真の習作) 1920年代 / 1987年 ゼラチン・シルバー・プリント 22.5×15.4cm 20807_05	104 ダチョウの卵 1930年 ゼラチン・シルバー・プリント 24.8×20.3cm 81124_30	117 ピカソによるマン・レイ(1934年のピカソ作品の記録写真) 撮影年不詳 ゼラチン・シルバー・プリント 15.7×11.4cm 20722_1	129 『エマク・バキア』 1926年 映画
91 無題(ファッション写真の習作) 1920年代 / 1987年 ゼラチン・シルバー・プリント 17.7×12.0cm 20802_12	105 トケイソウ 1930年代 ゼラチン・シルバー・プリント 27.9×22.2cm 9918_2	118 パブロ・ピカソ 1932年 ゼラチン・シルバー・プリント 25.4×20.3cm 20630_20	130 『ひとで』 1928年 映画
92* レイヨグラフの制作に用いられた道具 5.0×φ12.0cm 21613_9	106 蝶 1930年代 ゼラチン・シルバー・プリント 17.1×23.5cm 20717_36	119 ジェイムズ・ソール・ソビー 1930年代 ゼラチン・シルバー・プリント 23.8×17.7cm 20815_20	131 『さいころ城の秘密』 1929年 映画
93* レイヨグラフの制作に用いられた道具 29.2×21.2cm 2166_98	107 バッタ I 制作年不詳 ゼラチン・シルバー・プリント 15.2×24.8cm 20717_31	120 キキ・ド・モンパルナス 1923年 / プリント年不詳 ゼラチン・シルバー・プリント 26.8×20.3cm 20621_14	132* マン・レイとポール・エリュアール 『容易』 1935年 書籍 24.6×19.2cm 27221_04
94* レイヨグラフの制作に用いられた道具: コルク抜き 10.2×3.8cm 2166_41_03	108 バッタ II 制作年不詳 ゼラチン・シルバー・プリント 17.8×24.8cm 20624_12	121 黒と白 1926 / 2010年 ゼラチン・シルバー・プリント 22.0×28.0cm 27221_03	133 無題(裸体) 1930年代 ゼラチン・シルバー・プリント 13.6×8.9cm 20814_15
95* レイヨグラフの制作に用いられた道具: 木製の櫛 10.2×3.8cm 2166_41_02	109 ヒトデ 1940年代 ゼラチン・シルバー・プリント 24.1×21.3cm 9917_8	122 黒と白 1926 / 2010年 ゼラチン・シルバー・プリント 22.0×28.0cm 27221_02	134 豊かな瞳 1930年代 / 1935年 ゼラチン・シルバー・プリント 24.1×17.7cm 2139_3
96* レイヨグラフの制作に用いられた道具: 巻き取り鍵 5.1×7.6cm 2166_41_01	110 無題(ソラリゼーションによるポートレイト) 制作年不詳 ゼラチン・シルバー・プリント 13.3×8.9cm 20731_11	123 無題 1930年代 ゼラチン・シルバー・プリント 16.3×11.4cm 20624_3	135 孤独 1972年 ブロンズ 38.0×24.0×12.0cm 2168_48
97* レイヨグラフの制作に用いられた道具: 大きなクリップ 11.4×2.5cm 2166_41_05	111 無題(ソラリゼーションによるポートレイト) 1930年代 ゼラチン・シルバー・プリント 16.5×11.7cm 20630_40		136 無題(手の習作) 制作年不詳 インク / 紙 27.9×35.5cm 21716_23
98* レイヨグラフの制作に用いられた道具: コルク抜き 11.4×3.8cm 2166_41_06			

137 無題(『自由な手』、1937年より) 撮影年不詳 ゼラチン・シルバー・プリント 25.4×20.3cm 27117_03	149 水道橋 1930年代 ゼラチン・シルバー・プリント 16.5×22.9cm 20822_19	161 無題(リー・ミラー) 1937年 ゼラチン・シルバー・プリント 12.7×17.7cm 91211_23	173 無題のコンタクト・プリント (アディ・フィドラン) 1930年代 ゼラチン・シルバー・プリント 6.2×9.5cm 20731_15
138 夢(『自由な手』、1937年より) 撮影年不詳 ゼラチン・シルバー・プリント 15.9×11.4cm 21227_16	150 無題(『自由な手』、1937年より) 撮影年不詳 ゼラチン・シルバー・プリント 15.2×11.4cm 090819_018	162 天文台の時—恋人たち(1934年) 撮影年不詳 ゼラチン・シルバー・プリント 8.5×21.7cm 20725_16_1	174 無題(アディ・フィドラン) 1930年代 ゼラチン・シルバー・プリント 8.8×5.6cm 20801_38
139 無題 1920年代 ゼラチン・シルバー・プリント 15.7×24.1cm 20915_2	151 D.A.F.ド・サドの架空の肖像(1938年) 撮影年不詳 ゼラチン・シルバー・プリント 26.0×21.6cm 20721_11	163 無題(黄金の唇) 制作年不詳 金 2.5×10.1cm 21716_5	175* 撮影者不詳 無題(ヌッシュとポール・エリュアール、 アディ・フィドランとマン・レイ) 1930年代 ゼラチン・シルバー・プリント 11.5×7.7cm 241023_11
140 無題(『自由な手』、1937年より) 撮影年不詳 ゼラチン・シルバー・プリント 25.4×20.3cm 27107_05	152 サド侯爵の城 1936年 ゼラチン・シルバー・プリント 8.9×13.9cm 20822_4	164 バラの木(1937年) 撮影年不詳 ゼラチン・シルバー・プリント 12.0×8.8cm 201013_33	176 無題(セルフ・ポートレイト、アンティ ブにて) 1930年代 ゼラチン・シルバー・プリント 8.8×13.9cm 25121_52
141 無題(『自由な手』、1937年より) 撮影年不詳 ゼラチン・シルバー・プリント、インク 25.4×20.3cm 21227_12	153 サド侯爵の城 1936年 ゼラチン・シルバー・プリント 13.9×8.9cm 20818_33	165 無題(リー・ミラーの脚と二人のミゼット) 1930年代 ゼラチン・シルバー・プリント 19.6×16.3cm 20623_5	177 無題(セルフ・ポートレイト、アンティ ブにて) 1930年代 ゼラチン・シルバー・プリント 8.8×13.9cm 25121_54
142 無題(『自由な手』、1937年より) 撮影年不詳 ゼラチン・シルバー・プリント 25.4×20.3cm 21227_5	154* マン・レイとマックス・エルンスト フロッターージュ 1936年 ゼラチン・シルバー・プリント 26.6×20.3cm 20922_2	166 無題(リー・ミラーの脚とミゼット) 1930年代 ゼラチン・シルバー・プリント 22.9×17.1cm 91210_44	178 無題(セルフ・ポートレイト、アンティ ブにて) 1930年代 ゼラチン・シルバー・プリント 8.8×13.9cm 25121_55
143 無題(『自由な手』、1937年より) 撮影年不詳 ゼラチン・シルバー・プリント、インク 25.4×20.3cm 21227_10	155* マン・レイとマックス・エルンスト フロッターージュ 1936年 ゼラチン・シルバー・プリント 26.6×20.3cm 20922_3	167 無題(二人のミゼット) 1930年代 ゼラチン・シルバー・プリント 17.1×22.9cm 7724_4	179 無題(セルフ・ポートレイト) 1930年代 ゼラチン・シルバー・プリント 12.1×17.1cm 2077_12
144* ウジェーヌ・アジェ 無題(裸体) 制作年不詳 ゼラチン・シルバー・プリント 25.4×20.3cm 20921_3	156* マン・レイとマックス・エルンスト フロッターージュ 1936年 ゼラチン・シルバー・プリント 29.8×23.1cm 20922_4	168 無題(二人のミゼット) 1930年代 ゼラチン・シルバー・プリント 22.9×17.8cm 7724_7	180 釣人の偶像 1926 / 1975年 ブロンズ、缶 15.4×10.1×10.1cm 2165_7
145 無題(『自由な手』、1937年より) 撮影年不詳 ゼラチン・シルバー・プリント、インク 15.1×10.1cm 21227_14	157* マン・レイとマックス・エルンスト フロッターージュ 1936年 ゼラチン・シルバー・プリント 25.8×20.1cm 20922_5	169 バレエ・リュスのダンサーたち 1930年 ゼラチン・シルバー・プリント 16.3×20.9cm 91210_46	181 無題(人物の習作) 制作年不詳 インク / 紙 11.3×17.8cm 25119_4
146 ピカソとイヴオンヌ・ゼルヴォス、そし てもう一人の女性 1930年代 ゼラチン・シルバー・プリント 11.4×15.7cm 7724_26	158 光の担い手、イレーヌのために 1939 / 1970年 リトグラフ 66.0×49.5cm 21131_5	170 無題(アディ・フィドランとマン・レイ の頭像) 1937年 ゼラチン・シルバー・プリント 9.5×6.2cm 20801_42	182* 撮影者不詳 フランス、アンティープのマン・レイ 1940年代 ゼラチン・シルバー・プリント 8.2×14.6cm 20621_7
147 無題(ピカソとイヴオンヌ・ゼルヴォス の手) 1930年代 ゼラチン・シルバー・プリント 11.7×16.7cm 7724_1	159 ジャクリーヌ・ランバ・ブルトン 1930年代 ゼラチン・シルバー・プリント 12.7×13.3cm 20106_9	171 無題のコンタクト・プリント (アディ・フィドラン) 1930年代 ゼラチン・シルバー・プリント 6.2×9.5cm 20731_16	183 無題(人物の習作) 1938年 インク / 紙 11.0×28.8cm 21718_54
148 無題(『自由な手』、1937年より) 撮影年不詳 ゼラチン・シルバー・プリント、インク 25.4×20.3cm 21227_05a	160 リー・ミラー 1930年代 ゼラチン・シルバー・プリント 22.9×17.1cm 20119_1	172 無題のコンタクト・プリント (アディ・フィドラン) 1930年代 ゼラチン・シルバー・プリント 6.2×9.5cm 20731_14	

184 無題(人物の習作) 制作年不詳 インク / 紙 31.8×24.7cm 21713_74	195 鏡(未発表のポートフォリオ『あるカリフォルニアの日曜日』より) 1941年 ゼラチン・シルバー・プリント 24.0×18.9cm 7722_6	207 アルバート・ルーイン 1940年代 ゼラチン・シルバー・プリント 16.3×12.0cm 20815_9	219 ドロテア・タニング 1940年代 ゼラチン・シルバー・プリント 17.7×12.7cm 21419_1
185 判じ絵 1938 / 1972年 リトグラフ 73.6×56.4cm 2126_17_2	196 マジョリー 1942年 ゼラチン・シルバー・プリント 25.4×19.1cm 20630_22	208 ミルドレッド・ルーイン 1940年代 ゼラチン・シルバー・プリント 24.0×19.6cm 20616_3	220 マックス・エルンスト(コンタクト・プリント) 1940年代 ゼラチン・シルバー・プリント 17.8×6.4cm 21225_4
186 無題 1939 / 1971年 リトグラフ 65.0×50.0cm 2127_3_2	197 ジュリエット 1940年頃 ゼラチン・シルバー・プリント 5.6×5.0cm 20801_25	209* 撮影者不詳 マン・レイとエヴァ・ガードナー 1950年 ゼラチン・シルバー・プリント 10.1×12.7cm 2077_8	221 無題(衣装を着たマン・レイ、ジュリエット、マックス・エルンスト、ドロテア・タニングと友人のコンタクト・プリント) 1940年代 ゼラチン・シルバー・プリント 17.8×7.6cm 2128_8
187 無限なる者 1942 / 1970年 リトグラフ 50.1×62.8cm 2125_16	198 無題(ハリウッド、ヴァイン・ストーリー1245番) 1945年 ゼラチン・シルバー・プリント 11.4×14.6cm 200801_37	210 エヴァ・ガードナー 1950年 ゼラチン・シルバー・プリント 34.9×27.9cm 9911_3	222 無題(衣装を着たマン・レイ、ジュリエット、マックス・エルンスト、ドロテア・タニングと友人) 1940年代 ゼラチン・シルバー・プリント 12.7×17.2cm 201114_3
188 運 1938 / 1973年 リトグラフ 50.1×74.3cm 2125_12	199 無題(ビッグ・サーのジュリエット) 1940年代 ゼラチン・シルバー・プリント 17.7×12.7cm 20621_16	211 無題(タマラ・トゥマノヴァ) 1944年 ゼラチン・シルバー・プリント 25.5×17.0cm 20620_8	223 イサム・ノグチ 1940年代 ゼラチン・シルバー・プリント 16.5×12.1cm 20814_7
Los Angeles 1940-1951		212 無題(タマラ・トゥマノヴァ) 1944年 ゼラチン・シルバー・プリント 24.7×16.3cm 20620_05	224 イサム・ノグチ 1940年代 ゼラチン・シルバー・プリント 16.5×12.1cm 20916_25
189 セルフ・ポートレイト、ハリウッド 1944年 ゼラチン・シルバー・プリント 23.9×17.7cm 91210_12	200 ビッグ・サーのジュリエット 1940年頃 ゼラチン・シルバー・プリント 14.6×11.4cm 20711_3	213 無題(タマラ・トゥマノヴァ) 1944年 ゼラチン・シルバー・プリント 24.7×17.0cm 7722_20	225 ノーマ・コブリー 1940年代 ゼラチン・シルバー・プリント 17.8×13.3cm 20804_16
190 無題(ロサンゼルス) 1940年代 ゼラチン・シルバー・プリント 19.6×24.7cm 20617_1	201 ハリウッドのブロードウェイ 1940年代 ゼラチン・シルバー・プリント 22.8×18.9cm 20623_3	214 無題(タマラ・トゥマノヴァ) 1944年 ゼラチン・シルバー・プリント 24.7×16.7cm 20616_1	226 ウィリアム・コブリー 1940年代 ゼラチン・シルバー・プリント 7.6×7.0cm 20814_16
191 無題(ロサンゼルス) 1940年代 ゼラチン・シルバー・プリント 19.6×24.0cm 20822_33	202 マン・レイ・スタジオの表札 1940年代 26.0×33.9cm 2165_10	215 無題(映画女優テレサ・ライトのための背景) 1944年 ゼラチン・シルバー・プリント 18.0×24.0cm 20719_35	227 カフェ・マン・レイ 1948 / 1974年 ミクスト・メディア 33.8×19.9×1.0cm 2168_51
192 無題(ロサンゼルス) 1940年代 ゼラチン・シルバー・プリント 19.6×22.2cm 20810_46	203 無題(ポーレット・ゴダード) 1940年代 ゼラチン・シルバー・プリント 20.3×25.4cm 20621_10	216 映画女優テレサ・ライト 1944年 ゼラチン・シルバー・プリント 20.3×27.9cm 7722_29	228 ことわざ 1944 / 1973年 ブロンズ 32.1×15.1×14.8cm 2168_54
193 無題(ロサンゼルス) 1940年代 ゼラチン・シルバー・プリント 25.4×19.9cm 20619_5	204 ルース・フォード 1940年代 ゼラチン・シルバー・プリント 24.7×19.6cm 20810_17	217 クヌード・メリル 1940年代 ゼラチン・シルバー・プリント 24.7×11.3cm 25210_1	229 二人のテーブル 1944 / 1973年 木 28.3×32.1×19.1cm 21614_9
194 エンジェルズ・フライト(未発表のポートフォリオ『あるカリフォルニアの日曜日』より) 1941年 ゼラチン・シルバー・プリント 11.4×16.3cm 201215_1	205 ジェニファー・ジョーンズ 1940年代 ゼラチン・シルバー・プリント 34.3×27.9cm 07081_20	218 ヘンリー・ミラー 1950年代 ゼラチン・シルバー・プリント 16.0×12.7cm 9918_1	230 四角いダンベル 1944 / 1966年 研磨した鋼鉄、木、フェルト 30.2×20.5×7.0cm 2165_17

231* 撮影者不詳 四角いダンベルを持つマン・レイ 制作年不詳 ゼラチン・シルバー・プリント 5.6×14.0cm 25121_25	243 無題(ヴェールをつけたジュリエット I) 1949年 ゼラチン・シルバー・プリント 25.4×20.3cm 21412_1	255 將軍 1947年 油彩 / 板 50.8×40.6cm 21619_6	267 木製のチェス・セット 1969年 木、金属、革 20.3×30.5×2.5cm 21626_6
232 飼いならされた処女(私をつれだして) 1944 / 1973年 研磨した鋼鉄、プレキシガラス 11.8×8.1×6.7cm 20717_2	244 無題(頭飾りをつけたジュリエット) 1940年代 ゼラチン・シルバー・プリント 14.0×8.9cm 20801_39	256 無題(ハリウッド、ヴァイン・ストリート1245番 I) 1948年 ゼラチン・シルバー・プリント 16.5×11.4cm 91210_13	268 ガラスのチェス・ボード 制作年不詳 ガラス、アルミニウム 39.4×39.4cm 21612_2
233 『大人のためのアルファベット』 1948年 書籍 30.5×24.1cm 27221_05	245 無題(ヴェールをつけたジュリエット II) 1940年代 ゼラチン・シルバー・プリント 14.0×8.9cm 81124_13	257 永遠の魅力 1948年 木 61.0×34.3×34.3cm 註記：出品されたチェス・ボードはオリジナルではなく、マン・レイ旧蔵の別のものである。 2168_56a+b+c	269 金属製のチェスの駒 1973年 鋳造アルミニウム 2.5~5.1cm 21612_5
234 大人のためのアルファベット(レイヨグラフ) 1970年 ゼラチン・シルバー・プリント、ステンシルによる彩色 / 木 30.5×24.1cm 21131_2_4	246 無題(ジュリエット) 1940年代 ゼラチン・シルバー・プリント 7.0×6.4cm 21416_13	258 無題(チェスの駒) 1945年 インク、グラファイト / フォト・プリント 27.9×35.6cm 21719_12	Paris 1951-1976 270 船上のジュリエット、ド・グラス号にて 1951年 ゼラチン・シルバー・プリント 6.4×8.9cm 20802_16
235 セルマ 1942年 インク / 紙 35.6×25.4cm 21713_78	247 ジュリエット、カリフォルニア州ハリウッドにて 1943年 ゼラチン・シルバー・プリント 24.8×19.2cm 91210_17	259 無題(チェスの駒) 1945年 コピー・プリント 35.9×27.9cm 21719_2	271* マン・レイのパスポート 15.2×8.9cm 26412_1
236 無題(ドローイング) 1940年 インク / 紙 23.5×28.9cm 21716_46	248 無題(髪をつけたジュリエット) 制作年不詳 ゼラチン・シルバー・プリント 17.3×12.9cm 20807_90	260 無題(「マグネット式チェスの駒」) 1950年 インク / 紙 27.9×21.6cm 21227_01	272* ジュリエット・ブラウナー・レイのパスポート 15.2×8.9cm 26412_2
237 無題(ドローイング) 1940年 インク / 紙 30.3×45.9cm 21718_76	249 無題 制作年不詳 ゼラチン・シルバー・プリント 25.4×19.7cm 20619_1	261 チェス・テーブル(マン・レイのデザインによる) 制作年不詳 ゼラチン・シルバー・プリント 15.2×19.7cm 21419_14	273 無題(ヴェールをつけたジュリエット III) 1950年頃 ゼラチン・シルバー・プリント 7.3×7.0cm 20807_16
238 無題(ドローイング) 1941年 インク / 紙 30.5×45.9cm 21718_50	250 紫の仮面 1948年 油彩 / カンヴァス 25.4×33.0cm 21626_1	262 巨大なチェス・セット 1961年 ボラロイド・プリント 8.3×10.6cm 21419_8	274 無題(ジュリエットの手) 1950年頃 ゼラチン・シルバー・プリント 6.4×11.4cm 20807_28
239 無題(ドローイング) 1940年 インク / 紙 22.9×31.8cm 21718_49	251 マクベス 1948 / 1972年 リトグラフ 70.5×49.5cm 2125_22_1	263 ジュリエットと巨大なチェス・セット 1961年 ボラロイド・プリント 9.5×10.5cm 21417_21	275 フェルー街 1952 / 1974年 リトグラフ 65.4×50.5cm 2126_20
240 無題(ドローイング) 1944年 インク / 紙 30.5×27.3cm 21718_68	252 から騒ぎ 1949年 油彩 / カンヴァス 48.3×63.7cm 21619_10	264 巨大なチェス・ボードのためのデザイン 1940年代 ゼラチン・シルバー・プリント、インク 17.8×12.7cm 201013_11	276 無題(建築ドローイング) 1951年 インク / 紙 20.5×26.8cm 21712_46
241 戦い 1940年 インク / 紙 45.7×30.5cm 21718_42	253 アラクネーの変身 III 制作年不詳 ミクスト・メディア 38.1×27.9cm 21718_47	265 巨大なチェス・ボード 1940年代 木に彩色 100.0×100.0cm 090829_017	277 無題(設計図) 制作年不詳 グラファイト / 紙 17.2×12.1cm 21712_25
242 帽子をかぶったジュリエット 1940年代 ゼラチン・シルバー・プリント 25.4×20.3cm 91210_19	254 女性の絵画 1951年 インク / 紙 73.7×61.0cm 21619.7	266 狂者 制作年不詳 研磨した鋼鉄 20.3×φ14.0cm 2166_49	278 無題(設計図) 制作年不詳 グラファイト / 紙 25.4×18.4cm 21713_1

279 無題(設計図) 制作年不詳 グラファイト / 紙 20.3×21.6cm 21711_9	289 無題(ポートレイト) 1950年代 マン・レイ考案の色彩定着技法によるカラー・ポジフィルム マン・レイによる額装 8.9×6.4cm(額寸) 241023_7	299 ネッド・ローレム 1953年 ゼラチン・シルバー・プリント 17.8×12.7cm 20811_19	310 無題(ポートレイト) 1950年代 マン・レイ考案の色彩定着技法によるカラー・ポジフィルム 31.8×24.1cm 7722_4
280* 撮影者不詳 マン・レイとジュリエット、フェルエー街のスタジオにて 1950年代 ゼラチン・シルバー・プリント 7.6×10.2cm 2077_23	290 無題(海辺のジュリエット) 1950年代 カラー写真 マン・レイによる額装 6.4×6.4cm(額寸) 241023_6	300 ネッド・ローレム 1953年 ゼラチン・シルバー・プリント 16.5×10.8cm 20811_29	311 無題(ポートレイト) 1950年代 マン・レイ考案の色彩定着技法によるカラー・ポジフィルム 12.7×10.2cm 7722_9
281 無題(フェルエー街のスタジオを訪ねたティニー&マルセル・デュシャン夫妻、マン・レイが描いた“チェス・ボード”風の折り畳み衝立の前で) 1952年 ゼラチン・シルバー・プリント 16.5×11.4cm 81124_5	291 無題(ポートレイト) 1950年代 マン・レイ考案の色彩定着技法によるカラー・ポジフィルム マン・レイによる額装 7.6×6.4cm(額寸) 241023_07	301 ネッド・ローレムと五線譜 1953年 ゼラチン・シルバー・プリント 13.3×12.1cm 20624_2	312 D.A.F.ド・サドの架空の肖像(1938年) 1950年代 マン・レイ考案の色彩定着技法によるカラー・ポジフィルム 11.4×8.3cm 20675_22
282 無題(ジュリエットとある人物) 1950年代 ポラロイド・プリント マン・レイによる額装 5.1×7.6cm(額寸) 2012_5	292 無題(リーズ・ドゥアルム) 1950年代 マン・レイ考案の色彩定着技法によるカラー・ポジフィルム マン・レイによる額装 11.4×8.3cm(額寸) 241023_10	302 無題(ジョイス・マンズール) 1950年代 ゼラチン・シルバー・プリント 14.0×8.9cm 25218_1	313 無題(ポートレイト) 1950年代 マン・レイ考案の色彩定着技法によるカラー・ポジフィルム 9.5×7.0cm 7722_21
283 無題(ジュリエットとナオミ・サヴェッジ) 1950年代 カラー写真 マン・レイによる額装 5.7×8.9cm(額寸) 241022_4	293 無題(ノーマ・コプリイ) 1950年代 マン・レイ考案の色彩定着技法によるカラー・ポジフィルム マン・レイによる額装 11.4×8.3cm(額寸) 241023_8	303 無題(ジョイス・マンズール) 1950年代 ゼラチン・シルバー・プリント 14.0×8.9cm 7725_7_2	314 無題(ポートレイト) 1950年代 マン・レイ考案の色彩定着技法によるカラー・ポジフィルム 9.5×7.0cm 7722_22
284 無題(髪をつけたジュリエットとメレット・オープンハイム) 1950年代 ポラロイド・プリント マン・レイによる額装 14.6×11.4cm(額寸) 241023_9	294 無題(ウィリアム・コプリイ) 1950年代 マン・レイ考案の色彩定着技法によるカラー・ポジフィルム マン・レイによる額装 8.9×6.4cm(額寸) 241022_3	304 無題(ジョイス・マンズール) 1950年代 ゼラチン・シルバー・プリント 17.8×12.7cm 7725_32	315 無題(ポートレイト) 1950年代 マン・レイ考案の色彩定着技法によるカラー・ポジフィルム 10.2×7.6cm 7722_1
285 無題(花) 1950年代 マン・レイ考案の色彩定着技法によるカラー・ポジフィルム マン・レイによる額装 11.4×11.4cm(額寸) 241023_1	295 無題(ウィリアム・コプリイ) 1950年代 マン・レイ考案の色彩定着技法によるカラー・ポジフィルム マン・レイによる額装 11.4×8.3cm(額寸) 241022_2	305 花を持つジュリエット 1950年代 マン・レイ考案の色彩定着技法によるカラー・ポジフィルム 10.2×7.6cm 20621_15	316 無題(イヴリン・ドーソン・ウィン) 1950年代 マン・レイ考案の色彩定着技法によるカラー・ポジフィルム 8.9×7.0cm 91021_8
286 無題(オレンジを頭にのせたジュリエット) 1950年代 カラー写真 マン・レイによる額装 10.2×9.5cm(額寸) 241023_2	296 無題(カメラのスケッチ) 制作年不詳 グラファイト / 紙 12.5×20.3cm 21711_1	306 イヴ・モンタン 1950年代 マン・レイ考案の色彩定着技法によるカラー・ポジフィルム 8.9×6.4cm 20629_20	317 無題(ポートレイト) 1950年代 マン・レイ考案の色彩定着技法によるカラー・ポジフィルム 8.9×6.4cm 7722_17
287 無題(ポートレイト) 1950年代 マン・レイ考案の色彩定着技法によるカラー・ポジフィルム マン・レイによる額装 11.4×8.9cm(額寸) 241023_3	297 無題(カメラのスケッチ) 制作年不詳 グラファイト / 紙 22.9×15.6cm 21711_18	307 ナオミ・サヴェッジ 1950年代 マン・レイ考案の色彩定着技法によるカラー・ポジフィルム 10.2×7.6cm 7722_2	318 ジュリエット・グレコ 1956年 マン・レイ考案の色彩定着技法によるカラー・ポジフィルム 8.9×7.0cm 20610_1
288 無題(ブリアポス) 1950年代 カラー・ポラロイド マン・レイによる額装 10.2×8.9cm(額寸) 241023_4	298 無題(カメラのスケッチ) 制作年不詳 グラファイト / 紙 21.6×20.3cm 21712_45	308 無題(ポートレイト) 1950年代 マン・レイ考案の色彩定着技法によるカラー・ポジフィルム 15.2×10.2cm 7722_3	319 ジュリエット・グレコ 1956年 ゼラチン・シルバー・プリント 12.7×8.9cm 20616_8

321 ジュリエット・グレコ 1956年 ゼラチン・シルバー・プリント 14.0×8.9cm 20616_27	333 宮脇愛子 1962年 ゼラチン・シルバー・プリント 24.1×17.1cm 20731_4	345 こんにちは、マックス・エルンスト 1974年 リトグラフ 65.4×50.2cm 2125_5_3	357 無題(《オブジェ＝トピック》をつけたジュリエット) 1960年代 ポラロイド・プリント 8.6×10.8cm 251225_35
322 無題(ジュリエット・グレコ) 1956年 ゼラチン・シルバー・プリント 12.7×17.8cm 20621_13	334* 宮脇愛子 無題 1962年 石膏に彩色 24.1×19.1cm 21626_5	346 こんにちは、マックス 1970年代 ミクスト・メディア 39.4×27.9×7.6cm 2168_40	358 無題 1960年代 ポラロイド・プリント 10.8×8.6cm 22612_1
323 無題(ジュリエット、南仏にて) 1950年代 ゼラチン・シルバー・プリント 14.0×8.9cm 21222_9	335 点のための習作 1952年 油彩 / 板 26.7×34.0cm 21626_17	347 アダム・アンド・イーヴン(赤い鉄の神話) 1966年 リトグラフ 56.5×76.2cm 2125_27	359 無題 1960年代 ポラロイド・プリント 7.6×10.8cm 22612_2
324 無題(ジュリエット、南仏にて) 1955年 インク / 紙 38.1×27.9cm 21716_28	336 無題(絵画) 1954年 油彩 / カンヴァス 46.0×38.1cm 21622_14	348 赤いアイロン 1966年 ミクスト・メディア アイロン : 3.8×3.8cm、箱 : 5.7×7.0cm 2165_2	360 無題 1960年代 ポラロイド・プリント 10.2×8.3cm 21222_11
325 無題(ドローイング) 1952年 インク / 紙 37.0×18.7cm 21718_64	337 無題(絵画) 1955年 油彩 / リネン 32.7×40.8cm 21622_12	349 ハーブのヘッドライト 1967年 ステンレス製アイロン 8.3×7.6×8.3cm 2165_9	361 無題 1960年代 ポラロイド・プリント 10.2×8.3cm 22612_3
326 無題(ドローイング) 1953年 インク / 紙 37.0×18.7cm 21716_34	338 窓 1959年 油彩 / カンヴァス 127.0×30.5×4.5cm 81106_2	350 ジュリエット(ハンス・リヒターの映画『金で買える夢』より) 1945年 ゼラチン・シルバー・プリント 22.9×17.8cm 91210_11	362 無題(セルフ・ポートレート) 1960年代 ポラロイド・プリント 10.2×8.3cm 2077_41
327 無題(ドローイング) 1952年 インク / 紙 26.0×21.0cm 21711_7	339 無題(ナチュラル・ペインティング) 1958年 木に彩色 13.0×18.1cm 21626_18	351 無題(ジュリエットの眼) 1940年代 ゼラチン・シルバー・プリント 6.4×8.3cm 21614_3	363 無題(セルフ・ポートレート) 1960年代 ポラロイド・プリント 10.2×8.3cm 2077_39
328 無題(ドローイング) 1952年 インク / 紙 26.0×20.8cm 21716_18	340 案内板 1952 / 1969年 研磨した鋼鉄 12.1×φ33.0cm 21614_10	352 目撃者 1947 / 1971年 ミクスト・メディア 9.5×19.7×3.8cm 21614_4	364 こんばんは、マン・レイ 1972年 リトグラフ 38.1×27.9cm 21131_9_3
329 無題(ドローイング) 1950年代 インク / 紙 27.9×19.4cm 21711_10	341 バンドラの箱 1952年 ミクスト・メディア 3.2×17.0×1.8cm 21613_10	353 のぞき 1970年代 ミクスト・メディア 10.8×15.9×3.2cm 2165_27	365 無題(ドローイング) 制作年不詳 グラフィット / 紙 14.6×19.1cm 21712_7
330 無題(ドローイング) 1953年 インク / 紙 18.7×37.0cm 21713_72	342 家族 1976年 木 24.8×19.1×13.7cm 2168_58b	354 のぞき 1970年代 ミクスト・メディア 15.2×16.0×3.8cm 2165_26	366 モニュメント 1968年 リトグラフ 64.1×19.1cm 2125_30
331 無題(ドローイング) 1953年 インク / 紙 42.6×31.8cm 21718_3	343 別のスプリング 1966年 ミクスト・メディア 29.9×17.0×20.6cm 2168_50	355 ジュリエット(オブジェ＝トピック) 1974 / 1978年 ミクスト・メディア 9.2×13.3×5.7cm 21614_5	367 『セルフ・ポートレート』(自筆原稿) 1963年 インク、グラフィット / 紙 27.9×21.6cm 260728_02
332* 撮影者不詳 マン・レイ、ジュリエットと宮脇愛子 1960年代 ゼラチン・シルバー・プリント 17.8×13.3cm 21510_5	344 無題 1966年 ミクスト・メディア 67.9×φ20.3cm 21618_16	356 オブジェ＝トピック 1972年 ミクスト・メディア 7.6×10.8cm 20728_7	368 無題(ドローイング) 制作年不詳 インク、グラフィット / 紙 27.3×21.6cm 21712_9

369 無題(ドローイング) 制作年不詳 インク / 紙 27.0×22.7cm 21711_15	381 処女 1973年 リトグラフ 30.5×24.8cm 2129_1_14	394 無題(コンタクト・プリント) 制作年不詳 ゼラチン・シルバー・プリント、インク 6.4×24.1cm 20714_11	409* 撮影者不詳 マン・レイとジュリエット・マン・レイ の墓碑、モンバルナス墓地、パリ 撮影年不詳 コピー・プリント 20.3×25.4cm 261227_17
370 無題(ドローイング) 制作年不詳 インク、グラフィイト / 紙 27.3×21.0cm 21712_29	382 アングルのバイオリン 1924 / 1969年 リトグラフ 47.6×36.2cm 2129_5_1	395 ジュリエット 制作年不詳 ゼラチン・シルバー・プリント 15.2×10.2cm 20801_11	410 無題(ドローイング) 制作年不詳 インク、クレヨン / 紙 31.8×24.1cm 21716_16
371 無題(ドローイング) 1972年 インク / 紙 31.8×24.8cm 21716_30	383 サン＝ジャン＝ド＝リュズの夜 1968年 リトグラフ 75.9×53.3cm 2126_4_4	396 無題(コンタクト・プリント) 制作年不詳 ゼラチン・シルバー・プリント、テープ、 色鉛筆 10.2×6.4cm 251220_7	
372 無題(ドローイング) 制作年不詳 インク / 紙 21.0×27.0cm 21718_66	384 エリック・サティの梨 1969年 リトグラフ 64.8×49.5cm 2126_12_1	397* マン・レイの帽子 12.7×22.9×29.9cm 2165_16	
373 試み 1971年 インク、パステル / 紙 12.7×19.7cm 21711_31	385* 「マン・レイ」のスタンプ 制作年不詳 3.8×14.0×1.3cm 2163_5	398* マン・レイの杖 84.5cm 21618_13	
374 無題(影の習作) 1970年代 インク、グラフィイト / 紙 24.1×16.5cm 21713_30	386* 「マン・レイ」のスタンプ 制作年不詳 5.1×15.2×1.9cm 21627_1	399* マン・レイの杖 87.0cm 21618_12	
375 無題(影の習作) 1971年 木に彩色 47.0×36.8cm 21622_3	387 セルフ・ポートレート 1947年 リトグラフ 21.6×16.5cm 21131_6_2	400* マン・レイの財布 8.9×11.7cm 2165_22	
376 無題(影の習作) 1973年 木に彩色 45.7×35.6cm 21622_2	388 セルフ・ポートレート(リトグラフ原版) 1947年 20.3×15.2×2.5cm 2166_31	401* マン・レイのブリーフケース 33.0×43.2cm 2166_40	
377 無題(影の習作) 1971年 木に彩色 45.7×35.6cm 21622_1	389 誕生(リトグラフ原版) 制作年不詳 17.8×10.2×2.5cm 2163_3	402* 三角定規 28.6×14.6cm 2166_38f	
378 タペストリー 1911 / 1973年 リトグラフ 74.9×55.9cm 2127_14_3	390 ランプシェード(リトグラフ原版) 制作年不詳 24.1×13.3×2.5cm 21627_2	403* 平行定規 5.1×22.9cm 2166_38g	
379 ローズ・セラヴィの肖像 1920 / 1971年 リトグラフ 38.1×27.9cm 2125_10	391 D.A.F.ド・サドの架空の肖像(リトグラ フ原版) 1970年代 17.8×14.0×2.5cm 2163_1	404* T定規 15.2×24.8cm 2166_38a	
380 処女(試刷り) 1973年 リトグラフ 41.9×27.3cm 2129_1_9	392 無題(カトリーヌ・ドヌーヴの写った コンタクト・プリント) 1966年 ゼラチン・シルバー・プリント、インク 23.2×5.7cm 26116_18	405* マン・レイの絵筆 I 38.1cm 2166_38b	
	393 未解決の耳飾り 1960年代 金 19.1×3.8cm 26810_01	406* マン・レイの絵筆 II 33.0cm 2166_38c	
		407* 製図器具 10.2×22.2cm 2166_46a	
		408* マン・レイ財団のカード 1988年 オフセット印刷 12.7×10.2cm 27132_11	

陰影礼讃
一国立美術館コレクションによる
出品リスト

I. 影あるいは陰、そして描写

■影と陰の諸相

- 1
リー・フリードランダー
《デラウェア州ウィルミントン》
1965年
ゼラチン・シルバー・プリント
28.6×19.2cm
東京国立近代美術館
- 2
アルフレッド・スティーグリッツ
《ニューヨーク(シェルトン・ホテル西側より)》
1931-32年
ゼラチン・シルバー・プリント
24.2×19.2cm
東京国立近代美術館
- 3
ハリー・キャラハン
《エレノア》
1948年
ゼラチン・シルバー・プリント
15.0×20.2cm
京都国立近代美術館
- 4
アルヴィン・ラングドン・コバーン
《水に映るマスト》
1906年
ハーフトーン
24.3×16.9cm
京都国立近代美術館
- 5
アンドレ・ケルテス
《モンドリアンのアトリエ、パリ》
1926年/プリント1981年
ゼラチン・シルバー・プリント
11.4×8.4cm
東京国立近代美術館
- 6
エドワード・ウェストン
《教会堂の扉、ホルニトス》
1940年
ゼラチン・シルバー・プリント
19.1×24.2cm
京都国立近代美術館
- 7
ジョエル・スナイダー
《ロックフェラー教会、シカゴ》
1967年
プラチナ・プリント
18.7×19.0cm
京都国立近代美術館

■実在感の創出

- 8
ギュスターヴ・クールベ
《りんご》
1871年頃
油彩/カルトン
24.5×33.5cm
国立西洋美術館(松方コレクション)
- 9
ジョルジョ・モランディ
《静物》
1952年
油彩/カンヴァス
33.2×45.0cm
国立国際美術館
- 10
坂本繁二郎
《林檎と馬鈴薯》
1940年
油彩/カンヴァス
45.4×53.1cm
京都国立近代美術館

- 11
速水御舟
《秋茄子と黒茶碗》
1921年
絹本彩色、額
28.0×25.0cm
京都国立近代美術館
- 12
長谷川潔
《コップに挿した野花(秋)[種草]》
1951年
ビュラン
28.6×23.0cm
京都国立近代美術館
- 13
長谷川潔
《メキシコの種子草 静物画》
1967年
マニエール・ノワール
35.7×26.5cm
京都国立近代美術館
- 14
ヘンドリック・ホルツィウス
《ベルヴェデーレのアポロン》
1592年頃
エングレーヴィング
40.2×29.2cm
国立西洋美術館
- 15
安井曾太郎
《裸婦》
1909年
木炭/紙
62.8×48.2cm
東京国立近代美術館
- 16
小出楯重
《裸女と白布》
1929年
油彩/カンヴァス
52.0×64.0cm
東京国立近代美術館
- 17
安井曾太郎
《ポーズせるモデル》
1931年
油彩/カンヴァス
81.0×65.3cm
京都国立近代美術館
- 18
須田国太郎
《少女》
1934年
油彩/カンヴァス
117.5×73.0cm
京都国立近代美術館

II. 具象描写の影と陰

■肖像、または人のいる情景の演出

- 19
小出楯重
《ラッパを持てる少年》
1923年
油彩/カンヴァス
94.3×63.2cm
東京国立近代美術館
- 20
アンリ=ジャン=ギヨーム・マルタン
《娘》
油彩/カルトン
60.7×49.7cm
国立西洋美術館(松方コレクション)

- 21
須田国太郎
《自画像》
1938年
油彩/カンヴァス
45.5×38.0cm
京都国立近代美術館
- 22
フセーベ・デ・リベアラ
《哲学者クラテース》
1636年
油彩/カンヴァス
124.0×98.5cm
国立西洋美術館
- 23
中村彝
《エロシェンコ氏の像》
1920年
油彩/カンヴァス
45.5×42.0cm
東京国立近代美術館
重要文化財
- 24
岸田劉生
《自画像》
1914年
油彩/カンヴァス
45.0×37.3cm
東京国立近代美術館
- 25
岸田劉生
《古屋君の肖像(草持てる男の肖像)》
1916年
油彩/カンヴァス
45.5×33.5cm
東京国立近代美術館
- 26
浅井忠
《編みもの》
1901年
油彩/カンヴァス
64.3×48.7cm
京都国立近代美術館
- 27
ギュスターヴ・クールベ
《もの思うジブシー女》
1869年
油彩/カンヴァス
50.3×61.0cm
国立西洋美術館(松方コレクション)
- 28
印藤真楯
《夜桜》
1897年
油彩/カンヴァス
60.5×87.5cm
京都国立近代美術館
- 29
平山郁夫
《入涅槃幻想》
1961年
紙本彩色、額
178.5×224.0cm
東京国立近代美術館
- 30
松本竣介
《並木道》
1943年
油彩/カンヴァス
33.0×41.0cm
東京国立近代美術館
- 31
秋野不矩
《土の祈り》
1983年
紙本彩色、額
118.0×247.0cm
京都国立近代美術館

[凡例]
作品番号
作家名
作品名
制作年
技法/材質
寸法
所蔵

*作品名は、由来が不確かな場合や所蔵館によって補われたものについては[]内に記載した。
*作品番号79の作品は前期(9月8日-9月27日)、作品番号80の作品は後期(9月29日-10月18日)のみ展示。

- 32
エドヴァルド・ムンク
《眼鏡を掛けた自画像》
1922年
リトグラフ
42.0×60.0cm
国立西洋美術館
- 33
アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック
《アンナ・ヘルト》
1898年
リトグラフ
29.5×24.2cm
国立西洋美術館
- 34
ケーテ・コルヴィッツ
《農民戦争》より《第3葉：刃を研ぐ者》
1905年(1908年の刷り)
エッチング、ドライポイント、アクアティ
ント、ソフトグラウンド・エッチング
29.7×29.7cm
国立西洋美術館
- 35
ジャック・カロ
《四つの宴》(4点組)
エッチング、エンブレイヴィング
国立西洋美術館
35-1.《カナの饗宴》
7.8×5.8cm
35-2.《パリサイ人の家での食事》
7.7×5.6cm
35-3.《最後の晩餐》
7.8×5.7cm
35-4.《エマオの晩餐》
7.6×5.8cm
- 36
ジャック・カロ
《食卓の聖家族》
エッチング、エンブレイヴィング
19.0×16.7cm
国立西洋美術館
- 37
フランシスコ・ホセ・デ・ゴヤ・イ・
ルシエンテス
《ロス・カブリーチョス》より
《ほら、お化けが来るよ》
1799年
エッチング、アクアティント(一部掻き
落とし)
21.7×15.3cm
国立西洋美術館
- 38
フランシスコ・ホセ・デ・ゴヤ・イ・
ルシエンテス
《ロス・カブリーチョス》より《かっかし
ている》
1799年
エッチング、アクアティント(一部掻き
落とし)
21.8×15.4cm
国立西洋美術館
- 39
ウジェーヌ・ドラクロワ
《墓に運ばれるキリスト》
1859年
油彩/カンヴァス
56.3×46.3cm
国立西洋美術館
- 40
ウジェーヌ・ドラクロワ
ゲート「ファウスト」より《書齋のファウ
スト》
1828年
リトグラフ
25.0×17.0cm
国立西洋美術館
- 41
オノレ・ドーミエ
《ワートルローの戦いの前夜のモルティ
エ元帥》
1835年
リトグラフ
20.9×22.4cm
国立西洋美術館
- 42
マックス・クリンガー
《ある生涯》より《序II》
1884年
エッチング、エンブレイヴィング、アク
アティント
14.0×26.1cm
国立西洋美術館
- 風景表現の構成要素
- 43
ヤーコプ・ファン・ロイスダール
《櫻の森の道》
17世紀後半
油彩/カンヴァス
102.5×127.0cm
国立西洋美術館
- 44
アレクサンドロ・マニヤスコ
《羊飼いのいる風景》
1718-25年頃
油彩/カンヴァス
93.0×130.0cm
国立西洋美術館
- 45
リチャード・ウィルソン
《ティヴォリの風景(カプリッチョ)》
1754年
油彩/カンヴァス
99.1×134.5cm
国立西洋美術館
- 46
須田国太郎
《スペイン山間》
1932年
油彩/カンヴァス
65.5×91.0cm
東京国立近代美術館
- 47
安井曾太郎
《奥入瀬の溪流》
1933年
油彩/カンヴァス
65.5×81.8cm
東京国立近代美術館
- 48
クロード・モネ
《ラ・ロシュ＝ギュイヨンの道》
1880年
油彩/カンヴァス
60.5×73.0cm
国立西洋美術館(松方コレクション)
- 49
黒田清輝
《落葉》
1891年
油彩/カンヴァス
80.8×63.8cm
東京国立近代美術館
- 50
モーリス・ドニ
《ロスババモン》
1918年
油彩/カルトン
36.5×49.7cm
国立西洋美術館(松方コレクション)
- 51
クロード・モネ
《チャーリング・クロス橋、ロンドン》
1902年頃
油彩/カンヴァス
65.3×100.0cm
国立西洋美術館(松方コレクション)
- 52
アンリ＝ジャン＝ギヨーム・マルタン
《カオールの橋》
油彩/カンヴァス
85.7×64.5cm
国立西洋美術館(松方コレクション)
- 53
浜田浜雄
《ユバス》
1939年
油彩/カンヴァス
52.0×64.0cm
東京国立近代美術館
- 54
浅原清隆
《郷愁》
1938年
油彩/カンヴァス
111.1×148.8cm
東京国立近代美術館
- 55
徳岡紳泉
《池》
1952年
紙本彩色、額
129.9×174.8cm
京都国立近代美術館
- 56
東山魁夷
《映象》
1962年
紙本彩色、額
147.5×211.5cm
東京国立近代美術館
- 57
竹内栖鳳
《宿鴨宿鴉》
1926年
紙本墨画、軸
92.0×116.0cm
東京国立近代美術館
- 58
横山大観
《暮色》
1922年
紙本墨画、軸
53.5×84.0cm
東京国立近代美術館
- 59
ジャック・カロ
《様々なイタリア風景》より《水車》
エッチング
11.2×24.6cm
国立西洋美術館
- 60
クロード・ロラン
《牛飼いの》
1636年
エッチング
13.1×20.0cm
国立西洋美術館
- 61
ジョヴァンニ・バッティスタ・ピラネージ
《牢獄》(第2版)より《第3葉：円形の塔》
1760年代半ば-1770年代初頭/1761年初出
版(第2版)
エッチング、エンブレイヴィング、サル
ファー・ティントまたはオープン・バイ
ト、掻き落とし、賽の目紙
55.6×41.8cm
国立西洋美術館
- 62
シャルル・メリヨン
《パリの銅版画》より《死体公示所》
1854年
エッチング、ドライポイント、シン・コレ
21.2×19.2cm
国立西洋美術館
- 63
ジャン＝バティスト・カミーユ・コロ
ー
《コロ、ドービニー、ドラクロワ、ミ
レー、ルソーによる40のクリシェ＝グラ
ス》より《夢想者》
1854年(1921年出版)
クリシェ＝ヴェール(ガラス版画)
14.9×19.3cm
国立西洋美術館
- 64
サミュエル・パーマー
《夕暮れ、又は牧人の小屋》
1850年
エッチング
12.4×10.2cm
国立西洋美術館
- 65
シャルル＝フランソワ・ドービニー
《コロ、ドービニー、ドラクロワ、ミ
レー、ルソーによる40のクリシェ＝グラ
ス》より《夜の印象》
1858/62年(1921年出版)
クリシェ＝ヴェール(ガラス版画)
15.0×19.0cm
国立西洋美術館
- 主張する影、自立した影
- 66
甲斐庄楠音
《幻覚》
1920年頃
絹本着色、額
183.5×105.0cm
京都国立近代美術館
- 67
伊原宇三郎
《香港に於ける酒井司令官、ヤング総督
の会見》
1943-44年
油彩/カンヴァス
186.0×254.3cm
東京国立近代美術館
無期限貸与作品
- 68
須田国太郎
《書齋》
1937年
油彩/カンヴァス
130.0×162.0cm
東京国立近代美術館
- 69
岡本唐貴
《制作》
1924年
油彩、デトランプ/綿布
106.0×72.3cm
東京国立近代美術館
- 70
山口薫
《古羅馬の旅》
1937年
油彩/カンヴァス
99.8×80.5cm
東京国立近代美術館
- 71
北脇昇
《明暗三裸婦》
1936年
油彩/カンヴァス
162.0×130.4cm
東京国立近代美術館

72
北脇昇
《クオ・ヴァディス》
1949年
油彩/カンヴァス
91.0×117.0cm
東京国立近代美術館

73
靉嘔
《連作 真昼》より《序曲「登場」》
1955年
油彩/板
67.0×92.0cm
国立国際美術館

74
森芳雄
《石膏のある静物》
1953年
油彩/カンヴァス
90.9×72.7cm
京都国立近代美術館

75
北脇昇
《独活》
1937年
油彩/カンヴァス
117.0×74.0cm
東京国立近代美術館

76
イヴ・タンギー
《聾者の耳》
1938年
油彩/カンヴァス
46.0×55.0cm
東京国立近代美術館

77
北脇昇
《空港》
1937年
油彩/カンヴァス
72.5×60.5cm
東京国立近代美術館

78
今井憲一
《ターミナル》
1954年
油彩/カンヴァス
116.6×90.5cm
京都国立近代美術館

79
藤森静雄
『月映』Ⅱより《こころのかげ》
1914年
木版
17.5×9.1cm
京都国立近代美術館

80
藤森静雄
『月映』Ⅱより《わがかげ》
1914年
木版
11.3×13.4cm
京都国立近代美術館

81
藤森静雄
『月映』Ⅵより《映心》
1915年
木版
17.0×12.0cm
京都国立近代美術館

82
フランシスコ・ホセ・デ・ゴヤ・イ・
ルシエンテス
《妄》より《貧の妄》
1820-23年頃(1864年初版)
エッチング、アクアティント、ドライポ
イント他
24.5×35.0cm
国立西洋美術館

83
ウジェーヌ・ドラクロワ
ゲーテ『ファウスト』より
《ファウストとヴァレンティンの決闘》
1828年
リトグラフ
23.1×28.0cm
国立西洋美術館

84
ウジェーヌ・ドラクロワ
シェイクスピア『ハムレット』より《テラ
スの亡霊》
1843年
リトグラフ
25.8×19.3cm
国立西洋美術館

85
オノレ・ドーミエ
《青鞥派》より
《5番：「おい、おまえ…こんな夜中に歩き
回って、いったいなにを考えてるんだい？
…夢遊病にでもなったのか、それとも腹
痛か？…」「いいえ、夫殺しの新しい方法
を探しているのよ…その方法を見つけな
いと、寝つけないわ！…私が今書してい
る小説の結末に、どうしてもそれが必要
なのよ！…」「やれやれ！私で試すような
ことだけはしないでほしいわ！…」》
1844年
リトグラフ/新聞用紙
23.2×18.9cm
国立西洋美術館

86
オノレ・ドーミエ
《(新)間借人と大家》より
《3番：「ここになにがなんでも3部屋と
台所を一つ作ってみせなきゃなんねえの
よ！…」》
1856年
リトグラフ
20.6×25.6cm
国立西洋美術館

87
オノレ・ドーミエ
《古代史》より
《23番：美しきナルシス 彼は若く美しかっ
た、うっとりややさしい息吹で/そよ風が
ほら、妙なる輪郭にそっと指を滑らすよ/
泉の鏡なす水面に向かい/ためつすがめつ
するのが好きな、私と同じホラ穴のム
ジナるしす(ナルシス・ド・サルヴァンディ
氏秘作の、肩の凝らない4行詩)》
1842年
リトグラフ/新聞用紙
25.4×20.4cm
国立西洋美術館

88
マックス・クリンガー
《オヴィディウス『変身譚』の犠牲者の救
済》より
《ナルキッソスとエコーⅠ》
1879年
エッチング、アクアティント
27.1×40.0cm
国立西洋美術館

89
マックス・クリンガー
《死についてⅡ》より《哲学者》
1898-1910年
エッチング、アクアティント
49.5×33.6cm
国立西洋美術館

90
マックス・クリンガー
《ある愛》より《恥辱》
1887年
エッチング、エングレーヴィング、アク
アティント
41.7×26.8cm
国立西洋美術館

91
エドヴァルド・ムンク
《立つ男》
リトグラフ
50.0×37.0cm
国立西洋美術館

Ⅲ. カメラが捉えた影と陰

92
アンドレ・ケルテス
《マルチニーク、1972年1月1日》
1972年
ゼラチン・シルバー・プリント
26.4×34.1cm
京都国立近代美術館

93
エドワード・スタイケン
《ロダン、考える人》
1902年
フォトグラビア(オリジナル・ネガ)
15.4×18.4cm
京都国立近代美術館

94
W. ユージン・スミス
《楽園への歩み》
1946年
ゼラチン・シルバー・プリント
30.3×26.3cm
京都国立近代美術館

95
奈良原一高
《消滅した時間》より
《二つのサンタクロース、ニューヨーク》
1972年
ゼラチン・シルバー・プリント
26.9×40.0cm
東京国立近代美術館

96
アンセル・アダムス
《自画像、モニュメント・ヴァレイ、ユタ》
1958年
ゼラチン・シルバー・プリント
33.6×24.2cm
京都国立近代美術館

97
川田喜久治
《地図》より
《原爆ドーム屋上 セルフポートレイト 広島》
1960-65年/プリント2004年
プラチナ・プリント
25.0×37.1cm
東京国立近代美術館

98
ラルフ・ユージン・ミートヤード
《マドンナ》
1964年
ゼラチン・シルバー・プリント
16.7×17.6cm
京都国立近代美術館

99
篠山紀信
《熱い肉体》より
1965年
ゼラチン・シルバー・プリント
53.2×39.5cm
東京国立近代美術館

100
アンドレ・ケルテス
《ボン・デ・ザール》
1932年
ゼラチン・シルバー・プリント
34.7×27.3cm
京都国立近代美術館

101
アルヴィン・ラングドン・コバーン
《ノートル・ダム大聖堂》
1907年
彩色ハーフトーン
20.8×16.6cm
京都国立近代美術館

102
アルフレッド・スティーグリッツ
《ロウアー・マンハッタン》
1910年
フォトグラビア(オリジナル・ネガ)
15.9×19.7cm
京都国立近代美術館

103
ウジェーヌ・アジェ
《サン・クルー公園》
1915-19年/プリント1951年
ゼラチン・シルバー・プリント
16.8×21.6cm
東京国立近代美術館

104
アンセル・アダムス
《鏡の池》
1925年
ゼラチン・シルバー・プリント
19.5×24.1cm
京都国立近代美術館

105
ウィーン・バラック
《魚釣りの少年》
1958年
ゼラチン・シルバー・プリント
23.9×18.8cm
京都国立近代美術館

106
アレクサンドル・ロトチェンコ
《階段》
1929年/プリント1994年
ゼラチン・シルバー・プリント
16.4×22.7cm
東京国立近代美術館

107
エドワード・ウェストン
《広大な砂丘》
1936年
ゼラチン・シルバー・プリント
19.1×24.2cm
京都国立近代美術館

108
レナート・オルソン
《ショーンブリッジ、スウェーデン》
1962年
ゼラチン・シルバー・プリント
50.2×40.1cm
京都国立近代美術館

109
宮本隆司
《ベルリン大劇場》
1985年
ゼラチン・シルバー・プリント
34.6×51.1cm/50.8×61.0cm(紙寸)
国立国際美術館

110
宮本隆司
《デンマーク大使館》
1986年
ゼラチン・シルバー・プリント
34.8×51.2cm/50.8×61.0cm(紙寸)
国立国際美術館

111 宮本隆司 《根岸競馬場》 1987年 ゼラチン・シルバー・プリント 40.5×51.0cm/50.8×61.0cm(紙寸) 国立国際美術館	122 ウォーカー・エヴァンス 《ウォール・ストリート、窓》 1928-30年 ゼラチン・シルバー・プリント 17.0×12.0cm 京都国立近代美術館	IV. 影と陰を再考する現代 ■概念的な思考	142 高松次郎 《影》のための習作《もたれかかる女》 1977年 鉛筆、色鉛筆/トレーシングペーパー 38.9×26.7cm 国立国際美術館
112 畠山直哉 《アンダーグラウンド》 1999年/プリント2001年 Cプリント 49.0×49.0cm 国立国際美術館	123 椎原治 題名不詳[コップと花] 制作年不詳 ゼラチン・シルバー・プリント 29.9×23.2cm 東京国立近代美術館	132 マルセル・デュシャン 《自転車の車輪》 1913年/シュヴァルツ版1964年 木製椅子、自転車の車輪 126.5cm(高さ) 京都国立近代美術館	143 高松次郎 【髪影】 1984年 鉛筆/紙 57.0×76.5cm 国立国際美術館
113 畠山直哉 《アンダーグラウンド》 1999年/プリント2001年 Cプリント 49.0×49.0cm 国立国際美術館	124 山口勝弘/大辻清司 『APN』ポートフォリオより(6) 1953-54年/プリント2003年 ゼラチン・シルバー・プリント 24.1×18.0cm 東京国立近代美術館	133 マルセル・デュシャン 《瓶乾燥器》 1914年/シュヴァルツ版1964年 レディメイド：瓶乾燥機 64.2cm(高さ) 京都国立近代美術館	144 高松次郎 《影の母子像》のための習作 1988年 鉛筆/紙 54.7×77.3cm 国立国際美術館
114 畠山直哉 《アンダーグラウンド》 1999年/プリント2001年 Cプリント 49.0×49.0cm 国立国際美術館	125 ラルフ・スタイナー 『「クライド・グリフィス事件」のリハー サルの後で(リー・ストラスバーグとモ リス・カーノフスキー)』 1936年/プリント1977年 ゼラチン・シルバー・プリント 24.0×19.0cm 東京国立近代美術館	134 マルセル・デュシャン 《折れた腕の前に》 1915年/シュヴァルツ版1964年 レディメイド：雪掻きシャベル 132.0cm(高さ) 京都国立近代美術館	145 高松次郎 《影の母子像》のための習作 1988年 鉛筆/紙 54.7×77.3cm 国立国際美術館
115 アンドレ・ケルテス 《フォーク、パリ》 1928年/プリント1981年 ゼラチン・シルバー・プリント 7.4×9.0cm 東京国立近代美術館	126 石元泰博 《シカゴ、シカゴ》より 1958-61年 ゼラチン・シルバー・プリント 20.0×28.2cm 東京国立近代美術館	135 マルセル・デュシャン 《帽子掛け》 1917年/シュヴァルツ版1964年 レディメイド：帽子掛け 23.0×44.0×33.0cm 京都国立近代美術館	146 高松次郎 【影の器】 1965年 鉛筆、墨/紙 26.0×17.8cm 国立国際美術館
116 ラルフ・スタイナー 《ロッキング・チェア》 1929年/プリント1978年 ゼラチン・シルバー・プリント 19.2×24.4cm 東京国立近代美術館	127 ヨゼフ・クーデルカ 《亡命者たち》より《ウェールズ》 1975年 ゼラチン・シルバー・プリント 36.7×54.1cm 東京国立近代美術館	136 マルセル・デュシャン 『マルセル・デュシャン語録』(編・訳： 瀧口修造)より(デュシャン自作プロ フィールの複製) 1968年 オフセット/アルシュ紙 29.3×22.9cm 国立国際美術館	147 高松次郎 【《カーテンを開けた女の影》のための習作】 1965年 鉛筆、墨/紙 25.9×17.9cm 国立国際美術館
117 アンドレ・ケルテス 《モンマルトルの階段、パリ》 1925年/プリント1981年 ゼラチン・シルバー・プリント 7.9×10.0cm 東京国立近代美術館	128 ロバート・フランク 《メアリー、1961》 1961年 ゼラチン・シルバー・プリント 30.3×21.3cm 東京国立近代美術館	137 高松次郎 《影》 1977年 アクリリック/カンヴァス 300.0×1245.0cm 国立国際美術館	148 高松次郎 【影を立体的物体として把むための装置】 1965年 鉛筆、墨/紙 26.0×18.0cm 国立国際美術館
118 椎原治 《ムーヴメント》 制作年不詳 ゼラチン・シルバー・プリント 29.8×24.6cm 東京国立近代美術館	129 古屋誠一 《クリスティエーネの肖像》より 《ミッターラスニッツ1980》 1980年/プリント1997年 ゼラチン・シルバー・プリント 32.2×21.3cm 東京国立近代美術館	138 高松次郎 《影》のための下絵 1977年 鉛筆、色鉛筆/紙 34.7×76.0cm 国立国際美術館	149 高松次郎 【《カーテンをあけた女の影》のための習作】 1965年 鉛筆、墨/紙 25.9×17.9cm 国立国際美術館
119 恩地孝四郎 「博物志」より《ニジマス》 1938-42年 ゼラチン・シルバー・プリント 20.0×15.2cm 東京国立近代美術館	130 東松照明 《アスファルト》より 1960年/プリント1992年 ゼラチン・シルバー・プリント 30.1×29.5cm 東京国立近代美術館	139 高松次郎 《影》のための習作《たばこを吸う男》 1977年 鉛筆、色鉛筆/トレーシングペーパー 38.9×26.7cm 国立国際美術館	150 高松次郎 【無題】 1965年 鉛筆、色鉛筆、墨/紙 25.9×17.9cm 国立国際美術館
120 ポール・ストランド 《ビーチの影》 1916年 フォトグラビア 24.2×16.2cm 京都国立近代美術館	131 森山大道 《光と影》より 1980年 ゼラチン・シルバー・プリント 44.8×54.8cm 東京国立近代美術館	140 高松次郎 《影》のための習作《見上げる女》 1977年 鉛筆、色鉛筆/トレーシングペーパー 38.9×26.7cm 国立国際美術館	151 高松次郎 【無題】 1965-66年頃 鉛筆、色鉛筆/紙 26.0×17.7cm 国立国際美術館
121 アレクサンドル・ロトチェンコ 《ライカを持つ女》 1934年/プリント1994年 ゼラチン・シルバー・プリント 24.2×17.2cm 東京国立近代美術館		141 高松次郎 《影》のための習作《二人の男》 1977年 鉛筆、色鉛筆/トレーシングペーパー 38.9×26.7cm 国立国際美術館	152 榎倉康二 《P.W.-No.48》 1972年 ゼラチン・シルバー・プリント 18.1×24.1cm 国立国際美術館

153
榎倉康二
《予兆一床・手(P.W.-No.51)》
1974年
ゼラチン・シルバー・プリント
20.6×19.0cm
国立国際美術館

154
榎倉康二
《P.W.-No.135》
1994年
ゼラチン・シルバー・プリント
15.4×23.9cm
国立国際美術館

155
榎倉康二
《予兆一ビン・水(P.W.-No.52)》
1974年
ゼラチン・シルバー・プリント
16.3×24.5cm
国立国際美術館

156
榎倉康二
《STORY & MEMORY (P.W.-No.118)》
1994年
ゼラチン・シルバー・プリント
15.3×23.5cm
国立国際美術館

157
アンディ・ウォーホル
《マリリン》
1967年
シルクスクリーン/紙
各91.4×91.4cm(10点組のうち4点出品)
国立国際美術館

158
ロイ・リキテンスタイン
《ヌード・シリーズ》より《ルームメイト》
1994年
凸版/紙
146.0×104.0cm
国立国際美術館

159
ロイ・リキテンスタイン
《日本の橋のある睡蓮》
1992年
エナメル/ステンレス、額(彩色)
211.5×147.3cm
国立国際美術館

■同時代の美術から

160
秋岡美帆
《ながれ》
1988年
NECO/カンヴァス
199.0×199.3cm
東京国立近代美術館

161
秋岡美帆
《よどみ》
1988年
NECO/カンヴァス
200.3×200.2cm
東京国立近代美術館

162
秋岡美帆
《そよぎ》
1988年
NECO/カンヴァス
200.0×200.3cm
東京国立近代美術館

163
トーマス・デマンド
《木漏れ日》
2002年
Cプリント
各48.8×61.0cm(28点組)
国立国際美術館

164
小林孝亘
《House Dog》
1995年
油彩/綿布
270.0×270.0cm
国立国際美術館

165
丸山直文
《Garden 1》
2003年
アクリリック/綿布
182.0×227.5cm
東京国立近代美術館

166
辰野登恵子
《Red Line・Blue Line》
2004年
油彩/カンヴァス
218.2×291.0cm
国立国際美術館

167
アントン・ヘニング
《花の静物 No. 237》
2004年
油彩/カンヴァス
213.5×183.0cm
国立国際美術館

168
杉本博司
《数学的形体：曲面0009 負の定曲率曲面、円錐型の回転面》
$$x = a \sinh v \cos u$$
$$y = a \sinh v \sin u$$
$$z = \int_0^u \sqrt{1 - a^2 \cosh^2 t} dt$$
$$(0 < a < 1, 0 \leq u < 2\pi)$$

2004年
ゼラチン・シルバー・プリント
149.2×119.4cm
国立国際美術館

169
杉本博司
《光の教会(建築家：安藤忠雄)》
1997年/プリント2001年
ゼラチン・シルバー・プリント
149.2×119.4cm
国立国際美術館

170
クシシュトフ・ヴォディチコ
《もし不審なものを見かけたら……》
2005年
HDビデオ/ビデオ・インスタレーション(4面投影)
展示サイズ可変
京都国立近代美術館

没後120年 ゴッホ展
出品リスト

I. 伝統—ファン・ゴッホに対する
最初期の影響

1
フィンセント・ファン・ゴッホ
秋のポプラ並木
1884
油彩 / パネルに貼ったキャンヴァス
VGM

2
フィンセント・ファン・ゴッホ
曇り空の下の積み藁
1890
油彩 / キャンヴァス
KMM

3
テオドール・ルソー
ジュラ山脈高地を下る牛
c.1834-35
油彩 / キャンヴァス
メスダッハ美術館

4
ジャン＝フランソワ・ミレー
漁師の妻
c.1848
油彩 / キャンヴァス
メスダッハ美術館

5
ギュスターヴ・クールベ
マグロノスの地中海風景
1858
油彩 / キャンヴァス
VGM

6
シャルル・ドービニー
四月の月(赤い月)
1875
油彩 / パネル
メスダッハ美術館

7
ウィレム・ルーロフス
コルテンホーフ近くの湖
c.1880
油彩 / パネルに貼ったキャンヴァス
メスダッハ美術館

8
ヨゼフ・イスラエルス
夕暮れ
c.1890
油彩 / キャンヴァス
KMM

9
テオフィール・デ・ボック
河の景観
c.1900
油彩 / キャンヴァス
VGM

II. 若き芸術家の誕生

10
フィンセント・ファン・ゴッホ
ヤーコブ・マイヤーの娘(バルグの教則
本中のホルバインの素描による)
1880-81
鉛筆 / 網目紙
KMM

11
ヤーコブ・マイヤーの娘(ホルバインに
よる)
ファン・ゴッホ美術館図書室

12
フィンセント・ファン・ゴッホ
掘る人(ミレーによる)
1880
鉛筆、黒チョーク / 網目紙
KMM

13
ジャン＝フランソワ・ミレー
掘る人
1855-56
エッチング
VGM

14
フィンセント・ファン・ゴッホ
掘る人
1881
黒チョーク、灰色の淡彩、不透明水彩 /
網目紙
KMM

15
フィンセント・ファン・ゴッホ
掘る人
1881
黒チョーク、淡彩、ペンと薄めたインク、
不透明水彩、木炭の下描きの跡 / 簀の目
紙
KMM

16
フィンセント・ファン・ゴッホ
掘る人
1881
木炭、黒と緑のチョーク、透明と不透明
水彩 / 簀の目紙
VGM

17
フィンセント・ファン・ゴッホ
籠を持つ種まく人
1881
黒チョーク、茶色と灰色の淡彩、不透明
水彩、白の不透明水彩によるハイライト
/ 簀の目紙
KMM

18
フィンセント・ファン・ゴッホ
種まく人
1881
木炭、黒チョーク / 簀の目紙
KMM

19
フィンセント・ファン・ゴッホ
炉端の少女
1881
黒チョーク、木炭、灰色と茶色の淡彩、
不透明水彩、青と白のチョーク、ペンと
インク / 簀の目紙
KMM

20
フィンセント・ファン・ゴッホ
麦藁帽子のある静物
1881
油彩 / キャンヴァスに貼った紙
KMM

21
アントン・モーヴ
オランダ風納屋と差し掛け小屋
c.1875
油彩 / キャンヴァス
KMM

22
アントン・モーヴ
フリース近郊
c.1880
油彩 / パネルに貼ったキャンヴァス
メスダッハ美術館

23
フィンセント・ファン・ゴッホ
杖を持つ老人
1882
鉛筆 / 水彩紙
VGM

24
フィンセント・ファン・ゴッホ
杖を持つ老人
1882
リトグラフ
VGM

25
フィンセント・ファン・ゴッホ
防水帽を被ったあごひげの漁師
1883
鉛筆、黒のリトグラフ用クレヨン、筆と
ペンと黒インク、白・ピンク・赤みがかつ
た茶色の不透明水彩、灰色の淡彩、スク
ラッチ / 水彩紙
VGM

26
フィンセント・ファン・ゴッホ
鶏に餌をやる女
1883
鉛筆、灰色の淡彩、筆と薄めた黒の版画
用インク、インクと混ぜた白の油絵具、
白の不透明水彩 / 網目紙
KMM

27
マシュー・ホワイト・リドリーの原画に
よる
石炭を掘り出す坑夫
木口木版
VGM

28
ホレス・ハラル(ヘンリー・ウッズの原
画による)
義勇兵の帰還
木口木版
VGM

29
ウィリアム・スモールの原画による
庶民の素顔。「イギリスのならず者」
木口木版
VGM

30
ジョゼフ・ナッシュの原画による
炭坑での労働1(困難な調査。(切羽)の
端で。採掘場の先端—石炭を計る。やっ
かない通路)
木口木版
VGM

31
ウィリアム・ヘイスマン・オヴァランド
の原画による
サン・ゴタル・トンネルの完成。トン
ネル中央におけるアイロー側とゲシュ
ネン側の坑夫の出会い。2月29日、日曜
日、午前9時
木口木版
VGM

32
ジョン・ブロクターの原画による
農夫と借地人のスケッチ
木口木版
VGM

33
ウジェーヌ・フロマン(アルフレッド・
エドワード・イームズリーの原画による)
羊毛工場での労働
木口木版
VGM

34
エドウィン・エドワーズの銅版画の複製
木口木版
VGM

35
パースペクティヴ・フレイム(レプリカ)
VGM

[凡例]
カタログNo.
作家名
作品名
制作年
技法 / 材質
所蔵

*VGM=ファン・ゴッホ美術館(フィンセント・
ファン・ゴッホ財団)
*KMM=クレラー=ミュラー美術館

Ⅲ. 色彩理論と人体の研究—ニューネン

- 36
フィンセント・ファン・ゴッホ
木こりたち
1883-84
黒チョーク、透明と不透明水彩 / 網目紙
KMM
- 37
フィンセント・ファン・ゴッホ
沼沢地の松の木
1884
鉛筆、ペン、筆と茶色のインク / 網目紙
VGM
- 38
フィンセント・ファン・ゴッホ
女の頭部
1884-85
油彩 / キャンヴァス
KMM
- 39
フィンセント・ファン・ゴッホ
白い帽子を被った女の頭部(ホルディーナ・デ・フロート)
1884-85
油彩 / キャンヴァス
KMM
- 40
フィンセント・ファン・ゴッホ
籠いっばいのじゃがいも
1885
油彩 / キャンヴァス
VGM
- 41
フィンセント・ファン・ゴッホ
ビールジョッキ
1885
油彩 / キャンヴァス
VGM
- 42
シャルル・ブラン
『素描技法事典』
A: 1867
B: 1870
ファン・ゴッホ美術館図書室
- 43
シャルル・ブラン
『わが時代の美術家たち』
1876
ファン・ゴッホ美術館図書室
- 44
ジャン・ジグー
『わが時代の美術家たちについての四方山話』
1885
ファン・ゴッホ美術館図書室
- 45
アルマン・カサーニュ
『水彩概論』
1885
ファン・ゴッホ美術館図書室
- 46
テオデュール・リボ
卵のある静物
c.1865-75
油彩 / キャンヴァス
VGM
- 47
アントン・ファン・ラッパルト
織工
1884
油彩 / パネルに貼ったキャンヴァス
VGM

- 48
アントン・ファン・ラッパルト
紡績工場の労働者
c.1890
油彩 / キャンヴァス
KMM
- 49
フィンセント・ファン・ゴッホ
じゃがいもを食べる人々
1885
リトグラフ / 網目紙
KMM
- 50
フィンセント・ファン・ゴッホ
シャベルを持つ農婦
1885
黒チョーク / 簧の目紙
KMM
- 51
フィンセント・ファン・ゴッホ
箒を持つ女
1885
黒チョーク / 簧の目紙
KMM
- 52
フィンセント・ファン・ゴッホ
炉端で働く女
1885
黒チョーク、升目の跡 / 網目紙
KMM
- 53
フィンセント・ファン・ゴッホ
刈る人
1885
黒チョーク、灰色の淡彩、白の不透明水彩、定着剤の跡、升目の跡 / 網目紙
KMM
- 54
フィンセント・ファン・ゴッホ
刈る人
1885
黒チョーク、定着剤の跡、升目の跡 / 網目紙
KMM
- 55
フィンセント・ファン・ゴッホ
刈る人
1885
黒チョーク、灰色がかった白の不透明水彩 / 網目紙
KMM
- 56
アントン・ケルシュマークシュ
ニューネンのアトリエの図面がついたヨハン・ブリデ宛の手紙
1914
VGM

Ⅳ. パリのモダニズム

- 57
フィンセント・ファン・ゴッホ
座る少女の習作、人体模型とヴィーナス
1886-87
黒チョーク / 簧の目紙
VGM
- 58
フィンセント・ファン・ゴッホ
ひざまずく人体模型
1886
油彩 / キャンヴァス
VGM

- 59
作者不詳
ひざまずく人体模型の小像
20世紀前半 石膏
*ファン・ゴッホ所蔵品と同型のコピー
VGM
- 60
フィンセント・ファン・ゴッホ
バラとシャクヤク
1886
油彩 / キャンヴァス
KMM
- 61
フィンセント・ファン・ゴッホ
花瓶のヤグルマギクとケシ
1887
油彩 / キャンヴァス
トリトン財団
- 62
アンリ・ファンタン=ラトゥール
静物(プリムラ、梨、ザクロ)
c.1866
油彩 / キャンヴァス
KMM
- 63
ジャン=フランソワ・ラファエリ
野の花
c.1895-1900
油彩 / キャンヴァス
KMM
- 64
アーネスト・クオスト
タチアオイの咲く庭
1900以前
油彩 / パネル
VGM
- 65
フィンセント・ファン・ゴッホ
セーヌの岸辺
1887
油彩 / キャンヴァス
VGM
- 66
フィンセント・ファン・ゴッホ
ヒバリの飛び立つ麦畑
1887
油彩 / キャンヴァス
VGM
- 67
フィンセント・ファン・ゴッホ
マルメロ、レモン、梨、葡萄
1887
油彩 / キャンヴァス
VGM
- 68
カミーユ・ピサロ
虹
1877
油彩 / キャンヴァス
KMM
- 69
クロード・モネ
ヴェトゥイユ
1879
油彩 / キャンヴァス
トリトン財団
- 70
クロード・モネ
ポール=ドモワの洞窟
1886
油彩 / キャンヴァス
茨城県近代美術館

- 71
アルフレッド・シスレー
モレのポプラ並木
1888
油彩 / キャンヴァス
吉野石膏株式会社(山形美術館に寄託)
- 72
アルフレッド・シスレー
モレ近くのロワン川の土手
1892
油彩 / キャンヴァス
トリトン財団
- 73
ギュスターヴ・カイユボット
バルコニー越しの眺め
1880
油彩 / キャンヴァス
VGM
- 74
アドルフ=ジョセフ・モンティセリ
女の肖像
c.1871
油彩 / キャンヴァス
KMM
- 75
アドルフ=ジョセフ・モンティセリ
白いグリフォン犬
c.1880
油彩 / パネル
KMM
- 76
フィンセント・ファン・ゴッホ
レストラン・ジェ・パタイウの窓
1886-87
ペンと茶色(本来は黒)のインク、青・黄・オレンジ・白のチョーク / 本来は青みがかった灰色の簧の目紙
VGM
- 77
フィンセント・ファン・ゴッホ
カフェにて(「ル・タンブラン」のアゴスティエーナ・セガトーリ)
1887
油彩 / キャンヴァス
VGM
- 78
フィンセント・ファン・ゴッホ
自画像
1887
油彩 / 厚紙
VGM
- 79
フィンセント・ファン・ゴッホ
灰色のフェルト帽の自画像
1887
油彩 / 綿布
VGM
- 80
ジャン=フランソワ・ラファエリ
退役軍人たち
c.1884
油彩 / パネル
VGM
- 81
ジョルジュ・スーラ
オンフルールの港の入口
1886
油彩 / キャンヴァス
KMM
- 82
ポール・シニャック
ボワ=コロン近隣の鉄道乗換駅
1885
油彩 / キャンヴァス
VGM

83 ボール・シニャック ポルトリユエの突堤 1888 油彩 / キャンヴァス KMM	95 フィンセント・ファン・ゴッホ 黄色い家の前の公園と池 1888 鉛筆、ペン、葎ペンと茶色のインク / 網目紙 VGM *11/15まで展示	107 作者不詳 新版子供遊び 明治時代 多色刷木版 VGM	118 フィンセント・ファン・ゴッホ 麦の穂 1890 油彩 / キャンヴァス VGM
84 アンリ・ド・トゥルーズ＝ロートレック テーブルの若い女(白粉) 1887 油彩 / キャンヴァス VGM	96 フィンセント・ファン・ゴッホ 野原と家 1888 鉛筆、ペン、葎ペンと茶色のインク / 網目紙 VGM *11/15まで展示	Ⅵ. さらなる探求と様式の展開—サン＝ レミとオーヴェール＝シュール＝オ ワーズ	119 フィンセント・ファン・ゴッホ 療養院の庭の木々 1889 鉛筆、葎ペンと茶色がかった緑のインク / ピンクの簧の目紙 VGM
V. 真のモダン・アーティストの誕生— アルル	97 フィンセント・ファン・ゴッホ 小屋のある風景 1888 鉛筆、ペン、葎ペンと茶色・紫のインク / 網目紙 VGM *11/17から展示	108 フィンセント・ファン・ゴッホ 麦を束ねる人(ミレーによる) 1889 油彩 / キャンヴァス VGM	120 フィンセント・ファン・ゴッホ 掘る人などが描かれたスケッチ 1890 黒チョーク / 網目紙 VGM
85 フィンセント・ファン・ゴッホ じゃがいものある静物 1888 油彩 / キャンヴァス KMM	98 フィンセント・ファン・ゴッホ 道ばたのアザミ 1888 鉛筆、ペン、葎ペンと茶色のインク / 網目紙 VGM *11/17から展示	109 フィンセント・ファン・ゴッホ 亜麻を刻む農婦(ミレーによる) 1889 油彩 / キャンヴァス VGM	121 フィンセント・ファン・ゴッホ 家のある風景と踏みぐわを持つ女 1890 鉛筆 / 簧の目紙 VGM
86 フィンセント・ファン・ゴッホ 糸杉に囲まれた果樹園 1888 油彩 / キャンヴァス KMM	99 ポール・ゴーギャン ポン＝タヴェン付近の風景 1888 油彩 / キャンヴァス 石橋財団ブリヂストン美術館	110 ジャック＝アドリアン・ラヴィエイユ (ミレーの原画による) 野良仕事 1852 木口木版 VGM	122 フィンセント・ファン・ゴッホ ガシェ博士の肖像 1890 エッチング(赤紫色の刷り) / 簧の目紙 VGM
87 フィンセント・ファン・ゴッホ サント＝マリ＝ド＝ラ＝メールの風景 1888 油彩 / キャンヴァス KMM	100 ポール・ゴーギャン プルターニュの少年と鷺鳥 1889 油彩 / キャンヴァス エイアイジー・スター生命保険株式会社	111 フィンセント・ファン・ゴッホ サン＝レミの療養院の庭 1889 油彩 / キャンヴァス KMM	123 フィンセント・ファン・ゴッホ ガシェ博士の肖像 1890 エッチング / 網目紙 KMM
88 フィンセント・ファン・ゴッホ 緑の葡萄畑 1888 油彩 / キャンヴァス KMM	101 エミール・ベルナル ふたりのプルターニュの少女のいる風景 1892 油彩 / パネルに貼った厚紙 トリトン財団	112 フィンセント・ファン・ゴッホ 蕪の絡まる幹 1889 油彩 / キャンヴァス KMM	
89 フィンセント・ファン・ゴッホ アルルの寝室 1888 油彩 / キャンヴァス VGM	102 歌川国芳 川を渡る女性(「山城国井出の玉川」[三枚 続き]のうち) 1847-48 多色刷木版 VGM	113 フィンセント・ファン・ゴッホ 溪谷の小道 1889 油彩 / キャンヴァス KMM	
90 フィンセント・ファン・ゴッホ ゴーギャンの椅子 1888 油彩 / 目の粗いジュート布 VGM	103 歌川広重 五十三次名所圖繪 三十九 岡崎 1855 多色刷木版 VGM	114 フィンセント・ファン・ゴッホ 夕暮れの松の木 1889 油彩 / キャンヴァス KMM	
91 フィンセント・ファン・ゴッホ 種まく人 1888 油彩 / キャンヴァス VGM	104 歌川広重 五十三次名所圖繪 四十二 宮 1855 多色刷木版 VGM	115 フィンセント・ファン・ゴッホ オリーヴ畑と実を摘む人々 1889 油彩 / キャンヴァス KMM	
92 フィンセント・ファン・ゴッホ ある男の肖像 1888 油彩 / キャンヴァス KMM	105 豊原国周 隅田川夜ノ渡シ之図 1855 多色刷木版 VGM	116 フィンセント・ファン・ゴッホ 草むらの中の幹 1890 油彩 / キャンヴァス KMM	
93 フィンセント・ファン・ゴッホ タマネギの皿のある静物 1889 油彩 / キャンヴァス KMM	106 歌川国貞 花源氏夜俤(はなげんじ よるのおもかげ) 1861 多色刷木版 VGM	117 フィンセント・ファン・ゴッホ アイリス 1890 油彩 / キャンヴァス VGM	
94 フィンセント・ファン・ゴッホ あおむけの蟹 1889 油彩 / キャンヴァス VGM			

未来を担うアーティストたち
DOMANI・明日展2010
文化庁芸術家在外研修の成果
出品リスト

古郷秀一	7	CACTI 3240 1016 AZ9217 1992	22	SAKURA 櫻覧 16288 Furudono, Fukushima 2009
1		たわみ 1980 木、鉄 東京都現代美術館		2009 ゼラチンシルバープリント
2		たわみ I 1980 鉄 東京都現代美術館	23	SAKURA 櫻覧 16289 Hanasaki, Gunma 2009
3		たわみ 1980 鉄		2009 ゼラチンシルバープリント
4		限定と無限定 1984 鉄	遠山香苗	
5		限定と無限定 1989 鉄 大阪府立現代美術センター	1	[27/07/02]
6		限定と無限定 1991 鉄 東京国立近代美術館		2002 アクリル、オイルコンテ、キャンバス
7		木の回廊Ⅶ 2002 木(けやき)	2	[27/08/05]
8		木の回廊Ⅷ 2006 木(けやき)		2005 アクリル、オイルコンテ、キャンバス
9		木の回廊Ⅸ 2010 木(けやき)	3	[28/09/05]
三好耕三				2005 アクリル、オイルコンテ、キャンバス
1		ROOTS NE 600 B-1 1987	4	[01/07/06]
		1987 ゼラチンシルバープリント		2006 アクリル、オイルコンテ、キャンバス
2		ROOTS NE 631 D-3 1988	5	[17/04/07]
		1988 ゼラチンシルバープリント		2007 アクリル、オイルコンテ、キャンバス
3		ROOTS NE 605 B-6 1989	6	[02/05/07]
		1989 ゼラチンシルバープリント		2007 アクリル、オイルコンテ、キャンバス
4		ROOTS NE 620 B-21 1990	7	[04/05/07]
		1990 ゼラチンシルバープリント		2007 アクリル、オイルコンテ、キャンバス
5		ROOTS NE 644 F-1 1990	8	[10/05/08]
		1990 ゼラチンシルバープリント		2008 アクリル、オイルコンテ、キャンバス
6		CACTI 3240 1015 AZ9216 1992	9	[17/07/09]
		1992 ゼラチンシルバープリント 個人		2009 アクリル、オイルコンテ、キャンバス
			10	[18/07/09]
				2009 アクリル、オイルコンテ、キャンバス
			11	[04/07/10]
				2010 アクリル、オイルコンテ、キャンバス
			12	[07/07/10]
				2010 アクリル、オイルコンテ、キャンバス
			13	[10/07/10]
				2010 アクリル、オイルコンテ、キャンバス
			14	小さな絵シリーズ
				2010 アクリル、オイルコンテ、キャンバス
			15	
			16	
			17	
			18	
			19	
			20	
			21	
			22	

[凡例]
No.
作品タイトル
制作年
素材・技法
所蔵先

近藤高弘	深井聡一郎	6	6
1	1	ANIKORA-kawaii no.1	クローバー(ねがう)
T.K-Self-portrait	still life・chandelier	2009	2004
2010	2006	クロモジェニックプリント	カラープリント(イルフォクロームプリント)
磁器、染付、金銀滴、ガラス、野焼、生土	陶、鉄、鎖	7	7
流麻二果	2	ANIKORA-kawaii no.3	ざくろ ふたつ(つながる)
1	still life・rocking chair	2009	2004
花冷え	2006	クロモジェニックプリント	カラープリント(イルフォクロームプリント)
2007	陶	8	8
油彩、キャンバス	3	ANIKORA-kawaii no.6	ぶどう(つながる)
2	あくる日	2009	2004
雪でなく砂	2008	クロモジェニックプリント	カラープリント(イルフォクロームプリント)
2007	陶	9	9
油彩、キャンバス	4	ANIKORA-kawaii no.9	ぶどう つる(しんじる)
Rahul Desai	houses	2009	2004
3	2008	クロモジェニックプリント	カラープリント(イルフォクロームプリント)
絶壁頭	陶	10	10
2008	5	ANIKORA-kawaii no.10	ぶどう あおい実
油彩、キャンバス	man / beard	2009	2004
軽井沢現代美術館	2009	クロモジェニックプリント	カラープリント(イルフォクロームプリント)
4	6	11	11
灰暁	mountain / hand	ANIKORA-kawaii no.12	ぶどう 赤い房 I
2009	2009	2010	2004
油彩、キャンバス	陶	クロモジェニックプリント	カラープリント(イルフォクロームプリント)
ALBA	個人	12	12
5	7	food body - B1	ぶどう 赤い実
提灯	sheep	2010	2004
2009	2009	クロモジェニックプリント	カラープリント(イルフォクロームプリント)
油彩、キャンバス	陶	13	13
個人	8	food body - B2	蓮一花びら
6	the tower is burning	2010	2004
覚え	2009	クロモジェニックプリント	カラープリント(イルフォクロームプリント)
2010	陶	14	14
油彩、キャンバス	9	food body - B3	蓮一つぼみと葉
個人	country house	2010	2004
7	2010	クロモジェニックプリント	カラープリント(イルフォクロームプリント)
鎖き	陶	15	15
2010	10	food body - L1	蓮一実
油彩、キャンバス	mountain / hand	2010	2004
個人	2010	クロモジェニックプリント	カラープリント(イルフォクロームプリント)
8	陶	16	16
覚醒レモン	11	food body - L2	蓮一葉
2010	暗き森を歩く	2010	2004
油彩、キャンバス	2010	クロモジェニックプリント	カラープリント(イルフォクロームプリント)
9	陶	17	17
サエズリ	鈴木涼子	food body - L3	蓮一花(朱)
2010	1	2010	2004
油彩、キャンバス	human being no.1	クロモジェニックプリント	カラープリント(イルフォクロームプリント)
個人	2006	赤崎みま	18
10	クロモジェニックプリント	ざくろ(つながる)	蓮一花とつぼみ
静音	2	2002	2004
2010	human being no.2	カラープリント(イルフォクロームプリント)	カラープリント(イルフォクロームプリント)
油彩、キャンバス	2006	2	19
11	クロモジェニックプリント	折鶴(とどく)	蓮一小さい葉ひとつ
2010	3	2002	2004
油彩、キャンバス	human being no.4	カラープリント(イルフォクロームプリント)	カラープリント(イルフォクロームプリント)
12	2006	3	20
四つのお願い	ゼラチンシルバープリント	ぶどう(もたらす)	蓮一葉ひとつ
2010	4	2003	2004
油彩、キャンバス	human being no.5	カラープリント(イルフォクロームプリント)	カラープリント(イルフォクロームプリント)
個人	2006	4	21
13	ゼラチンシルバープリント	オリーブ 実(ねがう) II	蓮一葉ふたつ
165人+	5	2003	2004
2006-2010	human being no.6	カラープリント(イルフォクロームプリント)	カラープリント(イルフォクロームプリント)
インク、紙、糸、毛糸	2006	5	22
14	ゼラチンシルバープリント	クローバー(であう)	風景一水晶 1
2009-2010	14	2003	2007
古紙	緑引	カラープリント(イルフォクロームプリント)	カラープリント(イルフォクロームプリント)

23 風景－水晶 2 2007 カラープリント(イルフォクロームプリント)	4 1/15秒のスケッチ 2008 油彩、紙 個人	9 空 2008 青墨、茶墨、岩絵具、顔料、色鉛筆、雲 肌麻紙 I氏コレクション
24 風景－水晶 3 2007 カラープリント(イルフォクロームプリント)	5 春まで1/15秒 2008 インク、マンガ原稿用紙	10 2 2008 青墨、茶墨、岩絵具、顔料、色鉛筆、雲 肌麻紙 I氏コレクション
25 風景－水晶 4 2007 カラープリント(イルフォクロームプリント)	6 waiting-sketch 2008 鉛筆、ジェッソ、キャンバス John Zorn collection	11 入場 2007 墨、岩絵具、顔料、金泥、色鉛筆、雲肌 麻紙 個人
26 Angel-OSEK 老いた天使 1 2009 カラープリント	7 Kiyakiya_painting01 2009 油彩、キャンバス 個人	12 手紙 2009 青墨、茶墨、岩絵具、顔料、色鉛筆、雲 肌麻紙 個人
27 Angel-OSEK 老いた天使 2 2009 カラープリント	8 waiting04-sketch 2009 鉛筆、ジェッソ、キャンバス 個人	山口紀子
28 Angel-OSEK 楽器を奏でる天使 2009 カラープリント	9 アニメーション[Kiyakiya]のためのス ケッチ 2009-2010 鉛筆、色鉛筆、水彩、紙	1 Das Tor 2010 紙
29 Angel-OSEK 聖骸布をもつ天使 2009 カラープリント	町田久美	
30 Angel-OSEK こどもの天使 2009 カラープリント	1 三人 2003 青墨、岩絵具、雲肌麻紙 西村画廊	
31 Angel-OSEK 天使とへび 2009 カラープリント	2 擬似 2004 墨、岩絵具、顔料、銀箔、雲肌麻紙 個人	
32 Angel-OSEK 天窓 2009 カラープリント	3 サマーデイズ 2004 墨、岩絵具、顔料、雲肌麻紙 個人	
33 Angel-OSEK 本をもつ天使 2009 カラープリント	4 成分 2006 青墨、茶墨、岩絵具、顔料、箔、雲肌麻 紙 I氏コレクション	
神戸智行	5 来客 2006-2007 青墨、茶墨、岩絵具、顔料、雲肌麻紙 大原美術館	
1 陽のあたる場所 2010 岩絵具、箔、膠、楮紙、典具帖紙	6 編み込み 2008 青墨、茶墨、岩絵具、色鉛筆、雲母、雲 肌麻紙 個人	
2 ハナカスミ 2010 岩絵具、箔、膠、楮紙、典具帖紙	7 ことほぎ 2008 青墨、岩絵具、顔料、鉛筆、雲肌麻紙 小塩功明	
近藤聡乃	8 睡眠 2007 青墨、茶墨、岩絵具、顔料、雲肌麻紙 個人	
1 てんとう虫のおとむらい 2005-2006 DVD/5分38秒/カラー		
2 cutout of "Ladybirds' Requiem" 1-01-49' 2008 「てんとう虫のおとむらい」動画、紙、ア クリルボックス		
3 果肉 2008 油彩、キャンバス 個人		

平成22年度[第14回]
文化庁メディア芸術祭
出品リスト

[凡例]
作品名
作者名
部門名
賞名
作品形式
展示形態
制作年

Cycloid-E Michel DÉCOSTERD / André DÉCOSTERD (Cod.Act) アート部門 大賞 インスタレーション 実物+模型 2009	sound/tracks Peter KNEES / Tim POHLE / Gerhard WIDMER アート部門 推薦作品 インタラクティブ 実物+映像 2010	Whispering Table TheGreenEyl アート部門 推薦作品 インスタレーション 紹介映像 2009
10番目の感傷(点・線・面) クワクボ リョウタ アート部門 優秀賞 インタラクティブ 実物 2010	Talking Doors Julijonas URBONAS アート部門 推薦作品 インタラクティブ 紹介映像 2009	X-RAY TRAIN SHIMURABROS. アート部門 推薦作品 インスタレーション 紹介映像 2010
The EyeWriter Zach LIEBERMAN / Evan ROTH / James POWDERLY / Theo WATSON / Chris SUGRUE / Tony TEMPT1 アート部門 優秀賞 インタラクティブ 実物 2010	Tools for Improved Social Interacting Lauren MCCARTHY アート部門 推薦作品 インタラクティブ 紹介映像 2009	百年海図巻 猪子 寿之 アート部門 推薦作品 インスタレーション 実物 2009
NIGHT LESS 田村 友一郎 アート部門 優秀賞 映像 映像+上映 2009	オケアノスのブイ 赤松 正行 アート部門 推薦作品 インタラクティブ 紹介映像 2010	a Forest within a Forest QNG / AUJIK アート部門 推薦作品 映像 上映+紹介映像 2010
The Men In Grey The Men In Grey アート部門 優秀賞 その他 実物+映像 2010	Capacities Stanza. アート部門 推薦作品 インスタレーション 紹介映像 2010	Difference of Similarity TAN Wei Peow アート部門 推薦作品 映像 上映+紹介映像 2010
Succubus Peter TILG アート部門 奨励賞 その他 実物 2010	Death Calls The Tune lab binaer - lab for media art アート部門 推薦作品 インスタレーション 紹介映像 2009	factory of dream-夢を作る工場 ユーフラテス アート部門 推薦作品 映像 上映+紹介映像 2010
Blob Motility 脇田 玲 / 中野 亜希人 / 小林 展啓 アート部門 推薦作品 インタラクティブ 実物 2010	fly blimps David BOWEN アート部門 推薦作品 インスタレーション 紹介映像 2010	future creatures Eunjung HWANG アート部門 推薦作品 映像 上映+紹介映像 2009
Glographer 本田 明稔 アート部門 推薦作品 インタラクティブ 紹介映像 2010	for those who see Daniel SCHULZE アート部門 推薦作品 インスタレーション 紹介映像 2010	Locus 横地 政樹 アート部門 推薦作品 映像 上映+紹介映像 2010
ink eye KIM Sunjha アート部門 推薦作品 インタラクティブ 紹介映像 2010	points 真鍋 大度 / 石橋 素(4nchor5 La6) アート部門 推薦作品 インスタレーション 紹介映像 2010	Nuit Blanche Arev MANOUKIAN アート部門 推薦作品 映像 上映+紹介映像 2010
scope project 多田 ひと美 / 藤本 直明 アート部門 推薦作品 インタラクティブ 紹介映像 2010	rheo: 5 horizons 黒川 良一 アート部門 推薦作品 インスタレーション 実物 2010	Rush Maarten ROTS アート部門 推薦作品 映像 上映+紹介映像 2009
	Twilight 片岡 純也 アート部門 推薦作品 インスタレーション 紹介映像 2010	Shading 飴田 慎士 アート部門 推薦作品 映像 上映+紹介映像 2010

Silica-esc Vladimir TODOROVIC アート部門 推薦作品 映像 上映+紹介映像 2010	font de music 西谷 睦史 (RW+) アート部門 推薦作品 Web PC展示 2010	hello world 勅使河原 一雅 アート部門 推薦作品 その他 映像 2010	New スーパーマリオブラザーズ Wii New スーパーマリオブラザーズ Wii 開発チーム代表 足助 重之 エンターテインメント部門 推薦作品 ゲーム 実機体験 2009
The Homogenics Gerard FREIXES RIBERA アート部門 推薦作品 映像 上映+紹介映像 2010	Nagasaki Archive 渡邊 英徳 / 鳥巢 智行 / 大瀬良 亮 アート部門 推薦作品 Web PC展示 2010	MindBox Christian GRAUPNER アート部門 推薦作品 その他 実物 2010	PixelJunk™ シューター ディラン カスバート エンターテインメント部門 推薦作品 ゲーム 実機体験 2009
Closed Circuits Gaia PERSICO アート部門 推薦作品 静止画(デジタルフォト) パネル展示 2010	Original Character Maker 松浦 夏樹 / 下浜 臨太郎 アート部門 推薦作品 Web PC展示 2010	The Final Media DOMMUNE 宇川 直宏 アート部門 推薦作品 その他 紹介映像 2010	影の塔 土橋 修 エンターテインメント部門 推薦作品 ゲーム 実機体験 2010
Edge of Love 3 Lyndsay MARTIN アート部門 推薦作品 静止画(デジタルフォト) 実物 2010	Sasso Films Inc. 三友 純 アート部門 推薦作品 Web PC展示 2009	IS Parade 林 智彦 / 千房 けん輔 / 小山 智彦 エンターテインメント部門 大賞 Web 映像+PC展示 2010	ゴースト トリック 巧 舟 エンターテインメント部門 推薦作品 ゲーム 実機体験 2010
Memory KIM Dong Yoon アート部門 推薦作品 静止画(デジタルフォト) 実物 2010	The Johnny Cash Project Chris MILK / Aaron KOBLIN (@radical.media) アート部門 推薦作品 Web PC展示 2010	無限回廊 光と影の箱 鈴木 健 / 藤木 淳 / 鈴木 達也 エンターテインメント部門 優秀賞 ゲーム 実機体験 2010	戦国BASARA 3 小林 裕幸 エンターテインメント部門 推薦作品 ゲーム 実機体験 2010
Rugged TimeScape 新津保 建秀 + 池上 高志 アート部門 推薦作品 静止画(デジタルフォト) 実物 2009	The People Ian FLITMAN アート部門 推薦作品 Web PC展示 2010	アルクアラウンド / サカナクション 関 和亮 エンターテインメント部門 優秀賞 MV 上映+映像+資料展示 2009	ドラゴンクエストモンスターズ ジョーカー 2 堀井 雄二 エンターテインメント部門 推薦作品 ゲーム 実機体験 2010
THE CATS 宮本 直孝 アート部門 推薦作品 静止画(デジタルフォト) パネル展示 2010	The same conversation Jorge LOPEZ NAVARRETE アート部門 推薦作品 Web PC展示 2010	夏を待っていました / amazarashi YKBX エンターテインメント部門 優秀賞 MV 上映+映像+資料展示 2010	ノーモア★ヒーローズ2 デスパレート・ストラグル 須田 剛一 エンターテインメント部門 推薦作品 ゲーム 実機体験 2010
駅前図鑑 スリーディー！ マスダ ユタカ アート部門 推薦作品 静止画(デジタルフォト) 実物 2010	This Is Not A Poem Alan BIGELOW アート部門 推薦作品 Web PC展示 2010	Tabio Slide Show 児玉 裕一 / 田中 耕一郎 / 茂出木 龍太 / 左居 穰 エンターテインメント部門 優秀賞 Web 映像+PC展示 2010	ファイナルファンタジー XIII 北瀬 佳範 エンターテインメント部門 推薦作品 ゲーム 実機体験 2009
Burst Helvetica 2 稲葉 英樹 アート部門 推薦作品 静止画(グラフィック・平面) 実物 2010	草虫時図 片山 義幸 アート部門 推薦作品 Web PC展示 2010	iPad magic 内田 伸哉 エンターテインメント部門 奨励賞 その他 映像+実演 2010	ポケットモンスターブラック・ホワイト ポケットモンスターブラック・ホワイト 制作チーム代表 増田 順一 エンターテインメント部門 推薦作品 ゲーム 実機体験 2009
The Outerspace エグチ マサル アート部門 推薦作品 静止画(グラフィック・平面) パネル展示 2010	Crowbot Jenny Sputniko! アート部門 推薦作品 その他 紹介映像 2010	100万トンのバラバラ 池田 佑基 エンターテインメント部門 推薦作品 ゲーム 実機体験 2010	メタルマックス3 宮岡 寛 エンターテインメント部門 推薦作品 ゲーム 実機体験 2010
文字のレントゲン 片桐 恵美子 アート部門 推薦作品 静止画(グラフィック・平面) パネル展示 2010	faddist 高田 茉依 アート部門 推薦作品 その他 パネル展示 2010	METAL GEAR SOLID PEACE WALKER 小島 秀夫 (KONAMI) エンターテインメント部門 推薦作品 ゲーム 実機体験 2010	

龍が如く4 伝説を継ぐもの 名越 稔洋 エンターテインメント部門 推薦作品 ゲーム 実機体験 2010	紙のからくり カミカラ 恐竜編 中村 開己 エンターテインメント部門 推薦作品 その他 実物+映像 2010	ラストピース 花沢悦子編 水野 貴信 エンターテインメント部門 推薦作品 映像(短編) 上映+紹介映像 2009	マイマイ新子と千年の魔法 片瀨 須直 アニメーション部門 優秀賞 劇場公開 映像+コンテ他+上映 2009
ロスト ブラネット2 竹内 潤 エンターテインメント部門 推薦作品 ゲーム 実機体験 2010	ab_rah 吉野 耕平(networks) エンターテインメント部門 推薦作品 映像(短編) 上映+紹介映像 2010	CREATIVE IS ENDLESS BATTLE 澤邊 芳明 エンターテインメント部門 推薦作品 Web PC展示 2010	フミコの告白 石田 祐康 アニメーション部門 優秀賞 短編 映像+コンテ他+上映 2009
eスポーツグラウンド 大飼 博士 エンターテインメント部門 推薦作品 遊具 実機体験 2010	I♥XXX/大塚 愛 森本 千絵 / 柳沢 翔 エンターテインメント部門 推薦作品 映像(MV) 上映+紹介映像 2009	ORIGAMI EcoDrive 野添 剛士 エンターテインメント部門 推薦作品 Web PC展示 2009	わからないブタ 和田 淳 アニメーション部門 優秀賞 短編 映像+コンテ他+上映 2010
i3DG 間瀬 実郎 / 長江 努(DIRECTIONS.Inc) エンターテインメント部門 推薦作品 遊具 実物 2010	make.believe / 元気ロケッツ 水口 哲也 / 玉井 健二(Genki Rockets) エンターテインメント部門 推薦作品 映像(MV) 映像+実機体験 2010	PEACE SHADOW PROJECT 大八木 翼 / 長嶋 りかこ / 大倉 誠一 / 馬場 鑑平 エンターテインメント部門 推薦作品 Web PC展示 2010	The Wonder Hospital Beomsik Shimbe SHIM アニメーション部門 奨励賞 短編 映像+コンテ他+上映 2010
N-3D 橋本 俊行 / 筒井 真佐人 / 森 浩一郎 (aircord lab) エンターテインメント部門 推薦作品 遊具 実物 2010	Nike Music Shoe 伊藤 直樹 / フランク ハーン エンターテインメント部門 推薦作品 映像(CM) 上映+紹介映像 2010	SHIRO CHEERS SYSTEM 児玉 裕一 / 中村 洋基 / 岸 勇希 / 馬場 鑑平 エンターテインメント部門 推薦作品 Web PC展示 2009	イヴの時間 劇場版 吉浦 康裕 アニメーション部門 推薦作品 劇場公開 紹介映像+上映 2010
エスパードミノ 須木 じゃらし エンターテインメント部門 推薦作品 遊具 実物 2010	Pico / SJQ 土屋 貴史(TAKCOM) エンターテインメント部門 推薦作品 映像(MV) 上映+紹介映像 2009	Wonderwall Website 中村 勇吾(tha ltd.) エンターテインメント部門 推薦作品 Web PC展示 2009	宇宙ショーへようこそ 舛成 孝二 アニメーション部門 推薦作品 劇場公開 紹介映像+上映 2010
ニコダマ クワクボ リョウタ エンターテインメント部門 推薦作品 遊具 実物 2010	recorder 岡本 憲昭 エンターテインメント部門 推薦作品 映像(短編) 上映+紹介映像 2010	エア参拝 金田 功一 エンターテインメント部門 推薦作品 Web PC展示 2010	劇場版マクロスF〜イツワリノウタヒメ〜 河森 正治 アニメーション部門 推薦作品 劇場公開 紹介映像+上映 2009
豆しば キム ソクウォン / 渡部 祥子 エンターテインメント部門 推薦作品 キャラクター 実物+映像 2009	ヴィーナスとジーザス / やくしまるえつこ 真鍋 大度 エンターテインメント部門 推薦作品 映像(MV) 上映+紹介映像 2010	日本色 日本色 制作チーム代表 寺本 誠 エンターテインメント部門 推薦作品 Web PC展示 2009	涼宮ハルヒの消失 谷川 流(原作) / 石原 立也(総監督) アニメーション部門 推薦作品 劇場公開 紹介映像+上映 2010
HourFace 深澤 研 エンターテインメント部門 推薦作品 その他 実機体験 2010	太宰治短編小説集 走れメロス 渋谷 修平 エンターテインメント部門 推薦作品 映像(TV) 上映+紹介映像 2010	四畳半神話大系 湯浅 政明 アニメーション部門 大賞 TV 映像+コンテ他+上映 2010	チェブラーシカ 中村 誠 アニメーション部門 推薦作品 劇場公開 紹介映像 2010
NullFace 近藤 亮 エンターテインメント部門 推薦作品 その他 実機体験 2009	トイレの神様 with 押尾コータロー / 植村花菜 橋本 ダイスケ エンターテインメント部門 推薦作品 映像(MV) 上映+紹介映像 2010	カラフル 原 恵一 アニメーション部門 優秀賞 劇場公開 映像+設定資料他 2010	緑子/MIDORI-KO 黒坂 圭太 アニメーション部門 推薦作品 紹介映像+上映 2010
TEAMLAB HANGER 猪子 寿之 エンターテインメント部門 推薦作品 その他 実物 2010	ドラマもやしもん 岩本 晶 エンターテインメント部門 推薦作品 映像(TV) 上映+紹介映像 2010		Angel Beats! 麻枝 准 アニメーション部門 推薦作品 テレビアニメ 紹介映像+上映 2010

荒川アンダーザブリッジ 新房 昭之 アニメーション部門 推薦作品 テレビアニメ 紹介映像+上映 2010	telegraphics Antoine DELACHARLERY / Lena SCHNEIDER / Léopold PARENT / Thomas THIBAULT アニメーション部門 推薦作品 短編 紹介映像+上映 2010	風雲児たち 幕末編 みなもと 太郎 マンガ部門 優秀賞 ストーリーマンガ 単行本+原画他資料 2010	高校球児 ザワさん 三島 衛里子 マンガ部門 推薦作品 ストーリーマンガ パネル展示+単行本 2010
装甲騎兵ボトムズ 孤影再び 高橋 良輔 アニメーション部門 推薦作品 OVA 紹介映像 2010	TWO TEA TWO 一瀬 皓コ(デコボーカール) アニメーション部門 推薦作品 短編 紹介映像+上映 2010	ぼくらの 鬼頭 莫宏 マンガ部門 優秀賞 ストーリーマンガ 単行本+原画他資料 2009	さよならもいわずに 上野 顕太郎 マンガ部門 推薦作品 ストーリーマンガ パネル展示+単行本 2010
8 bits Valere AMIRAULT / Jean DELAUNAY / Sarah LAUFER / Benjamin MATTERN アニメーション部門 推薦作品 短編 紹介映像+上映 2010	海からの使者 のすふえらとら アニメーション部門 推薦作品 短編 紹介映像+上映 2010	レッド 山本 直樹 マンガ部門 優秀賞 ストーリーマンガ 単行本+作画データ 2010	進撃の巨人 諫山 創 マンガ部門 推薦作品 ストーリーマンガ パネル展示+単行本 2010
CITY KIM Young-geun / KIM Ye-young アニメーション部門 推薦作品 短編 紹介映像+上映 2010	強迫的な秩序についてのカエル 永迫 志乃 アニメーション部門 推薦作品 短編 紹介映像+上映 2010	うちの妻ってどうでしょう？ 福満 しげゆき マンガ部門 奨励賞 コママンガ 単行本+原画他資料 2010	ディアスポリス異邦警察 リチャード・ウー(脚本) / すぎむら しんいち(作画) マンガ部門 推薦作品 ストーリーマンガ パネル展示+単行本 2009
DUST KID KIM Kihyun / JUNG Yumi アニメーション部門 推薦作品 短編 紹介映像+上映 2009	くちやお 奥田 昌輝 アニメーション部門 推薦作品 短編 紹介映像+上映 2010	3月のライオン 羽海野 チカ マンガ部門 推薦作品 ストーリーマンガ パネル展示+単行本 2010	東京怪童 望月 ミネタロウ マンガ部門 推薦作品 ストーリーマンガ パネル展示+単行本 2010
farm music 大桃 洋祐 アニメーション部門 推薦作品 短編 紹介映像+上映 2010	こまねこのクリスマス ー迷子になった プレゼントー 合田 経郎 アニメーション部門 推薦作品 短編 紹介映像+上映 2009	cocoon 今日 マチ子 マンガ部門 推薦作品 ストーリーマンガ パネル展示+単行本 2010	とめはねっ！ 鈴里高校書道部 河合 克敏 マンガ部門 推薦作品 ストーリーマンガ パネル展示+単行本 2010
Googuri Googuri 三角 芳子 アニメーション部門 推薦作品 短編 紹介映像+上映 2010	魚に似た唄 竹内 泰人 アニメーション部門 推薦作品 短編 紹介映像+上映 2010	WOMBS 白井 弓子 マンガ部門 推薦作品 ストーリーマンガ パネル展示+単行本 2010	とろける鉄工所 野村 宗弘 マンガ部門 推薦作品 ストーリーマンガ パネル展示+単行本 2010
hezarfen Ari TOLGA / Romain BLANCHET / Rémy HURLIN / Georges HUANG アニメーション部門 推薦作品 短編 紹介映像+上映 2010	ちいさな恋人 キム イェオン アニメーション部門 推薦作品 短編 紹介映像+上映 2010	アオイホノオ 島本 和彦 マンガ部門 推薦作品 ストーリーマンガ パネル展示+単行本 2010	ファンタジウム 杉本 亜未 マンガ部門 推薦作品 ストーリーマンガ パネル展示+単行本 2010
NHK 星新一ショートショート「午後の恐竜」 加藤 隆 アニメーション部門 推薦作品 短編 紹介映像+上映 2009	ヒストリエ 岩明 均 マンガ部門 大賞 ストーリーマンガ 単行本+原画他資料 2010	甥の一生 西 炯子 マンガ部門 推薦作品 ストーリーマンガ パネル展示+単行本 2010	ベビーブーム 横山 裕一 マンガ部門 推薦作品 ストーリーマンガ パネル展示+単行本 2009
Sleep Claudius GENTINETTA / Frank BRAUN アニメーション部門 推薦作品 短編 紹介映像+上映 2010	孤高の人 坂本 眞一 / 原案・新田 次郎著「孤高の人」 マンガ部門 優秀賞 ストーリーマンガ 単行本+原画他資料 2010	俺とねこにゃん 唐沢 なをき マンガ部門 推薦作品 ストーリーマンガ パネル展示+単行本 2010	星が原あおまんじゅうの森 岩岡 ヒサエ マンガ部門 推薦作品 ストーリーマンガ パネル展示+単行本 2010
		からん 木村 紺 マンガ部門 推薦作品 ストーリーマンガ パネル展示+単行本 2010	町でうわさの天狗の子 岩本 ナオ マンガ部門 推薦作品 ストーリーマンガ パネル展示+単行本 2010

虫と歌
市川 春子
マンガ部門
推薦作品
ストーリーマンガ
パネル展示+単行本
2009

今日のキョムちゃん
三山 恭徳
マンガ部門
推薦作品
デジタルマンガ
パネル展示+単行本
2010

十ヶ所くらいの穴
野村 宗弘
マンガ部門
推薦作品
デジタルマンガ
パネル展示+単行本
2010

神童仮面
平井 志 / 藤井 慶(藤井組)
マンガ部門
推薦作品
デジタルマンガ
パネル展示+単行本
2010

赤坂クミコの上海物語2010
筑濱 健一(構成) / 筑濱 和子(作画)
(筑濱 カズコ)
マンガ部門
推薦作品
自主制作マンガ
パネル展示+単行本
2010

バーサス・アンダースロー
相田 裕
マンガ部門
推薦作品
自主制作マンガ
パネル展示+単行本
2010

Busy Rider
SEAH Ze Lin
マンガ部門
推薦作品
その他
パネル展示+単行本
2010

Note Book
小林 系
マンガ部門
推薦作品
その他
パネル展示+単行本
2010

漫画雑誌架空
西野 空男
マンガ部門
推薦作品
その他
パネル展示+単行本
2010

栗原 良幸(マンガ編集者)
功労賞
パネル展示

シュルレアリスム展
ーパリ、ポンピドゥセンター
所蔵作品によるー
出品リスト

I ダダからシュルレアリスムへ
1919-1924

1
ジョルジョ・デ・キリコ
ギョーム・アポリネールの予兆的肖像
1914年、春
油彩、木炭／カンヴァス
81.5×65.0cm
AM 1975-52

2
ジョルジョ・デ・キリコ
二人の人物
1928年
油彩／カンヴァス
55.0×46.0cm
AM 3295P

3
ジョルジョ・デ・キリコ
ある午後のメランコリー
1913年
油彩／カンヴァス
56.7×47.5cm
AM 1999-24

4
マックス・エルンスト
ユビュ皇帝
1923年
油彩／カンヴァス
81.0×65.0cm
AM 1984-281

5
マックス・エルンスト
解剖 - 花嫁
[1921年]
グワッシュと黒鉛で加筆された雑誌の挿
絵、切り抜いて厚紙に貼り付け
AM 1999-157

6
マルセル・デュシャン
瓶掛け
1914年／1964年再制作
レディメイド：電気メッキした鉄製の瓶
掛け
高さ：64.0cm 直径：42.0cm
AM 1986-288

7
マン・レイ
埃の培養
1920年頃／2003年プリント
プラチナ・プリント
TEX 1995-281 (429b)

9
マン・レイ
ミシンと雨傘
1920年頃
ゼラチン・シルバー・プリント
11.6×8.6cm
TEX 1995-281 (517)

10
フランシス・ピカビア
美德
1915年頃
墨、グワッシュ／紙
24.5×32.2cm
AM 1976-1053

II ある宣言からもうひとつの宣言へ
1924-1929

11
マン・レイ
アンドレ・ブルトン(ランド地方1935年)
1935年
ゼラチン・シルバー・プリント
9.0×6.0cm
TEX 1994-393 (4066)

12
エリ・ロタール
アンドレ・ブルトン
1927年頃
ゼラチン・シルバー・プリント
23.7×17.9cm
AM 1995-108(1)

13
作者不詳
眼鏡をかけたアンドレ・ブルトンの肖像
1924年
ゼラチン・シルバー・プリント(フォト
マトン)
21.7×16.8cm
AM 2003-272

14
ルネ・クレール
眠るパリ
1923年
35mmフィルム、白黒、サイレント
AM 1976-F0104

15
マン・レイ
ヒトデ
1928年
35mmフィルム、白黒、サイレント
AM 1975-F0219

16
アンドレ・マッソン
林間の空地
1922年
油彩／カンヴァス
64.8×53.8cm
AM 1984-614

17
アンドレ・マッソン
室内の男
1923-1924年、冬
油彩／カンヴァス
92.3×65.0cm
AM 1984-601

18
アンドレ・マッソン
四大元素
1923-1924年
油彩／カンヴァス
73.0×60.0cm
AM 1984-612

19
アンドレ・マッソン
獲物
1925年
油彩／カンヴァス
60.0×73.0cm
AM 1984-615

20
アンドレ・マッソン
採光窓
1924年
油彩／カンヴァス
60.0×81.0cm
AM 1984-700

21
ルネ・マグリット
旅の想い出
1926年
油彩／カンヴァス
75.0×65.0cm
AM 1987-1099

22
ルネ・マグリット
秘密の分身
1927年
油彩／カンヴァス
114.0×162.0cm
AM 1980-2

23
マックス・エルンスト
キマイラ
1928年
油彩／カンヴァス
114.0×145.8cm
AM 1983-47

24
マックス・エルンスト
視覚の内部
1929年
油彩／カンヴァス
100.0×81.0cm
AM 1982-186

25
ジャン・アルプ
口ひげ頭と瓶
1929年
油彩／切り抜いて板に貼り付けた木
80.0×100.0×3.0cm
AM 1370 S

26
ジョセフ・シマ
二重の風景、電気嵐
1928年
油彩／カンヴァス
67.0×137.0cm
AM 1978-320

27
ジョセフ・シマ
正午
1928年
油彩／カンヴァス
116.0×73.5cm
AM 1977-253

28
マン・レイ
森の中の工場
1929年
油彩／金を塗った板
81.0×65.0cm
AM 1980-443

29
マン・レイ
サン＝ジャン＝ド＝リュズの夜
1929年
油彩／カンヴァス
73.0×54.0cm
AM 4407 P

30
イヴ・タンギー
夏の四時に、希望…
1929年
油彩／カンヴァス
129.5×97.0cm
AM 1978-321

31
フランシス・ピカビア
スフィンクス
1929年
油彩／カンヴァス
131.0×163.0cm
JP 668 P

32
フランシス・ピカビア
ル・ルシレ
1924-1926年頃
グワッシュ、墨／厚紙
103.3×74.1cm
AM 3059 P

33
ヴィクトル・ブローネル
空気の威信
1934年
油彩／カンヴァス
146.0×113.5cm
AM 1987-1200

[凡例]
カタログ番号
作家名
作品名
制作年
技法／素材
寸法
所蔵番号

* 出品作品および資料は、以下の資料4点を除
き、すべてポンピドゥセンター・パリ国
立近代美術館の所蔵作品である。
明治学院大学図書館 ダダ・シュルレアリ
スムコレクション D-9、D-36、D-37
白百合女子大学図書館 D-42
* カタログ番号 8 は都合により出品されていない。

34 ヴィクトル・ブローネル モチーフについて 1937年 油彩/板(楳) 14.0×18.0cm AM 1982-117	44 ジョアン・ミロ シエスタ 1925年7月-9月 油彩/カンヴァス 113.0×146.0cm AM 1977-203	54 マックス・エルンスト …そして三度目を逃した (『百頭女』より) 1929年 切り抜いて糊付けした版画/厚紙に貼り付けた紙 14.2×12.6cm AM 1999-3(3)	63 マン・レイ 数学的オブジェ 1934-1936年 ゼラチン・シルバー・プリント 30.0×24.0cm AM 1994-391(7)
35 ヴィクトル・ブローネル 夢見る街 1937年 油彩/板(楳) 13.7×18.0cm AM 1982-119	45 ジョアン・ミロ 絵画 1927年 油彩/カンヴァス 89.0×116.0cm AM 3294 P	55 マックス・エルンスト 目のない眼差し、秘密を守る百頭女(c) (『百頭女』より) 1929年 切り抜いて糊付けした版画/厚紙に貼り付けた紙 15.0×19.0cm AM 1999-3(39)	64 マン・レイ 数学的オブジェ 1934-1936年 ゼラチン・シルバー・プリント 30.0×24.0cm AM 1994-391(2)
36 イヴ・タンギー/マン・レイ/マックス・モリーズ/アンドレ・ブルトン 甘美な死骸 1927年3月17日 インク、黒鉛、色鉛筆/紙 31.0×20.0cm AM 1980-9	46 ジョアン・ミロ 絵画 1927年4月-5月 油彩/カンヴァス 116.0×89.0cm AM 1994-136	56 マックス・エルンスト 大気より軽く、強く、孤独に一変動、妹、百頭女 (『百頭女』より) 1929年 切り抜いて糊付けした版画/厚紙に貼り付けた紙 28.4×23.3cm AM 1999-3(25)	65 マン・レイ 数学的オブジェ：楕円関数の絶対値による表現 1934-1936年 ゼラチン・シルバー・プリント 30.0×24.0cm AM 1994-391(9)
37 ジャック・ブレヴェール/アンドレ・ブルトン/イヴ・タンギー/カミーユ・ゲーマン 甘美な死骸 1927年3月7日 鉛筆、色鉛筆/紙 14.8×19.7cm AM 1980-7	Ⅲ 不穏な時代 1929-1939 47 サルバドール・ダリ 不可視のライオン、馬、眠る女 1930年 油彩/カンヴァス 50.2×65.2cm AM 1993-26	57 マックス・エルンスト 風景は三度変わる(I) (『百頭女』より) 1929年 切り抜いて糊付けした版画/厚紙に貼り付けた紙 10.2×14.8cm AM 1999-3(4)	66 マン・レイ 数学的オブジェ：カッシーニ型の四次曲面 1934-1936年 ゼラチン・シルバー・プリント 30.0×24.0cm AM 1994-391(6)
38 ジョアン・ミロ/マックス・モリーズ/マン・レイ/イヴ・タンギー 甘美な死骸 1927年 インク、黒鉛、色鉛筆、銀紙の断片のクラージュ/紙 36.0×23.0cm AM 1980-13	48 サルバドール・ダリ 部分的幻覚：ピアノに出現したレーニン の六つの幻影 1931年 油彩、ニス/カンヴァス 114.0×146.0cm AM 2909 P	58 マックス・エルンスト 目のない眼差し、秘密を守る百頭女(a) (『百頭女』より) 1929年 切り抜いて糊付けした版画/厚紙に貼り付けた紙 16.0×17.3cm AM 1999-3(37)	67 マン・レイ 数学的オブジェ 1934-1936年 ゼラチン・シルバー・プリント 30.0×24.0cm AM 1994-391(1)
39 ヴィクトル・ブローネル 無題 1930年 墨/黄土色の紙 56.1×39.0cm AM 1974-30	49 ヴィクトル・ブローネル 光る地虫 1933年 油彩/カンヴァス 50.0×61.0cm AM 1987-1198	59 マックス・エルンスト 目のない眼差し、秘密を守る百頭女(b) (『百頭女』より) 1929年 切り抜いて糊付けした版画/厚紙に貼り付けた紙 14.4×12.7cm AM 1999-3(38)	68 クロード・カーアン ガラスドームの中のオブジェ 1936年頃 ゼラチン・シルバー・プリント 18.0×13.0cm AM 2003-278
40 ヴィクトル・ブローネル 無題 1932年 茶色のインク/紙 20.7×26.8cm AM 1974-34	50 ルネ・マグリット 赤いモデル 1935年 油彩/厚紙で裏打ちしたカンヴァス 56.0×46.0cm AM 1975-216	60 マックス・エルンスト 目のない眼差し、秘密を守る百頭女(c) (『百頭女』より) 1929年 切り抜いて糊付けした版画/厚紙に貼り付けた紙 14.4×12.7cm AM 1999-3(38)	69 クロード・カーアン 三足の小さな靴 1936年 ゼラチン・シルバー・プリント 17.8×9.8cm AM 1996-340
41 アンドレ・マッソン オートマティスムによるデッサン 1925-1926年 墨/紙 31.5×24.5cm AM 1981-596	51 ドラ・マール まねをする子ども 1936年頃 パラジウム・プリント 51.0×38.0cm TEX 2004-164(26N)	61 マックス・エルンスト 目のない眼差し、秘密を守る百頭女(c) (『百頭女』より) 1929年 切り抜いて糊付けした版画/厚紙に貼り付けた紙 14.4×12.7cm AM 1999-3(38)	70 ラウル・ユバック ダルマチアの石 1933年 ゼラチン・シルバー・プリント 20.7×30.0cm AM 1976-316
42 アンドレ・マッソン ルイ・アラゴンの肖像 1923年 墨、鉛筆/紙 32.1×24.6cm AM 1990-98	52 ドラ・マール 無題[夢想的] 1935年 パラジウム・プリント 50.7×38.0cm TEX 2004-164(27N)	62 マックス・エルンスト 目のない眼差し、秘密を守る百頭女(c) (『百頭女』より) 1929年 切り抜いて糊付けした版画/厚紙に貼り付けた紙 14.4×12.7cm AM 1999-3(38)	71 ラウル・ユバック 壁 1936年 ゼラチン・シルバー・プリント 28.0×39.5cm AM 1989-532
43 アンドレ・マッソン 無題 1924年 墨/C & F L'Ecolierの透かし入りの筋目のある紙 43.3×31.5cm AM 1984-608	53 ラウル・ユバック 無題[モンタージュ] 1937年 フォトモンタージュ、ゼラチン・シルバー・プリントにインクで加筆 39.3×27.0cm AM 1996-335	63 マックス・エルンスト 目のない眼差し、秘密を守る百頭女(c) (『百頭女』より) 1929年 切り抜いて糊付けした版画/厚紙に貼り付けた紙 15.0×19.0cm AM 1999-3(39)	72 ジャック=アンドレ・ボワファール 折れ曲がったスポーク 1932-1933年頃 ゼラチン・シルバー・プリント 22.6×18.4cm AM 1985-124

73 ジャック＝アンドレ・ボワファール 無題 1932-1933年頃 フォトグラム、ゼラチン・シルバー・プリント 29.9×23.9cm AM 1984-150	83 アルベルト・ジャコメッティ 男と女 1928-1929年 ブロンズ 40.0×40.0×16.5cm AM 1984-355	94 ヴィクトル・ブローネル 欲望の解剖学 1936年 インク、水彩／紙 65.1×50.1cm AM 1974-55	105 ジャック＝アンドレ・ボワファール 無題 1932-1933年頃 ゼラチン・シルバー・プリント 15.2×19.8cm AM 1984-149
74 アンドレ・マッソン 殺戮の場面 [1932-1934年] インク／紙 31.5×39.0cm AM 1779 D	84 アルベルト・ジャコメッティ 処分されるべき不愉快なオブジェ 1931年 錆付けしたブロンズ 22.0×28.0×29.0cm AM 1987-1153	95 ルネ・マグリット 夏の行進 1938年 油彩／カンヴァス 60.0×73.0cm AM 1991-138	106 ジャック＝アンドレ・ボワファール 無題 1932-1933年頃 ゼラチン・シルバー・プリント 27.0×21.0cm AM 1984-151
75 アンドレ・マッソン 大虐殺 [1932-1934年] 墨／紙 38.3×48.2cm AM 1662 D	85 アルベルト・ジャコメッティ 喉を切られた女 1932年／1940年 ブロンズ、金色の錆付け 21.5×82.5×55.0cm AM 1992-359	96 アーウィン・ブルーメンフェルド マニーナあるいはトルソの魂 1934年 ゼラチン・シルバー・プリント 30.0×23.1cm AM 1987-579	107 マン・レイ ベールの裸体 1928-1929年頃 ゼラチン・シルバー・プリント 10.3×6.1cm AM 1994-394 (2355)
76 アンドレ・マッソン 『ジュスティーン』のためのデッサン 1928年 鉛筆、墨、水彩で着色した薄葉紙のコラージュ／紙 38.7×30.65cm AM 1981-599	86 アルベルト・ジャコメッティ テーブル 1933年／1969年 ブロンズ 143.0×103.0×43.0cm AM 1705 S	97 ヘルベルト・バイヤー セルフ・ポートレート 1932年 ゼラチン・シルバー・プリント 35.2×27.9cm AM 1986-54	108 マン・レイ ベールをかぶった裸体 1928-1929年頃 ゼラチン・シルバー・プリント 10.2×6.3cm AM 1994-394 (2361)
77 アンドレ・マッソン バックナーレ 1933年 油彩／カンヴァス 90.0×74.0cm AM 2999 P	87 ハンス・ベルメール 人形 1934年初め ゼラチン・シルバー・プリント、厚紙に貼り付け 29.9×19.8cm AM 2003-280	98 ラウル・ユバック 横たわる裸体 1939年 ソラリゼーション、ゼラチン・シルバー・プリント 39.7×24.0cm AM 1989-535	109 マン・レイ 手 934年頃 ソラリゼーション、ゼラチン・シルバー・プリント 8.4×5.8cm AM 1994-394 (4202)
78 アンドレ・マッソン 夏の愉しみ 1934年 油彩／カンヴァス 91.7×73.2cm AM 1981-593	88 ウィルヘルム・フレディ 聖アントニウスの誘惑 1939年 油彩／カンヴァス 87.5×88.0cm AM 2003-237	99 アーウィン・ブルーメンフェルド 鏡のなかのMのトルソ 1937-1938年 ゼラチン・シルバー・プリント 35.4×28.2cm AM 1988-105	110 リュシアン・ロレル ロートレアモン『マルドロールの歌』のための挿図 1947年 ゼラチン・シルバー・プリント 30.3×23.9cm AM 1989-80
79 アンドレ・マッソン 噴き出でる血 1936年 油彩／カンヴァス 100.0×127.0cm AM 3002 P	89 アンドレ・マッソン 大地 1939年 砂、油彩／合板 43.0×53.0cm AM 4318 P	100 マン・レイ 祈り 1930年 ゼラチン・シルバー・プリント 7.3×6.5cm TEX 1994-393 (4131)	111 クロード・カーアン 無題[手] 1936-1939年頃 ゼラチン・シルバー・プリント 25.3×19.8cm AM 1995-274
80 エリ・ロタール ラ・ヴィレットの食肉処理場にて 1929年 ゼラチン・シルバー・プリント 32.0×25.0cm TEX 1995-99 (1)	90 ヴィクトル・ブローネル 欲望の解剖学 1935年 墨、淡彩／紙 65.5×50.0cm AM 1974-46	101 マン・レイ 女の胸像 1930年 ゼラチン・シルバー・プリント 8.5×6.2cm TEX 1994-393 (6388)	112 ドラ・マール 無題[手-貝] 1934年頃 パラジウム・プリント 50.4×38cm TEX 2004-164 (25N)
81 エリ・ロタール ラ・ヴィレットの食肉処理場にて 1929年 ゼラチン・シルバー・プリント 25.0×33.0cm TEX 1995-99 (2)	91 ヴィクトル・ブローネル 欲望の解剖学 1936年 インク、水彩／紙 65.1×50.1cm AM 1974-52	102 マン・レイ 女の胸像 1930年 ゼラチン・シルバー・プリント 8.5×6.2cm TEX 1994-393 (6390)	113 パブロ・ピカソ 横たわる女 1932年6月19日 油彩／カンヴァス 38.0×46.0cm AM 1984-631
82 エリ・ロタール ラ・ヴィレットの食肉処理場にて 1929年 ゼラチン・シルバー・プリント 25.0×32.0cm TEX 1995-99 (5)	92 ヴィクトル・ブローネル 欲望の解剖学 1936年 インク、水彩／紙 65.0×50.1cm AM 1974-53	103 マン・レイ 女の胸像 1930年 ゼラチン・シルバー・プリント 8.5×6.2cm TEX 1994-393 (6392)	114 アンドレ・マッソン ディオニュソスの宇宙 1937年 インク／紙 49.5×64.0cm AM 1984-610
	93 ヴィクトル・ブローネル 完全な女 1936年 インク、水彩／紙 65.0×50.0cm AM 1974-54	104 マン・レイ 女の胸像 1930年 ゼラチン・シルバー・プリント 8.5×6.2cm TEX 1994-393 (7043)	

115 アンドレ・マッソン ディオニュソス 1936年 墨／紙 48.0×35.5cm AM 1981-602	IV 亡命中のシュルレアリスム 1939-1946	136 インジビ・ハイスター フォト・グラフィック 1944年 ゼラチン・シルバー・プリント、酸で腐 食したガラス板から焼付 16.5×24.6cm AM 2003-80	146 ロバート・マザウェル 素朴なプロテスタント(胸像) 1947-1948年 油彩／カンヴァス 76.0×61.0cm AM 2003-337
116 アーウィン・ブルーメンフェルド 仮面のセルフ・ポートレート 1936年 ゼラチン・シルバー・プリント、エアブ ラシで加筆 30.7×26.7cm AM 1995-75	126 アンドレ・マッソン アンドレ・ブルトンの肖像 1941年 墨／紙 46.1×61.8cm AM 1981-605	137 アンドレ・マッソン 抵抗 1944年 油彩／カンヴァス 176.0×139.0cm AM 1984-616	147 ヴィフレド・ラム 自然の中の裸体 1944年 油彩／カンヴァスで裏打ちした紙 180.0×120.0cm AM 1985-98
117 アンドレ・マッソン 迷宮 1938年 油彩／カンヴァス 120.0×61.0cm AM 1982-46	127 アンドレ・マッソン アンドレ・ブルトンの肖像 1941年 墨／透かし入りの紙 47.9×62.8cm AM 1985-501	138 イヴ・タンギー 岩の窓のある宮殿 1942年 油彩／カンヴァス 163.0×132.0cm AM 3398 P	148 ヴィフレド・ラム 会合 1945年 油彩、白チョーク／カンヴァスで裏打ち した紙 152.5×212.5cm AM 1983-1
118 アンドレ・マッソン 迷宮の秘密 1935年 鉛筆、油性パステル／白い紙 50.4×36.8cm AM 1981-601	128 フランシス・ピカビア 仔牛の崇拜 1941-1942年 油彩／厚紙 106.0×76.2cm AM 2007-198	139 マックス・エルンスト クイーンとともにゲームをするキング 制作年不詳 ブロンズ、緑褐色の錆付 97.8×46.4×52.3cm AM 2004-50	149 ジョゼフ・コーネル 博物館 1942年 木製の箱、さまざまな物の入った20個の ガラス瓶 5.5×21.5×17.7cm AM 1976-848
119 ヴィクトル・ブローネル アレクサンドリアのヘロン 1939年 油彩／カンヴァス 55.0×46.0cm AM 1987-1202	129 フランシス・ピカビア 仮面と鏡 1930-1945年頃 油彩／合板 85.2×69.9cm AM 1981-654	140 ヴィクトル・ブローネル パラディスト、あるいはパラディストの 主題によるコンポジション 1943年 油彩／カンヴァス 130.0×162.0cm AM 1974-25	V 最後のきらめき 1946-1966
120 ヴィクトル・ブローネル マンドラゴラ 1939年 黒鉛、墨、インクの淡彩／紙 50.0×64.5cm AM 1974-61	130 フランシス・ピカビア ブルドッグと女たち 1941-1942年 油彩／厚紙 106.0×76.0cm AM 2003-207	141 アンドレ・マッソン 雷雨の中のカエデ 1943年／1944年 墨／紙 76.5×56.8cm AM 1981-610	150 マルセル・デュシャン 彼女の独身者たちによって裸にされた花 嫁、さえも(グリーン・ボックス) 1934年 写真、デッサン、メモ等の複製93点、カ ラー作品図版1点、緑色のスエードを 貼った厚紙製の箱 2.5×28.0×33.2cm AM 4625 D
121 ルイス・ブニュエル アンダルシアの犬 1929年 35mmフィルム、白黒、サイレント AM 1995-FDEP00	131 ルネ・マグリット 凌辱 1945年 油彩／カンヴァス 65.3×50.4cm AM 1987-1097	142 アンドレ・マッソン 錯綜 1941年 デトランプ、グワッシュ／厚紙 40.7×32.7cm AM 1982-194	151 マルセル・デュシャン ノット・ア・シュー 1950年 亜鉛めっきした石膏 7.0×5.1×2.5cm AM 1995-261
122 ルイス・ブニュエル 黄金時代 1930年 35mmフィルム、白黒、トーキー AM 1989-F1128	132 ヴィクトル・ブローネル 狼 - テーブル 1939年／1947年 木、キツネの剥製 54.0×57.0×28.5cm AM 1974-27	143 アンドレ・マッソン 巫女 1943年 油彩、テンペラ／カンヴァス 130.5×106.5cm AM 1981-21	152 マックス・エルンスト 三本の糸杉 1951年 油彩／カンヴァス 103.0×98.0cm AM 1976-960
123 ブラッサイ 探偵小説のために 1931-1932年頃 ゼラチン・シルバー・プリント 23.0×17.5cm AM 2003-5(47)	133 ラウル・ユバック ブリュラージュ 1939年 ブリュラージュ、ゼラチン・シルバー・ プリント 29.7×39.7cm AM 1976-323	144 ジャクソン・ポロック 月の女が円を切る 1943年 油彩／カンヴァス 109.5×104.0cm AM 1980-66	153 マックス・エルンスト 最後の森 1960-1970年 油彩／カンヴァス 114.0×145.5cm AM 1982-189
124 ブラッサイ 探偵小説のために 1931-1932年頃 ゼラチン・シルバー・プリント 23.0×17.2cm AM 2003-5(48)	134 マリー・トワイヤン 早春 1945年 油彩／カンヴァス 89.0×146.0cm AM 1982-364	145 アーシル・ゴーキー 風景 - テーブル 1945年 油彩／カンヴァス 92.0×121.0cm AM 1971-151	154 ポール・デルヴォー アクロポリス 1966年 油彩／カンヴァス 150.0×230.0cm AM 1976-948
125 ブラッサイ 探偵小説のために 1931-1932年頃 ゼラチン・シルバー・プリント 22.3×16.5cm AM 2003-5(49)	135 マヌエル・アルバレス・ブラボ 新臺 1939年 ゼラチン・シルバー・プリント、厚紙に 貼り付け 16.9×24.1cm AM 2003-283		155 ルネ・マグリット ダヴィッドのレカミエ夫人 1967年 ブロンズ 197.0×196.0×50.0cm AM 1976-995

156 ドロテア・タニング かくも幸福な絵画 1947年 油彩／カンヴァス 91.1×122.0cm AM 2009-65	167 シモン・アンタイ 絵画 1950年 油彩／カンヴァス 28.0×21.5cm AM 2003-90	D-4 「ダダは何も意味しない…」 [挿入ピラ] 1919年 7.0×10.5cm 1919-8814	D-15 『リテラチュール[文学]』 第2期第4号(1922年) [雑誌] 1922年 17.5×22.5cm RP 12
157 シモン・アンタイ 雌 - 鏡 II 1953年 油彩／カンヴァス、鏡、獣骨 142.5×173.7×22.5cm AM 1990-199	168 アンドレ・マッソン 鳥たちの血 1956年 テンペラ、砂、羽／カンヴァス 75.0×75.0cm AM 4322 P	D-5 「観客は、それぞれみな隠謀家だ…」 [挿入ピラ] 1919年 7.0×10.5cm 1919-8815	D-16 『リテラチュール[文学]』 第2期第5号(1922年) [雑誌] 1922年 17.5×22.5cm RP 12
158 ルネ・マグリット ストロピア 1948年 油彩／合板で裏打ちしたカンヴァス 59.5×49.5cm AM 1999-6	169 ユディト・レーゲル 化学の結婚の炎 1954年2月21日 油彩／カンヴァス 168.0×228.5cm AM 1993-16	D-6 「ダダ 語彙開発のための株式会社」 [挿入ピラ] 1919年 7.0×10.5cm 1919-8816	D-17 『リテラチュール[文学]』 第2期第6号(1922年) [雑誌] 1922年 17.5×22.5cm RP 12
159 マックス・エルンスト 愚か者 1961年 ブロンズ 70.0×31.0×25.0cm AM 1342 S	170 ジョアン・ミロ 沈黙 1968年5月17日 油彩／カンヴァス 173.4×242.9cm AM 1982-106	D-7 「他の人：黙りなさい、言語は…」 [挿入ピラ] 1919年 7.0×10.5cm 1919-8817	D-18 『リテラチュール[文学]』 第2期第10号(1923年) [雑誌] 1923年 17.5×22.5cm RP 12
160 ヴィクトル・ブローネル 育む女 1962年 油彩／カンヴァス 130.0×97.0cm AM 1974-26	171 アンドレ・マッソン 恐慌 1963年 油彩／カンヴァス 162.0×130.0cm AM 1974-17	D-8 「フェスティヴァル・ダダ サル・ガヴォー 1920年5月26日水曜日…」 [印刷物] 1920年 37.0×27.0cm DADA 1920 8833GF2	II 1921-1925年：ダダからシュルレア リズムへ
161 ヴィクトル・ブローネル 礎と頂 1964年 油彩／カンヴァス 100.0×80.5cm AM 1987-1208	172 ジャン・ドウゴテクス ハガクレ B II 1957年 油彩／カンヴァスで裏打ちした紙(3枚) 106.6×240.8cm AM 1992-75	D-9 アンドレ・ブルトンおよびフィリップ・ スーポー 『磁場』 パリ、オ・サン・パレイユ刊 [書籍] 1920年 19.3×14.3cm 明治学院大学図書館 ダダ・シュルレア リズムコレクション	D-19 アンドレ・ブルトン 『シュルレアリスム宣言・溶ける魚』 パリ、サジテール刊 [書籍] 1924年 12.2×19.0cm RLPF 95
162 ヴィクトル・ブローネル 法悦 1947年 油彩／カンヴァス 81.0×65.0cm AM 1987-1203	173 マッタ ロゴスの透過 - 仮象 1977-1980年 油彩／カンヴァス 307.0×725.0cm AM 2008-15	D-10 撮影者不詳 サン＝ジュリアン＝ル＝ボーヴル教会の ダダ・グループ [写真] 1921年 16.0×10.0cm 3932.37	D-20 マン・レイ撮影 アンドレ・ブルトン [写真] 1935年 23.7×17.7cm BRE512
163 ヴィクトル・ブローネル 傷ついた主体性のトーテム II 1948年 油彩／カンヴァス 91.5×72.7cm AM 1987-1205	資料リスト I 1919-1923年：ダダ	D-11 撮影者不詳 サン＝ジュリアン＝ル＝ボーヴル教会の ダダの示威行動 [写真] 1921年 10.5×11.0cm 3932.36	D-21 「ダダ・マックス・エルンスト」展 パリ、オ・サン・パレイユ画廊、1921年 5月3日-6月3日 [展覧会カタログ] 1921年 22.0cm RC 487
164 ジョアン・ミロ 女 I 1969年 ブロンズ 188.0×123.0×108.0cm AM 1977-220	D-1 アンドレ・ブルトン 『慈悲の山』 パリ、オ・サン・パレイユ刊 [書籍] 1919年 14.0×19.0cm RLPF 491	D-12 「ダダはすべてを決起させる」 [ピラ] 1921年 27.5×21.0cm dada 1921 8873	D-22 「フランシス・ピカビア」展 バルセロナ、ダルマウ画廊、1922年10月 18日-12月8日 [展覧会カタログ] 1922年 19.0cm RC 391
165 マルセル・ジャン 眠りの番人たち 1967年 油彩／カンヴァス 65.0×92.0cm AM 1981-11	D-2 『リテラチュール[文学]』 第1期第2号(1919年4月) [雑誌] 1919年 17.5×22.5cm RP 12	D-13 「ひげの生えた心臓の夕べ ミシェル劇 場 1923年7月6日金曜日および7日土 曜日」 [ピラ] 1923年 26.0×20.5cm dada 1923 619	D-23 「シュルレアリスム 男性名詞 心の純粹な 自動現象であり…」 [挿入ピラ] 1924年 7.0×10.0cm SURR 1924 5814
166 マルセル・ジャン ホロスコープの娘 1970年 彩色された厚紙、木、時計 38.5×22.0×15.5cm AM 1981-503	D-3 『リテラチュール[文学]』 第1期第9号(1919年11月) [雑誌] 1919年 17.5×22.5cm RP 12	D-14 『リテラチュール[文学]』 第2期第1号(1922年3月) [雑誌] 1922年 17.5×22.5cm RP 12	D-24 「シュルレアリスムは天才の共産主義 か？」 [挿入ピラ] 1924年 7.0×10.0cm SURR 1924 8892 (2 bis)

- D-25
「頭に弾丸を受けた君たち、それを溶かしてシュルレアリスムの黄金となせ」
[挿入ピラ]
1924年
7.0×10.0cm
SURR 1924 8889 (3 bis)
- D-26
「司祭館はその魅力を、庭園はその輝きを、いささかも失いはしなかった」
[挿入ピラ]
1925年
7.0×10.0cm
SURR 1925 8886-5
- D-27
「もしあなたが恋を愛しているならば、シュルレアリスムを愛するようになるだろう」
[挿入ピラ]
1925年
7.0×10.0cm
SURR 1925 8893 (4 bis)
- D-28
『死骸』
[1924年10月18日のアナトール・フランスの国葬に際して刊行された小冊子]
1924年
32.0×24.5cm
SURR 1927 8880 GF
- D-29
『シュルレアリスム革命』
第4号(1925年7月)
[雑誌]
1925年
20.5×28.0cm
P 2
- D-30
『シュルレアリスム絵画』展
パリ、ピエール画廊、1925年11月14日-25日
[展覧会カタログ]
1925年
14.5×19.0cm
RC 1633
- D-31
『シュルレアリスム絵画』展
パリ、ピエール画廊、1925年11月14日-25日
[展覧会カタログ]
1925年
14.5×19.0cm
RC 1633
- Ⅲ 1926-1930年
- D-32
アンドレ・ブルトン
『正当防衛』
パリ、シュルレアリスム出版社刊
[書籍]
1926年
11.5×18.0cm
L 390
- D-33
ルイ・アラゴンおよびアンドレ・ブルトン
「抗議文」
[ピラ]
1926年
22.0×14.0cm
SURR 1926 8896,1
- D-34
「シュルレアリスム画廊開廊 マン・レイ島々のオブジェ1926年3月26日真夜中 ジャック・カロ通り16番地」
[ピラ]
1926年
9.0×13.5cm
SURR 1926 8898,2
- D-35
『シュルレアリスム革命』
第9-10号(1927年10月)
[雑誌]
1927年
20.5×28.0cm
RP 44
- D-36
アンドレ・ブルトン
『シュルレアリスムと絵画』
パリ、NRF刊
[書籍]
1928年
19.5×24.5cm
明治学院大学図書館 ダダ・シュルレアリスムコレクション
- D-37
アンドレ・ブルトン
『ナジャ』
パリ、ガリマール書店刊
[書籍]
1928年
19.0×12.2cm
明治学院大学図書館 ダダ・シュルレアリスムコレクション
- D-38
「シュルレアリスム展 シュルレアリスム絵画は存在するのか？」
パリ、オ・サクル・デュ・プランタン、
1928年4月2日-15日
[招待状]
1928年
15.0×16.5cm
SURR 1928 827
- D-39
『ダリ』展
パリ、ゲーマンス画廊、1929年11月20日-12月5日
[展覧会カタログ]
1929年
23.0cm
RC 1618
- D-40
『シュルレアリスム革命』
第12号(1929年12月)
[雑誌]
1929年
20.5×28.0cm
RP 44
- D-41
『革命に奉仕するシュルレアリスム』
第1号(1930年7月)
[雑誌]
1930年
19.5×28.0cm
P 1
- D-42
アンドレ・ブルトンおよびポール・エリュアール
『処女懐胎』
パリ、シュルレアリスム出版社刊
[書籍]
1930年
23.8×18.8cm
白百合女子大学図書館
- Ⅳ 1930-1936年
- D-43
アンドレ・ブルトン
『シュルレアリスム第二宣言』
パリ、クラ刊
[書籍]
1930年
23.5×29.0cm
L 327
- D-44
『死骸』
パリ、ドキュマン刊、1930年1月15日、G.リブモン=デセーニュ、ジャック・ブレヴェール、レーモン・クノーほかのテキスタイル、表紙：「アンドレ・ブルトンのパポロジー」
[小冊子]
1930年
37.0×32.0cm
SURR 1930 8911 GF
- D-45
『シュルレアリスムの書籍と出版物』
シュルレアリスム事業事務局、パリ、ジョゼ・コルティ書店
[小冊子]
1931年
22.0×13.5cm
SURR 1931 8926
- D-46
アンドレ・ブルトン
『通底器』
パリ、カイエ・リーブル刊
[書籍]
1932年
14.0×18.5cm
RLPF 1057
- D-47
アンドレ・ブルトン
『詩の貧困 大衆の意見を前にした「アラゴン事件」』
パリ、シュルレアリスム出版社刊
[書籍]
1932年
13.2×21.5cm
RLPF 2708
- D-48
アンドレ・ブルトン
「道化者！」(「アラゴン事件」の終焉)
『詩の貧困 大衆の意見を前にした「アラゴン事件」』に挿入されたピラ
[ピラ]
1932年
13.2×21.5cm
RLPF 2708
- D-49
撮影者不詳
カダケスのブルトン、ヴァランティエヌ・ユゴー、ダリ
[写真]
1932年
9.0×14.5cm
SUR3529
- D-50
アンドレ・ブルトン
『ヴィオレット・ノジエール』
ブリュッセル、ニコラ・フラメル刊
[書籍]
1933年
RLPF 1052
- D-51
「シュルレアリスム展を訪れなければならない」
パリ、ピエール・コル画廊、1933年6月7日-18日
[招待状]
1933年
14.0×11.0cm
SURR 1933 10289
- D-52
「シュルレアリスムのもっとも最近の位置についての体系的な連続講演」
[アンドレ・ブルトンの講演会招待状]
1935年
24.2×15.4cm
SURR 1935 8959
- D-53
「オブジェのシュルレアリスム展」
パリ、シャルル・ラトン画廊、1936年5月22日-29日
[展覧会カタログ]
1936年
15.5×23.5cm
RC 1630
- D-54
「コントロール=アタック：同志たちよ、ファシストたちがレオン・ブラムをランチにかけている…」
[ピラ]
1936年
13.1×10.6cm
SURR 1936 8973,1
- D-55
「黄金時代」
[プログラム雑誌]
1939年
21.5cm
Surr 1930 9737
- V 日本とシュルレアリスム：
1936-1938年
- D-56
『Homage a Paul Eluard』
神戸、海盤車刊行所刊
[書籍]
1934年
L 47
- D-57
『新造型』
第2号(1935年12月30日-1936年1月7日)
[雑誌]
1935-1936年
P 387
- D-58
『新造型』
第4号(1937年)
[雑誌]
1937年
P 387
- D-59
アンドレ・ブルトンほか
『超現実主義の交流』
東京、ボン書店刊
[書籍]
1936年
RLPF 3137
- D-60
『書窓』
第17号第3巻第5号(1936年)
[雑誌]
1936年
P 379
- D-61
『書窓』
第25号第5巻第1号(1937年)
[雑誌]
1937年
P 379
- D-62
『海外超現実主義作品展』
東京、西銀座日本サロン、1937年6月10日-14日
[ポスター]
1937年
29.5×38.0cm
SURR 1937 8993
- D-63
『海外超現実主義作品展』
名古屋、丸善、1937年7月10日-13日
[出品目録]
1937年
19.5×13.3cm
SURR 1937 8992

- D-64
『みつゑ』
第388号(1937年)「海外超現實主義作品集」
[雑誌]
1937年
P 386
- D-65
『夜の噴水』
第1号(1938年)
[雑誌]
1938年
P 399
- D-66
『夜の噴水』
第2号(1938年)
[雑誌]
1938年
P 399
- Ⅵ ミノトール／神話：1933-1939年
- D-67
『ミノトール』
第1号(1933年6月)
[雑誌]
1933年
25.0×22.0cm
P 90
- D-68
『ミノトール』
第3／4号(1933年12月)
[雑誌]
1933年
25.0×22.0cm
P 90
- D-69
『ミノトール』
第5号(1934年5月)
[雑誌]
1934年
25.0×22.0cm
RP 90
- D-70
『ミノトール』
第6号(1935年冬)
[雑誌]
1935年
25.0×22.0cm
RP 90
- D-71
『ミノトール』
第12/13号
[雑誌]
1939年
25.0×22.0cm
RP 30
- D-72
「国際シュルレアリスム展」
ロンドン、ニュー・バーリントン画廊、
1936年6月12日-7月4日
[招待状]
1936年
17.1×13.5cm
SURR 1936 8982,2
- D-73
アンドレ・ブルトンの書簡、ヴィクトル・
ブローネル宛、1937年9月30日付
[書簡]
1937年
BRE C1, inv. 8818-18-57
- D-74
「アンドレ・ブルトンが黒いユーモアに
ついて語る」
パリ、コメディ・デ・シャンゼリゼ、
1937年10月9日
[講演会招待状、ブルトンの書込み、タ
ンギーのデッサン]
1937年
16.0×12.0cm
SURR 1937 8994
- D-75
アンドレ・ブルトンおよびディエゴ・リ
ベラ
「独立革命芸術のために」
メキシコ、1938年7月25日
[ピラ]
1938年
27.0×21.0cm
SURR 1938 9006,1
- D-76
アンドレ・ブルトンおよびポール・エリュ
アール
『シュルレアリスム簡約辞典』
パリ、ボザール画廊刊
[書籍]
1938年
16.0×24.5cm
L 29
- D-77
アンドレ・ブルトン
「アンドレ・マッソンの名声」
1939年1月31日付手稿
[手稿]
1939年
31.6×20.8cm
10589
- Ⅶ 1938年の「シュルレアリスム国際展」
- D-78
「シュルレアリスム国際展」
パリ、ボザール画廊、1938年1月17日-2月
[招待状]
1938年
10.9×14.0cm
SURR 1938 9001,1
- D-79
「シュルレアリスム国際展」
パリ、ボザール画廊、1938年1月17日-2月
[ポスター]
1938年
56.0×38.0cm
SURR 1938 9002 TGF
- D-80
ドニーズ・ベロン撮影
1938年のシュルレアリスム国際展
サルバドール・ダリのマネキン
[写真]
1938年
SUR 3288.1
- D-81
ドニーズ・ベロン撮影
1938年のシュルレアリスム国際展
サルバドール・ダリのマネキン
[写真]
1938年
18.0×24.0cm
SUR 3288.6
- D-82
ドニーズ・ベロン撮影
1938年のシュルレアリスム国際展
マネキンの飾付けをするモーリス・アンリ
[写真]
1938年
25.0×25.2cm
SUR 3288.26
- D-83
ドニーズ・ベロン撮影
1938年のシュルレアリスム国際展
タンギーのマネキンとアルブのマネキン
(奥)
[写真]
1938年
25.0×25.2cm
SUR 3288.48
- D-84
ドニーズ・ベロン撮影
1938年のシュルレアリスム国際展
サルバドール・ダリの(雨降りタクシー)
[写真]
1938年
25.0×25.2cm
SUR 3288.53
- D-85
ドニーズ・ベロン撮影
1938年のシュルレアリスム国際展
セリグマンのマネキンの傍らに立つポー
ル・エリュアール
[写真]
1938年
SUR 3288.28
- D-86
マン・レイ撮影
1938年のシュルレアリスム国際展
マルセル・デュシャンのマネキン
[写真]
1938年
13.6×18.6cm
641
- D-87
マン・レイ撮影
1938年のシュルレアリスム国際展
マン・レイのマネキン
[写真]
1938年
13.6×18.6cm
642
- D-88
マン・レイ撮影
1938年のシュルレアリスム国際展
マックス・エルンストのマネキン
[写真]
1938年
13.6×18.6cm
644
- D-89
マン・レイ撮影
1938年のシュルレアリスム国際展
ウォルフガング・パーレンのマネキン
[写真]
1938年
13.6×18.6cm
645
- Ⅷ 1939-1946年：亡命
- D-90
「シュルレアリスム ベンを持つ手の出版物」
[印刷物]
1941年
26.8×21.0cm
SURR 1941 5866
- D-91
「シュルレアリスムおよび幻想映画フェ
スティバル」
ニューヨーク、フィフス・アヴェニュー
劇場、1941年12月
[映画プログラム]
1941年
20.9×13.2cm
SURR 1941 5872
- D-92
ジョージ・ブラット・ラインズ撮影
1942年のピエール・マティス画廊におけ
るアンドレ・ブルトンとほかのシュルレ
アリストたち(マッタ、セゼール、タン
ギー、デュシャン)
[写真]
1942年
18.6×11.7cm
BRE1851
- D-93
「ファースト・ベイパーズ・オブ・シュ
ルレアリスム[シュルレアリスムの合衆
国帰化申請書]」展
ニューヨーク、1942年10月14日-11月7日
[展覧会カタログ]
1942年
18.5×27.0cm
RC 1814
- D-94
アンドレ・ブルトン
『秘法十七』
ニューヨーク、ブレンターノ書店刊
[書籍]
1944年
17.0×23.5cm
RLPF 1053
- D-95
撮影者不詳
『秘法十七』の出版のためにゴースム・
ブック・マートのウィンドウを飾り付ける
マルセル・デュシャン
[写真]
1945年
20.8×25.4cm
3932.1
- D-96
ディレン・メイヤ撮影
『秘法十七』をディスプレイしたショウ
ウィンドウに映るアンドレ・ブルトン、
ニューヨーク
[写真]
1944年12月
18.5×13.5cm
3924
- D-97
撮影者不詳
ニューヨーク、ゴースム・ブック・マー
トのショウウィンドウ
[写真]
1945年
18.6×11.7cm
18.6×11.7cm
3932.4
- D-98
アンドレ・ブルトン
『シュルレアリスムと絵画』
(第2版)
ニューヨーク、ブレンターノ書店刊
[書籍]
1945年
26.0×17.5cm
- D-99
アンドレ・ブルトン
『両大戦間のシュルレアリスムの位置』
パリ、ルヴェ・フォンテーヌ刊
[書籍]
1945年
16.5×22.0cm
L 49

- D-100
アンドレ・ブルトン
『若いサクラの木々がノウサギから守られる』
ニューヨーク、ヴェー・エディションズ
／ロンドン、A. ズウェマー／パリ、ラ・
ジュヌ・バルク刊
[書籍]
1946年
RLPF 1278
- D-101
撮影者不詳
マルセル・デュシャン
[写真]
1946年
25.6×20.3cm
1388A
- Ⅸ 展覧会「1947年のシュルレアリスム」
- D-102
アンドレ・ブルトン
『シャルル・フォーエへのオード』
パリ、ルヴェ・フォンテーヌ刊
[書籍]
1947年
17.0×28.5cm
L 36
- D-103
マルセル・デュシャンの書籍、アンドレ・
ブルトン宛、1947年4月8日付
[書籍]
1947年
10592
- D-104
マルセル・デュシャンの書籍、アンドレ・
ブルトン宛、1947年4月8日付
[封筒]
1947年
10592
- D-105
アンドレ・ブルトン旧蔵「シュルレアリスム
国際展：1947年のシュルレアリスム」
(パリ、マーグ画廊)関連資料ローランド・
ベンローズの自筆手書き書籍、アンドレ・
ブルトン宛、ロンドン、1947年2月10日
付、に挿入されたスケッチより、第1葉：
「祭壇11 透明な巨人」
[スケッチ]
1947年
10592
- D-106
アンドレ・ブルトン旧蔵「シュルレアリスム
国際展：1947年のシュルレアリスム」
(パリ、マーグ画廊)関連資料ローランド・
ベンローズの自筆手書き書籍、アンドレ・
ブルトン宛、ロンドン、1947年2月10日
付、に挿入されたスケッチより、第2葉：
「祭壇11 透明な巨人」
[スケッチ]
1947年
10592
- D-107
『シュルレアリスム国際展：1947年のシュ
ルレアリスム』
[展覧会カタログ]
1947年
RC 6332
- D-108
クロード・ガズブ撮影
シュルレアリスム国際展：1947年のシュ
ルレアリスム、パリ、マーグ画廊
[写真]
1947年
17.8×24.0cm
5826A
- D-109
ウィリー・マイワルド撮影
シュルレアリスム国際展：1947年のシュ
ルレアリスム、パリ、マーグ画廊 マリ
ア・マルティンスの彫刻
[写真]
1947年
30.5×37.0cm
5297A
- D-110
ウィリー・マイワルド撮影
シュルレアリスム国際展：1947年のシュ
ルレアリスム、パリ、マーグ画廊 階段
[写真]
1947年
30.8×31.6cm
5298A
- D-111
ウィリー・マイワルド撮影
シュルレアリスム国際展：1947年のシュ
ルレアリスム、パリ、マーグ画廊
[写真]
1947年
30.5×32.9cm
5299A
- X 1948-1966年
- D-112
アンドレ・ブルトン
『マルティニーク島 蛇つかいの女』
(アンドレ・マッソン挿画)
パリ、サジテール刊
[書籍]
1948年
14.5×19.0cm
L 40
- D-113
『甘美な死骸、その顕揚』展
パリ、ラ・ドラゴンヌ、ニナ・ドーセ画
廊、1948年10月7日-30日
[展覧会カタログ]
1948年
11.0×13.5cm
C 34
- D-114
『シュルレアリスム、メーム』
第1号(1956年10月)
[雑誌]
1956年
19.5×19.5cm
RP 119
- D-115
アンドレ・ブルトン
『魔術的芸術』
パリ、フォルム・エ・ルフレ、クリュブ・
フランセ刊
[書籍]
1957年
21.5×28.0cm
749
- D-116
ジョゼ・ビエール手稿
借用先および協力者リスト、外国の「芸
術家と協力者」[一番下に瀧口の名]
[手稿]
1959年
195910593
- D-117
ロジェ・ヴァン・エック撮影
シュルレアリスム国際展：エロス、パリ、
ダニエル・コルディエ画廊、1959年12月
-1960年1月
[写真]
1959年
18.2×24.0cm
3932.45
- D-118
ロジェ・ヴァン・エック撮影
シュルレアリスム国際展：エロス、入口、
パリ、ミロメニル通り8番地
[写真]
1960年
18.2×22.0cm
3932.46
- D-119
ロジェ・ヴァン・エック撮影
シュルレアリスム国際展：エロス、パリ、
ダニエル・コルディエ画廊、1959年12月
-1960年1月
[写真]
1959-1960年
18.2×24.0cm
3932.48
- D-120
ロジェ・ヴァン・エック撮影
シュルレアリスム国際展：エロス、パリ、
ダニエル・コルディエ画廊、1959年12月
-1960年1月
[写真]
1959-1960年
18.2×24.0cm
3932.44
- D-121
『ラ・ブレーシュ[突破口』
第1号(1961年10月)
[雑誌]
1961年
15.5×23.0cm
RP 114
- D-122
『絶対的隔離』展
(第11回シュルレアリスム国際展)
パリ、ルイユ画廊、1965年12月-1966年1月
[展覧会カタログ]
1965年
24.0×31.0cm
C 156
- D-123
『断ち切るう…』(ジェラール・ルグラン)
第11回シュルレアリスム国際展「絶対的
隔離」パリ、ルイユ画廊、1965年12月
-1966年1月、カタログに挿入されたピラ
[ピラ]
1965年
54.0×21.0cm
SURR 1965 9684 GF
- D-124
アルトゥーロ・シュヴァルツ撮影
アンドレ・ブルトン(パイプを持つ横顔)、
パリ、フォンテーヌ通りのアトリエにて
[写真]
1965年頃
17.0×22.5cm
3932.25
- D-125
アンリ・カルティエ＝ブレッソン撮影
マルセル・デュシャンとマン・レイ
[写真]
撮影年不詳
20.4×25.5cm
5556A

アーティスト・ファイル2011
—現代の作家たち
出品リスト

クリスティン・ベイカー | Kristin BAKER

1
《ダウン・スズカ、190-150》
2001年
アクリル / PVC
243.8×243.8cm
デヴィッド・タイガー・コレクション蔵

2
《アンフェア・アドヴァンテージ》
2003年
アクリル / PVC
152.4×274.3cm
サーチ・ギャラリー蔵

3
《クロトブラック・カーヴ》
2004年
アクリル / PVC
304.8×609cm
サーチ・ギャラリー蔵

4
《ヘルセウスの筏》
2006年
アクリル / PVC
254×406.4cm
サーチ・ギャラリー蔵

5
《モンタギュー家とキャピュレット家》
2007年
アクリル / PVC
203.2×304.8cm
個人蔵

6
《赤紫色の氾濫》
2009年
アクリル / PVC
101.6×152.4cm
ニール・ウォン・コレクション蔵

7
《ワン・ピラミッド・ナイン・フェイス》
2010年
アクリル / PVC
201.9×303.5cm
ニール・ウォン・コレクション蔵

バードヘッド | BIRDHEAD

1
《唐詩—幽州ノ台ニ登ル歌》
2011年
インスタレーション
展示サイズ可変、
写真22枚：各20×20cm
作家蔵

2
《過去、現在、未来で手にするものはすべて同じ》
2011年
263枚の写真
195枚：50×60cm
66枚：50×50cm
2枚：155×155cm
作家協力

タラ・ドノヴァン | Tara DONOVAN

1
《霞》
2003年
透明プラスチック製ストロー
サイズ可変

2
《無題(マイラー・テープ)》
2008年
金属化ポリエステルフィルム
サイズ可変

岩熊力也 | IWAKUMA Rikiya

1
《眠山水4》
2006年
アクリル、合成樹脂 / ポリエステル、木枠
227.3×181.8cm
高橋コレクション蔵

2
《reverb(無頭のスフィンクス、逃げるウサギ、偽ウサギ)》
2007年
アクリル / ポリエステル、木枠
227.3×181.8cm
高橋コレクション蔵

3
《reverb(双頭の蛇、馬の人、炎)》
2007年
アクリル / ポリエステル、木枠
227.3×181.8cm
作家蔵

4
《reverb(折る手、殺める手、兎、野犬、鳥)》
2007年
アクリル / ポリエステル、木枠
227.3×181.8cm
財団法人大原美術館蔵

5
《霖雨01 終の棲家、呼びかけても届かぬ声》
2009年
アクリル、合成樹脂 / ポリエステル、木枠
194×162cm
高橋コレクション蔵

6
《霖雨02 鷹は死すとも穂はつまず、老戦士もまた口を嚙む。魚は少年を背に山を越え、古の神々は懸崖で微笑む》
2009年
アクリル、合成樹脂 / ポリエステル、木枠
227.3×181.8cm
個人蔵(豊田市美術館寄託)

7
《霖雨03 犬猿互い譲らず、仏法僧鳴りを潜める。空から来た人地上にとどまり、そしてまた春が来る》
2009年
アクリル、合成樹脂 / ポリエステル、木枠
194×162cm
作家蔵

8
《霖雨04 宿敵再度相まみえる。世界の終りではくそ笑むマヤ人》
2009年
アクリル、合成樹脂 / ポリエステル、木枠
194×162cm
作家蔵

9
《砂の島02》
2010年
アクリル / ポリエステル、木枠
130.3×162.1cm
個人蔵

10
《砂の島04》
2010年
アクリル、合成樹脂 / ポリエステル、木枠
181.8×227.3cm
高橋コレクション蔵

11
《汝の柯、爛せり01》
2010年
アクリル、合成樹脂 / ポリエステル、木枠
227.3×181.8cm
作家蔵

12
《汝の柯、爛せり02》
2010年
アクリル、合成樹脂 / ポリエステル、木枠
227.3×181.8cm
作家蔵

13
《鳥髪03》
2010年
アクリル、合成樹脂 / ポリエステル、木枠
181.8×227.3cm
高橋コレクション蔵

14
《残火 101205》
2010年
アクリル / ポリエステル、木枠
227.3×363.6cm
作家蔵

15
《残火 101225》
2010年
アクリル / ポリエステル、木枠
227.3×363.6cm
作家蔵

16
《残火 101225》ドキュメント
2010年
ビデオ
3分15秒
作家蔵

鬼頭健吾 | KITO Kengo

1
《Inconsistent Surface》
2011年
布(縫い合されたスカーフ)、ミラーシート、扇風機
布サイズ：1300×1200cm
作家蔵

2
《Crack》 ※展示中止
2011年
絨毯、木材、ミラーシート
700×1400×20cm
展示予定期間：
2011年3月26日(土) - 4月11日(月)
展示場所：屋外テラス

松江泰治 | MATSUE Taiji

1
《ALPS 33026》
2011年
タイプCプリント
110.0×137.5cm

2
《ANDES 07151》
2011年
タイプCプリント
110.0×137.5cm

3
《ARGENTINA 05331》
2011年
タイプCプリント
110.0×137.5cm

4
《ATACAMA 07552》
2011年
タイプCプリント
110.0×137.5cm

5
《INDIANA 25646》
2011年
タイプCプリント
110.0×137.5cm

[凡例]
カタログ番号
《作品タイトル》
制作年
素材・技法
寸法
所蔵

6 《SAHARA 15722》 2011年 タイプCプリント 110.0×137.5cm	20 《QUI 100520》 2010年 ビデオ 26分00秒 作家蔵	33 《13HAJ》 2007年 タイプCプリント 44.8×44.8cm 作家蔵	46 《26SVQ》 2007年 タイプCプリント 44.8×44.8cm
7 《TUNISIA 15832》 2011年 タイプCプリント 110.0×137.5cm	21 《01SYD》 2007年 タイプCプリント 44.8×44.8cm 作家蔵	34 《14DTM》 2007年 タイプCプリント 44.8×44.8cm	47 《27SVQ》 2007年 タイプCプリント 44.8×44.8cm 作家蔵
8 《UTAH 61548》 2011年 タイプCプリント 110.0×137.5cm	22 《02UKB》 2007年 タイプCプリント 44.8×44.8cm 作家蔵	35 《15DTM》 2007年 タイプCプリント 44.8×44.8cm 作家蔵	48 《28NCE》 2007年 タイプCプリント 44.8×44.8cm
9 《BER 31119》 2011年 タイプCプリント 110.0×137.5cm	23 《03UKB》 2007年 タイプCプリント 44.8×44.8cm 作家蔵	36 《16DUS》 2007年 タイプCプリント 44.8×44.8cm 作家蔵	49 《29NCE》 2007年 タイプCプリント 44.8×44.8cm 作家蔵
10 《BJX 41115》 2008年 タイプCプリント 110.0×137.5cm	24 《04TAK》 2007年 タイプCプリント 44.8×44.8cm 作家蔵	37 《17RTM》 2007年 タイプCプリント 44.8×44.8cm 作家蔵	50 《30ELP》 2007年 タイプCプリント 44.8×44.8cm 作家蔵
11 《GRX 51241》 2011年 タイプCプリント 110.0×137.5cm	25 《05QCB》 2007年 タイプCプリント 44.8×44.8cm 作家蔵	38 《18PAR》 2007年 タイプCプリント 44.8×44.8cm 作家蔵	51 《31EC》 2007年 タイプCプリント 44.8×44.8cm
12 《OSA 13829》 2011年 タイプCプリント 110.0×137.5cm	26 《06QCB》 2007年 タイプCプリント 44.8×44.8cm 作家蔵	39 《19PAR》 2007年 タイプCプリント 44.8×44.8cm 作家蔵	52 《33KUL》 2007年 タイプCプリント 44.8×44.8cm 作家蔵
13 《PAR 32319》 2008年 タイプCプリント 110.0×137.5cm	27 《07YOK》 2007年 タイプCプリント 44.8×44.8cm	40 《20PAR》 2007年 タイプCプリント 44.8×44.8cm	53 《35QGU》 2008年 タイプCプリント 44.8×44.8cm 作家蔵
14 《PEN 21320》 2011年 タイプCプリント 110.0×137.5cm	28 《08BWI》 2007年 タイプCプリント 44.8×44.8cm 作家蔵	41 《21AT》 2007年 タイプCプリント 44.8×44.8cm	54 《36GYE》 2008年 タイプCプリント 44.8×44.8cm 作家蔵
15 《TYO 41739》 2011年 タイプCプリント 110.0×137.5cm	29 《09CVG》 2007年 タイプCプリント 44.8×44.8cm	42 《22GRX》 2007年 タイプCプリント 44.8×44.8cm	55 《37VCE》 2008年 タイプCプリント 44.8×44.8cm 作家蔵
16 《XRY 51440》 2008年 タイプCプリント 110.0×137.5cm	30 《10TYO》 2007年 タイプCプリント 44.8×44.8cm	43 《23PT》 2007年 タイプCプリント 44.8×44.8cm 作家蔵	56 《38LON》 2008年 タイプCプリント 44.8×44.8cm
17 《ALTIPLANO 100676》 2010年 ビデオ 28分15秒 作家蔵	31 《11MHG》 2007年 タイプCプリント 44.8×44.8cm 作家蔵	44 《24PT》 2007年 タイプCプリント 44.8×44.8cm 作家蔵	57 《40EDI》 2008年 タイプCプリント 44.8×44.8cm 作家蔵
18 《ATACAMA 100435》 2010年 ビデオ 29分55秒 作家蔵	32 《12HAJ》 2007年 タイプCプリント 44.8×44.8cm	45 《25LIS》 2007年 タイプCプリント 44.8×44.8cm	58 《41EDI》 2008年 タイプCプリント 44.8×44.8cm
19 《ARI 100585》 2010年 ビデオ 29分40秒 作家蔵			

59 《42ADX》 2008年 タイプCプリント 44.8×44.8cm	72 《60MEX》 2008年 タイプCプリント 44.8×44.8cm 作家蔵	ビヨルン・メルフス Bjorn MELHUS
60 《43XGM》 2008年 タイプCプリント 44.8×44.8cm 作家蔵	73 《62ACA》 2008年 タイプCプリント 44.8×44.8cm 作家蔵	1 《マーフィ》 2008/2011年 ビデオ・インスタレーション サイズ可変 3分20秒 / ループ 作家協力
61 《44XGM》 2008年 タイプCプリント 44.8×44.8cm	74 《63ACA》 2008年 タイプCプリント 44.8×44.8cm 作家蔵	2 《夜番 ナイトウォッチ》 2011年 3チャンネル・ビデオ・インスタレーション 5台のテレビ・モニター 2台のプロジェクターによる投影 木、ビニールシート 14分 / ループ 作家協力
62 《45XGM》 2008年 タイプCプリント 44.8×44.8cm	75 《64ACA》 2008年 タイプCプリント 44.8×44.8cm 作家蔵	中井川由季 NAKAIGAWA Yuki
63 《46PZY》 2008年 タイプCプリント 44.8×44.8cm 作家蔵	76 《65ACA》 2008年 タイプCプリント 44.8×44.8cm 作家蔵	1 《月を喰む》 2003年 陶 228×78×75cm 作家蔵
64 《49BCN》 2008年 タイプCプリント 44.8×44.8cm 作家蔵	77 《66ZCL》 2008年 タイプCプリント 44.8×44.8cm	2 《外側から解く》 2005年 陶 103×110×68cm 作家蔵
65 《50BCN》 2008年 タイプCプリント 44.8×44.8cm	78 《67ZCL》 2008年 タイプCプリント 44.8×44.8cm	3 《水平に伝う》 2005年 陶 193×37×32cm 作家蔵
66 《52BCN》 2008年 タイプCプリント 44.8×44.8cm 作家蔵	79 《70AXT》 2008年 タイプCプリント 44.8×44.8cm 作家蔵	4 《受け止めるために沈み込む》 2009年 陶 278×115×136cm 作家蔵
67 《54KCM》 2008年 タイプCプリント 44.8×44.8cm	80 《71AXT》 2008年 タイプCプリント 44.8×44.8cm	5 《波打って開く》 2010年 陶 218×142×51cm 作家蔵
68 《56UIO》 2008年 タイプCプリント 44.8×44.8cm 作家蔵	81 《72JP》 2008年 タイプCプリント 44.8×44.8cm	6 《丸くなって寄り添う》 2011年 陶 330×75×125cm 作家蔵
69 《57ATF》 2008年 タイプCプリント 44.8×44.8cm 作家蔵	82 《73JP》 2008年 タイプCプリント 44.8×44.8cm	
70 《58CUE》 2008年 タイプCプリント 44.8×44.8cm	83 《74JP》 2008年 タイプCプリント 44.8×44.8cm	
71 《59GTB》 2008年 タイプCプリント 44.8×44.8cm	84 《75JP》 2008年 タイプCプリント 44.8×44.8cm	

9-7 名簿 The NACT Council and Staff List

評議員名簿 The NACT Council

新井光風	(社)日展理事、大東文化大学名誉教授、書家
梅原幸雄	東京藝術大学美術学部絵画科日本画専攻教授、日本画家
逢坂恵理子	横浜美術館館長
奥谷禮子	(株)ザ・アール代表取締役社長
勝田哲司	サントリー美術館支配人、サントリー芸術財団専務理事
熊倉純子	東京藝術大学音楽学部音楽環境創造科教授
小林真理	東京大学大学院人文社会系研究科准教授
酒井忠康	世田谷美術館長
桜井 武	熊本市現代美術館長
澄川喜一	(社)日本美術家連盟常任理事、島根県芸術文化センター長、彫刻家
高階秀爾	大原美術館長、西洋美術振興財団理事長
高橋信也	森美術館ジェネラルマネージャー
塗師祥一郎	(社)日展常務理事、日洋会理事長、洋画家
馬淵明子	日本女子大学人間社会学部文化学科教授
南 直哉	東京電力(株)顧問
山本 貞	(社)二紀会理事長、(社)日本美術家連盟理事長、洋画家
横里幸一	(株)NHKプロモーション代表取締役社長

平成23(2011)年3月末現在 17名

職員名簿 Staff

館長	林田英樹		
副館長	福永 治		
[庶務課]		[学芸課]	
庶務課長/室長(管理)	水野元洋	学芸課長/企画室長	南 雄介
係長(庶務)	伊藤 晃	主任研究員(企画)	長屋光枝
一般職員(庶務)	矢島 絢	主任研究員(企画)	宮島綾子
事務補佐員	白石顕子	研究補佐員	長谷川珠緒
事務補佐員	千葉美和	研究補佐員	加藤 絢
係長(会計)	菅原 章	研究補佐員	櫻井聖子
一般職員(会計)	米畑宏美	研究補佐員	阿部真弓
事務補佐員	河野正美	研究補佐員	小林明子
事務補佐員	田上麻里	研究補佐員	山田由佳子
事務補佐員	池田晃佑	研究補佐員	工藤弘二
室長(運営)/係長(事業)	矢板橋進一	研究補佐員	米田尚輝
一般職員(事業)	福田武史	事務補佐員	滝沢麻衣
事務補佐員	市川亜木子	事務補佐員	李 夢迪
事務補佐員	渡部 恵	事務補佐員	石松慧子
		教育普及室長(主任研究員)	西野華子
		主任研究員(教育普及)	本橋弥生
		研究補佐員	吉澤菜摘
		研究補佐員	鳥居 茜
		情報資料室長(主任研究員)	平井章一
		主任研究員(情報資料)	室屋泰三
		研究補佐員	白鳥真理子
		研究補佐員	橘川英規
		研究補佐員	奥村嘉子
		研究補佐員	力丸彩子
		研究補佐員	高橋麻衣子
		研究補佐員	窪内美緒
		情報研究補佐員	尾形泰三
		特任研究員	三木哲夫

平成23(2011)年3月末現在 44名

平成22年度 国立新美術館 活動報告

発行者：林田英樹
発行：国立新美術館
東京都港区六本木7-22-2
電話03-6812-9900

印刷：(株)アイワード
発行日：平成23年6月16日(非売品)

NACT REPORT
April 2010 – March 2011
The National Art Center, Tokyo

Publisher: HAYASHIDA Hideki
Published by: The National Art Center, Tokyo ©2011
7-22-2 Roppongi, Minato-ku, Tokyo, 106-8558, Japan
Printed by: iWORD

